NTT

OFISTAR

OFISTAR H7000

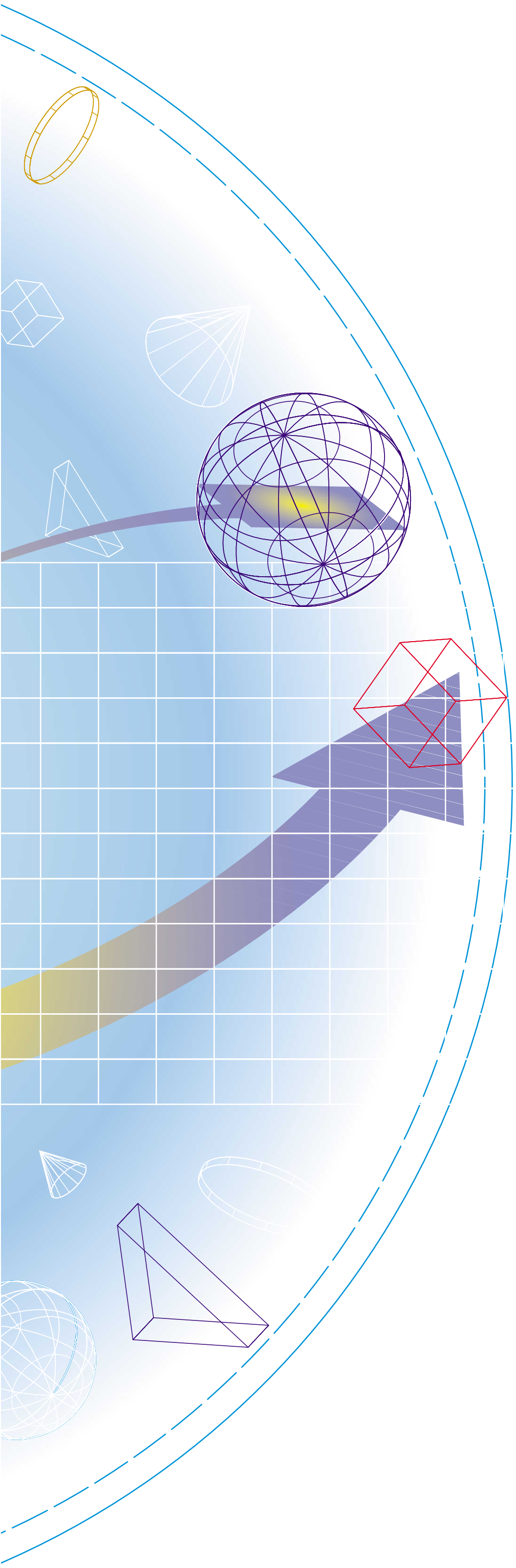
ファクス編

取扱説明書

このたびはOFISTAR H7000をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

●お使いになったあとも、本装置のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。





国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近隣して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本装置の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本装置の受話器置台コード差込口（TEL）は、電話網の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては正常に動作しないことがあります。
- 一般電話回線と本装置の間に、アダプタ（ナンバー・ディスプレイアダプタ、ターミナルアダプタなど）が接続された場合、アダプタなどが一般電話回線の仕様と完全には一致していないため、本装置が正常に動作しないことがあります。
- 本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本装置に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本装置の設置や配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本装置は、お買い求めのときには国内の相手の方と通信することを前提とした設定になっています。海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認してください。正常に通信できないときは、本装置の設定を変更することにより、通信できるようになる場合もありますので、当社のサービス取扱所へご相談ください。
- 設置する場所が交換センタから遠い場合、ご使用になれないことがありますので、設置や移動にあたっては当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 操作ガイドを使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

はじめに

このたびはOFISTAR H7000をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書には、本機を初めてご使用になるかたを対象として、ファクス機能の操作方法を記載しています。本機の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、ご使用になる前に必ず本書をお読みください。
コピー機能の操作方法や、本機の日常管理方法、使用上の注意事項については、別冊の「本体管理/コピー編」をごらんください。
なお、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を別冊の「本体管理/コピー編」の「安全にお使いいただくために」に示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
また、本書は読み終わったあとも大切に保管し、本機のファクス機能をご使用の際にご不明な点などございましたときにもご利用ください。

本書の装置イラストは、オプションの増設記録紙カセットを装着した4段カセットの状態で記載しています。

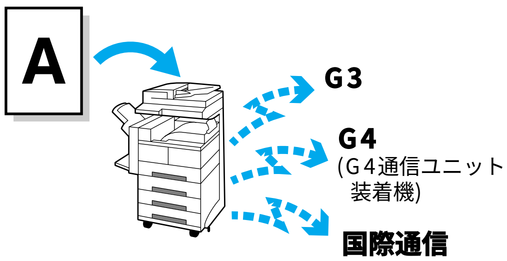
機能アラカルト

送信する原稿の読み取り画質を調整する

送信する原稿の解像度、濃度、原稿の画質を指定して読み取ることができます。

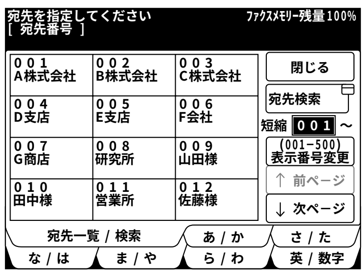
参照 ●「3-1 送信の操作の流れ(送信画質／原稿の画質／送信濃度)」

通信モードを指定する



参照 ●「3-2 通信モードを選択する(通信モード)」

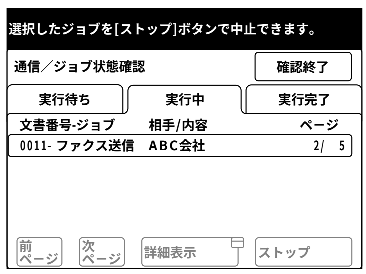
宛先表を使って相手先を検索する



参照 ●「3-3 相手先を指定する」

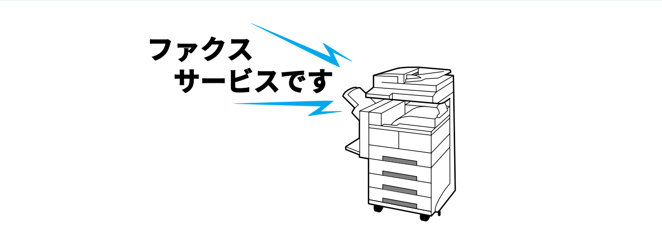
通信状態を確認する

通信/ジョブ状態確認(通信中止)ボタンを使って、通信待ち文書や、通信中文書、通信結果を確認することができます。



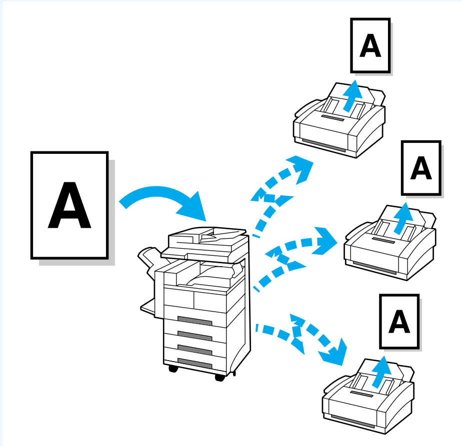
参照 ●「4-2 通信状態を確認する」

受話器を使わずに機械のスピーカから、相手の電話の音を聞く



参照 ●「6-1 電話のかけかた」

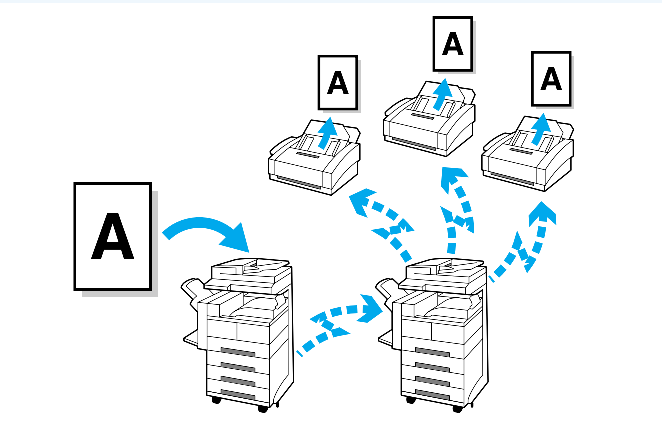
複数の相手先に一度の操作で送信する



参照 ●「7-1 複数の相手先に送信する(同報送信)」

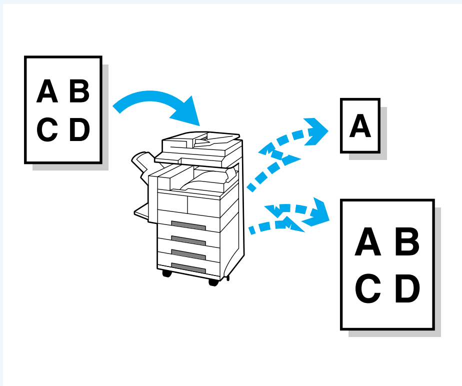
中継局を介して送信する

遠方の数カ所に同じ文書を送信するときなどに、長距離の電話料金を節約することができます。



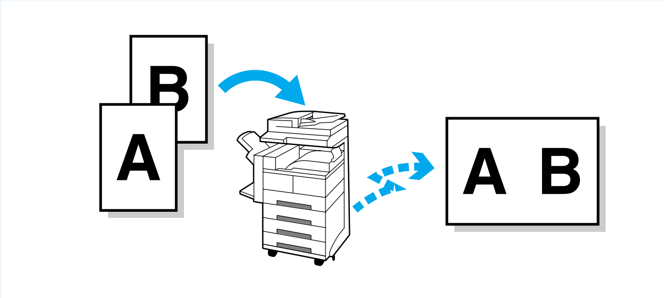
参照 ●「7-2 中継局を介して同報送信する(中継同報)」

指定した範囲を送信したり、拡大/縮小して送信する



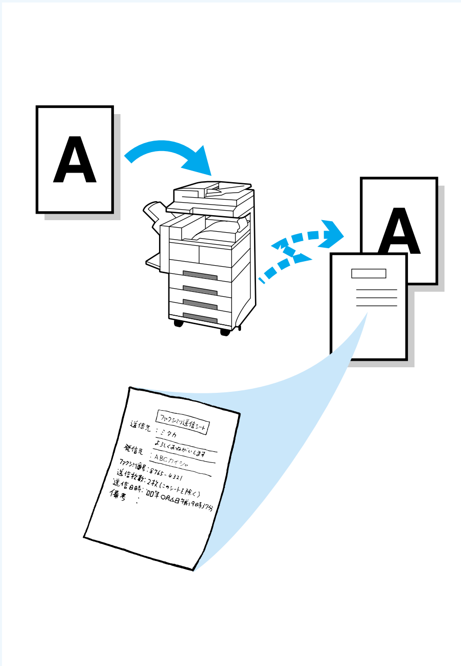
参照 ●「7-4 範囲や倍率を指定して送信する(読み取り指定)」

複数の原稿を合成して送信する



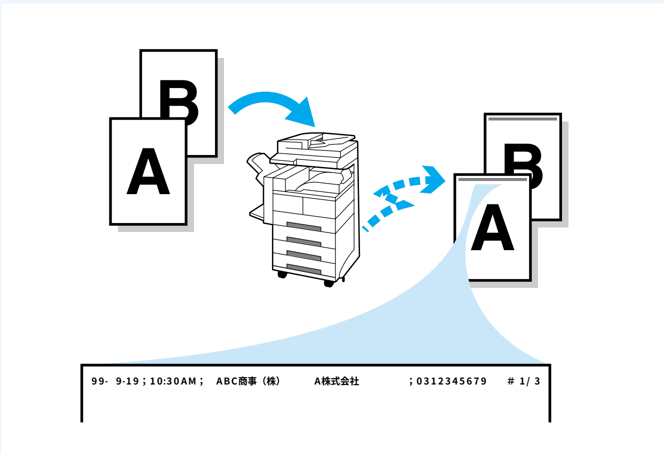
参照　●「7-5 複数の原稿を1枚に合成して送信する
(並列合成送信)」

表紙をつけて送信する



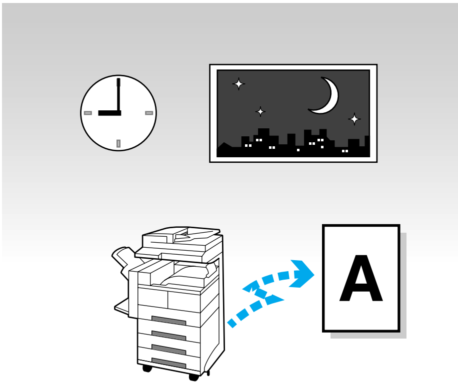
参照　●「7-6 表紙をつけて送信する
(送信シート)」

送信する文書に日時や、名前を入れる



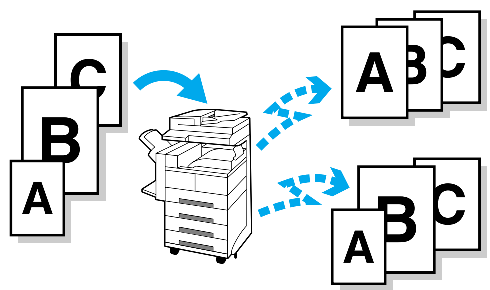
参照　●「7-7 こちらの名前や番号をつけて送信する
(発信元記録)」

指定した時刻に通信する



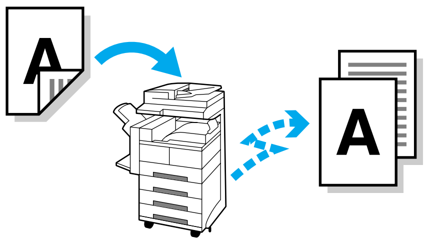
参照 ●「7-8 時刻を指定して通信する(時刻指定)」

異なるサイズの原稿を一度に読み取って送信する



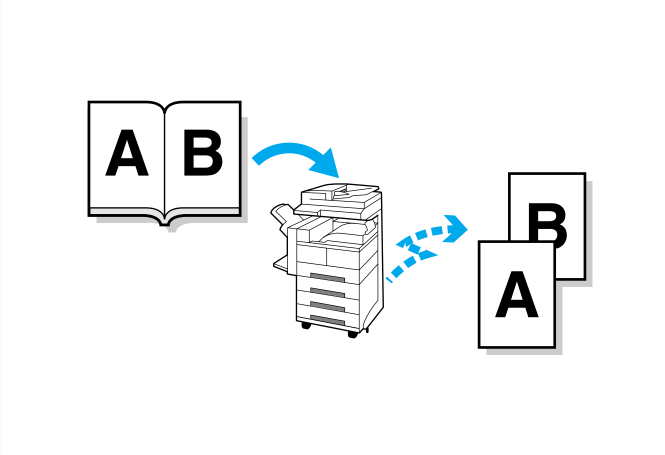
参照 ●「7-9 異なるサイズの原稿を一度に送信する
(ミックスサイズ原稿送り)」

両面原稿をおもてうらに分けて送信する



参照 ●「7-10 両面原稿を送信する
（両面原稿送り）」

見開き原稿を分割して送信する



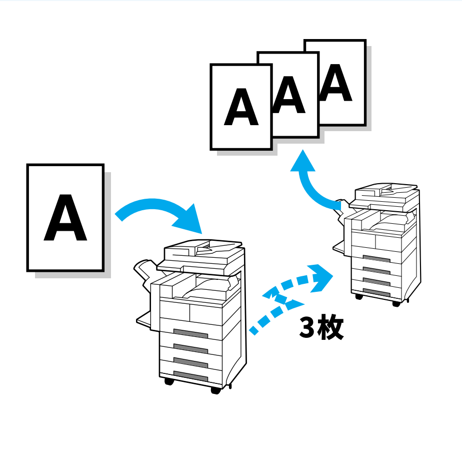
参照 ●「7-11 見開き原稿を左右に分割して送信する（ページ連写）」

特定の人と機密文書をやり取りする

親展ボックスにパスワードを設定して、文書の送受信を行うことができます。

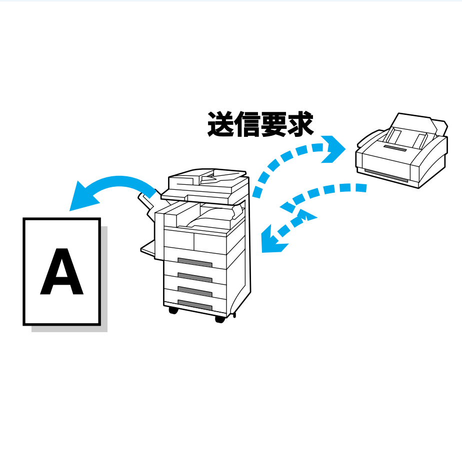
参照 ●「7-13 親展通信する（親展通信/親展ボックス）」

相手先で複数部排出する



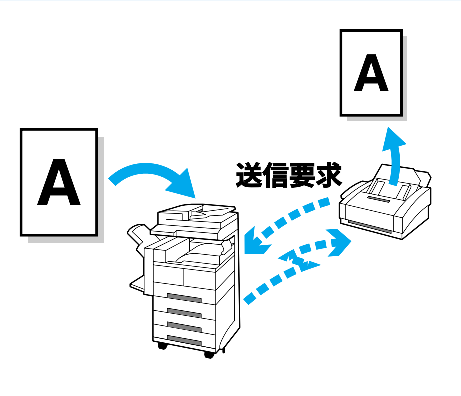
参照 ●「7-14 送信先で複数部コピーする（送信先部数）」

相手先の文書を取り出す



参照 ●「7-15 相手先の原稿を取り出す（ポーリング）」

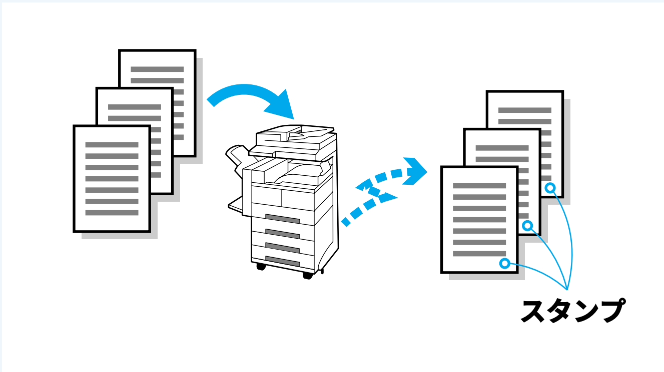
相手先から取り出してもらう文書を予約する



参照 ●「7-16 相手先からの操作で原稿を送信する(ポーリング予約)」

読み取った原稿にスタンプを押す (済スタンプキット装着機)

全ての原稿を読み取ったかどうか確認することができます。



参照 ●「7-17 原稿通過スタンプをつける(原稿通過スタンプ)」

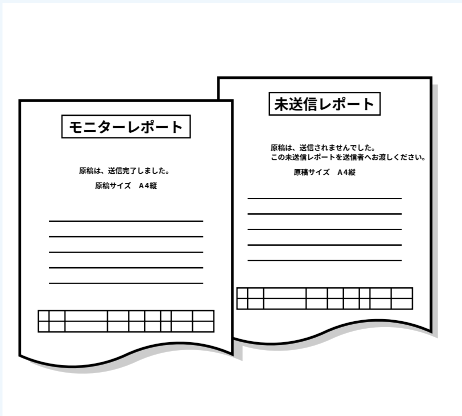
登録した操作をワンタッチで呼び出す

操作をジョブメモリーボタンに登録すると、ワンタッチで呼び出すことができます。

参照 ●「7-19 定型操作を登録して操作する(ジョブメモリー)」

通信結果を確認する

通信後に結果をレポートで確認することができます。



参照 ●「10-2 レポート/リストを出力する」

本書の使いかた

マニュアル体系

本編には、ファクス機能を使用する場合についての説明をしております。
紙づまり、原稿づまり、日常の管理などについては別冊の「本体管理/コピー編」に説明してあります。本編とあわせてご活用ください。なおPCプリンタユニットを装着している場合は、パーソナルコンピューターから本機を介して直接ファクスすることもできます。詳しくは「プリンタガイド」に説明しています。

本書の構成

本書は以下の構成になっています。

第1章　お使いいただく前に

ファクスをお使いいただくための注意事項や文字入力のしかたなど、操作前に理解していただきたいことがらが記載されています。
本機を初めてご利用されるかたは操作の前に必ずお読みください。

第2章　原稿のセット

本機で使用できる原稿と原稿に対する注意事項、原稿のセット方法について説明しています。

第3章　基本的な送信

基本的な送信の操作の流れと操作方法について説明しています。通常の送信操作のほとんどは、この章で説明している操作で対応できます。

第4章　通信の中止と通信状態の確認

通信状態(通信中、通信待ち、通信結果)の確認方法と通信の中止方法を説明しています。

第5章　受信のしかた

受信の流れと受信時の出力状況について説明しています。

第6章　電話のかけかた/とりかた

ハンドセット(受話器)を使った電話のかけかたととりかたについて説明しています。

第7章　便利な機能を使った通信

便利なファクス機能と、その操作方法を説明しています。
同報、中継同報、リモート中継同報、ポーリング、時刻指定通信、親展通信、ジョブメモリーなどについて説明しています。

第8章　データの登録

ファクス機能を使用するための各データの登録について説明しています。

第9章　仕様設定

ファクス機能の使いがってを向上させるための設定方法を説明しています。

第10章 レポート/リストについて

レポート/リストの設定や出力方法、それぞれの内容について説明しています。

第11章 トラブルと思ったら

状態表示コードが通信管理レポートなどに表示された場合や、送受信ができない場合などの対処方法を説明しています。

付録

主な仕様やFAX情報サービス、国際通信/ファクシミリ通信網の利用方法を説明しています。

主なオプション

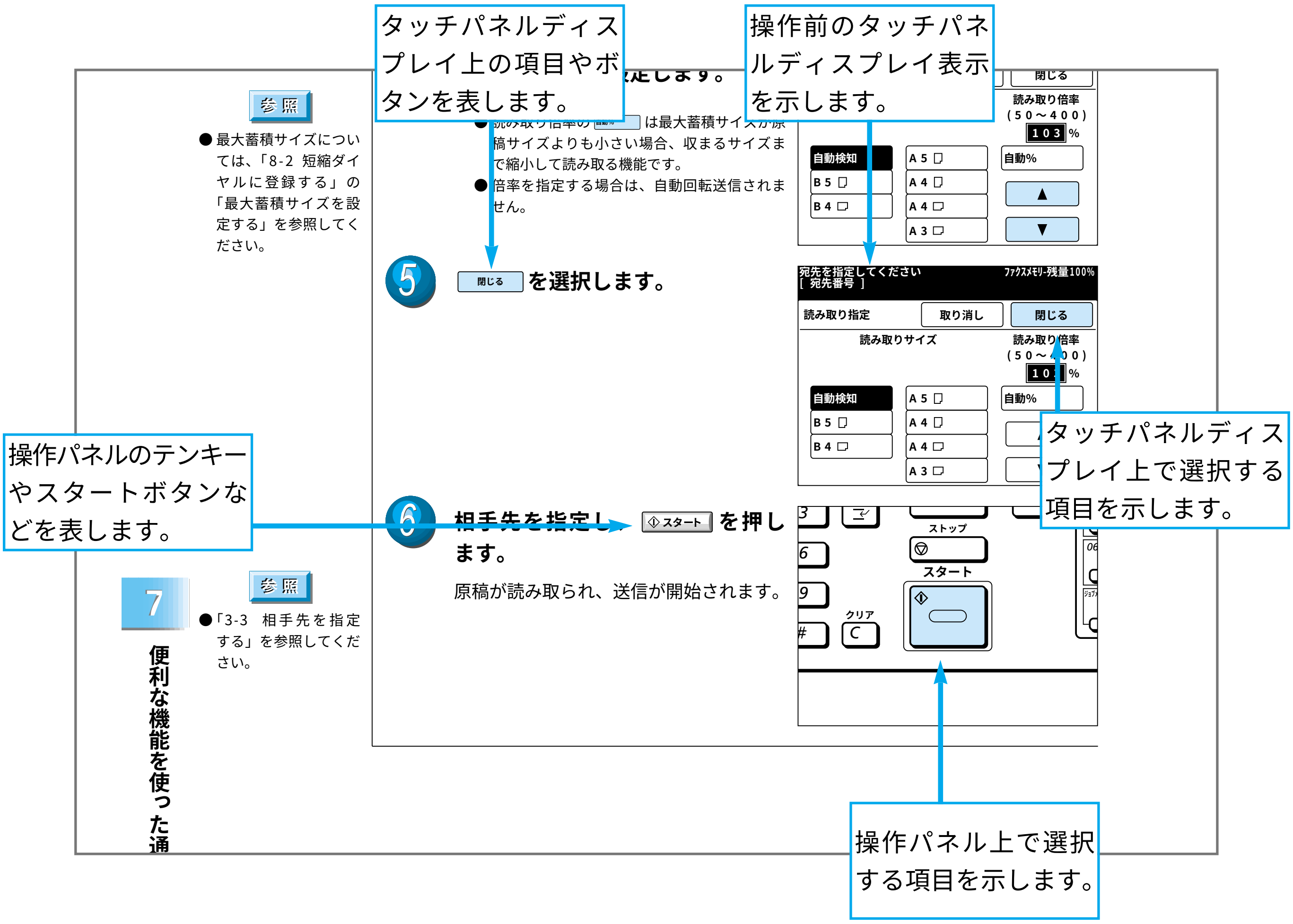
オプション名	ご利用になると
増設記録紙カセット	用紙トレイ4となります。
多重手差しキット	はがきなど、用紙トレイでは使用できない用紙にコピーまたはプリントすることができます。
自動両面ユニット	自動的に用紙の両面にコピーまたはプリントすることができます。 オフセット出力キットが同梱されています。
サイドトレイキットA	用紙のおもて面を上にして排出するこができます。 簡易サイドトレイとともにオフセット出力キットが同梱されています。
サイドトレイキットB	用紙のおもて面を上にして排出するこができます。 自動両面ユニットを装着している場合にご利用になれるサイドトレイです。
サイドトレイキットC	ファクス受信文書の出力、プリント出力をそれぞれ別のサイドトレイに排出することができます。コピーは排出できません。
サイドトレイキットD	ファクス受信文書の出力、プリント出力をそれぞれ別のサイドトレイに排出することができます。コピーは排出できません。 自動両面ユニットを装着している場合にご利用になれるサイドトレイです。
オフセット出力キット	センタートレイに排出時、1部ごとにずらして排出することができます。
G4通信ユニット	ISDN回線に接続してG4通信を1通信行うことができます。
増設G3ポート	G3回線を増設します。(標準のG3回線と合わせて3回線まで増設できます。)
増設G4ポート	G4通信を2通信同時に行うことができます。
済スタンプキット	ファクス送信時、自動両面原稿送り装置から読み込んだ原稿にスタンプを押すことができます。
デュアルアクセス拡張キット	2つの作業を同時に行う場合の組み合わせが多くなります。
増設メモリ（4MB）	ファクスで使用する蓄積容量が増加します。 2枚まで増設することができます（標準の2MBと合わせて最大10MB）。
ファクス用ハードディスク	ファクスで使用する蓄積容量が増加します。 増設メモリ（4MB）を2枚装着する必要があります。
PCプリンタユニット	本機をプリンターとして利用することができます。 パーソナルコンピューターから直接ファクス送信することもできます。
LAN接続ユニット	本機をネットワークプリンター、およびネットワークスキャナーとして利用することができます。
プリンタ増設RAMモジュール	プリンターで使用するメモリー容量が増加します。16MBと32MBがあります。 2枚まで増設することができます（標準の16MBと合わせて最大80MB）。
プリンタ用ハードディスク	電子ソートプリントが可能となります。 プリンタ増設RAMモジュール（16MBまたは32MB）を最低1枚は装着する必要があります。
プリンタ用キャッシュメモリ	プリンターの処理効率が向上します。
メールボックス	指定したビンにプリントを出力して、複数のユーザーから出力されたプリントが混在するのを防ぐことができます。 ファクスの受信文書を回線ごとに指定したビンに出力することもできます。 コピーは排出できません。
ステープルフィニッシャー	コピーやプリントにホチキスとめして排出することができます。

補足

● オプションをご利用になるときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

本書の表記

本書では以下の表記が使用されます。



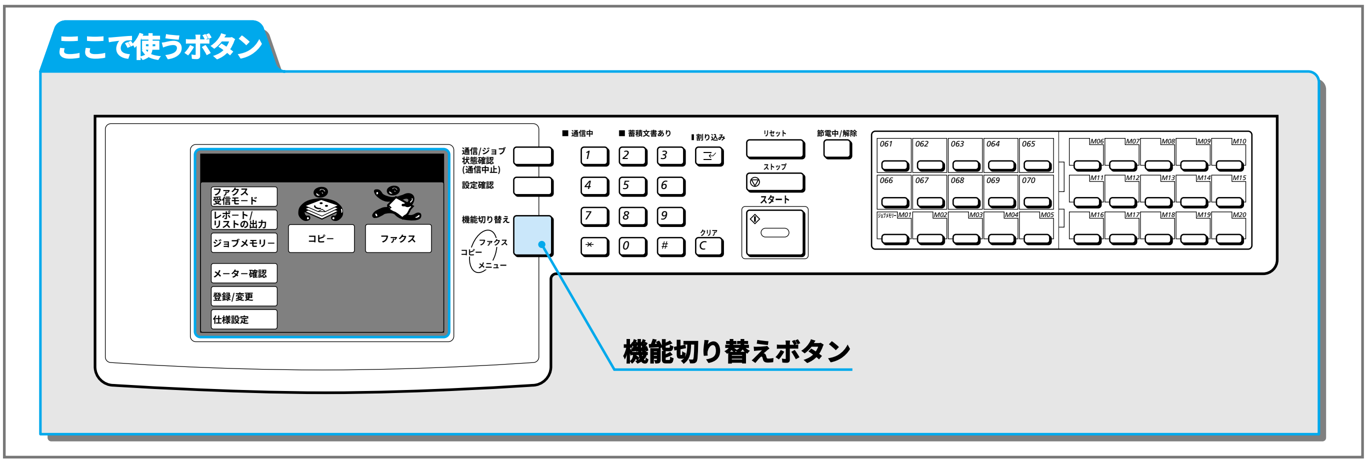
補足 操作や機能の補足を表すマークです。

注記 操作に関する注意です。

参照 参照先のタイトルを表すマークです。

⚠ 安全にご利用いただくための注意事項です。

「ここで使うボタン」では、その節の操作で必要なボタンおよびキーの位置が示されています。



目　次

第7章　便利な機能を使った通信

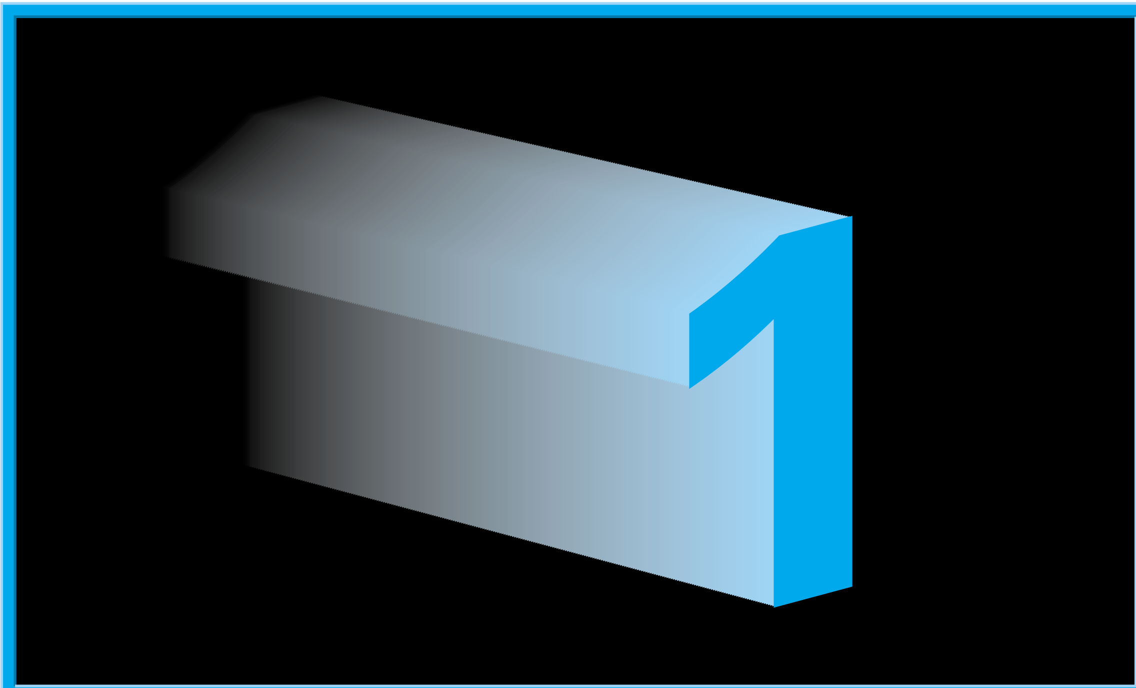
第8章　データの登録

第9章　仕様設定

第10章　レポート/リストについて

第11章 トラブルと思ったら

付録



お使いいただく前に

1-1 使用する前に登録する項目

本機をご使用いただく前に、登録していただく項目があります。
登録を行わずにご使用になると、正常に機能しない場合があります。
登録してから、使用してください。

登録項目	登録内容	参照
日付/時刻	日付と時刻を合わせます。	「8-9　日付/時刻を設定する」
回線関係	ファクスを接続している回線のファクス番号やダイヤル種別/回線種別などを登録します。	「8-6　G3 IDと 回線を設定する」 G4通信ユニットを装着している場合 「8-7　G4 IDを設定する」 「8-8　ISDN IDを設定する」
自局名	通信したときに相手のディスプレイや通信レポートに相手局名として表示される名称を自局名として登録します。 カタカナ、英数字、記号で登録できます。	「8-4　自局名を登録する」
発信元名	送信した相手のプリントの先端に印字されるこちらの名称（会社名など）を発信元名として登録します。 漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で登録できます。	「8-5　発信元名を登録する」
短縮ダイヤル	よく送信する相手先を短縮ダイヤルに登録すると便利です。短縮ダイヤルには、相手先名、ファクス番号のほかに、通信モードや送信画質などの機能や、同報送信、中継同報の設定も行うことができます。	「8-2　短縮ダイヤルに登録する」

1-2 使用上の注意

本機のファクス機能をご利用いただくために、以下の点に注意してください。
また、設置/移動時の注意や本体についての注意は、「本体管理/コピー編」を参照してください。

電源を入れるときの注意

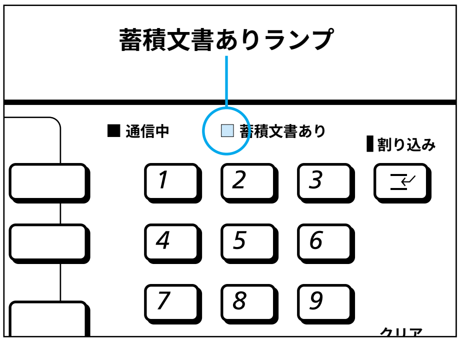
電源を入れる際は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけたのち電源を入れてください。5秒以上間隔をあけずに電源を入れると、ハードディスクやメモリーの故障の原因となることがあります。

電源を切るときの注意

電源を切るときは、操作パネル上の蓄積文書ありランプが消灯していることを確認してください。蓄積文書ありランプ点灯中に電源スイッチを切ると、メモリー内の蓄積文書などが消えてしまう場合があります。

参照

●「10-2　レポート/リストを出力する」



- 蓄積文書ありランプが点滅している場合は、代行蓄積文書があります。ディスプレイの指示に従って、出力してください。蓄積文書ありランプが点灯している場合には、蓄積文書リストを出力し、内容を確認します。

注記

- 操作パネルの蓄積文書ありランプが点灯しているときに電源を切り、3時間以上放置すると、メモリーに蓄積されている文書が削除されます。削除された文書は復旧できません。
また、電源を切ってから3時間以内で復旧できるのは、それ以前に158時間以上充電していた場合に限ります。
- 短縮番号などの登録情報は、電源を切っても、その前に72時間以上本機の電源を入れて充電していれば、200時間までは復旧することができます。
- 時刻指定機能が設定されている場合に電源を切ると、時刻指定の設定は取り消され、電源を入れたときに通信が開始されます。

接続する電話回線について

コードレス電話機の親機に隣接してファクスを設置すると、ファクスの画像が乱れたり、通信が中断したりすることがあります。
コードレス電話の親機から5m以上離して設置してください。

お客様のご使用されている社内ネットワーク等において、デジタル専用線を多重化している場合、ファクシミリ通信に以下の制約が生ずる可能性があります。

(1) 本機独自の通信手順を用いた機能が動作しない(送信先部数指定、中継同報、親展通信)。
(2) 伝送速度が制限される。
(3) Super G3による通信ができない。

また、ごくまれに工場出荷時の設定では、通信エラーが発生する場合があります。
これらの制約は、多重化装置が音声使用を前提に回線の使用帯域をぎりぎりまで制限しているためです。なお、ネットワークを構成する装置によってもこれらの制約は異なります。
詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

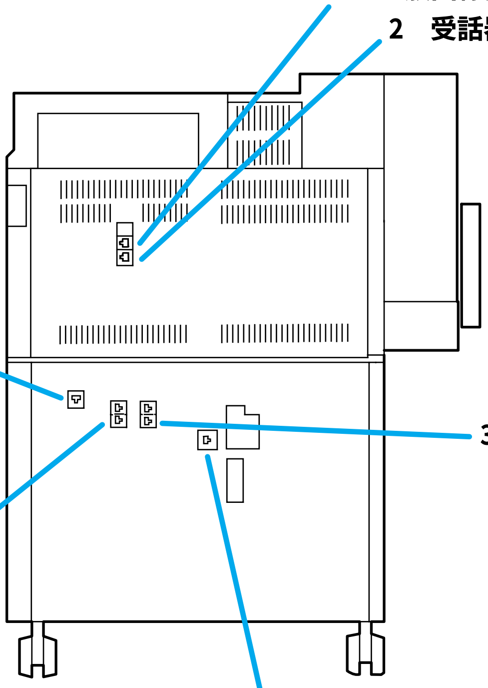
自動受信状態のときの注意

参照
●「9-1　仕様設定について」

自動受信状態で待機中に電話がかかってきた場合は、会話をすることはできません。通話にお使いになる電話回線に本機を取り付けるときには、ファクス切り替え時間を適当な値に設定してください。

1-3 電話回線接続部について

以下は本機背面にある電話回線接続部です。



1	一般回線用差込口(LINE 1)	一般回線(内線も可)を接続します。通常はここに電話回線を接続します。(自局情報の設定画面では外線1と表示されます。)
2	受話器置台コード差込口(TEL)	受話器置台コード、または外付け電話機のコードを接続します。ISDN TELに差込口がある場合（G4通信ユニットまたは増設G3ポートを装着している場合）は、受話器置台コードはISDN TELに接続し、ここには接続しないでください。外付け電話機を接続する場合は、「付録F 外付け電話機を接続する」を参照してください。
3	一般回線用差込口(LINE 3)*	一般回線(内線も可)を接続します。(自局情報の設定画面では外線3と表示されます。)
4	ISDN回線差込口(ISDN LINE)*	ISDN回線を接続します。
5	一般回線用差込口(LINE 2)*	一般回線(内線も可)を接続します。(自局情報の設定画面では外線2と表示されます。)
6	受話器置台コード差込口(ISDN TEL)*	受話器置台コードを接続します。

*はオプションです。

注記

● オプションの増設G3ポートを装着している場合、EXT.LINE2、およびEXT.LINE3の差込口には、何も接続しないでください。

1-4 タッチパネルディスプレイの画面表示のしかた

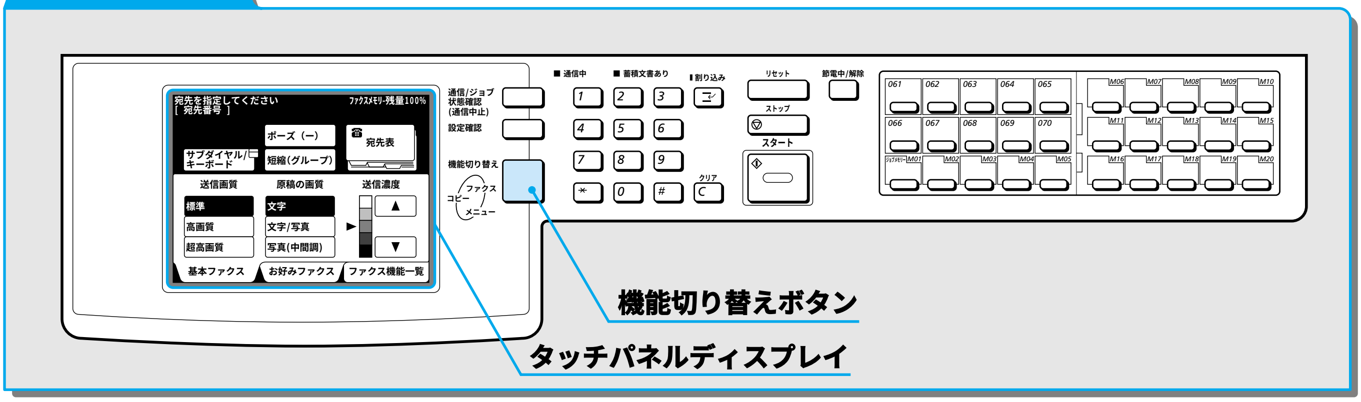
タッチパネルディスプレイでは、ディスプレイ上のボタンに直接指で触れることによって、各種機能を選択することができます。

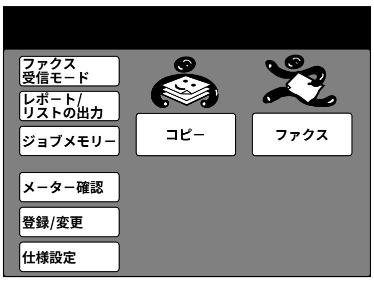
メニュー画面/コピー画面/ファクス画面を表示する

[機能切り替え] を押すごとに、メニュー画面、コピー画面、ファクス画面と切り替わります。

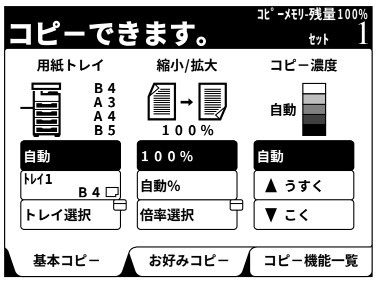
- 工場出荷時の設定では、電源を入れるとメニュー画面が最初に表示されます。
- タッチパネルディスプレイの初期画面の変更は、「本体管理/コピー編」を参照してください。

ここで使うボタン

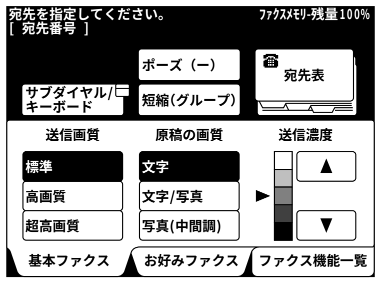




メニュー画面



コピー画面



ファクス画面

メニュー画面では、画面上にあるボタンを選択して、それぞれの設定画面を表示することができます。

コピー画面では、コピーの各種機能を選択することができます。コピー画面には基本コピー、お好みコピー、コピー機能一覧の3つの画面があります。

参照
- コピー機能については、「本体管理/コピー編」を参照してください。

ファクス画面では、ファクスの各種機能を選択することができます。

参照
- ファクス画面には、基本ファクス、お好みファクス、ファクス機能一覧の3つの画面があります。「基本ファクス/お好みファクス/ファクス機能一覧画面を表示する」を参照してください。

基本ファクス/お好みファクス/ファクス機能一覧画面を表示する

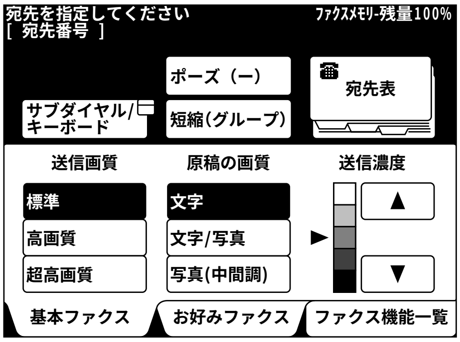
ファクス画面には、基本ファクス、お好みファクス、ファクス機能一覧の3つの画面があります。工場出荷時は、ファクス画面を表示すると基本ファクス画面が一番上に表示されるように設定されています。

参照

- ファクス画面の表示の変更は、「9-1　仕様設定について」を参照してください。
- 各画面に表示されている機能については、「第3章　基本的な送信」、「第7章　便利な機能を使った通信」を参照してください。

●基本ファクス画面

基本ファクス を選択すると、右図のような画面が表示されます。

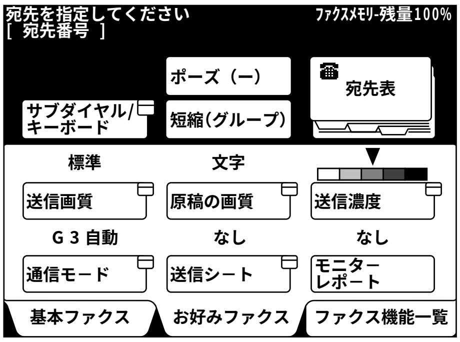


●お好みファクス画面

お好みファクス を選択すると、右図のような画面が表示されます。
お好みファクス画面は、よく使う機能を任意に6つ選んで表示させることができます。

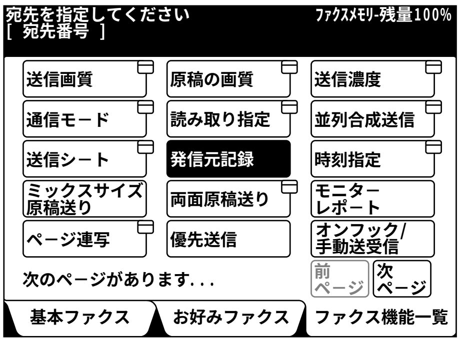
参照

- 画面の変更のしかたについては、「9-1　仕様設定について」を参照してください。

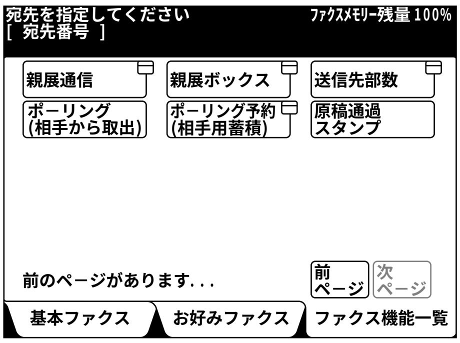


●ファクス機能一覧画面

ファクス機能一覧 を選択すると、右図のような画面が表示されます。



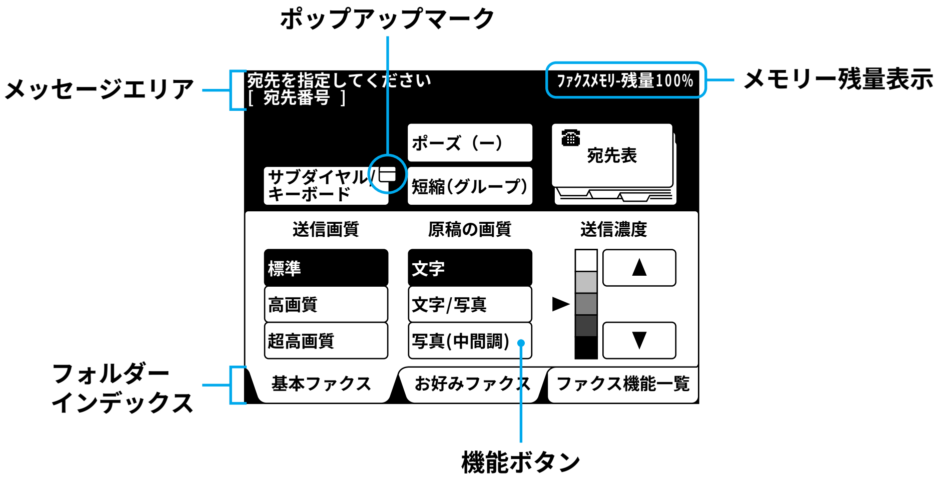
次ページ を選択すると、ファクス機能一覧画面の次の画面が表示されます。
前ページ を選択すると、前の画面に戻ります。



1-5 タッチパネルディスプレイ各部の名称とはたらき

1 お使いいただく前に

タッチパネルディスプレイに表示される名称とそのはたらきを説明します。
ここでは、ファクス画面の基本ファクス画面を例に説明しています。



名　称	機　　能
メッセージエリア	機械の状態や操作ガイドなどのメッセージが表示されます。
メモリー残量表示	ファクスで使用するメモリーの残量が%で表示されます。
機能ボタン	機能の設定や指示をするときに選択します。 黒く反転表示されているボタンが選択されています。
ポップアップマーク	ポップアップ画面があることを示します。 このマークのついている機能ボタンを選択すると、ポップアップ画面が表示されます。
フォルダーインデックス	基本ファクス、お好みファクス、ファクス機能一覧の各画面に切り替えるときに選択します。選択した画面が一番上に表示されます。

補足

● 点線で表示されているボタンを選択することはできません。

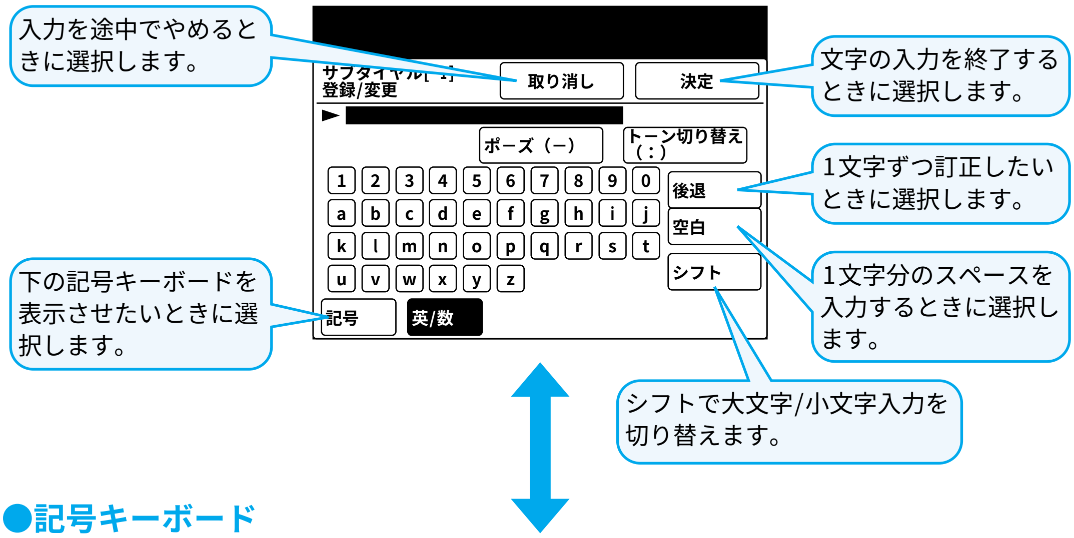
1-6 文字の入力のしかた

ここでは、文字の入力のしかたについて説明します。
本機で入力できる文字には、数字、英字、記号、カタカナ、ひらがな、漢字があります。
ただし、項目により入力できる文字には制限があります。
英数字/記号の入力方法とひらがな/カタカナ/漢字の入力方法の2つに分けて説明します。
文字の入力には、タッチパネルディスプレイに表示されるキーボードを使います。

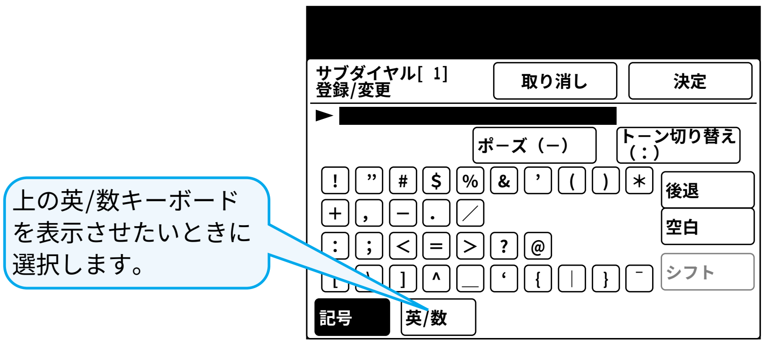
英数字/記号を入力する

ファクス番号などを入力するときの英数字/記号などの文字の入力方法について説明します。
英数字、記号を入力するときには、以下のようなキーボードを使います。

●英/数キーボード



●記号キーボード



補足

● テンキーからも入力することができます。

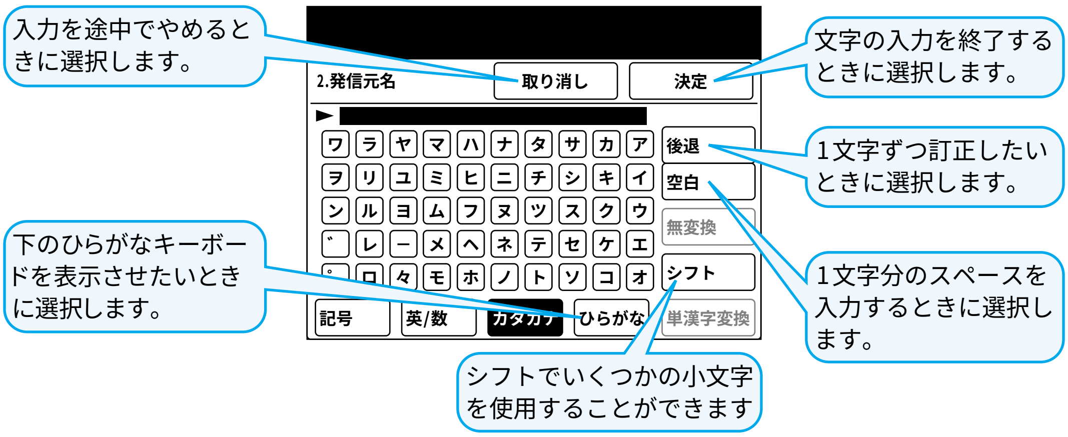
ひらがな/カタカナ/漢字を入力する

補足

● 短縮番号の宛先名、索引文字(ひらがなのみ)、発信元名、自局名(カタカナのみ)、コメント登録時にカタカナキーボード画面およびひらがなキーボード画面が表示されます。

ひらがな/カタカナ/漢字が入力できる項目では、以下のようなキーボードが表示されます。
キーは、50音順に並べられています。
漢字は、ひらがなから漢字変換して入力します。次項に入力する手順を説明します。

●カタカナキーボード

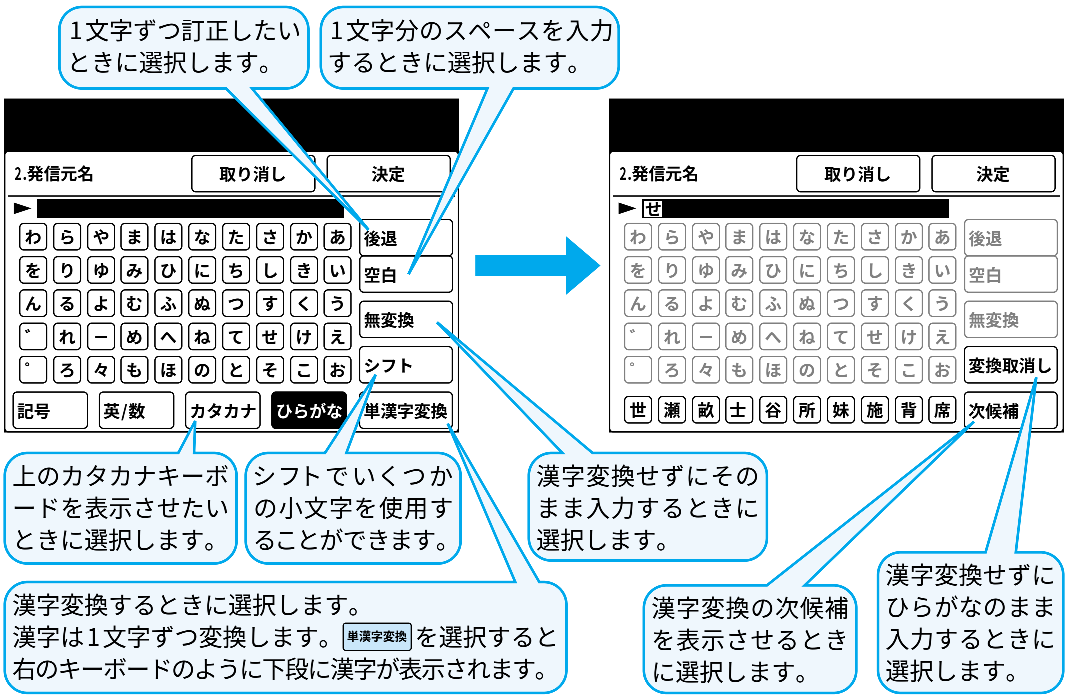


参照

● 入力できる漢字については、「表示できる漢字一覧」を参照してください。

●ひらがなキーボード

● 単漢字変換 を選択したとき



漢字を入力する

参照

- 入力できる漢字については、「表示できる漢字一覧」を参照してください。

漢字を入力する手順について説明します。

操作手順

1 **ひらがな を選択します。**

ひらがなのキーボードが表示されます。

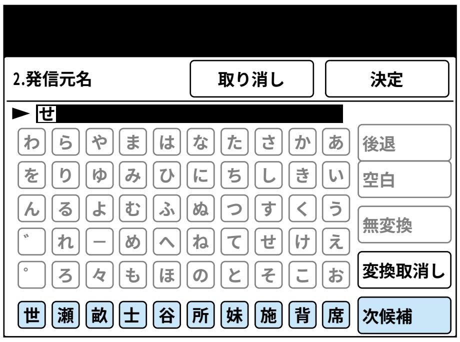


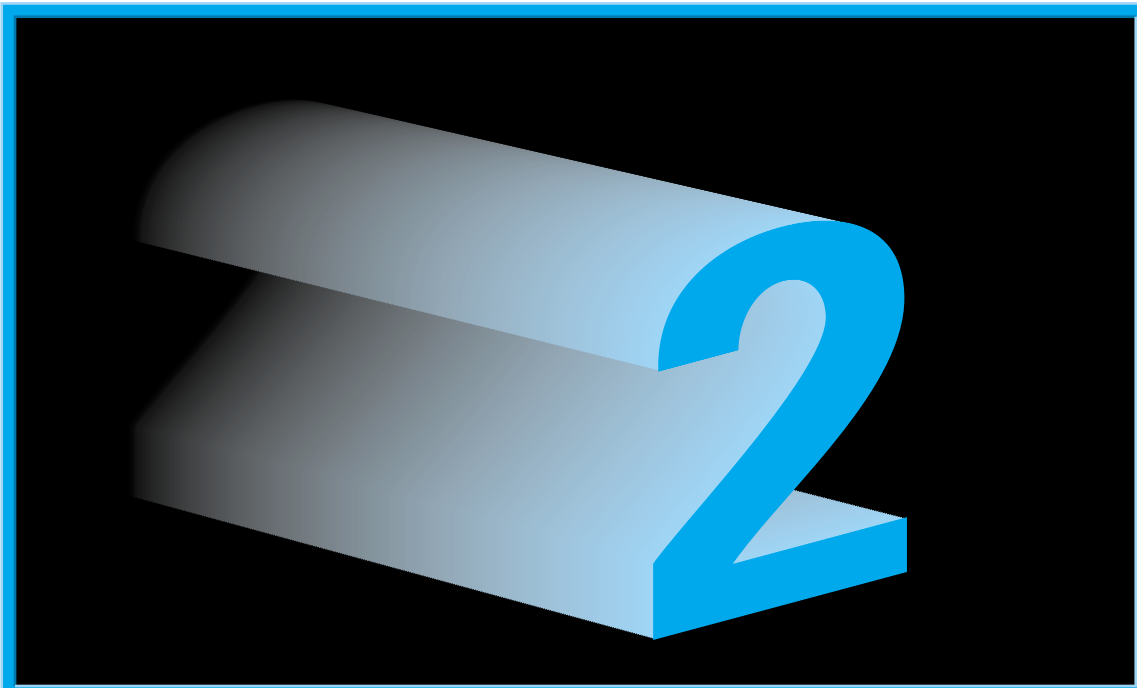
2 **ひらがなのキーボードで、変換したい漢字の1文字分の読みを入力し、単漢字変換 を選択します。**



3 **変換したい漢字を選択します。**

- 変換したい文字がない場合には、次候補 を選択します。
- 何も漢字が表示されない場合には、他の読みを入力し、手順1から行ってください。





原稿のセット

2-1 原稿について

原稿は、自動両面原稿送り装置または原稿ガラスにセットします。

次のような原稿は、原稿ガラスにセットしてください。自動両面原稿送り装置にセットすると、原稿づまりや原稿破損の原因になります。

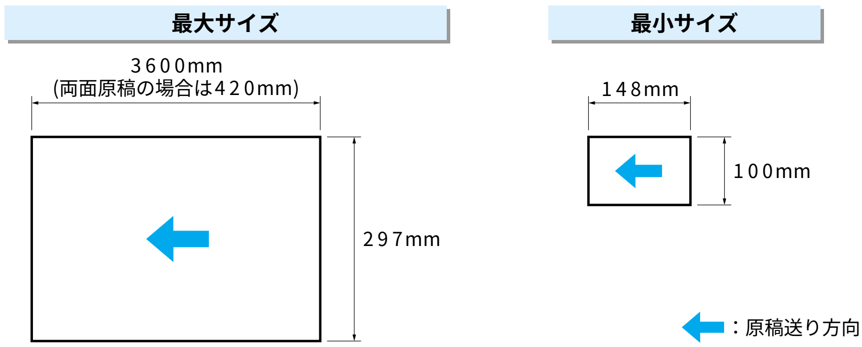
●厚みのある原稿(パンフレット、小冊子)
●破れ、しわ、のり貼り、穴あき、折れ、カールが激しい原稿
●クリップ、ホチキスがついている原稿
●裏カーボンのついた原稿
●透過度の高い原稿(OHPフィルム、トレーシングペーパーなど)
●鉛筆の粉が落ちやすい用紙(トレーシングペーパーなど)に鉛筆書きをした原稿
●感熱紙

自動両面原稿送り装置または原稿ガラスにセットできる原稿については、次に説明します。

自動両面原稿送り装置に原稿をセットするとき

●原稿搬送中は原稿を押さえないでください。原稿づまりの原因になります。
●排出された原稿を原稿排出口にためたり(A3: 35枚、B4: 50枚、A4以下: 50枚まで)、原稿排出口に物を置かないでください。原稿づまりの原因になります。
●OHPフィルム、トレーシングペーパーの原稿サイズを自動検知することはできません。
●自動両面原稿送り装置にセットできる原稿は以下のとおりです。

・サイズ



・メートル坪量　片面原稿：35〜110g/m²、両面原稿：50〜110g/m²
・枚数　A3：35枚、B4：50枚、A4以下：50枚　(64g/m²)

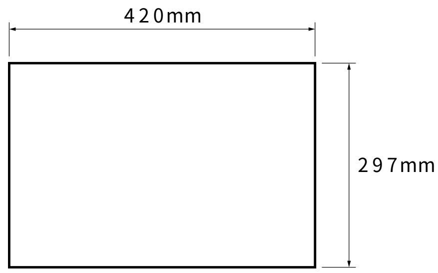
●自動両面原稿送り装置を使用する場合に機械が自動的に原稿サイズを検知できるのは A5、B5、B5、A4、A4、B4、A3の定形サイズの原稿です。
A/B系列以外の原稿を自動両面原稿送り装置にセットすると、読み取らない部分が発生することがありますので、定形サイズの原稿をセットしてください。

補足
● 600mm以上の原稿を送信するときは、仕様設定の長尺原稿を3600mmに設定してください。設定方法については、「9-1 仕様設定について」を参照してください。

補足
● メートル坪量とは、1m²の用紙1枚の質量をいいます。

原稿ガラスに原稿をセットするとき

●原稿ガラスにセットできる原稿の最大サイズは以下のとおりです。



補足

● セットできる原稿の最小サイズの制限はありません。

●機械が自動的に原稿サイズを検知できるのはA5▯、A5、B5▯、B5、A4▯、A4、B4、A3の定形サイズの原稿です。
透過度の高い原稿はサイズを自動検知できない場合がありますので、サイズの指定をしてください。

⚠注意

●原稿カバーを開けたまま原稿を読み取るとき、ランプ光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となるおそれがあります。
●厚手の原稿を読み取るとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガをすることがあります。

2-2 原稿をセットする

原稿セットについて説明します。原稿セットの方法には、以下の2つがあります。

●原稿を自動両面原稿送り装置にセットする

●原稿を原稿ガラスにセットする

2 原稿のセット

原稿を自動両面原稿送り装置にセットする

自動両面原稿送り装置は、複数枚の原稿を読み取り部に1枚ずつ送り込み、排出する装置です。一度にまとめてセットできるので、原稿を手で入れ替える手間が省けます。

注記

● 原稿によっては、自動両面原稿送り装置を使用できないものもあります。詳しくは、「2-1　原稿について」を参照してください。

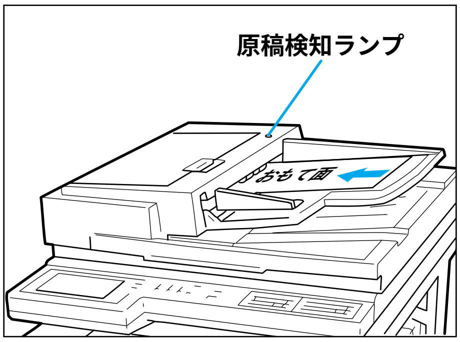
● 一番上にセットしている原稿のサイズ幅で、次の原稿も読み取られるため、異なるサイズの原稿を一度にセットする場合は、［ミックスサイズ原稿送り］を必ず選択してください。詳細は「7-9　異なるサイズの原稿を一度に送信する(ミックスサイズ原稿送り)」を参照してください。

操作手順

1 送信する面(両面の場合は先に読み取る面)を上に向け、奥側のガイドに沿って原稿をセットします。

原稿検知ランプが点灯します。

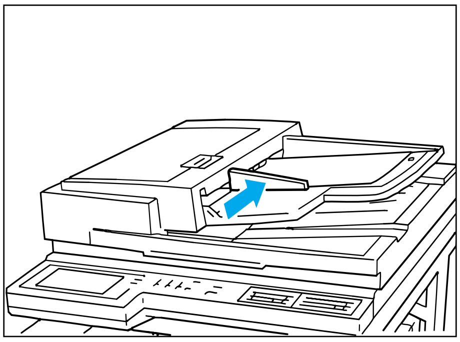
● 原稿の先端をきれいにそろえてセットしてください。



補足

● 一度にセットできる原稿枚数は、A3：35枚、B4：50枚、A4以下：50枚(64g/m²の場合)です。それ以上セットすると原稿づまりの原因となります。

2 原稿ガイド(可動)を原稿の端に軽く当てます。



補足

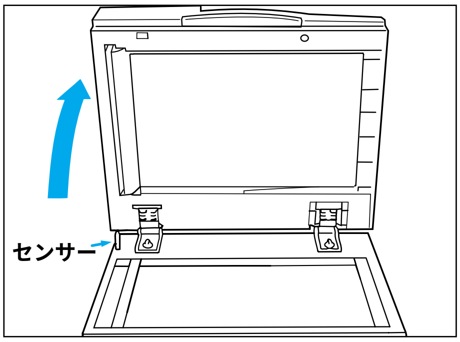
● 原稿ガイド(可動)が原稿サイズに合っていないと、原稿が正常に引き込まれないことがあります。

原稿を原稿ガラスにセットする

原稿カバーを開けて原稿を直接原稿ガラスに1枚セットし、原稿カバーを閉じます。

操作手順

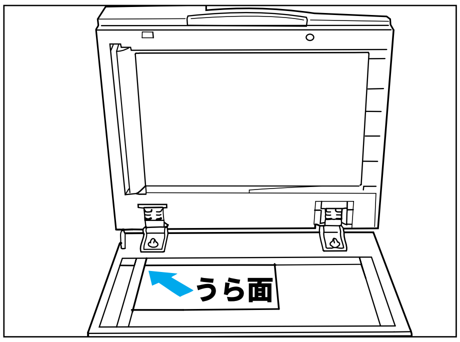
1 原稿カバーを開けます。



注記

● 原稿カバーは棒状のセンサーが離れる位置まで開けてください。センサーが一度離れないと、原稿サイズを正しく検知できないことがあります。

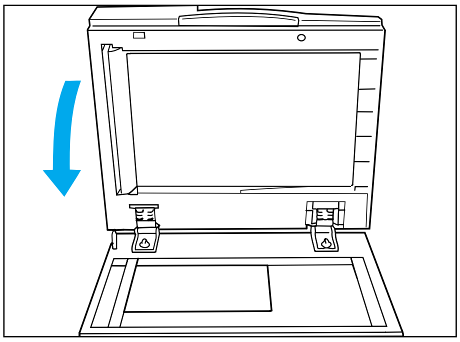
2 送信する面を下に向け、原稿ガラス左奥の角に合わせて原稿をセットします。



補足

● トレーシングペーパーなど透過度の高い原稿では、原稿カバー裏面の汚れが読み取られることがあります。この場合は、原稿の上に同じ大きさの白紙をのせてください。

3 原稿カバーを閉じます。



⚠注意　**厚手の原稿を読み取るとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガをすることがあります。**

次の原稿があるとき

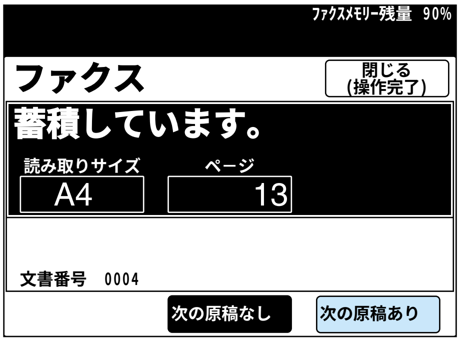
次の原稿があるときは、原稿を読み取り中にタッチパネルディスプレイに表示される 次の原稿あり を選択し、機械に次の原稿があることを認識させます。

操作手順

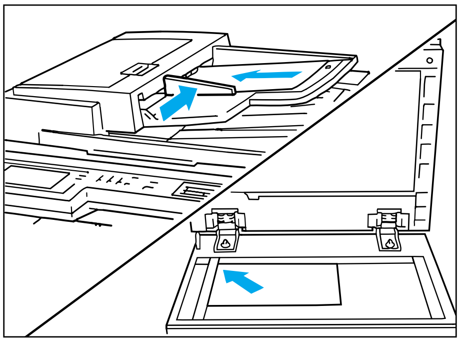
補足

● 自動両面原稿送り装置を使っているときは、機械は最初にセットした原稿をすべて読み取ってから、次の原稿のセットを待ちます。

1 **原稿を読み取り中に、 次の原稿あり を選択します。**

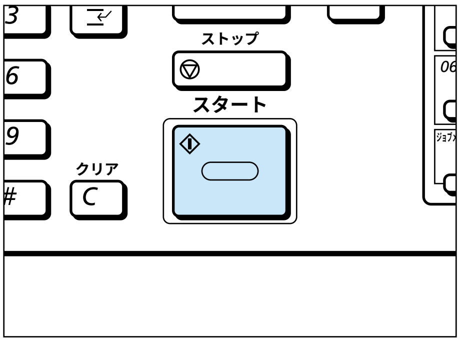


2 **次の原稿をセットします。**

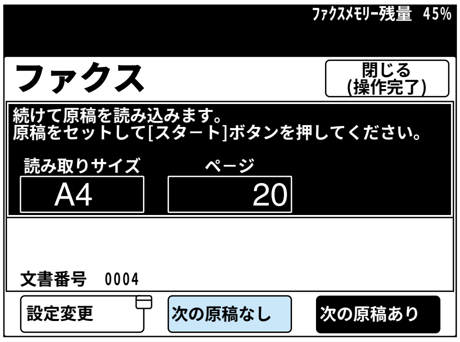


3 **スタート を押します。**

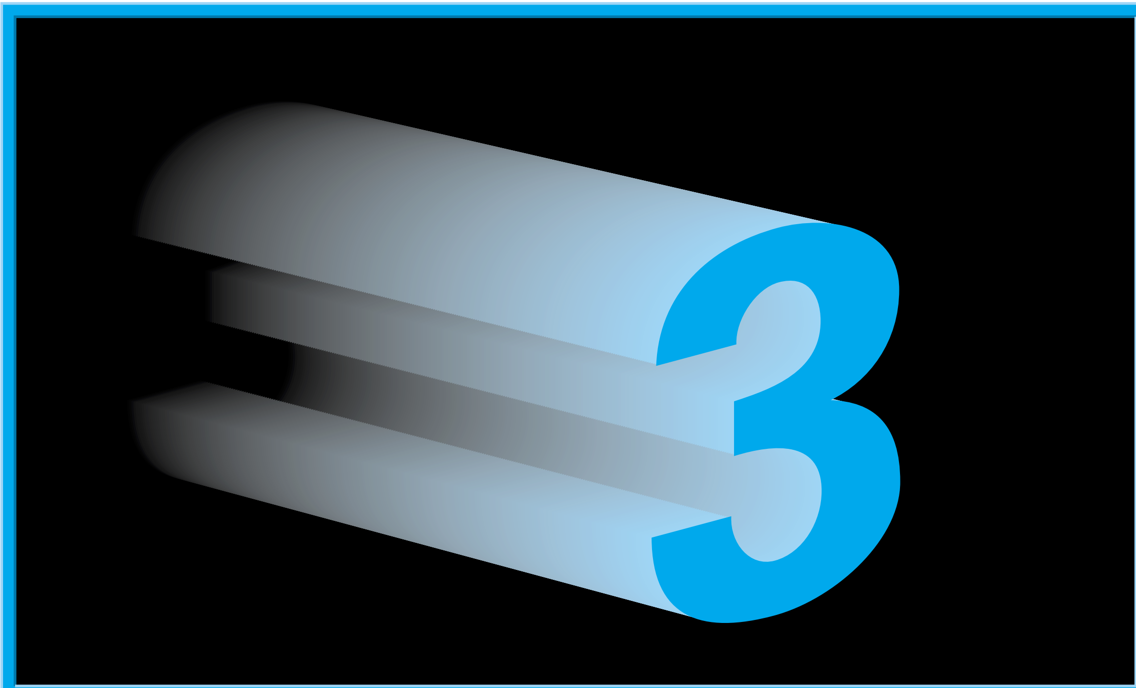
さらに次の原稿があるときには、原稿のセットと スタート を押す操作を繰り返します。



4 すべての原稿を読み取ったら、次の原稿なし を選択します。



2 原稿のセット



基本的な送信

3-1 送信の操作の流れ（送信画質/原稿の画質/送信濃度）

本機は、読み取った原稿をメモリーに蓄積して送信します（手動送信を除く）。
ここでは、基本的な送信の操作の流れを説明します。
また基本的な機能の設定も説明します。

- メモリー（標準：2MB）に蓄積できる原稿の枚数は、A4判700字程度で101枚（標準画質で読み取った場合）です。画質、原稿の種類によって蓄積できる枚数は異なります。メモリーは送信/受信兼用です。
なお、オプションの増設メモリ(4MB)を2枚装着することにより、メモリーは最大10MBになります。この場合、蓄積できる原稿の枚数は590枚です。
- 本機は原稿読み取り終了時や通信の終了時に音が鳴るように設定されています。設定を変更する場合は、「9-1　仕様設定について」を参照してください。
- 原稿が読み取られタッチパネルディスプレイに「予約されました」と表示される前に、瞬時停電などがあった場合は、設定内容は取り消されます。もう一度最初から設定し直してください。
- ハンドセット(受話器)またはオンフックを使って相手先を確認して送信する手動送信については「3-6　手動送信のしかた」を参照してください。

●送信画質

原稿を読み取るときの解像度(送信画質)を選択します。

●標準
普通の原稿を送信するときに選択します。
(G3:8画素/mm×3.85本/mm、G4 (オプション):200dpi×100dpi)

●高画質
小さな文字や細かい図がある原稿を送信するときに選択します。
(G3:8画素/mm×7.7本/mm、G4 (オプション):200dpi×200dpi)

●超高画質
精密な図などがある特に細かい原稿を送信するときに選択します。
(G3:16画素/mm×15.4本/mm、G4 (オプション):400dpi×400dpi)

> **補足**
> - 工場出荷時の送信画質は [標準] に設定されています。
> - 選択した解像度で原稿を読み取っても、相手機に受信能力がない場合、解像度を自動的に相手機の能力に合わせて送信します。
> - 解像度が高いほど電送時間がかかりますので、必要に応じた画質を選択してください。

●原稿の画質

写真または写真が混在する原稿を送信するとき、原稿の画質を選択すると原稿に応じた画質で送信することができます。
文字の原稿、写真が入っている原稿など、原稿の内容により、原稿の画質を選択します。

●文字
文字の原稿を送信するときに選択します。

●文字/写真
文字や写真が混在した原稿を送信するときに選択します。

●写真(中間調)
写真の原稿を送信するときに選択します。

> **補足**
> - 工場出荷時の原稿の画質は、[文字] に設定されています。
> - 写真の入った原稿を使用する場合は、できるだけ等倍で読み取ることをおすすめします。読み取り指定機能などで、縮小して読み取った場合などは、写真画像部分に縞模様などがでる場合があります。

●送信濃度

送信濃度を選択します。
送信濃度は薄く～濃くまで5段階あります。

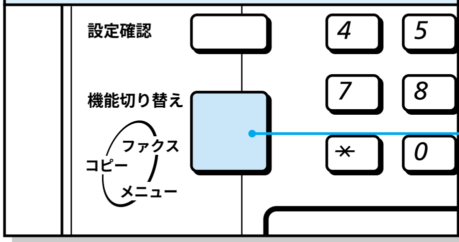
> **補足**
> - 工場出荷時の送信濃度は [ふつう] に設定されています。

●送信操作の流れ

原稿をセットする

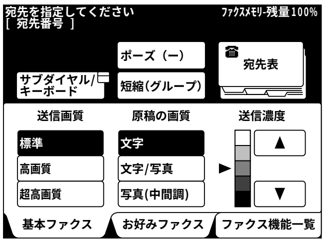
参照 ●「第2章　原稿のセット」

ファクス画面を表示させる

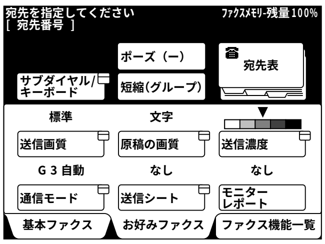


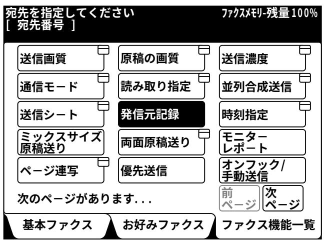
機能切り替え を押す

送信画質/原稿の種類/送信濃度を設定する



各種機能を設定する（必要に応じて設定します）





参照 ●通信モードの選択については、「第3章　基本的な送信」参照。
●その他の機能については、「第7章　便利な機能を使った通信」参照。

相手先を指定する

参照 ●「3-3　相手先を指定する」

スタート を押す

原稿が読み取られ送信が開始されます

参照
● ハンドセット(受話器)またはオンフックを使って相手先を確認して送信する手動送信については「3-6　手動送信のしかた」を参照してください。
● 本機は、原稿読み取りや通信の終了時に音が鳴るように設定されています。設定を変更する場合は、「9-1　仕様設定について」を参照してください。

注記
● 原稿が読みとられ「予約されました」と表示されるまえに、瞬時停電などがあった場合、その設定は、クリアされます。もう一度最初から設定しなおしてください。

3-2 通信モードを選択する(通信モード)

通信モードを選択します。
G3およびG4はITU-Tで定められたファクス通信の規格です。

●G3自動

G3で通信するときに選択します。通常はこの通信モードを選択します。
相手機の受信能力に応じてG3ECMモードからG3モードに自動的に切り替わります。

●国際通信

国際通信のように、雑音が多い、声が小さいなど、電話回線の状態が良くない地域の場合に選択します。
日本国内において電話回線の状態がよくない地域に送る場合にも選択します。

●G4自動

G4で通信するときに選択します(相手側にG4通信の能力がない場合は、自動的にG3に切り替えて送信します)。G4は、A4サイズ1枚を約1秒*で送信できます。

● G4自動はオプションのG4通信ユニットが必要です。
* A4判700字程度の原稿を使用した場合

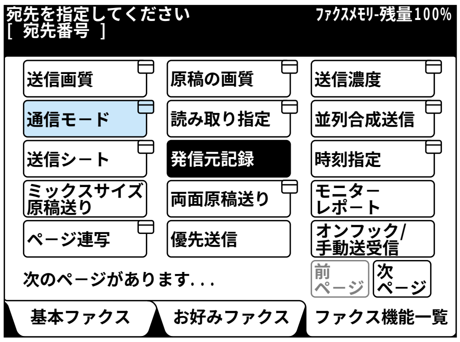
補 足

● 工場出荷時の [通信モード] は [G3自動] に設定されています。

操作手順

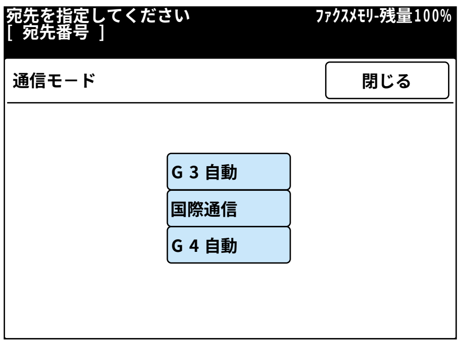
1 **ファクス機能一覧画面を表示します。**

2 **[通信モード] を選択します。**



3 **通信モードを選択します。**

オプションのG4通信ユニットを装着していない場合は、[G4自動] は表示されません。



3-3 相手先を指定する

参照

● 一度に指定できる相手先の最大数は「7-1　複数の相手先に送信する（同報送信）」を参照してください。

相手先の指定方法には、以下の5つの方法があります。

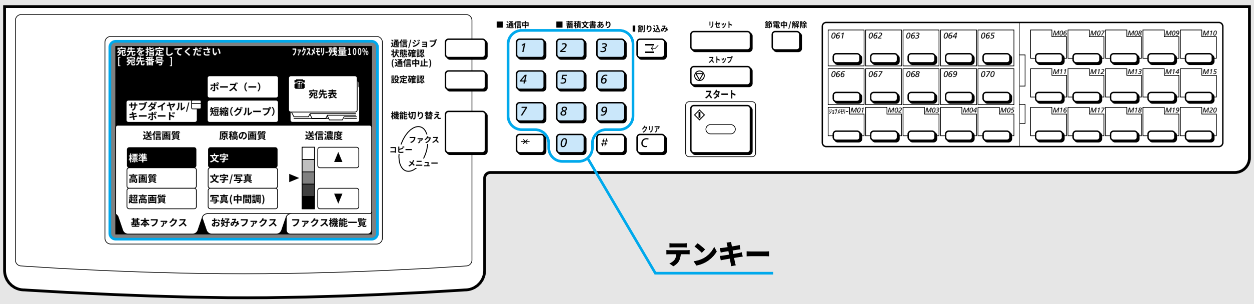
●テンキーで指定する
●短縮番号で指定する
●ワンタッチボタンで指定する
●宛先表を用いて指定する
●サブダイヤルを用いて指定する

以上の方法を使って複数の相手先を指定することもできます。
それぞれを組み合わせて指定することもできます。

テンキーで指定する

テンキーで相手先のファクス番号を入力します。

ここで使うボタン



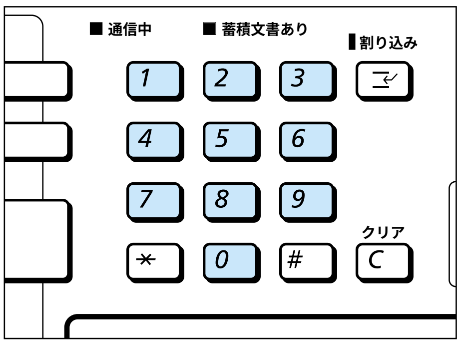
操作手順

補足

● 入力した数字を1文字ずつ訂正するには、［C クリア］を押します。

1　相手先のファクス番号をテンキーで入力します。

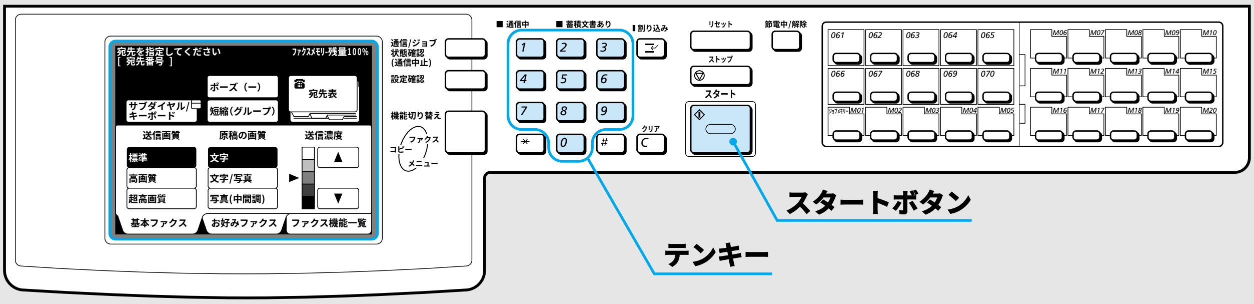
画面に入力されたファクス番号が表示されます。



テンキーで複数の相手先を指定する

テンキーで指定します。
複数の相手先を指定する場合も、ファクス番号の入力方法は、1か所に送信するときの操作と同様です。
50か所まで相手先を指定することができます。

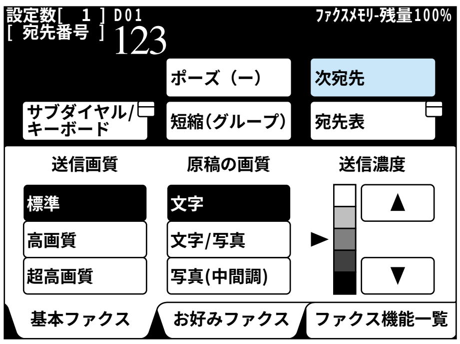
ここで使うボタン



操作手順

1 相手先のファクス番号をテンキーで指定し、次宛先 を押します。

この操作を繰り返し、相手先のファクス番号を入力します。



補足

- ファクス機能一覧画面には、次宛先 が表示されません。基本ファクス画面またはお好みファクス画面で指定してください。

特殊記号を入力するとき

宛先指定時に、タッチパネルディスプレイから特殊記号を入力することにより、次のような機能を利用することができます。

機　能	ボタン	働　き	入力方法
ポーズを入れる	― または [ポーズ (−)]	「0」発信など、内線から外線の切り替えに時間を要する場合などに設定します(1ポーズ=3秒)。 繰り返し使用して、6秒、9秒…のポーズを設定することもできます。	基本ファクス画面の [ポーズ (−)] を選択します。「0」などの外線発信番号の後に入力します。 (例)　0-123… 　　　0--123…
外線のダイヤルトーンを検出する	[=] (ダイヤルトーン検出記号)	内線から外線への切り替え時に外線のダイヤルトーン(発信音)を検出します。 3秒以上のポーズが必要な場合に、ポーズ記号よりも確実に待機させることができます。	1. 基本ファクス画面の [サブダイヤル/キーボード] を選択します。 2. [サブダイヤル/キーボード] を選択し、キーボードを表示します。 3. [=] を選択します。 (例)　0=123…
第二ダイヤルトーンを検出する	[=] [=] (第2ダイヤルトーン検出記号)	「プップップッ…」という音の第2ダイヤルトーンを検出します。	1. 基本ファクス画面の [サブダイヤル/キーボード] を選択します。 2. [サブダイヤル/キーボード] を選択し、キーボードを表示します。 3. [=] を2回選択します。 (例)　001==123…
サブアドレスを指定する	[_]	ISDN/G4通信をするときに、サブアドレスを指定するときに設定します。	1. 基本ファクス画面の [サブダイヤル/キーボード] を選択します。 2. [サブダイヤル/キーボード] を選択し、キーボードを表示します。 3. [_] を選択します。 (例)　031234567_123
ダイヤル回線からPB信号を送出する	[:]	ダイヤル回線からFAX情報サービスを利用するときなど、PB信号を送出したいときに使います。	1. 基本ファクス画面の [サブダイヤル/キーボード] を選択します。 2. [サブダイヤル/キーボード] を選択し、キーボードを表示します。 3. [:] を選択します。 (例)　0312340001:#12… または 1. オンフックまたはオフフック画面で [トーン (:)] を押します。

短縮番号で指定する

参照

● 短縮番号の登録方法については、「8-2　短縮ダイヤルに登録する」を参照してください。

短縮番号で指定します。
短縮番号は、事前に登録しておきます。

短縮番号を使う場合、ワイルドカード(＊ または ＊)を使って複数の相手先を指定することもできます。

●短縮番号の上2ケタで指定する

たとえば、10＊と指定すると、100から109まで10宛先が指定されます。

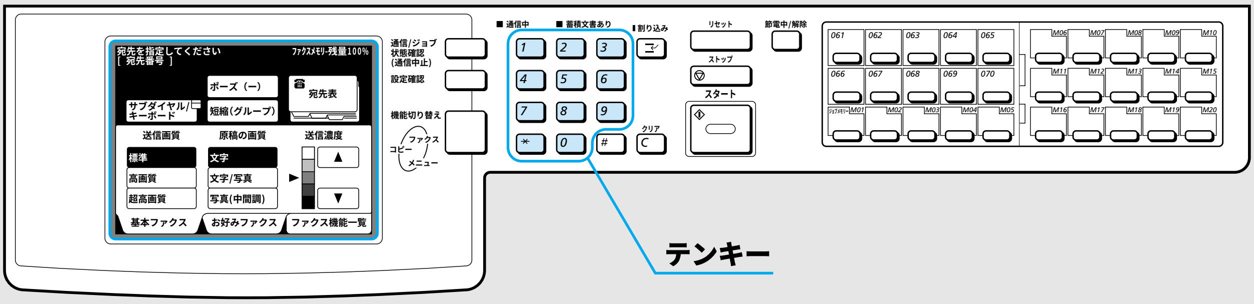
●全短縮番号を指定する

＊＊＊と指定すると、すべての短縮番号が指定できます。

● 1＊＊、＊1＊、＊＊1 などは、指定することはできません。

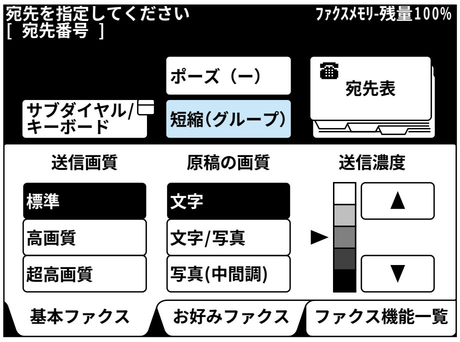
3 基本的な送信

ここで使うボタン



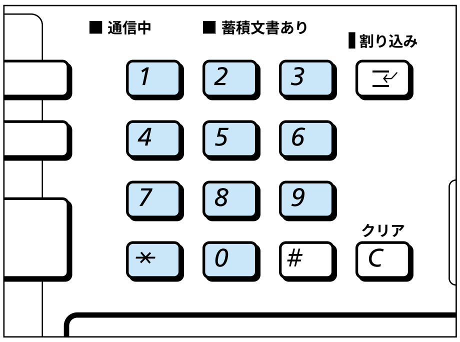
操作手順

1 短縮(グループ) を選択します。



2 3けたの短縮番号を入力します。

● 複数の相手先を指定するときは、手順1～2の操作を繰り返します。



3 基本的な送信

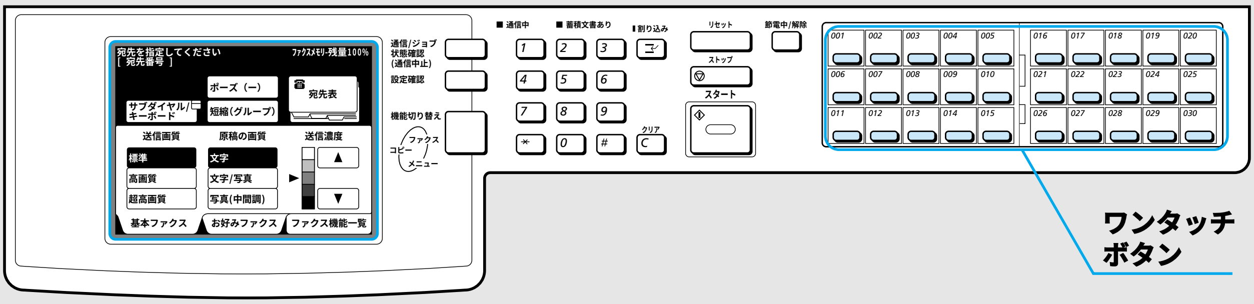
ワンタッチボタンで指定する

参照

● 短縮番号の登録方法については、「8-2　短縮ダイヤルに登録する」を参照してください。

ワンタッチボタンで指定します。
ワンタッチボタンは、短縮番号001～070に登録されている番号と対応しています。たとえば、短縮番号001に登録されている場合には、 を押します。

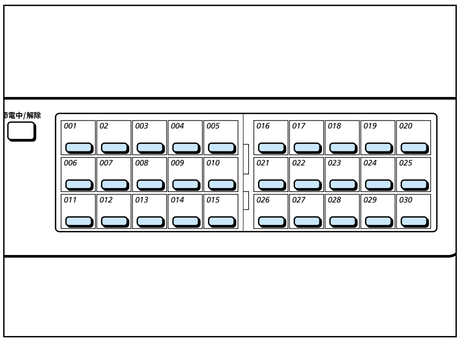
ここで使うボタン



操作手順

1 ワンタッチボタンを押します。

● ワンタッチボタンは、短縮番号001～070までに対応しています。
● 複数の相手先を指定するときは、連続してワンタッチボタンを押します。
● 短縮番号031以降を使用する場合は、パネルをめくって使用します。



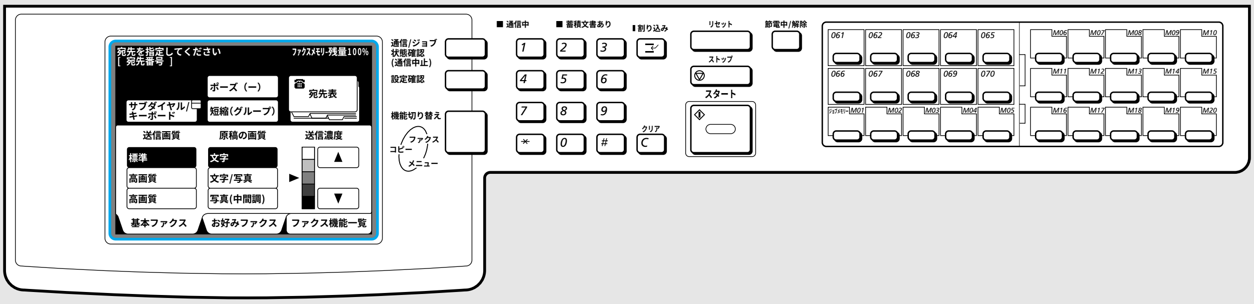
宛先表を用いて指定する

参照

● 宛先表にファクス番号を登録するには、短縮番号に登録します。「8-2 短縮ダイヤルに登録する」を参照してください。

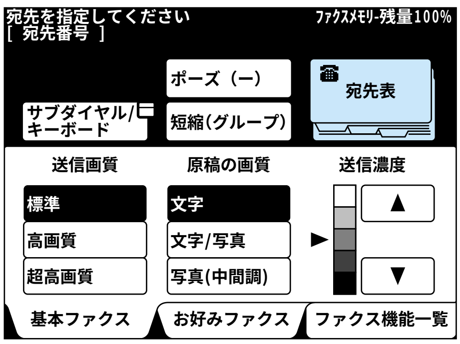
宛先表を用いて、相手先のファクス番号を検索して指定します。

ここで使うボタン



操作手順

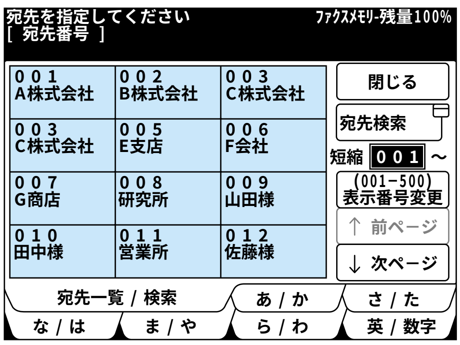
1 **基本ファクス画面またはお好みファクス画面で 宛先表 を選択します。**



2 **検索するインデックスを選択し、指定するファクス番号の欄を選択します。**

● 複数の相手先を指定するときは、連続して指定します。

次の宛先表の使いかたを参考に選択してください。
選択した番号が表示されます。

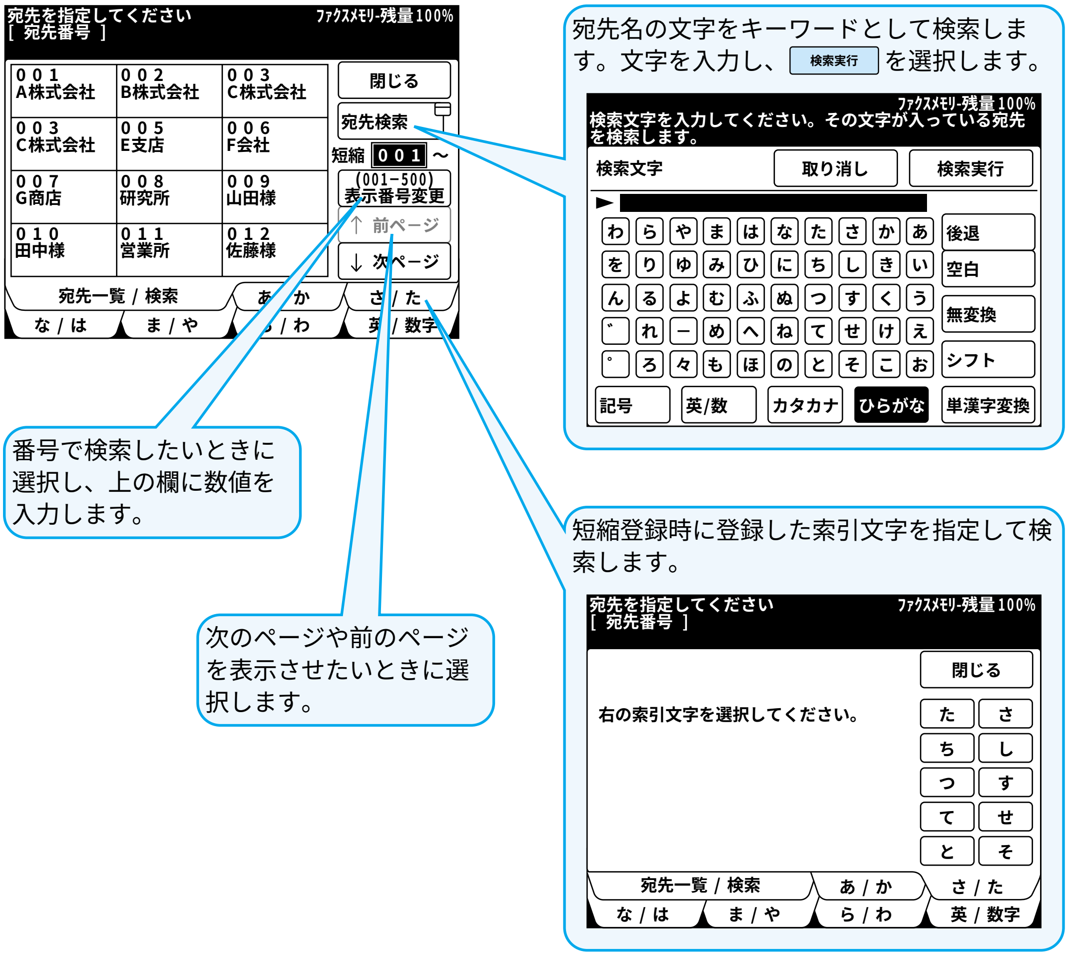


宛先表の使い方

参照

● 登録については、「8-2 短縮ダイヤルに登録する」の「索引文字を登録する」を参照してください。宛先表開始番号の変更は、「9-1 仕様設定について」を参照してください。

宛先表を選択すると、左下の画面が表示されます。
短縮番号、宛先名、検索用の文字で相手先のファクス番号を検索することができます。
表示される短縮番号の開始番号は、［仕様設定］で設定することができます。



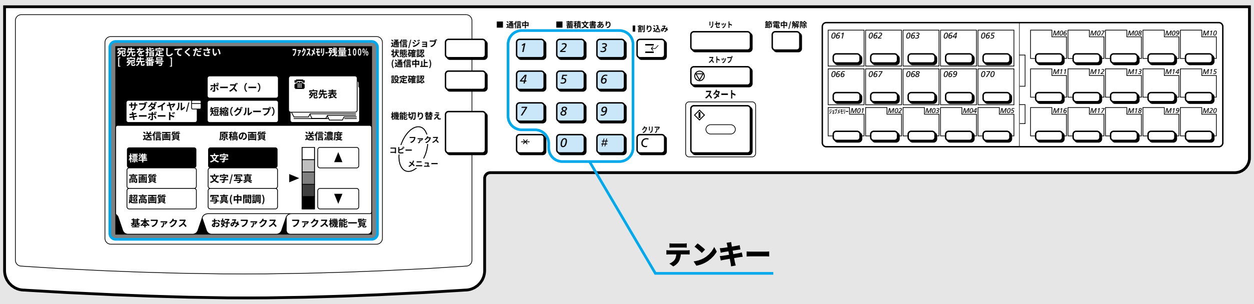
グループ番号で指定する

参照

● グループの登録方法については、「8-3 グループを登録する」を参照してください。

グループ番号で指定します。
グループ番号は、事前に登録しておきます。1つのグループ番号に20宛先までの短縮番号を登録することができます。

ここで使うボタン



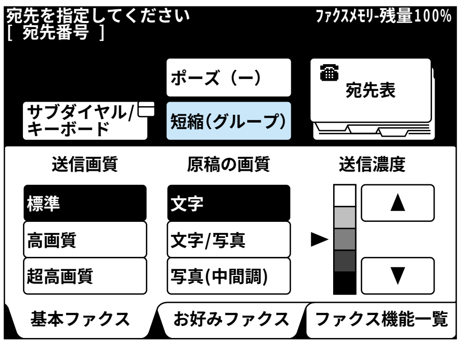
操作手順

補足

● #01～#10まで指定できます。

1 [短縮(グループ)] を選択し、テンキーの [#] と2けたのグループ番号を入力します。

複数のグループを指定する場合はこの操作を繰り返します。



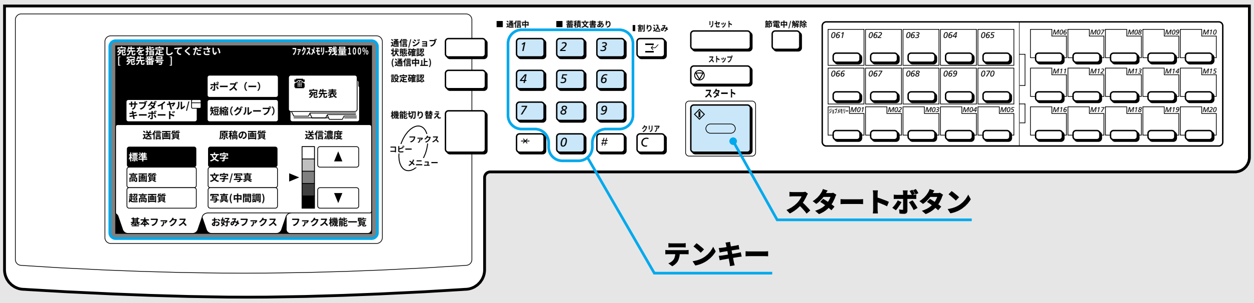
サブダイヤルを用いて指定する

参照

● サブダイヤルを登録する方法については、「8-1　サブダイヤルを登録する」を参照してください。

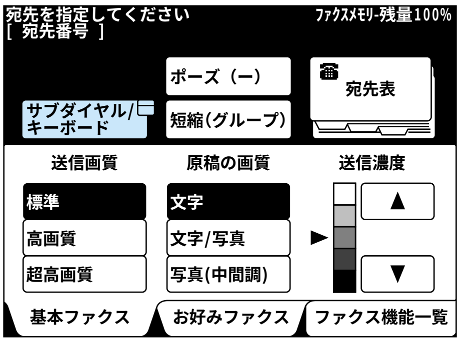
サブダイヤルを用いて指定します。
サブダイヤルは、よく使う番号を登録しておき、番号を入力するときに、補助的に使います。
例えば、サブダイヤル〔1〕に「001」を登録しておいて [1]→001 -1234567と指定すると、0011234567とダイヤルします。

ここで使うボタン



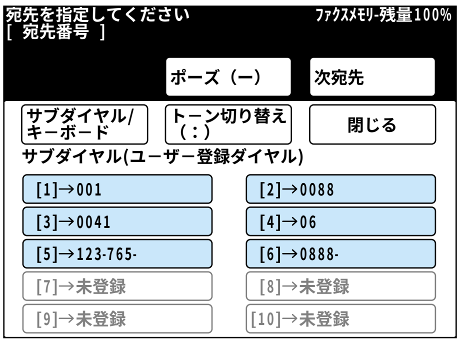
操作手順

1 サブダイヤル/キーボード を選択します。



2 サブダイヤルを使い、番号を指定します。

● サブダイヤルは複数組み合わせて使用することができます。



補足

● サブダイヤルは補助的に使います。残りの番号をテンキーなどで、入力してください。
● 未登録のサブダイヤルは使用できません。登録方法や、変更方法は、「8-1　サブダイヤルを登録する」を参照してください。

3-4 原稿の途中から異なった原稿を読み取る

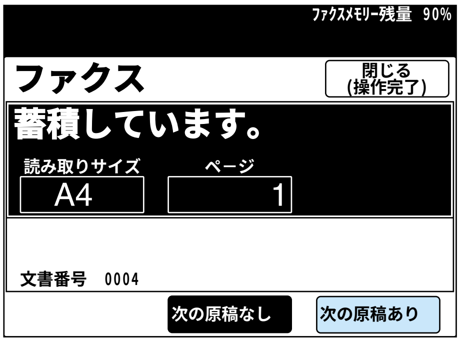
[スタート] を押すと、原稿の読み取りを開始します。
ここでは、[スタート] を押した後に設定を変更する方法について説明します。

補足

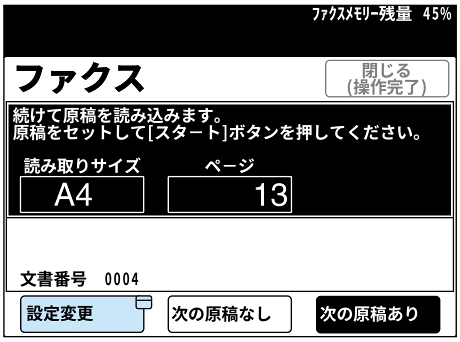
- 濃度、画質、読み取り指定の設定の変更は、原稿のセットのしかたにより以下のように異なります。
  - ・原稿を原稿ガラスにセット …… ページごとに設定の変更を行うことができます。
  - ・原稿を自動両面原稿送り装置にセット …… セットした原稿の読み取り終了後に設定の変更を行うことができます。
- 手動送信時は、設定を変更することはできません。

操作手順

1 [スタート] を押し、[次の原稿あり] を選択します。

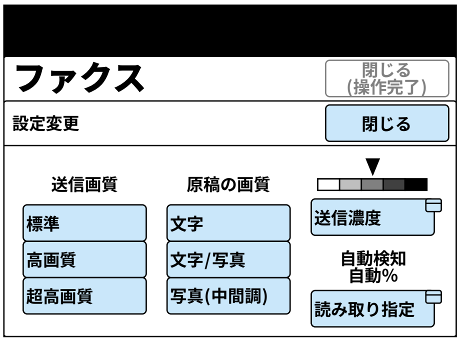


2 最初の原稿の読み取りが終わったら、設定の変更をする次の原稿をセットして [設定変更] を選択します。



3 設定を変更します。

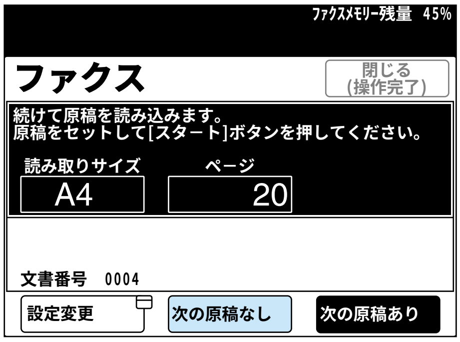
変更できる項目は、[送信画質]、[原稿の画質]、[送信濃度]、[読み取り指定] です。



4 [閉じる] を選択します。

[スタート] を押し、読み取りを開始します。

5 **すべての原稿を読み取ったら、**
次の原稿なし を選択します。

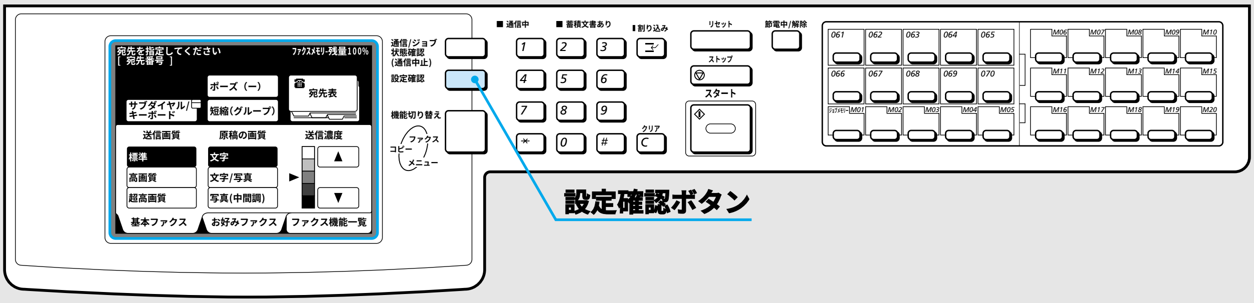


3
基本的な送信

3-5 設定を確認する

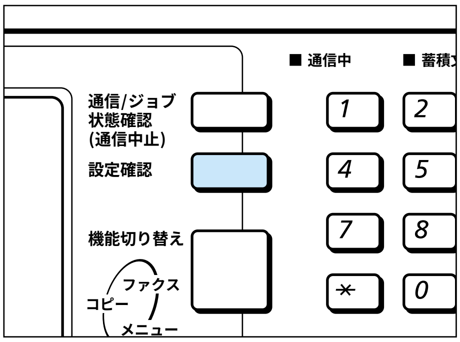
選択した機能を確認する場合には、設定確認画面を表示させて確認します。

ここで使うボタン



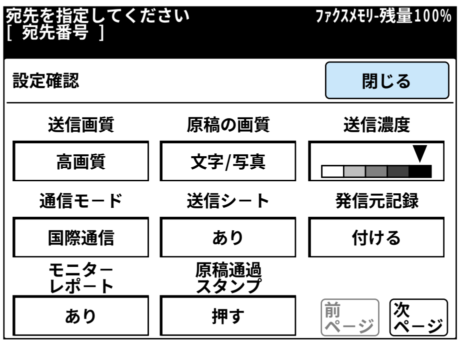
操作手順

1 ファクス画面を表示した状態で 設定確認 を押します。



2 閉じる を選択するか、設定確認 を押し、ファクス画面に戻ります。

● 機能を1ページに表示しきれない場合は、画面右下の 前ページ や 次ページ を選択して確認します。

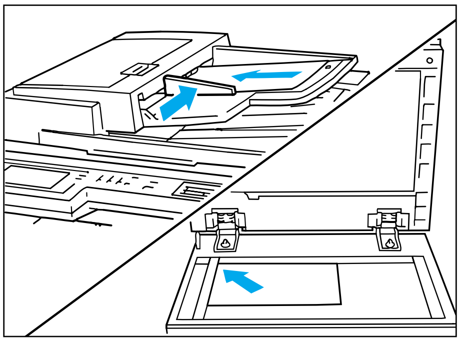


3-6 手動送信のしかた

ここでは、手動送信のしかたについて説明します。
手動送信とは、ハンドセット(受話器)をあげるかまたはオンフックの状態で、相手先の応答を確認して送信する方法です。

操作手順

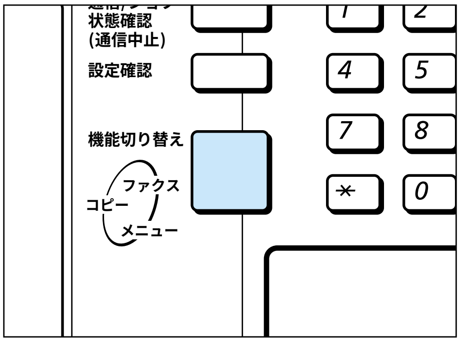
1 原稿をセットします。



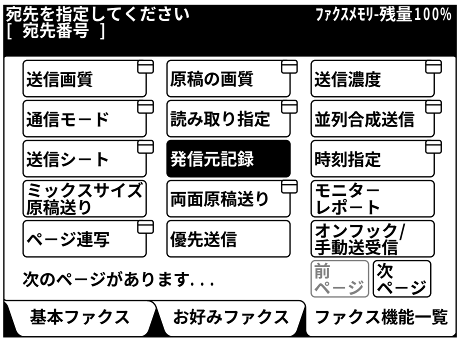
参照

●「2-2　原稿をセットする」を参照してください。

2 機能切り替え を押して、ファクス画面を表示させます。



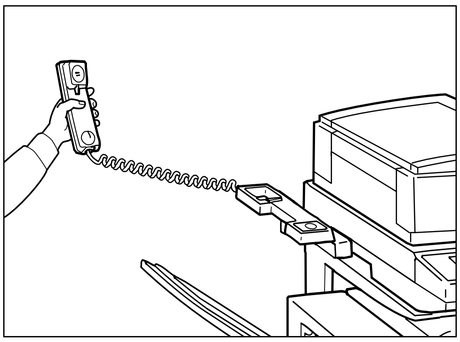
3 必要に応じて、各種機能を設定します。



補足

● 手動送信では、メモリー送信は機能しません。したがって、メモリーを使用する機能(同報、リダイヤル、再送など)は使用できません。

4 受話器をあげるか、 ファクス機能一覧 の オンフック/手動送受信 を選択します。



補足

● オンフック/手動送受信 を使用する場合は、ラインモニター音量を［3］にすることをお勧めします。音量調節については「9-1　仕様設定について」を参照してください。

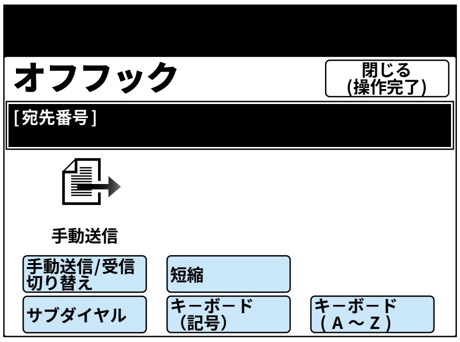
補足

● 短縮ダイヤル、ワンタッチボタンでも指定できます。宛先表は使用できません。

参照

● 相手先の指定方法は「3-3　相手先を指定する」を参照してください。

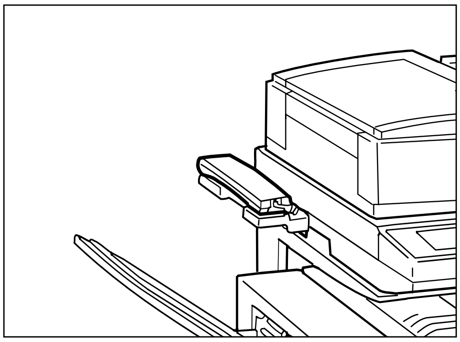
5 [手動送信/受信切り替え] を押して、[手動送信] に切り替え、相手先のファクス番号を指定します。



6 相手機の「ピー」という音を確認し、[スタート] を押します。

原稿が読み取られ、送信が開始されます。

通信中ランプの点灯を確認し、受話器(ハンドセット)を上げている場合は置きます。



3-7 送信できなかったとき

●リダイヤルについて

相手が話中などで送信できないときは、自動的に再ダイヤルされます。この機能をリダイヤルといい、送信できるまで最大9回までリダイヤルされます。工場出荷時は5回までに設定されています。

●自動ページ再送について

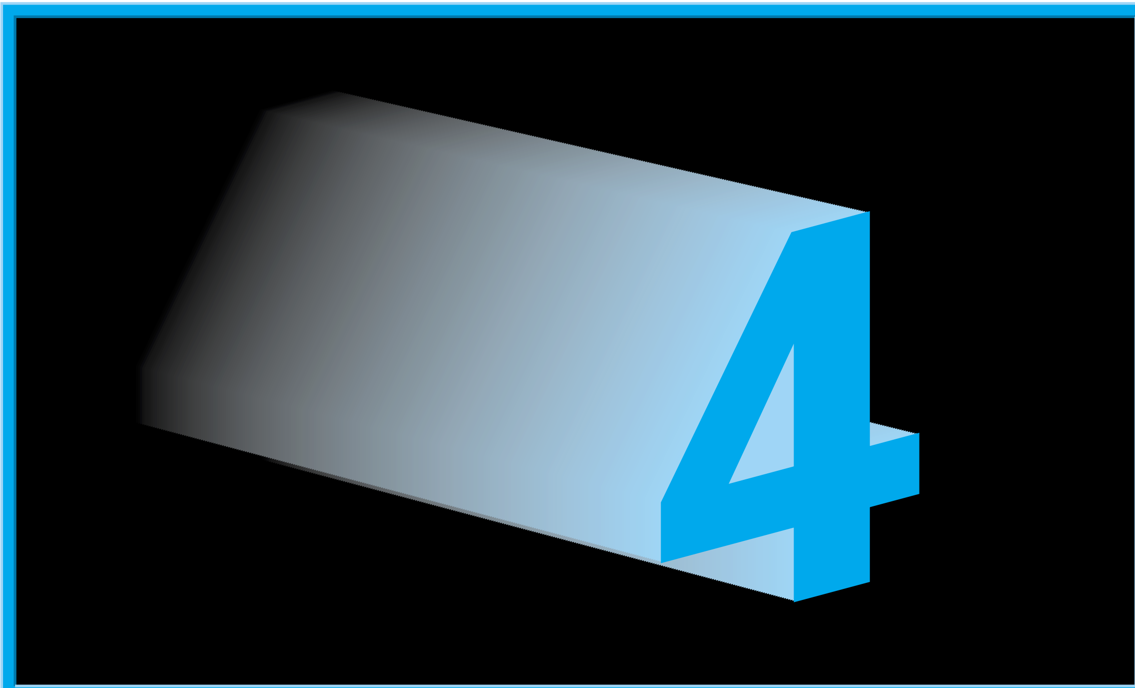
通信中に何らかのエラーが発生し、すべての原稿を送信できないときは、送信できなかったページ以降をもう一度送信します。この機能を自動ページ再送といい、最大5回まで再送されます。工場出荷時は3回までに設定されています。
自動ページ再送されたページには、発信元記録の先頭に「再送」が印字されます。

●未送信レポートについて

設定している回数リダイヤルまたは自動ページ再送してもなお送信できなかった場合は、未送信レポートが出力されます。未送信レポートについては「10-10　モニターレポート/未送信レポートの見かた」を参照してください。

●ECMについて

ECM(エラーコレクションモード)とは、ITU-Tで定められたG3通信の誤り訂正方式のことです。ECMをもつファクス間の通信では、送信したデータが相手に正しく送られたかどうかをチェックし、エラーがある場合にはそのデータを再送します。
このため、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防止して通信することができます。
通信管理レポートなどの受信の相手先に「ECM」と記載された場合は、ECMで通信したことを示しています。

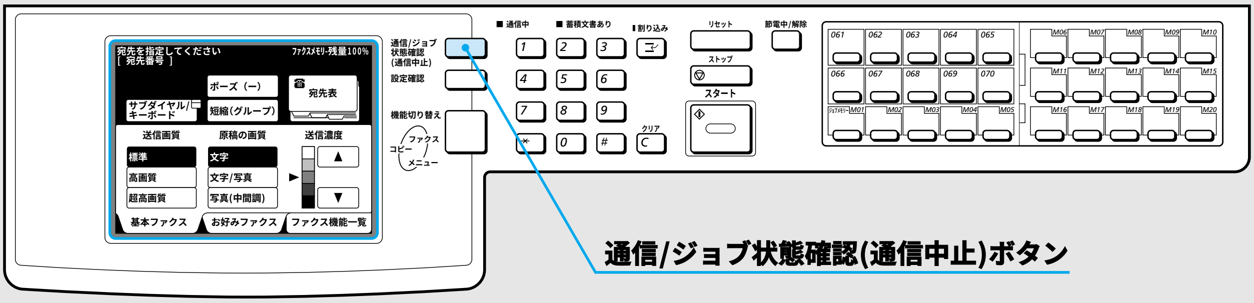


通信の中止と通信状態の確認

4-1 通信を中止する

ここでは、通信中の文書と通信待ち文書の中止方法について説明します。

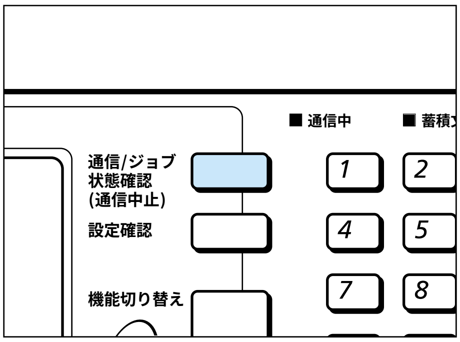
ここで使うボタン



操作手順

1 [通信/ジョブ状態確認(通信中止)] を押します。

通信/ジョブ状態確認画面の [実行中] のリストが表示されます。



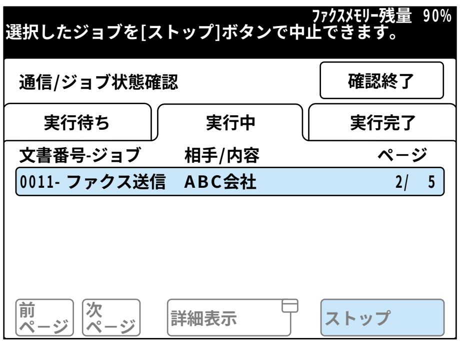
補足

● 通信/ジョブ状態確認画面が表示された状態で、[通信/ジョブ状態確認(通信中止)] を押すと前の画面に戻ります。

2 中止する通信を選択し、[ストップ] を選択します。

選択した通信が中止されます。

▶ **中止したいジョブが表示されない場合は、手順4に進みます。**

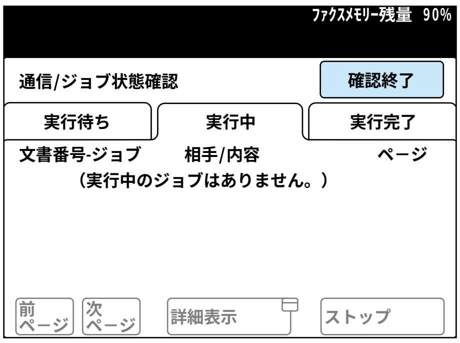


補足

● 同報送信を中止した場合、実行中/待機中にかかわらず、同報として指示した全ての送信が中止されます。

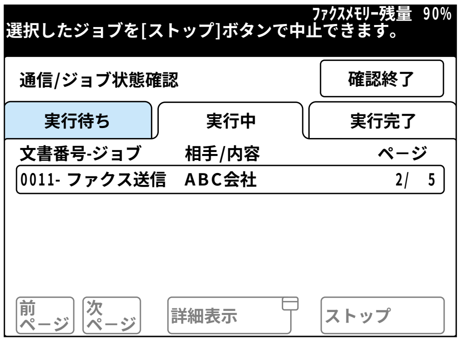
3 [確認終了] を選択します。

前画面に戻ります。

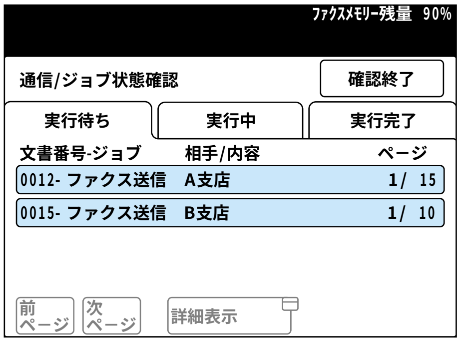


4 実行待ち のインデックスを選択します。

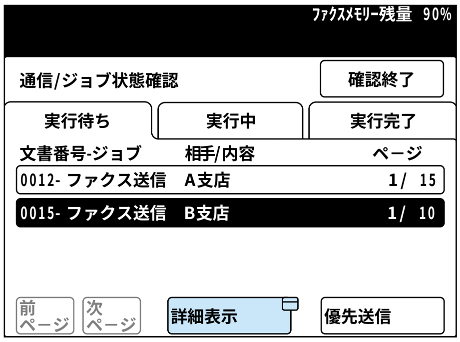
通信待ちやプリント待ちの文書が表示されます。



5 中止する通信を選択します。

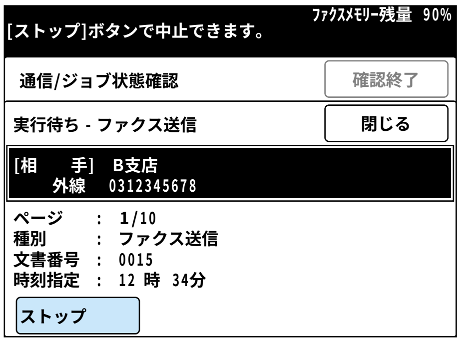


6 詳細表示 を選択します。



7 ストップ を選択します。

選択した通信が中止されます。

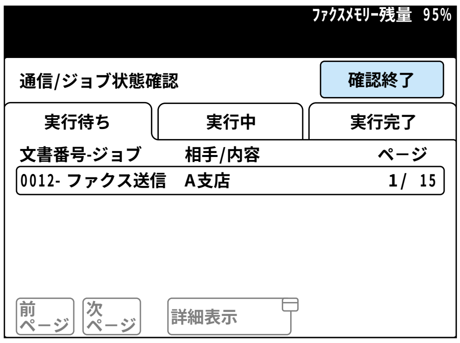


補足

● 同報送信を中止した場合、実行中/待機中にかかわらず、同報として指示した全ての送信が中止されます。

8 確認終了 を選択します。

前画面に戻ります。



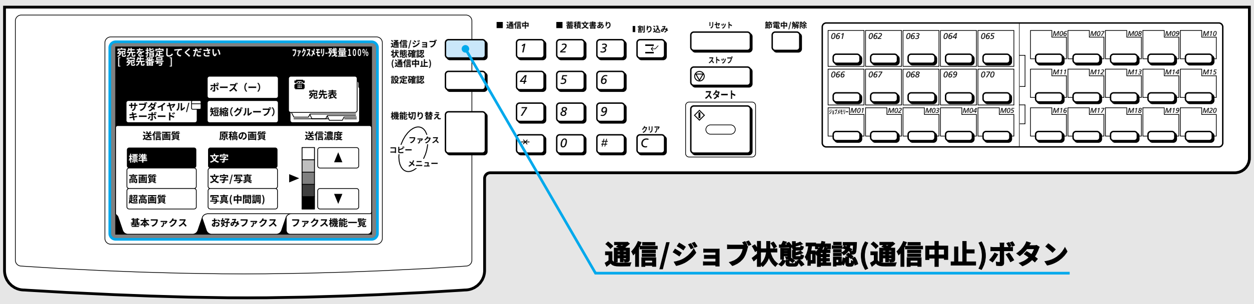
4-2 通信状態を確認する

補足

● すでに優先送信に設定されている通信を優先させることはできません。

［通信/ジョブ状態確認(通信中止)］を押すと、送信または受信した文書やポーリングした文書について通信状態を表示します。
通信状態は、実行待ち、実行中、実行完了の3つに分類して、ジョブ単位に表示されます。また実行待ち文書の中で、プリント待ち文書をすぐにプリントしたり、送信待ち文書を優先送信に設定したりすることができます。

ここで使うボタン



通信中文書の確認

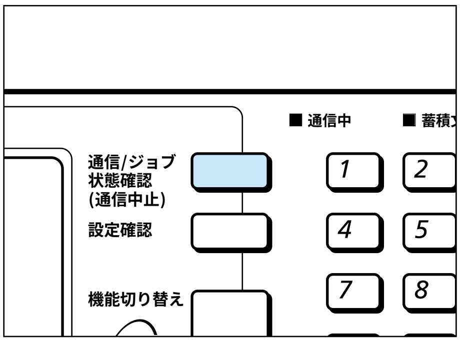
操作手順

補足

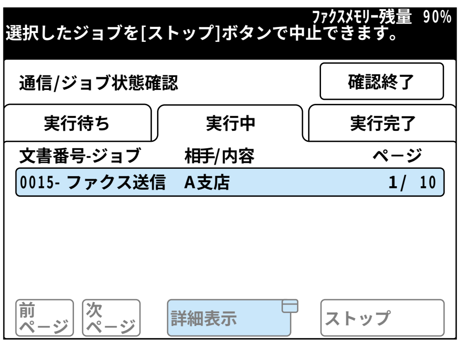
● 通信/ジョブ状態確認画面が表示された状態で、［通信/ジョブ状態確認(通信中止)］を押すと前の画面に戻ります。

1 ［通信/ジョブ状態確認(通信中止)］を押します。

通信/ジョブ状態確認画面が表示されます。



2 詳しい内容をみる場合には、ジョブを選択し、［詳細表示］を選択します。



3 **内容を確認し、［閉じる］を選択します。**

▶ **終了する場合には、［確認終了］を選択します。**



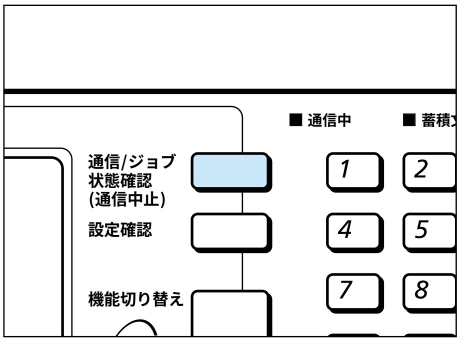
通信待ち文書の確認

ここでは、通信待ち文書の確認方法および優先させる方法について説明します。

操作手順

1 **［通信/ジョブ状態確認(通信中止)］を押します。**

通信/ジョブ状態確認画面が表示されます。

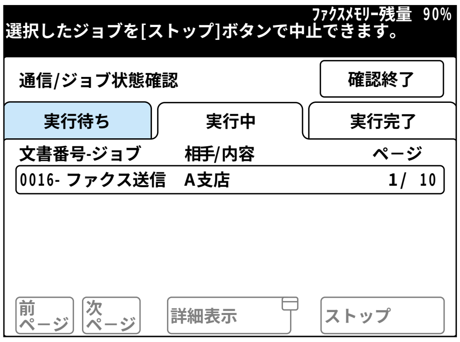


補 足

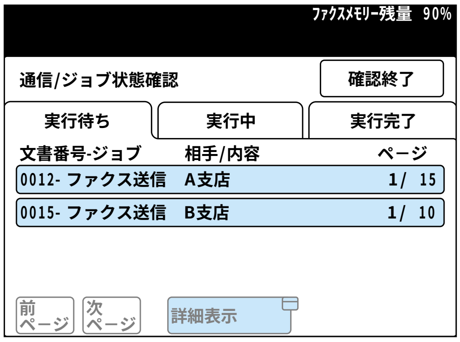
- 通信/ジョブ状態確認画面が表示された状態で、［通信/ジョブ状態確認(通信中止)］を押すと前の画面に戻ります。

2 **［実行待ち］のインデックスを選択します。**

通信待ちやプリント待ちの文書が表示されます。

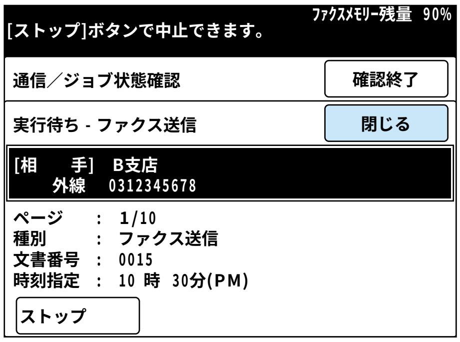


3 **詳しい内容をみる場合はジョブを選択し、[詳細表示]を選択します。**



- **プリント待ち文書をプリントしたい場合には、その文書を選択し、[プリント開始]を選択します。**
- **送信待ち文書を優先させる場合は、その文書を選択し、[優先送信]を選択します。**

4 **内容を確認し、[閉じる]を選択します。**



- **終了する場合は、[確認終了]を選択します。**

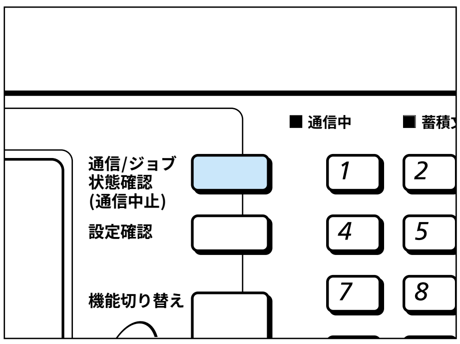
通信結果の確認

ここでは、通信結果の確認方法について説明します。

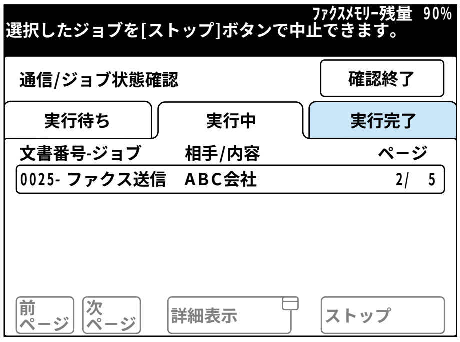
操作手順

1 **[通信/ジョブ状態確認(通信中止)]を押します。**

通信/ジョブ状態確認画面が表示されます。

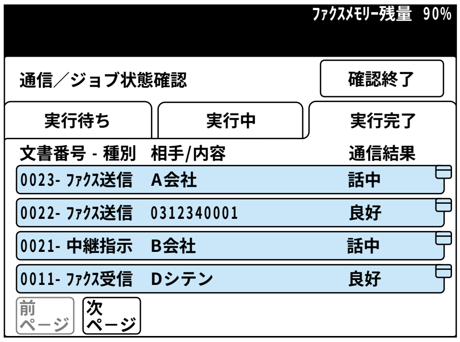


2 実行完了 のインデックスを選択します。



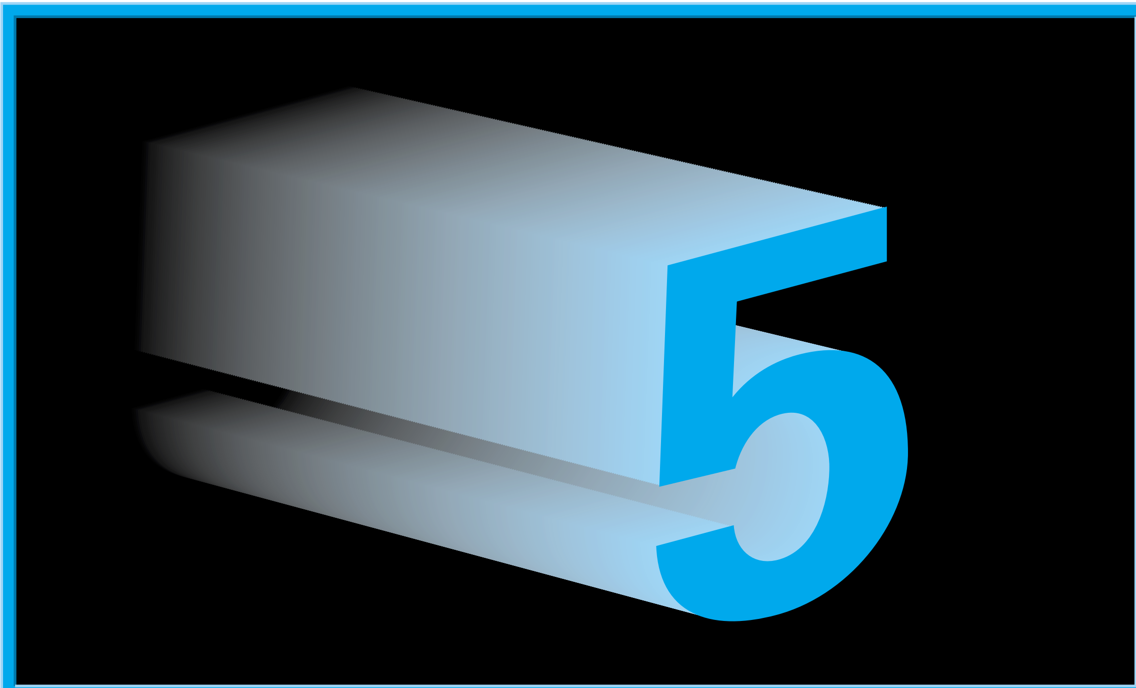
3 詳しい内容を確認する文書を選択します。

文書の内容が表示されます。



4 内容を確認し、 閉じる を選択します。





受信のしかた

5-1 受信の流れ

参照

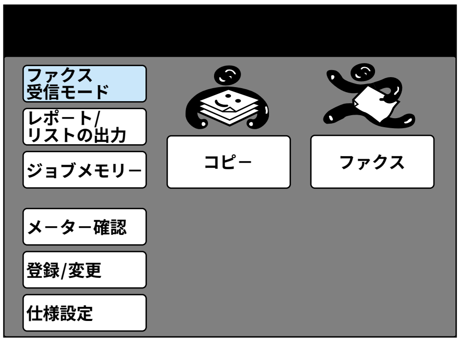
● 電源を入れたときのファクス受信モードの設定については、「9-1　仕様設定について」を参照してください。

受信には、自動受信と手動受信があります。
自動受信は、相手から呼び出しがあると、「ピー」という応答音を送出し自動的に受信を開始します。
手動受信は、いったん電話を受けてから手動で受信します。相手先を確認したり、通話してから受信したりする場合に便利です。
自動受信と手動受信の切り替えは、メニュー画面のファクス受信モードで設定します。

自動受信と手動受信の切り替え方法

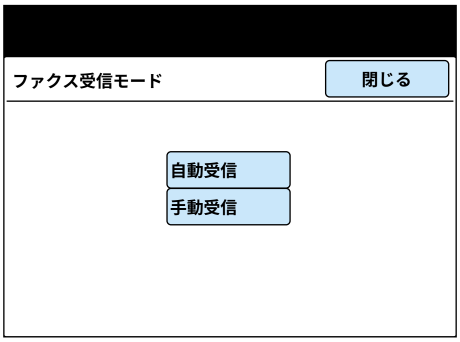
操作手順

1 メニュー画面の［ファクス受信モード］を選択します。



2 ［自動受信］か［手動受信］を選択します。

3 ［閉じる］を選択します。



自動受信のしかた

参照

● 呼び出し音を鳴らす時間の設定（ファクス切り替え時間）は「9-1　仕様設定について」を参照してください。

機械が自動受信に設定されているときは、相手から呼び出しがあると自動的にファクス受信が行われます。

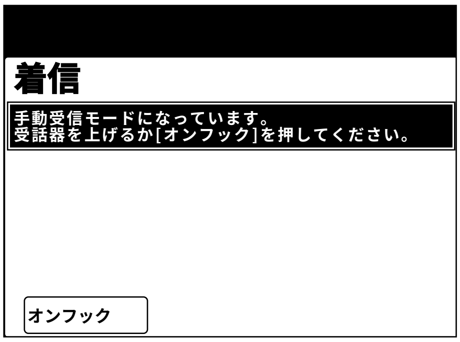
● 相手から呼び出しがあったときに、一定時間呼び出し音を鳴らすようにすることができます。このときは、呼び出し音が鳴っている間に受話器をあげれば会話ができ、相手がファクスのときは、手動で受信することもできます。

手動受信のしかた

機械が手動受信に設定されているときは、相手からの呼び出し音が鳴ったらハンドセット(受話器)を取る、または［オンフック］を押します。［オンフック］を使用する場合は、ラインモニター音量を「3」にすることをお勧めします。音量調節については、「9-1　仕様設定について」を参照してください。

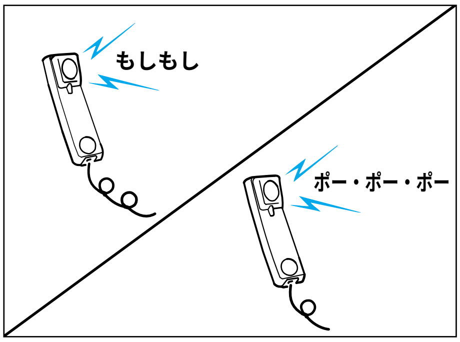
操作手順

1　呼び出し音が鳴ったらハンドセット（受話器）を上げるか［オンフック］を選択します。



2　相手を確認します。

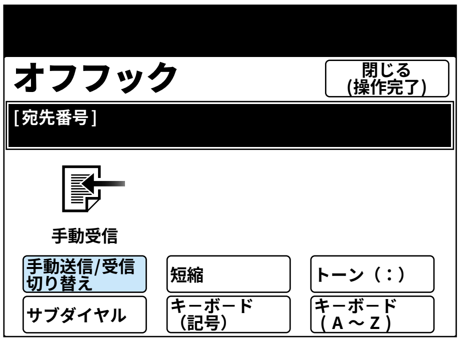
- **相手が電話の場合には、受話器を使って、通話できます。**
- **「ポー・ポー・ポー」という音が鳴っていれば、手順3に進みます。**



3　［手動送信/受信切り替え］を選択し、［手動受信］になっていることを確認し、［スタート］を押します。

［手動送信］になっている場合は［手動送信/受信切り替え］を選択し、［手動受信］にします。

受信を開始します。



補足

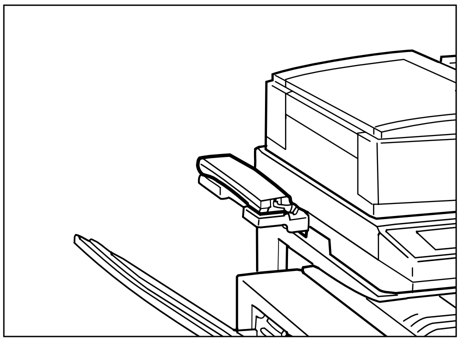
- ［オンフック］を使用した場合は、機械のスピーカーから音が聞こえます。
- 相手の方が手動送信でファクスを送ろうとしている場合は、無音の場合があります。この場合は、呼びかけて応答がないことを確認してから、手順3に進みます。

補足

- 工場出荷時は、手動受信に設定されています。設定を変更する場合は、「9-1　仕様設定について」を参照してください。

5
受信のしかた

4 **通信中ランプの点灯を確認して、ハンドセット(受話器)を戻します。**



5-2 受信文書の出力方法について

注記

● 受信文書の出力時、用紙の周囲約4mmは画像が欠けます。

受信文書は基本的に、送信側の原稿と同じサイズになるように出力されます。原稿と同じサイズの用紙がセットされていなかったり、受信する用紙を限定していた場合は、送信側の原稿と異なるサイズの用紙に出力されることもあります。また、設定によって、縮小したり、画像の後端をカットしたり、あるいはページ分割することもできます。
ここでは、受信時の出力について説明します。

トレイモードとユーザーモードについて

参照

● 受信紙宣言の設定方法については、「9-1 仕様設定について」を参照してください。

補足

● 工場出荷時の受信紙宣言は トレイモード に設定されています。

受信文書をどのサイズの用紙に出力するかを決めるための設定項目に受信紙宣言があります。
受信紙宣言には、トレイモードとユーザーモードがあり、それぞれ出力用紙の選択方法が以下のように異なります。

●トレイモード

セットされているすべてのトレイの用紙を出力用紙の対象とします。受信文書はセットされている用紙の中で、等倍で画像が欠けることなく最も近い用紙サイズに出力されます。ただし、送信文書サイズより小さい用紙しかセットされていない場合は、最も近い用紙サイズに送信側で縮小します。なお出力中に用紙がなくなった場合は代行蓄積文書となります。

●ユーザーモード

出力する用紙サイズを指定(宣言)し、トレイにセットされているかどうかにかかわらず、宣言したサイズの用紙だけを出力用紙の対象とします。
複数のサイズを宣言することができます。
宣言した用紙サイズの用紙トレイ（手差しトレイ除く）がセットされており、その中に受信文書の用紙サイズがある場合は、等倍で出力します。受信文書の用紙サイズが宣言した用紙サイズの中で無い場合、等倍で画像が欠けることなく出力できる用紙へ出力されます。それ以外の場合および出力中に用紙がなくなった場合は、代行蓄積文書となります。
常に、同じサイズの用紙に出力したり、等倍で出力したい時はこのモードを選択します。

出力の状態は、モードの設定とセットされている用紙のサイズによって異なります。

以下のような受信文書の出力のされ方をトレイモードとユーザーモードに分けて説明します。

●原稿と同じサイズの用紙に等倍で出力されるとき
●原稿より大きな用紙に余白つきで出力されるとき
●原稿より小さな用紙に縮小して出力されるとき
●受信側で縮小を行うとき
●代行蓄積文書が表示されたとき

原稿と同じサイズに等倍で出力されるとき

●**トレイモード**

原稿と同じサイズの用紙がいずれかのトレイにセットされていれば、自動的にその用紙が選択され、原稿は等倍で出力されます。

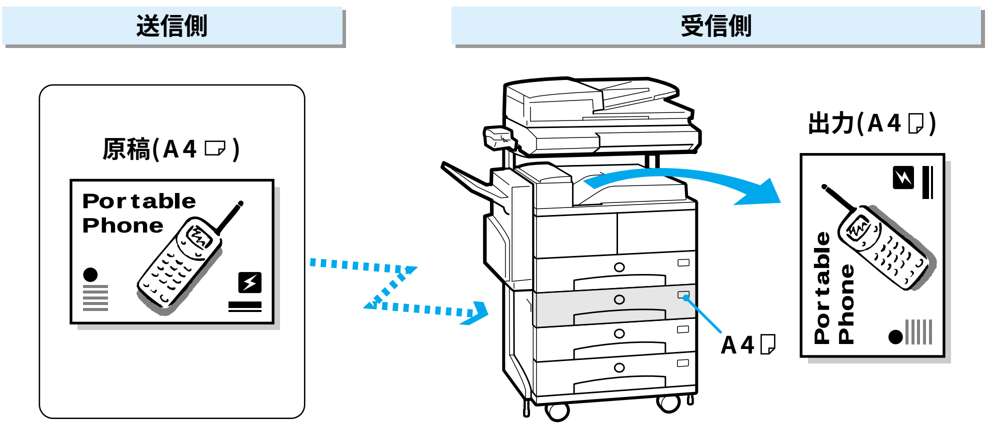
サイズが同じであれば、向きが違っていても(原稿がA4 で用紙がA4 の場合など)、自動的に画像が自動画像回転されてその用紙に出力されます。

●**ユーザーモード**

原稿と同じサイズの用紙が宣言され、その用紙がいずれかのトレイにセットされていれば、自動的にその用紙が選択され、原稿は等倍で出力されます。

A4サイズの場合は、向きが違っていても、自動的に画像が自動画像回転されてその用紙に出力されます。

トレイに宣言した用紙がないときには、代行蓄積文書になります。



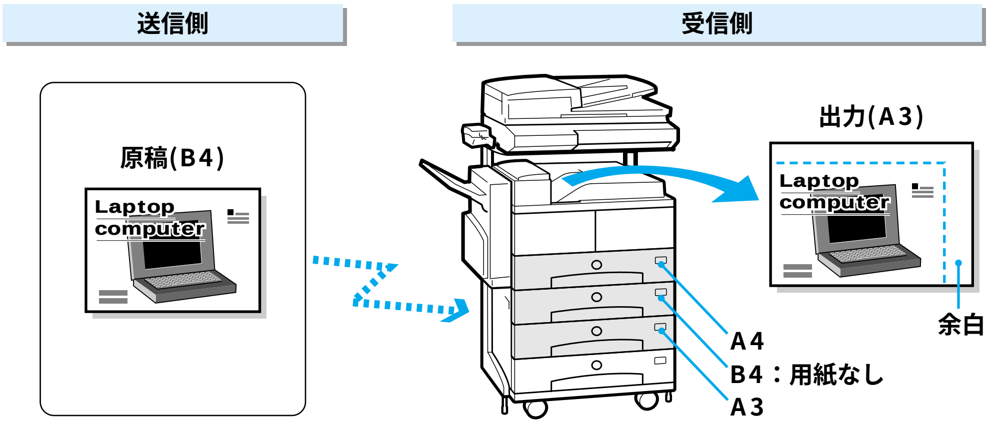
原稿より大きな用紙に余白つきで出力されるとき

次のような場合は、原稿より大きな用紙に等倍で出力され、周囲に余白ができます。

●トレイモード

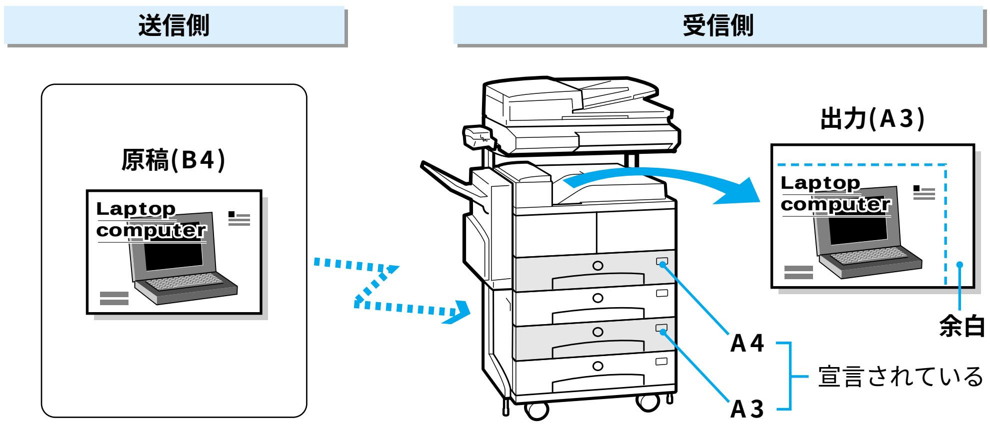
原稿と同じサイズの用紙がセットされていない場合は、画像が欠けることなく出力される一番近いサイズの用紙が選択されます。

● 等倍で出力中にその用紙がなくなったときも、残りの原稿は、大きな用紙に余白つきで出力されます。



●ユーザーモード

原稿と同じサイズの用紙が宣言されていない場合は、宣言された用紙のなかで、画像が欠けることなく出力される一番サイズの近い用紙が選択されます。



原稿より小さな用紙に縮小して出力されるとき

受信側に原稿サイズ以上の用紙がセットされていないときは、送信側は等倍で受信できないと判断します。出力できる用紙に合わせて原稿を縮小して送信してきます。

原稿が縮小して送信されてくるのは次のような場合です。

●トレイモード

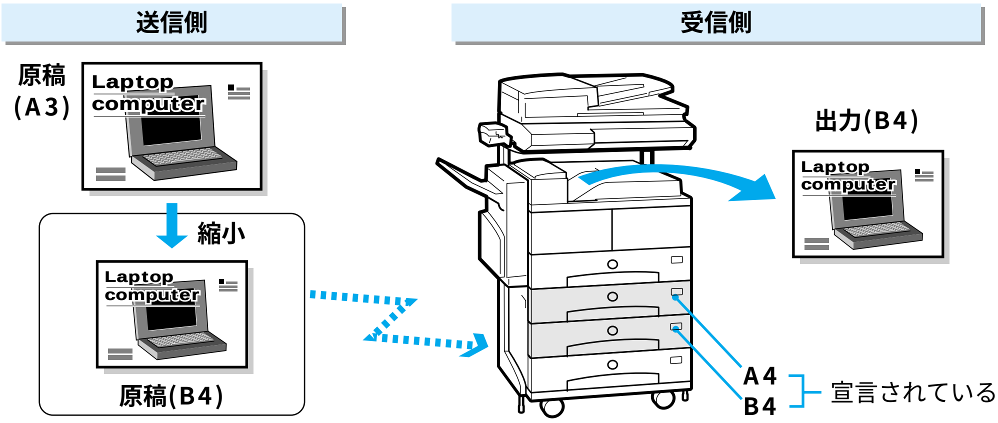
セットされている用紙がすべて原稿サイズよりも小さい場合

● セットされている用紙のうち、いちばん近い小さなサイズの用紙に出力されます。

●ユーザーモード

宣言されている用紙がすべて原稿サイズよりも小さい場合

● 宣言されている用紙のうち、いちばん近い小さなサイズの用紙に出力されます。



受信側で縮小を行うとき

参照

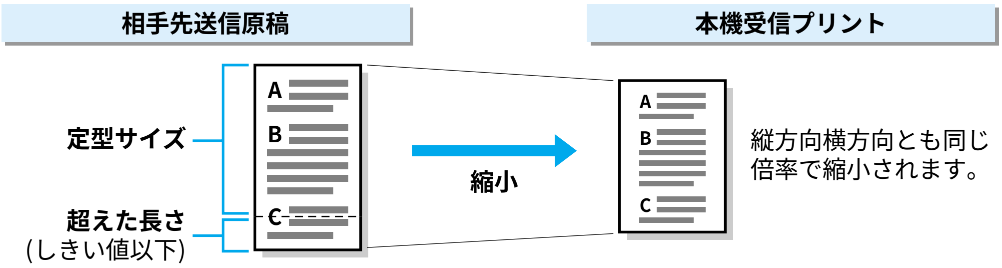
● ページ分割しきい値の設定方法や、自動縮小受信の設定方法については、「9-1　仕様設定について」を参照してください。

送信されてくる原稿は、読み取り装置のスリップなどのために、多少間延びしていることがあります。本機にはこれを補正するために、間延びした原稿を自動的に 縮小する機能があります。

自動的に縮小を行うときは、次のような場合です。

●**送信されてきた原稿が定形サイズよりも大きく、定形サイズを超える長さが「ページ分割しきい値」以内の場合**

●**「自動縮小受信」が「あり」に設定されている場合**



5

受信のしかた

代行蓄積文書が表示されたとき

受信文書を出力するための用紙がないと、「代行受信文書あるいはレポート文書があります。いずれかのトレイに文書サイズの用紙をセットしてください。」などのメッセージが表示されます。

- メモリー（標準：2MB）に蓄積できる原稿の枚数は、A4判700字程度で101枚（200dpi×100dpi相当で受信した場合）です。画質、原稿の種類によって蓄積できる枚数は異なります。メモリーは送信/受信兼用です。
  なお、オプションの増設メモリ(4MB)を2枚装着することにより、メモリーは最大10MBになります。この場合、蓄積できる原稿の枚数は590枚です。

●トレイモード

出力中に同じサイズの用紙がなくなったときは、「ピーピーピー」という通知音が鳴って、メッセージが表示されます。
この場合は、宣言されているサイズ以上の用紙を補給すると、自動的に出力が開始されます。

- 指定されたサイズよりも小さい用紙がある場合は、「スタートボタンで他の用紙に強制出力します。その際、縮小または分割プリントすることがあります。」というメッセージが表示されます。この場合は、 スタート を押すと、その用紙に収まるように縮小して出力されます。出力中に原稿サイズの用紙がなくなり、小さいサイズの用紙しかセットされていない場合も、このメッセージが表示されます。

●ユーザーモード

宣言した用紙がセットされていない場合や出力中にその用紙がなくなったときは、「ピーピーピー」という通知音が鳴って、メッセージが表示されます。
この場合は、指定されたサイズの用紙を補給すると、自動的に出力が開始されます。

- 指定されたサイズの用紙がない場合は、 スタート を押すと、トレイにセットされている用紙から指定サイズ以上の大きさの用紙が選択されて出力されます。
  指定されたサイズ以上の大きさの用紙がない場合は、小さい用紙の中から一番近いサイズの用紙が選択され、その用紙に収まるように縮小して出力されます。

2枚の受信文書を1枚の用紙に合成して出力する

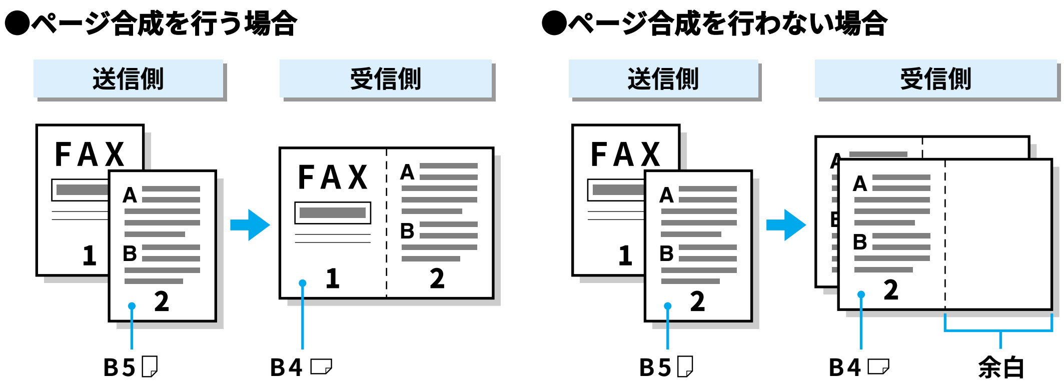
参照

● 並列合成受信の設定方法については、「9-1　仕様設定について」を参照してください。

複数ページの受信文書を出力する際、選択された用紙に2ページ分収まる場合には、1枚の用紙にまとめて出力することができます。これをページ合成受信といいます。

以下に、ページ合成受信を行う場合と行わない場合の出力の違いを示します。

[例：B5の受信文書をB4の用紙に出力する場合]



受信文書を用紙の両面に出力する

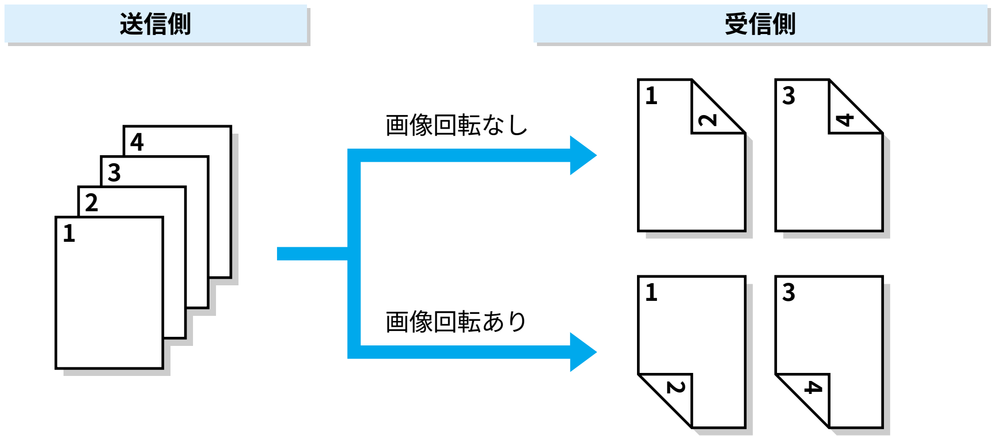
参照

- 両面プリントの設定方法や、両面プリント時のうら面の画像回転の設定方法については、「9-1　仕様設定について」を参照してください。

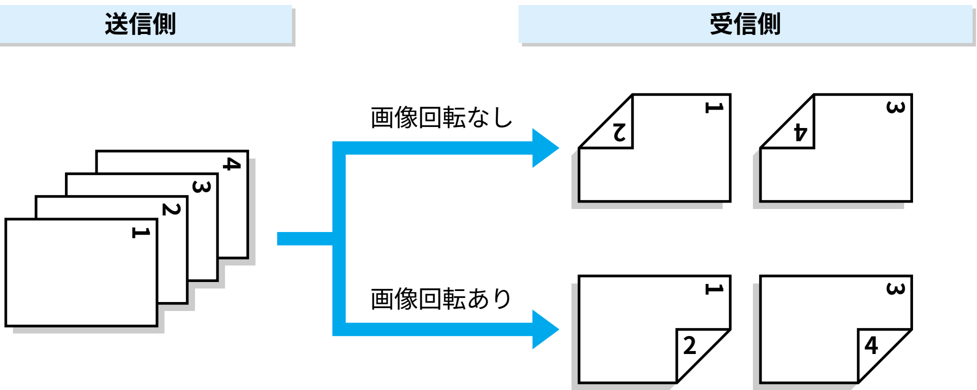
両面プリント機能を使用すれば、複数ページの受信文書を用紙の両面に出力させることができます。
また、おもて面とうら面の天地を合わせるために、うら面の画像回転を設定することもできます。

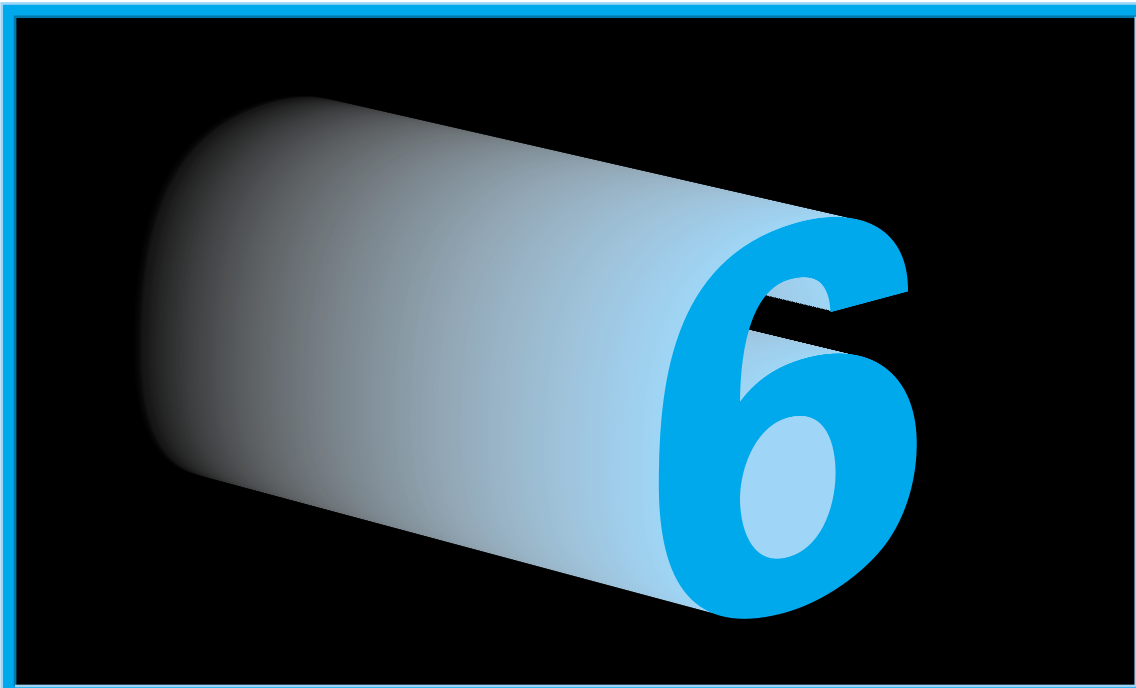
以下に、両面プリント時に画像回転を行う場合と行わない場合の出力の違いを示します。

●受信文書が□方向の場合



●受信文書が□方向の場合





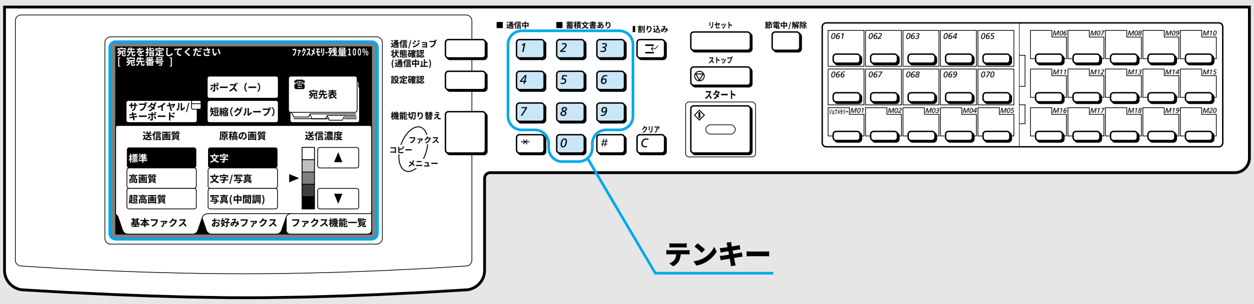
電話のかけかた/とりかた

6-1 電話のかけかた

電話をかける方法について説明します。
電話のかけかたには、以下の2つの方法があります。
●ハンドセット（受話器）をあげてダイヤルする　(オフフックダイヤル)
●ハンドセット（受話器）を置いたままダイヤルする　(オンフックダイヤル)

- ダイヤル回線でご使用の場合でも相手を呼び出した後に トーン(:) を選択することにより、プッシュホンサービス（銀行ANSER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御など）を利用することができます。
- お手持ちの電話を外付けすることができます。ただし、留守番電話の機能は使用できません。

ここで使うボタン



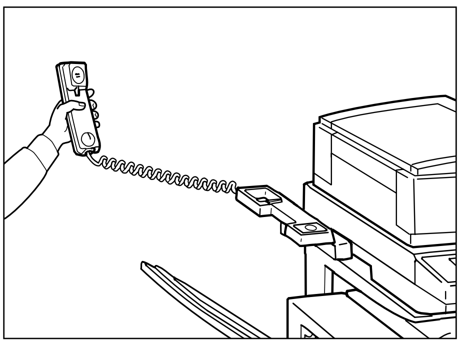
オフフックダイヤル

ハンドセット（受話器）を上げてダイヤルするオフフックダイヤルの方法について説明します。

操作手順

1 ハンドセット（受話器）を上げます。

- お手持ちの電話を外付けしている場合は、その受話器を上げます。

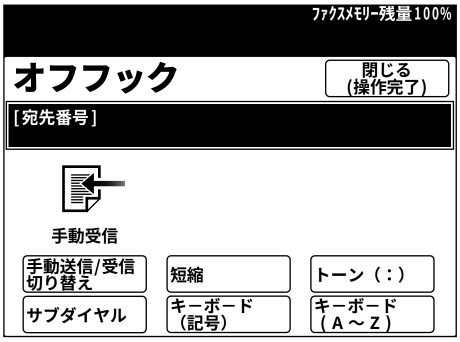


補足

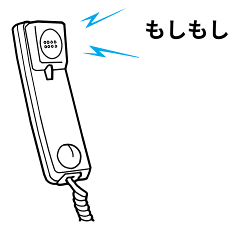
● 回線種別がプッシュ回線に設定されているときは、トーン（：）は表示されません。
● ダイヤル回線を使用している場合に、PB信号を送出したいとき（プッシュ回線用のサービスを受けるとき）は、トーン（：）を選択します。
● サービスの種類によりPB信号を送出してもサービスが受けられないことがあります。

2 相手先を指定します。

● テンキー、短縮番号、ワンタッチボタンなどで指定します。宛先表は使用できません。



3 相手に電話がかかったら通話します。



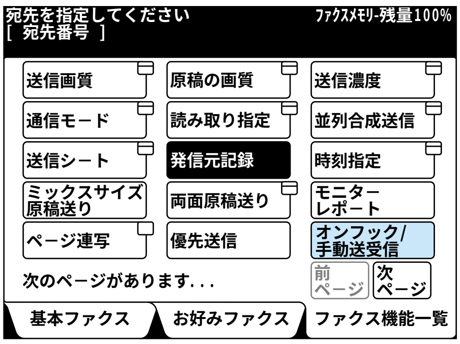
4 通話終了後、受話器を戻します。

オンフックダイヤル

受話器を置いたままダイヤルするオンフックダイヤルの方法について説明します。
この場合、ラインモニター音量を「3」にすることをお勧めします。音量調整については、「9-1　仕様設定について」を参照してください。

操作手順

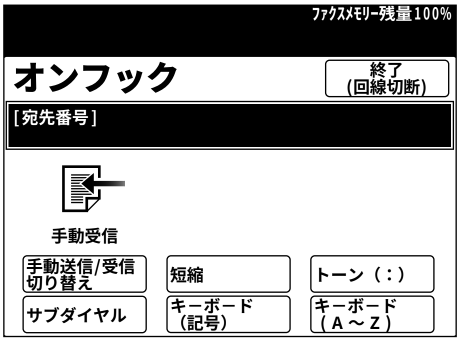
1 ファクス機能一覧画面の オンフック／手動送受信 を選択します。



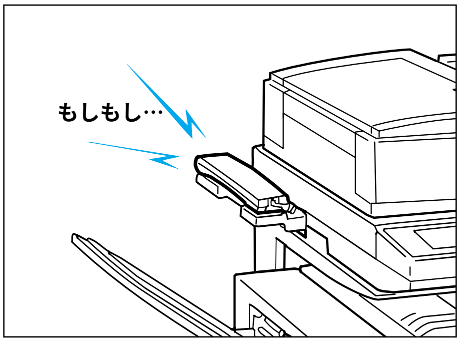
6
電話のかけかた／とりかた

2 相手先を指定します。

● テンキー、短縮番号、ワンタッチボタンで指定できます。宛先表は使用できません。



3 相手に電話がかかったら受話器を上げ、通話します。



4 通話終了後、受話器を戻します。

● 受話器は正しく戻してください。正しく戻さないと「話中」の状態が続きます。

補足

● 回線種別がプッシュ回線に設定されているときは、トーン（:）は表示されません。

● ダイヤル回線を使用している場合に、PB信号を送出したいとき（プッシュ回線用のサービスを受けるとき）は、トーン（:）を選択します。

●サービスの種類によりPB信号を送出してもサービスが受けられないことがあります。

6-2 電話のとりかた

ハンドセット（受話器）を使って電話を受ける方法について説明します。

補足
● 工場出荷時のファクス切り替え時間は 0秒 に設定されています。

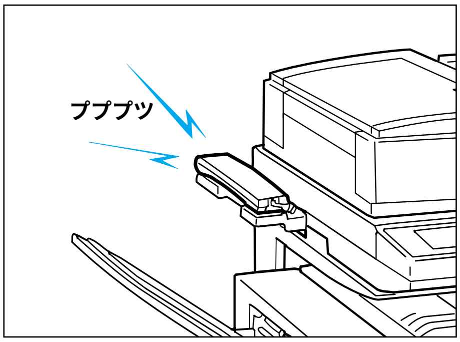
● 工場出荷時は、着信後すぐにファクスに切り替わるように設定されているため、電話の着信ベルが鳴りません。仕様設定で、ファクス切り替え時間を変更してください。
● ファクス切り替え時間については「9-1　仕様設定について」を参照してください。
● ファクス切り替え時間の間、着信ベルが鳴りますので、電話をとることができます。

操作手順

補足
●「ポー・ポー・ポー」などの発信音が聞こえた場合は、手動受信してください。

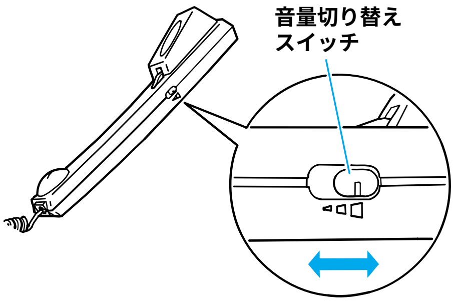
1 呼び出し音が鳴ったらハンドセット(受話器)をあげ、通話をします。

2 通話終了後、受話器を戻します。

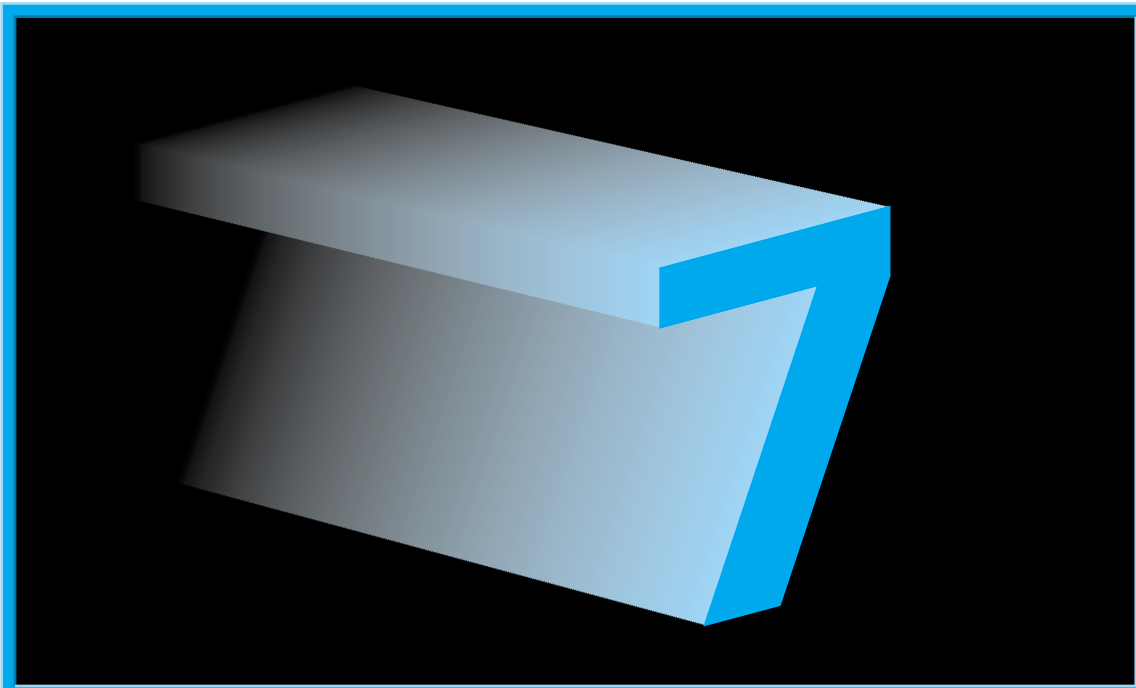


呼び出しベル音量の調整

ハンドセット（受話器）の呼び出し音量は、受話器側面にある音量切り替えスイッチで調整します。



● 本体のスピーカーから鳴る呼び出し音の設定方法については「9-1　仕様設定について」を参照してください。

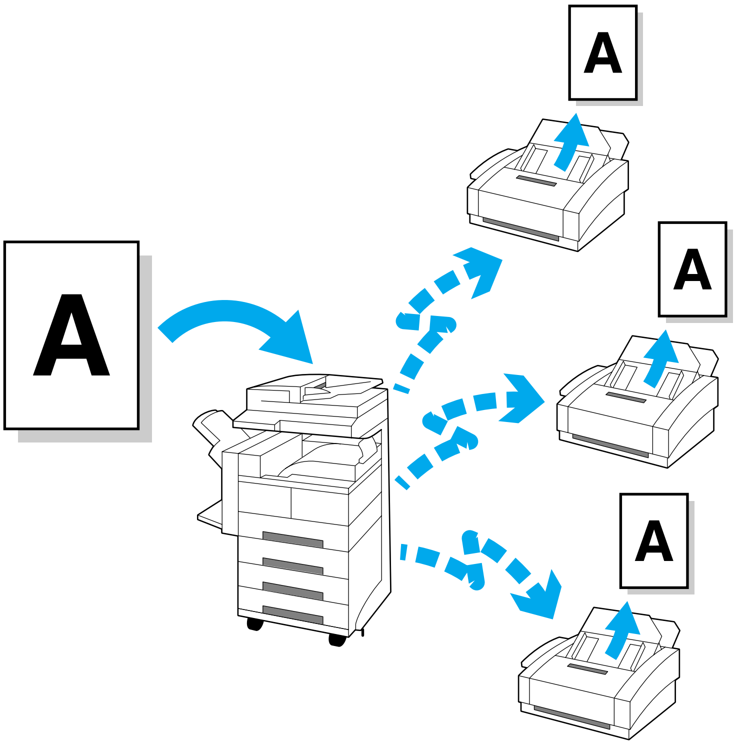


便利な機能を使った通信

7-1 複数の相手先に送信する（同報送信）

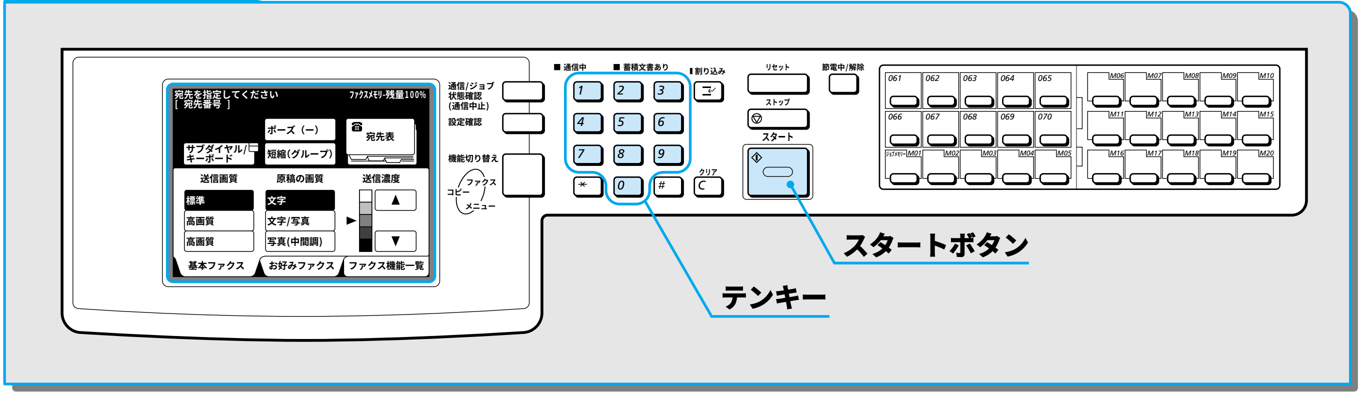
同報送信は、同一原稿を一度の操作で複数の相手に送信できる機能です。相手ごとに繰り返し操作する必要がなくなり、送信の手間が省けます。
増設G3ポート(オプション)またはG4通信ユニット(オプション)を装着している場合には、同時に複数の送信を行う一斉同報が使用できます。

- 一度に指定できる相手先の最大数は、以下のとおりです。
  - ・テンキーによる指定 ……………………………………………50宛先
  - ・短縮ダイヤルによる指定 ………………………………………500宛先
  - ・テンキーと短縮ダイヤルの組み合わせ ………………………549宛先
- 短縮ダイヤルの001～070はワンタッチボタンに対応しています。
- 同報送信時、送信シート と 親展通信 は、操作パネルで指示しても、無効になります。送信シート と 親展通信 を利用したい場合は、各相手先を短縮ダイヤルに登録し、その際にそれぞれ設定をしてください。
- モニターレポートは、指示できません。



(1)　同報通信を指示する

ここで使うボタン

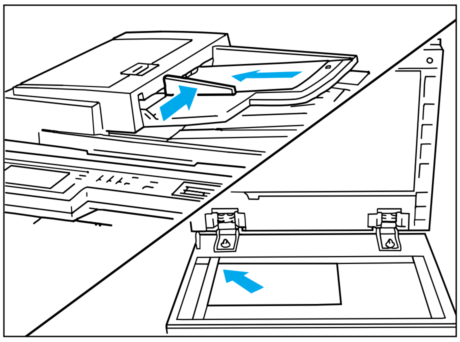


操作手順

参照

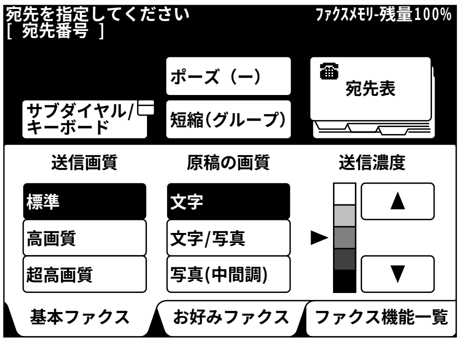
●「2-2　原稿をセットする」を参照してください。

1 原稿をセットします。



2 複数の相手先を指定します。

テンキーで入力する場合には、電話番号を入力後、[次宛先] を選択して、次の相手先の番号を指定します。
送信したい相手先を続けて指定します。



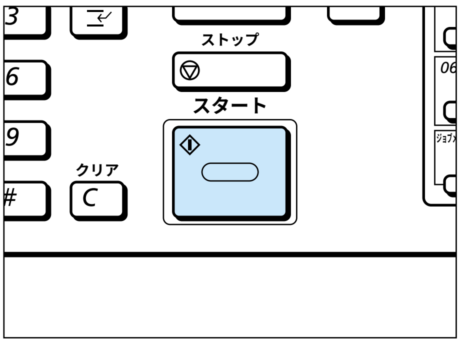
参照

●電話番号の指定のしかたは、次ページの「(2)　複数の相手先の指定方法」を参照してください。

3 [スタート] を押します。

確認画面が表示され、送信する場合は、[はい（送信する）] を選択します。

原稿が読み取られ送信が開始されます。
工場出荷時、送信終了後に同報/集信レポートを出力するように設定されています。



参照

●送信した文書の確認や中止の方法については、「第4章　通信の中止と通信状態の確認」を参照してください。

（2） 複数の相手先の指定方法

複数の相手先の指定方法について説明します。
複数の相手先を指定して送信する機能を同報といいます。同報は、同じ文書を数か所に送信する場合、便利な機能です。
複数の相手先を指定する方法には、以下の4つがあります。

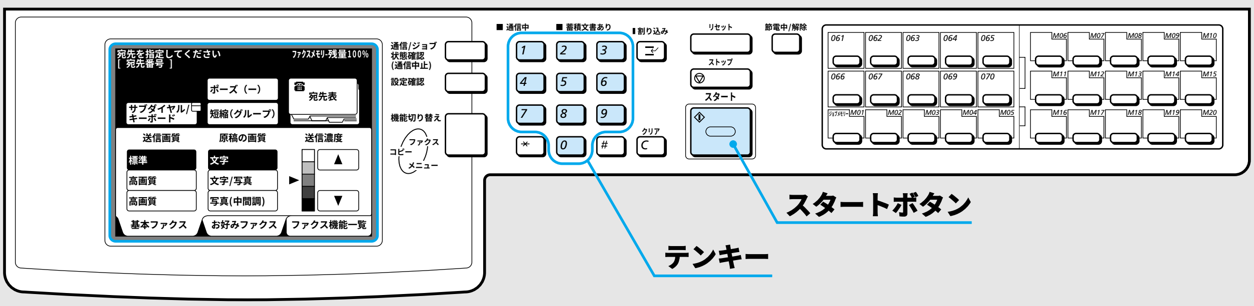
●テンキーで指定する
●短縮番号で指定する
●ワンタッチボタンで指定する
●グループ番号で指定する

それぞれを組み合わせて指定することもできます。また、宛先表でも指定することができます。

テンキーで指定する

テンキーで複数の相手先を指定します。短縮登録がない場合に便利です。

ここで使うボタン

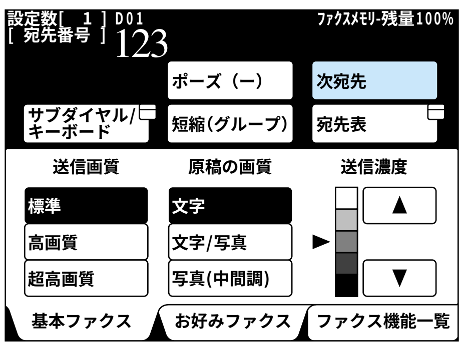


操作手順

1 **テンキーで相手先のファクス番号を指定し、［次宛先］を押します。**

この操作を繰り返し、相手先の番号を入力します。

● 指定できる相手先は50までです。



補足

● ファクス機能一覧画面には、［次宛先］が表示されません。基本ファクス画面またはお好みファクス画面で指定してください。

短縮番号で指定する

参照

● 短縮番号の登録方法については、「8-2　短縮ダイヤルに登録する」を参照してください。

短縮番号で指定します。
短縮番号は、事前に登録しておきます。
なお各短縮番号に登録された通信モード、送信シート、中継同報指示、親展通信は、登録どおりに行います。

短縮番号を使う場合、ワイルドカード(＊ または ＊)を使って複数の相手先を指定することもできます。

●短縮番号の上2ケタで指定する

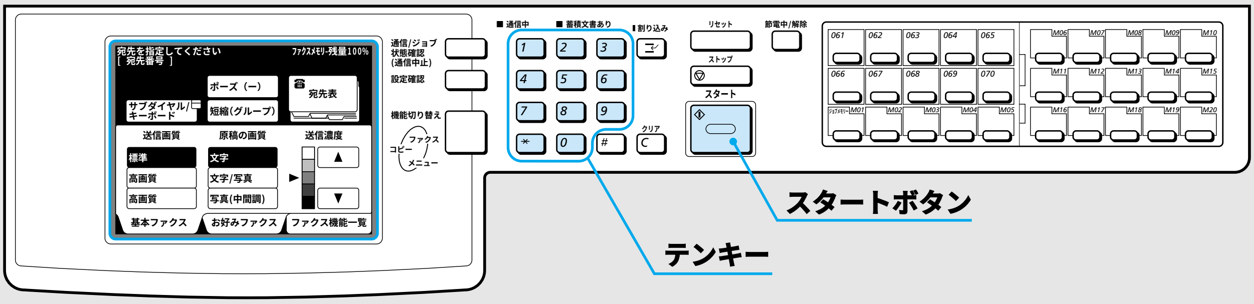
たとえば、10＊と指定すると、100から109まで10宛先が指定されます。

●全短縮番号を指定する

＊＊＊と指定すると、すべての短縮番号が指定できます。

● 1＊＊、＊1＊、＊＊1 などは、指定することはできません。

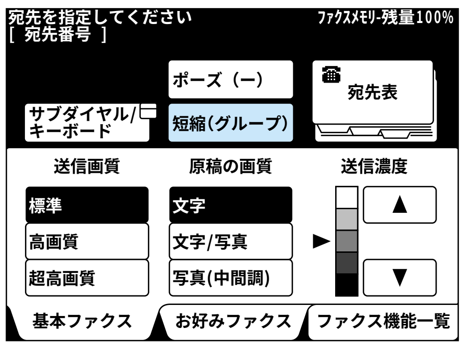
ここで使うボタン



操作手順

1 **短縮(グループ) を押し、3けたの短縮番号を入力します。**

この操作を繰り返して、複数の相手先を指定します。



ワンタッチボタンで指定する

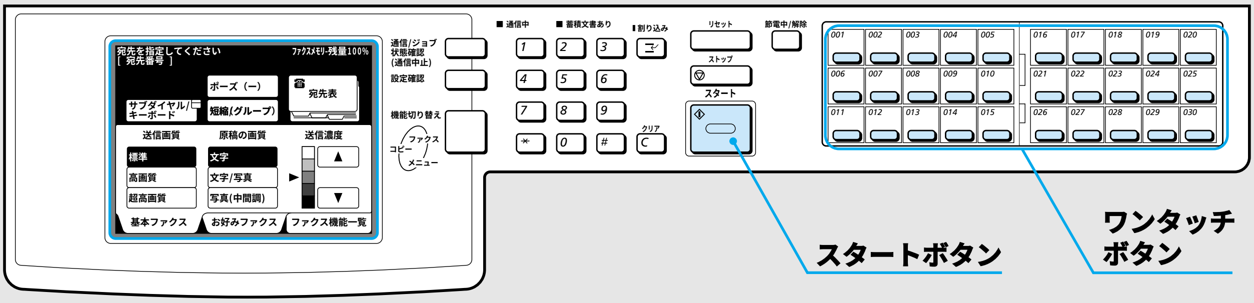
参照

● 短縮番号の登録方法については、「8-2　短縮ダイヤルに登録する」を参照してください。

ワンタッチボタンで指定します。

ワンタッチボタンは、短縮番号に登録されている番号001～070と対応しています。たとえば、短縮番号「001」に登録されている場合には、 001 ボタンを押します。

ここで使うボタン



7

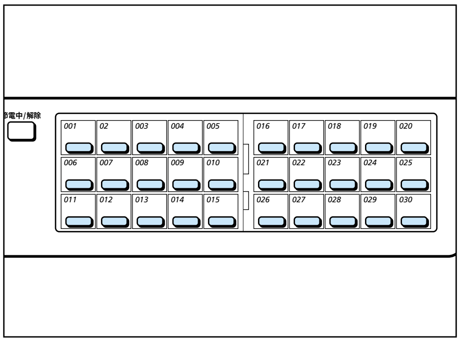
便利な機能を使った通信

操作手順

1 ワンタッチボタンを押します。

続けて、ワンタッチボタンを押し、複数の相手先を指定します。

● ワンタッチボタン「031」以降は、パネルをめくって選択します。



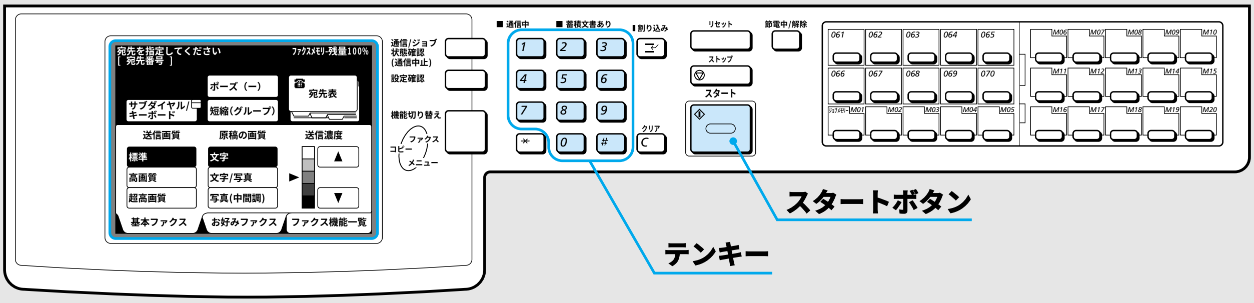
グループ番号で指定する

参照

● グループの登録方法については、「8-3 グループを登録する」を参照してください。

グループ番号で指定します。
グループ番号は、事前に登録しておきます。1つのグループ番号に20宛先までの短縮番号を登録することができます。

ここで使うボタン



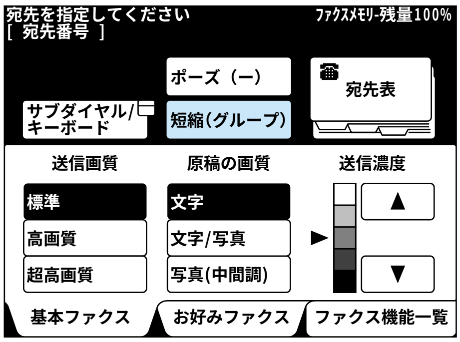
操作手順

補足

● #01～#10まで指定できます。

1 **短縮(グループ) を選択し、テンキーの # と2けたのグループ番号を入力します。**

この操作を繰り返して、複数のグループを指定することもできます。



7 便利な機能を使った通信

7-2 中継局を介して同報送信する(中継同報)

中継同報は、他のファクス(中継局)を介して、複数の相手先に送る機能です。
相手先が遠距離に複数ある場合、その１つを中継局にして、そこから数か所に同報します。
遠距離に送信先が多い場合、中継同報を利用すれば、通信料金が軽減できます。
また、中継同報を同時に複数指定することもできます。これをマルチ中継同報と呼びます。

補足

● 中継同報の指示局および中継局として使用できる機種は限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

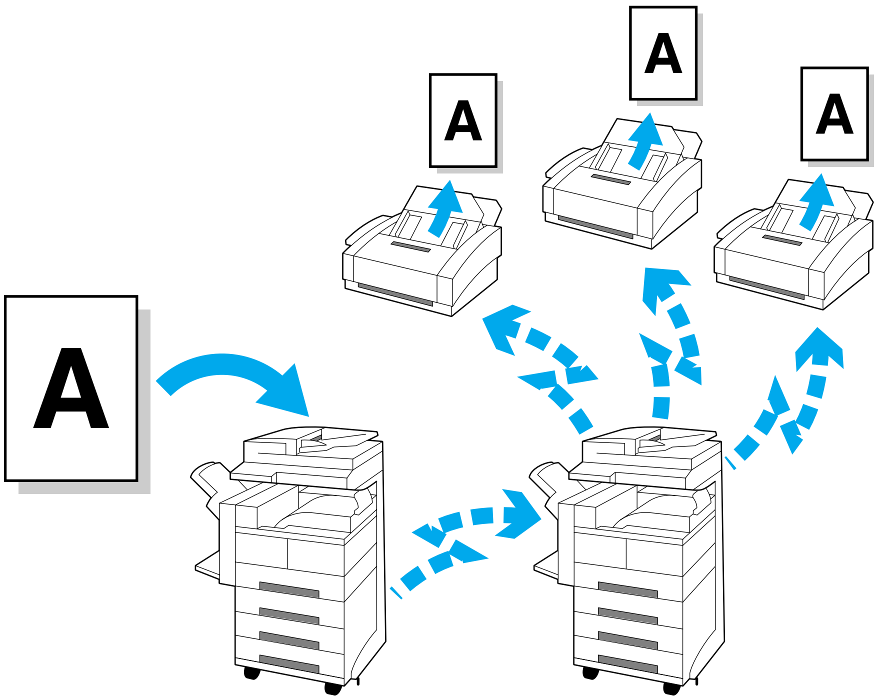
中継同報には、以下の2つの方式があります。

● **FAX信号方式**

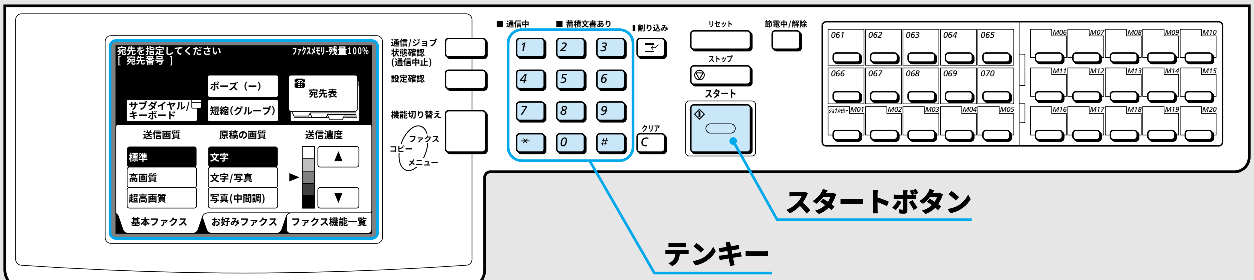
独自の通信手順を用いているため、特定の中継同報可能機のみ使用できます。通信モードは、G3およびG4が可能です。

● **PB信号方式**

PB信号を送出可能で、かつ通信モードG3で手動送信が可能な機種であれば、本機に対して中継同報指示が可能です。



ここで使うボタン



中継同報をする前の準備

中継同報をする前には、事前に短縮ダイヤルに登録しておく必要があります。
「8-2　短縮ダイヤルに登録する」を参照して、登録してください。
また、短縮ダイヤルの登録には、以下の情報が必要です。

補足

● 右記は、本機での中継同報について説明しています。本機以外の機種を指示局あるいは中継局とする場合、対象となる相手機のマニュアルを参照してください。

登録先	登　録　内　容
指示局	● FAX信号方式の場合 ・中継局に登録されている指示局の短縮番号を中継局IDとして登録します。 ・中継局に登録されている中継送信先の短縮番号またはグループ番号を同報宛先として登録します。ワイルドカード「＊」を使うこともできます。 ● PB信号方式の場合（G3） ・登録はありません（自動送信の場合、ダイヤル指示を登録しておくことは可能）。
中継局	● 指示局を短縮番号001～099のいずれかに登録し、その中継指示局登録を する に設定します。 ● 中継送信先を短縮番号に登録します。 指示局からは、中継局の短縮番号001～099を中継送信先として指定できます。また、指示局から中継送信先を中継局のグループで指定する場合（FAX信号方式のみ可能）は、短縮番号100以上を中継送信先にすることができます。

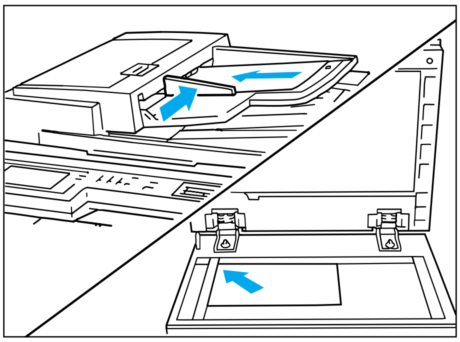
FAX信号方式の場合

操作手順

参照

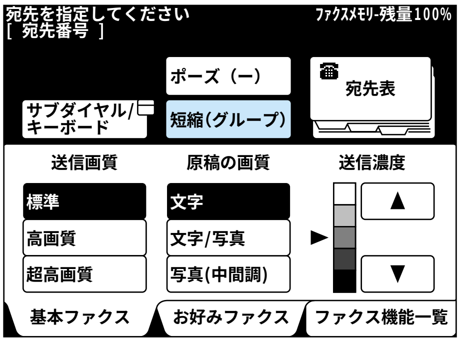
●「2-2　原稿をセットする」を参照してください。

1 **原稿をセットします。**

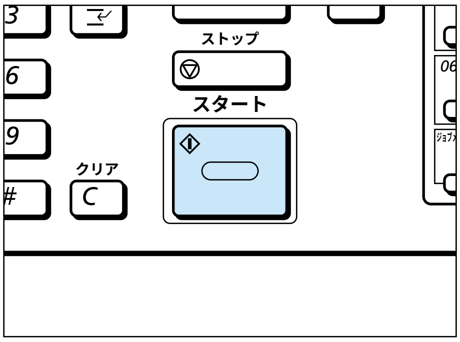


2 **中継同報が登録されている短縮番号を指定します。**

複数の中継同報を行う場合には、続けて短縮番号を入力します。



3 **[スタート]を押します。**



7 便利な機能を使った通信

PB信号方式の場合

PB信号方式では、以下のダイヤル指示を行えば、中継同報することができます（通信モードG3のみ）。

●**パスワード**

事前に登録した2ケタの数字のパスワード
(工場出荷時は設定されていません。パスワードを設定する場合は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。)

●**中継局ID**

中継局に登録されている指示局の短縮番号

●**短縮番号**

中継局に登録されている中継送信先の短縮番号
ワイルドカード「＊」を使用することもできます。

PB信号方式には、以下の2つの方式があります。

●自動送信(受話器をあげずに送信)、または短縮ダイヤルに登録する場合

本機種から本機種に対してのみ指示が可能です。
ダイヤル指示の形式は、以下のとおりです。

[中継局電話番号] [!] [＊] [$] [#] [¥] [パスワード] [中継局ID] [¥] [#] [短縮番号] [#] [短縮番号] [#] ....
[#] [#] [$]

補足
● 工場出荷時などでパスワードが設定されていない場合、パスワードは入力しません。

1 **原稿をセットします。**

参照
●「2-2　原稿をセットする」を参照してください。

2 **[サブダイヤル/キーボード] を2回選択し、タッチパネルディスプレイ上にキーボードを表示し、以下の形式を入力します。**

[中継局電話番号] [!] [＊] [$] [#] [¥] [パスワード] [中継局ID] [¥] [#] [短縮番号] [#] [短縮番号] [#] ....
[#] [#] [$]

複数の中継同報を行う場合には、[次宛先] を押して指示します。

補足
● 中継送信先は、20まで指定できます。
● ダイヤル回線で使用している場合は、電話番号の直後に [:] を入力してください。

3 **[スタート] を押します。**

●手動で(受話器をあげて)送信する場合

● PB信号を送出可能なG3ファクスから本機に対して手動送信することができます。

ダイヤル指示の形式は、以下のとおりです。

中継局電話番号 「ピープルプル」音を確認 ＊ 「ピーピーピー」音を確認 # パスワード 中継局ID # 短縮番号 # .... # # 「ピーピーピー」と鳴ります

参照

●「2-2　原稿をセットする」を参照してください。

1 **原稿をセットします。**

2 **受話器をとります。**

3 **以下の手順で入力します。**

ダイヤル回線で使用している場合は、電話番号を入力後、PB信号に切り替えてください。

中継局電話番号 「ピープルプル」音を確認 ＊ 「ピーピーピー」音を確認 # パスワード 中継局ID # 短縮番号 # .... # # 「ピーピーピー」と鳴ります

4 **スタートボタンを押します。**

(機種によりスタート指示の方法は異なります。)

7 便利な機能を使った通信

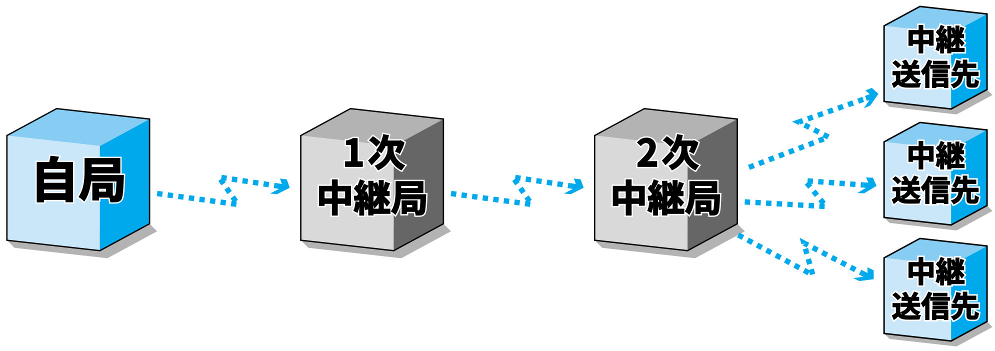
7-3 遠隔地に中継同報する(リモート中継同報)

リモート中継同報は、中継局を2つ以上経由して同報送信する機能です。
中継同報より、大規模に、かつ遠方に対しての送信を経済的に行うことができます。

●リモート中継同報のしくみ

補足

● 1次中継局、および2次中継局として使用できる機種は限定されます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。



リモート中継同報にも中継同報と同様に、以下の2つの方式が使えます。

●FAX信号方式

独自の通信手順を用いているため、特定の中継同報可能機のみ使用できます。通信モードは、G3およびG4が可能です。

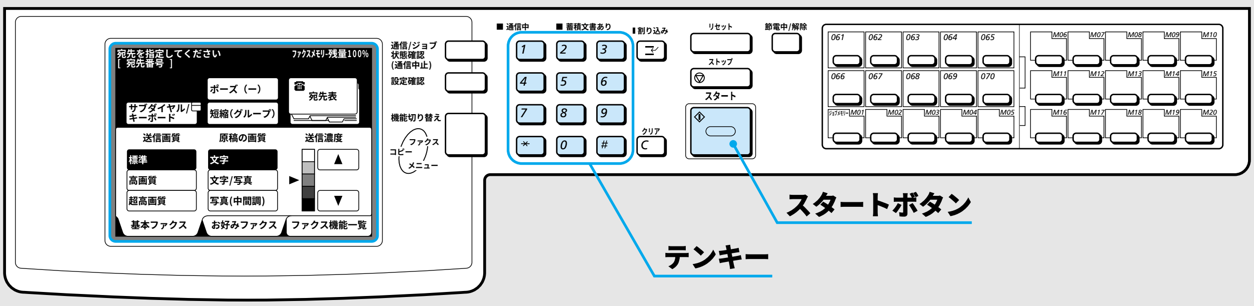
●PB信号方式

PB信号を送出可能で、かつ通信モードG3で手動送信が可能な機種であれば、本機に対してリモート中継同報指示が可能です。

補足

● 2次中継局からは、複数の同報指示(マルチ中継同報)ができます。

ここで使うボタン



FAX信号方式の場合

FAX信号方式の場合、事前に短縮ダイヤルに登録しておく必要があります。
「8-2　短縮ダイヤルに登録する」を参照して、まず登録してください。

また、短縮ダイヤルの登録には、登録先に以下の情報が必要です。

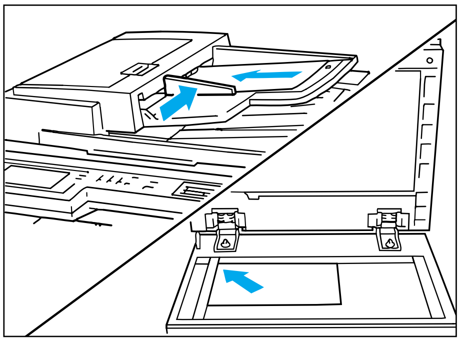
登録先	登　録　内　容
指示局	● 短縮番号001～500のいずれかに中継同報を登録します。 ・1次中継局に登録されている指示局の短縮番号を中継局IDとして登録します。 ・1次中継局に登録されている2次中継局の短縮番号を同報送信宛先として登録します。
1次中継局	● 指示局を短縮番号の001～099のいずれかに登録し、その中継指示局登録を する に設定します。 ● 2次中継局を短縮番号の001～099のいずれかに登録します。 ・2次中継局に登録されている1次中継局の短縮番号を中継局IDとして登録します。 ・2次中継局に登録されている中継送信先の短縮番号を同報送信宛先として登録します。
2次中継局	● 1次中継局に登録されている指示局の短縮番号と同じ番号に1次中継局を登録し、中継同報指示局を する に設定します。 ● 中継送信先を短縮番号に登録します。 ・1次中継局からは2次中継局の短縮番号001～099を中継送信先として指定できます。また、中継送信先を2次中継局のグループで指定する場合は、短縮番号100以上を中継送信先にすることができます。

操作手順

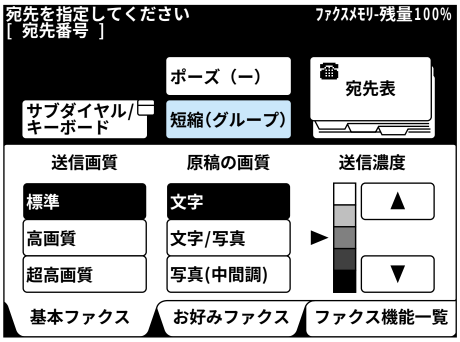
参照

●「2-2　原稿をセットする」を参照してください。

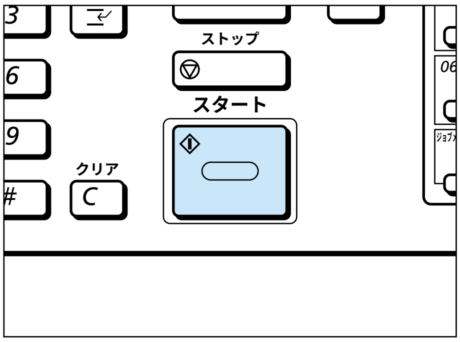
1 原稿をセットします。



2 中継同報が登録されている短縮番号を指定します。



3 [スタート] を押します。



PB信号方式の場合

PB信号方式では、次ページのダイヤル指示で、リモート中継同報することができます。

●パスワード

事前に登録した2けたの数字のパスワード
(工場出荷時は設定されていません。パスワードを設定する場合は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。)

●中継局ID

1次中継局に登録されている指示局の短縮番号

●短縮番号

1次中継局に登録されている2次指示局の短縮番号

また、FAX信号方式と同様に1次中継局、2次中継局に以下の登録が必要です。

登録先	登　録　内　容
1次中継局	● 指示局を短縮番号001～099のいずれかに登録し、その中継指示局登録を する に設定します。 ● 2次中継局を短縮番号の001～099のいずれかに登録します。 ・2次中継局に登録されている1次中継局の短縮番号を中継局IDとして登録します。 ・2次中継局に登録されている中継送信先の短縮番号を同報送信宛先として登録します。
2次中継局	● 1次中継局に登録されている指示局の短縮番号と同じ番号に1次中継局を登録し、中継同報指示局を する に設定します。 ● 中継送信先を短縮番号001～099に登録します。

以下の2とおりの方法があります。

●自動送信(受話器をあげずに送信)、または短縮ダイヤルに登録する場合

● 本機種から本機種に対してのみ、指示が可能です。

ダイヤル指示の形式は、以下のとおりです。

| 1次中継局電話番号 | ! | ＊ | $ | # | ¥ | パスワード | 中継局ID | ¥ | # | 短縮番号 | # | # | $ |

参照
●「2-2　原稿をセットする」を参照してください。

補足
●ダイヤル回線で使用している場合は、電話番号の直後に : を入力してください。

1 **原稿をセットします。**

2 **サブダイヤル/キーボード を2回選択し、タッチパネルディスプレイ上にキーボードを表示し、以下の形式を入力します。**

| 1次中継局電話番号 | ! | ＊ | $ | # | ¥ | パスワード | 中継局ID | ¥ | # | 短縮番号 | # | # | $ |

複数の中継同報を行う場合には、 次宛先 を押して指示します。

3 **スタート を押します。**

●手動で(受話器をあげて)送信する場合

● PB信号を送出可能なG3ファクスから本機に対して手動送信することができます。

ダイヤル指示の形式は、以下のとおりです。

1次中継局電話番号 「ピープルプル」音を確認 ＊ 「ピーピーピー」音を確認 # パスワード 中継局ID # 短縮番号 # #

参照
●「2-2　原稿をセットする」を参照してください。

補足
●ダイヤル回線で使用している場合は、電話番号を入力後、PB信号に切り替えてください。

1 **原稿をセットします。**

2 **受話器をとります。**

3 **以下の手順で入力します。**

1次中継局電話番号 「ピープルプル」音を確認 ＊ 「ピーピーピー」音を確認 # パスワード 中継局ID # 短縮番号 # #

4 **スタートボタンを押します。**

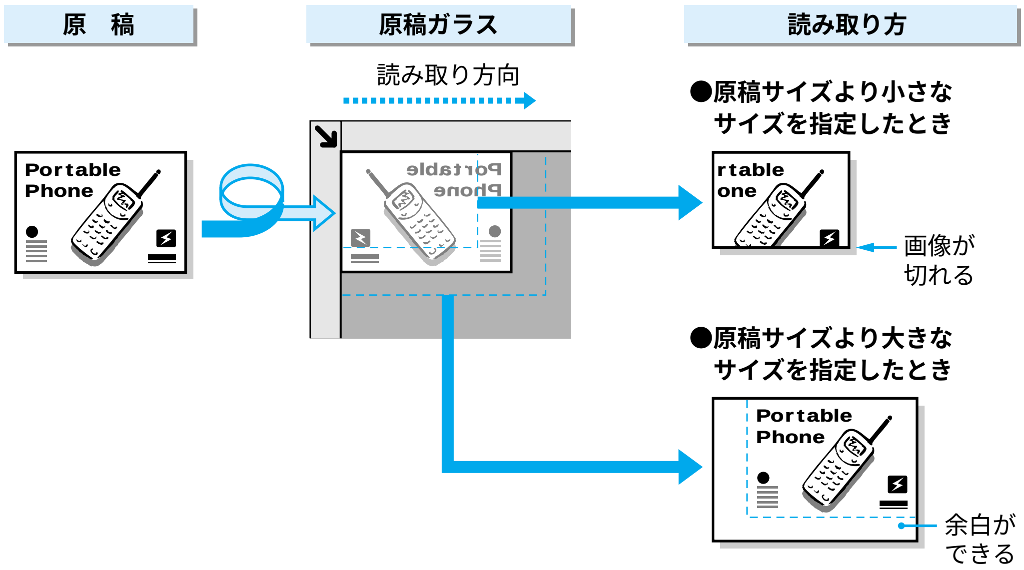
(機種によりスタート指示の方法は異なります。)

7-4 範囲や倍率を指定して送信する(読み取り指定)

原稿のサイズにかかわりなく、指定したサイズや倍率で原稿を読み取ります。
意図的に余白を設けたり、余分な部分を削除して送信することができます。
また倍率を指定すると読み取った原稿を指定した倍率に拡大/縮小して送信します。
原稿サイズを指定したときの読み取り方は、原稿ガラスを使う場合と、自動両面原稿送り装置を使う場合で、次のように異なります。

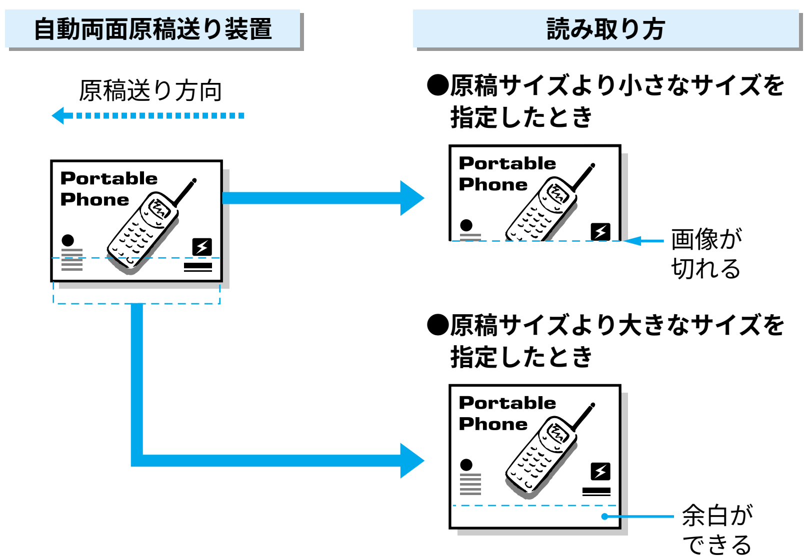
●原稿ガラスを使うとき

原稿の幅/長さともに指定されたサイズで読み取ります。

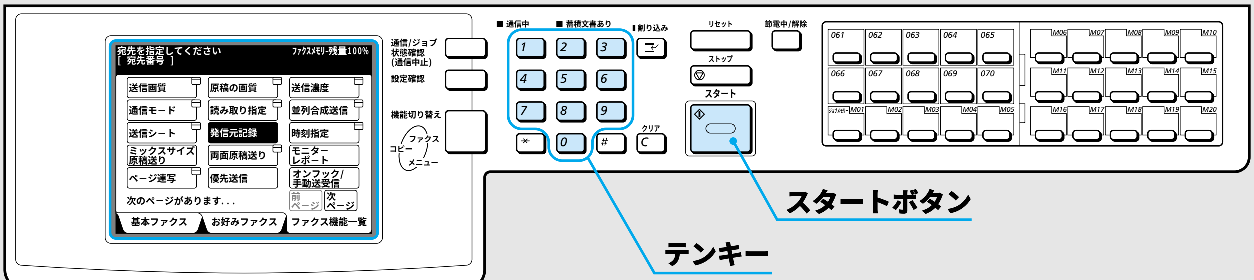


●自動両面原稿送り装置を使うとき

原稿の幅は指定されたサイズで読み取りますが、原稿の長さは原稿サイズのまま読み取ります。

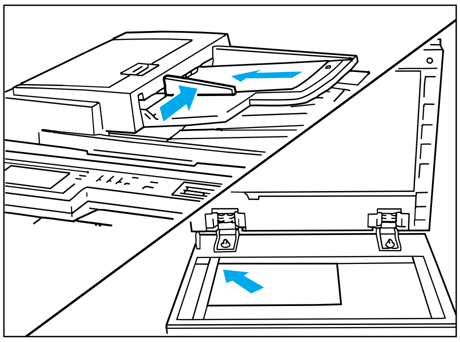


ここで使うボタン



操作手順

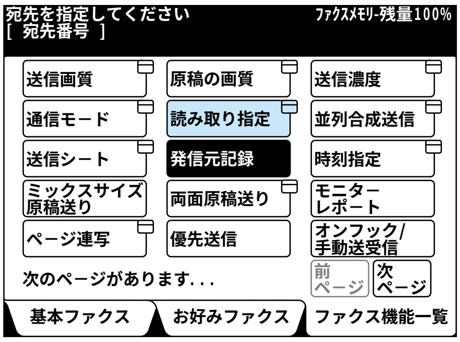
1 原稿をセットします。



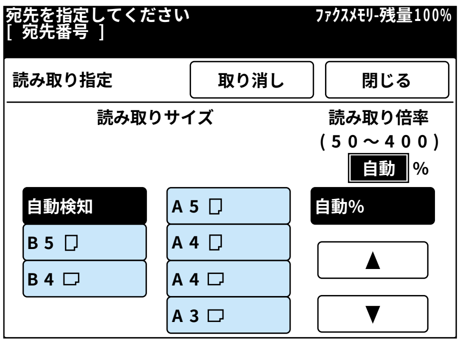
参照

● 「2-2　原稿をセットする」を参照してください。

2 ファクス機能一覧画面の 読み取り指定 を選択します。



3 読み取りサイズを選択します。



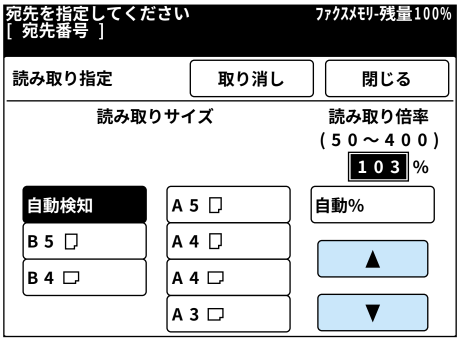
補足

● 原稿サイズと同じ大きさで読み取る場合には、自動検知 を選択します。

参照

●最大蓄積サイズについては、「8-2 短縮ダイヤルに登録する」の「最大蓄積サイズを設定する」を参照してください。

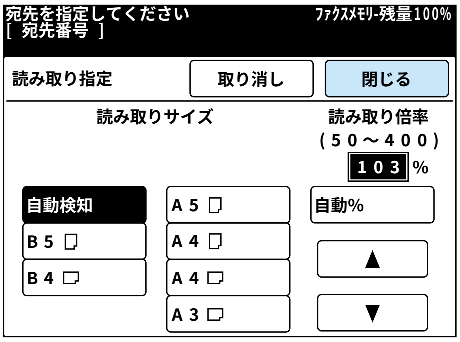
4 倍率を指定する場合には、[▲] [▼] を選択して設定します。



●読み取り倍率の [自動%] は最大蓄積サイズが原稿サイズよりも小さい場合、収まるサイズまで縮小して読み取る機能です。

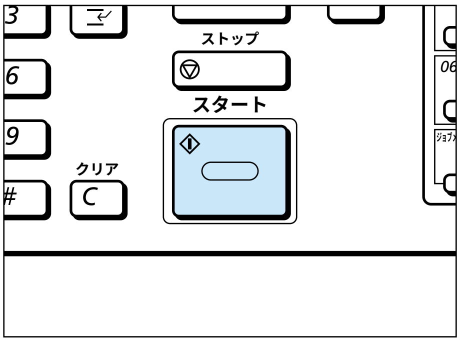
●倍率を指定する場合は、自動回転送信されません。

5 [閉じる] を選択します。



6 相手先を指定し、[スタート] を押します。

原稿が読み取られ、送信が開始されます。



参照

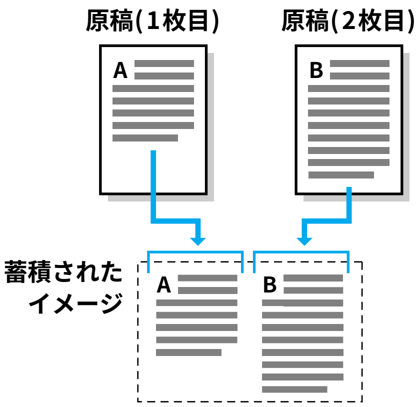
●「3-3 相手先を指定する」を参照してください。

7-5 複数の原稿を1枚に合成して送信する(並列合成送信)

自動両面原稿送り装置を使用して、複数枚の原稿を1枚の原稿に合成して送信することができます。
原稿の長さに関係なく、前の原稿の後ろに次の原稿が合成されます。

たとえば、2枚の原稿を合成する場合には、以下のようになります。

● 原稿を合成した結果原稿が長くなると、受信側で分割される場合があります。



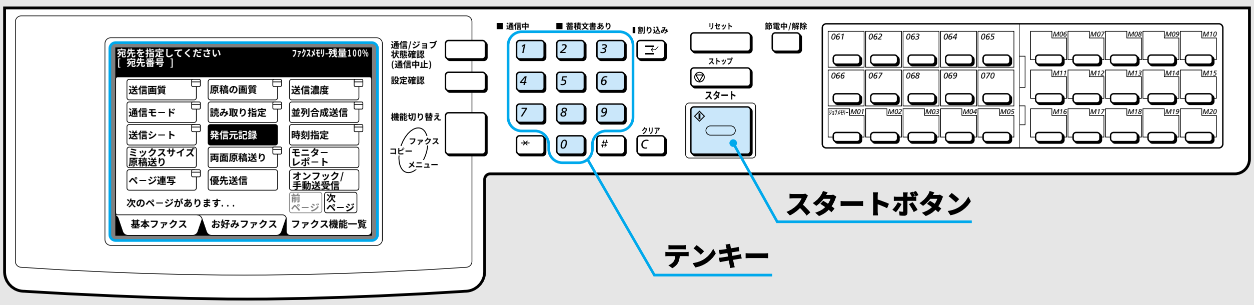
参照

● 自動両面原稿送り装置にセットできる原稿については、「2-1　原稿について」を参照してください。

補足

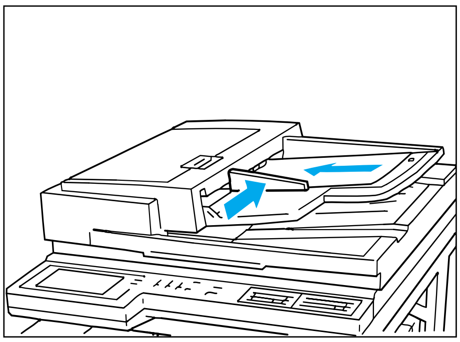
● 合成できる枚数は、最大9枚までです。
● 指定枚数よりも原稿の枚数が少ない場合は、読み取った分の原稿のみを合成して送信します。

ここで使うボタン



操作手順

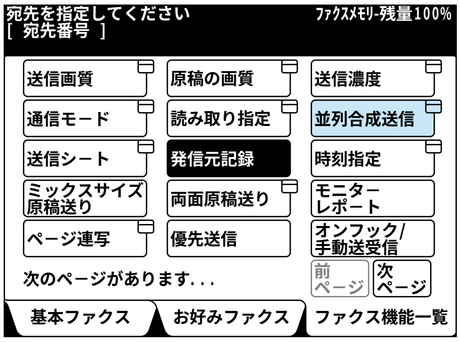
1 自動両面原稿送り装置に原稿をセットします。



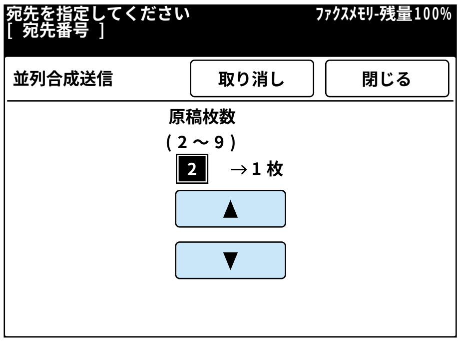
参照

●「2-2　原稿をセットする」を参照してください。

2 ファクス機能一覧画面の 並列合成送信 を選択します。

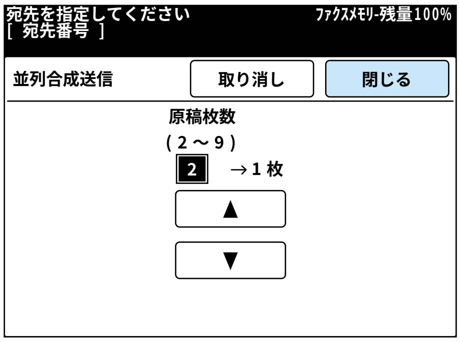


3 原稿の枚数を ▲ ▼ で指定します。



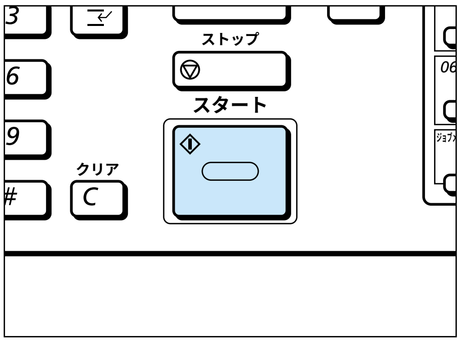
4 閉じる を選択します。

並列合成送信 が白黒反転表示されます。



5 相手先を指定し、 スタート を押します。

原稿が読み取られ、送信が開始されます。



参照

●「3-3　相手先を指定する」を参照してください。

●送信した文書の確認や中止の方法については、「第4章　通信の中止と通信状態の確認」を参照してください。

7-6 表紙をつけて送信する(送信シート)

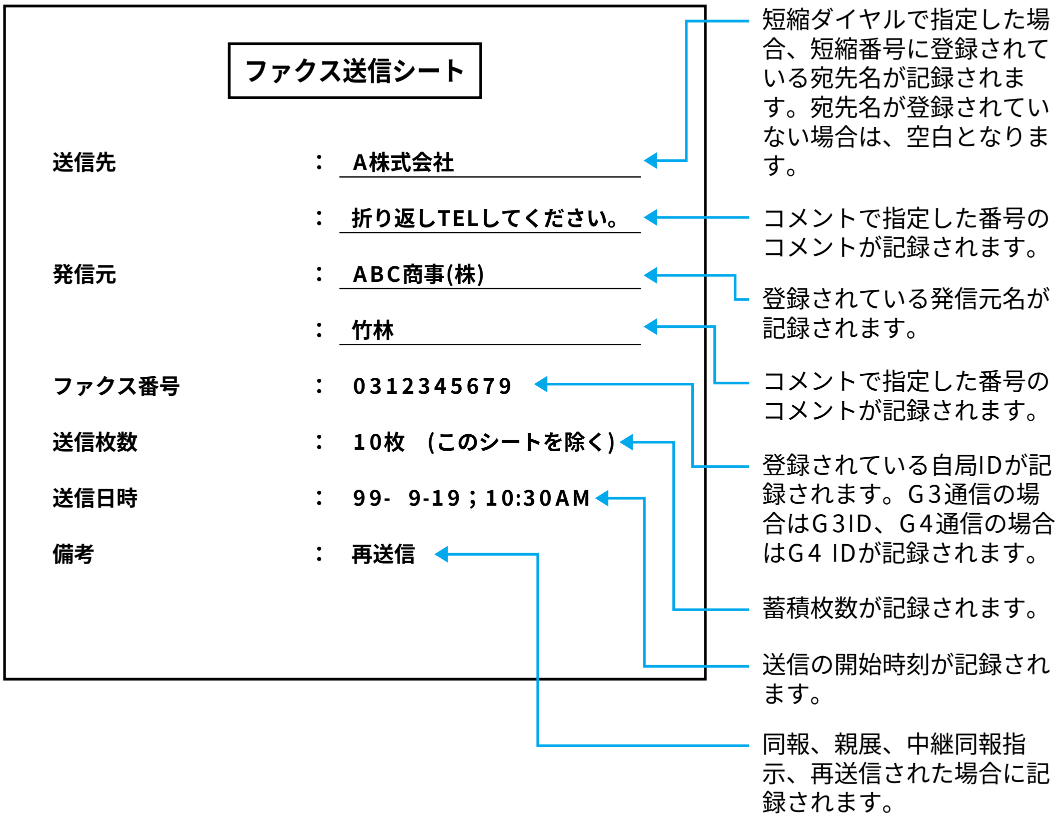
参照

● 設定方法は、「8-2　短縮ダイヤルに登録する」を参照してください。

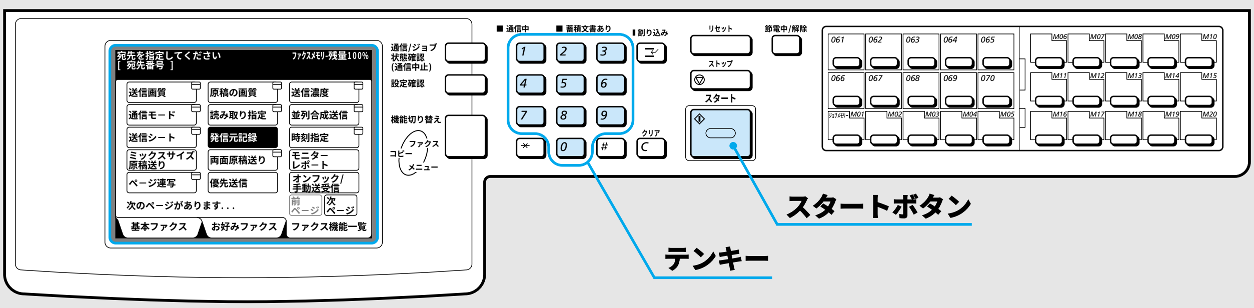
● コメント登録については、「8-10　コメントを登録する」を参照してください。

送信シートとは、原稿の先頭ページに表紙をつける機能です。
送信シートには、送信先、コメント、発信元名、こちらの電話番号、送信枚数、送信日時、備考が記載されます。

● 送信シートは、短縮ダイヤルに設定することができます。短縮ダイヤルに登録し、その短縮ダイヤルで相手先を指定したときは次ページからの操作は不要になります。
● 発信元記録 を設定した場合、送信シート自体には、発信元記録は記載されません。
● 同報をテンキーで指示する場合には、送信シート機能は使用できません。必要な場合、短縮ダイヤルに登録してください。
● 送信シートのサイズおよび解像度は、原稿の1ページめに準じます。
● コメントは、あらかじめ登録が必要です。



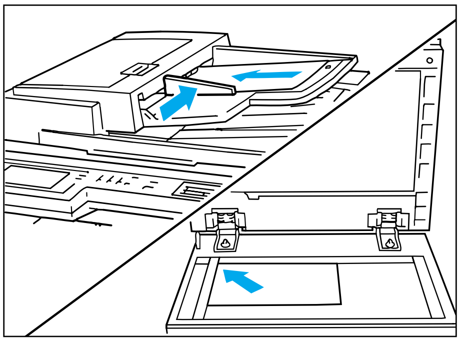
ここで使うボタン



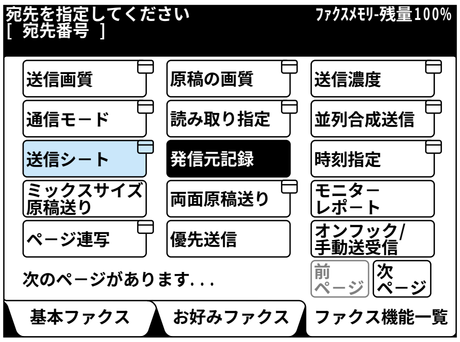
操作手順

参照
●「2-2　原稿をセットする」を参照してください。

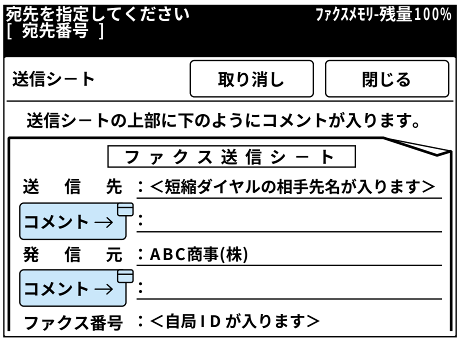
1 原稿をセットします。



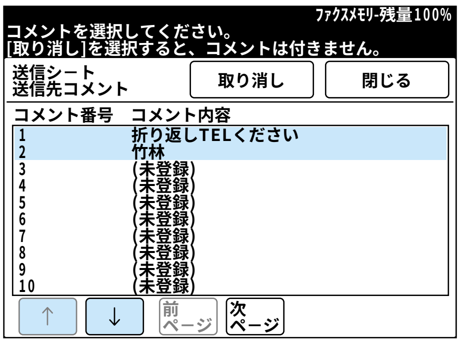
2 ファクス機能一覧画面の［送信シート］を選択します。



3 コメントを入れる場合には、送信先または発信元の［コメント →］を選択します。

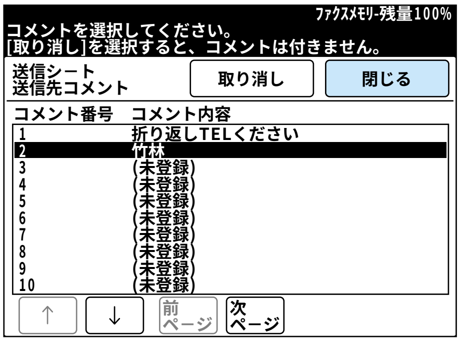


4 コメント番号を直接指で触れるか［↑］［↓］を使って選択します。



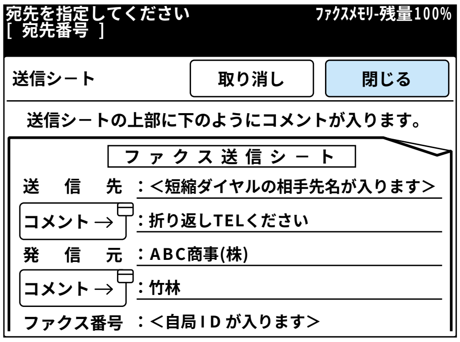
5 閉じる を選択します。

送信先コメントも発信元コメントも同様に選択します。



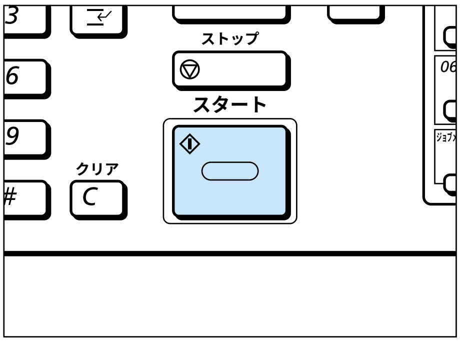
6 閉じる を選択します。

送信シート が白黒反転表示されます。



7 相手先を指定し、スタート を押します。

原稿が読み取られ、送信が開始されます。



参照

● 電話番号の指定方法については、「3-3　相手先を指定する」を参照してください。

7

便利な機能を使った通信

7-7 こちらの名前や番号をつけて送信する(発信元記録)

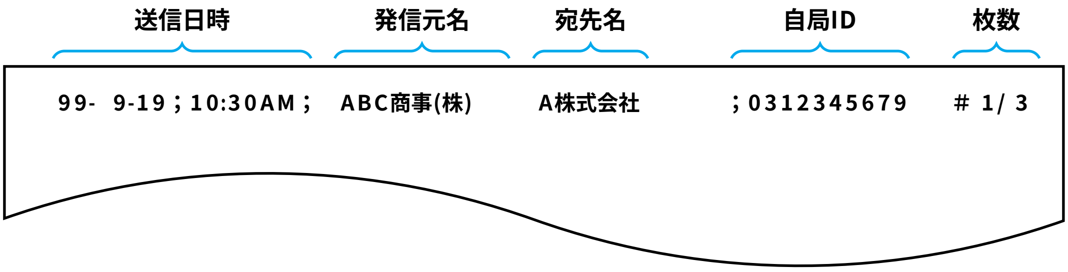
補足

● 工場出荷時の 発信元記録 は あり に設定されています。初期値を変更したいときは、「9-1 仕様設定について」を参照してください。

参照

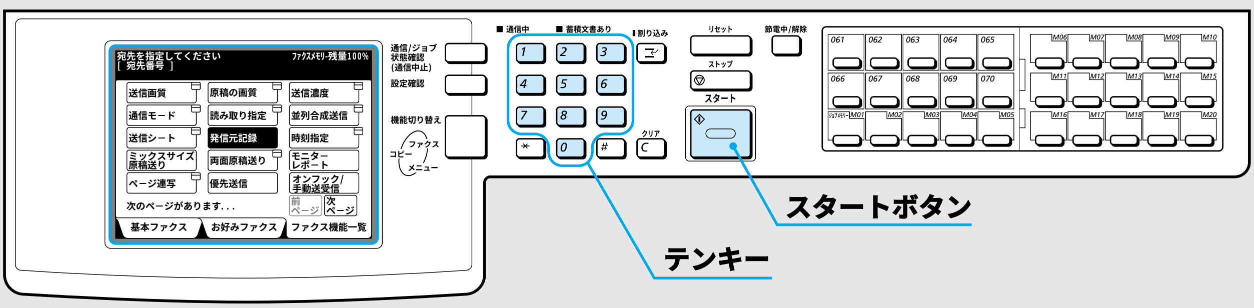
● 発信元名、自局IDの登録については「8-5 発信元名を登録する」「8-6 G3 IDと回線を設定する」「8-7 G4 IDを設定する」を参照してください。

発信元記録とは、相手先に出力する文書に発信元名、送信日時、自局ID、枚数をつけて送信する機能です。
相手先でいつどこから送信された文書なのかが、確認しやすくなります。



● 発信元記録は、原稿のデータの先端に上書きするため、相手側が受信する文書の先端の情報が約5mm程度欠ける場合があります。
● 宛先名は、短縮登録されているものだけが記録されます。
● 再送された文書の場合は、送信日時の左側に「再送」と印字されます。
● 同報で発信元記録をつける場合は、すべての相手先に発信元記録をつけて送信します。

ここで使うボタン

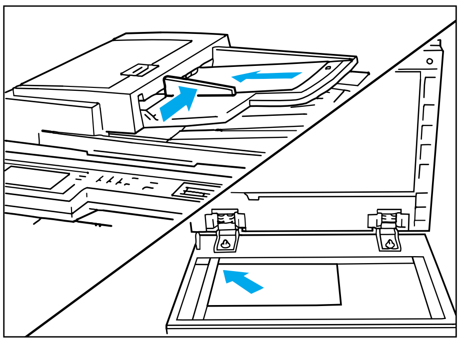


操作手順

参照

● 「2-2 原稿をセットする」を参照してください。

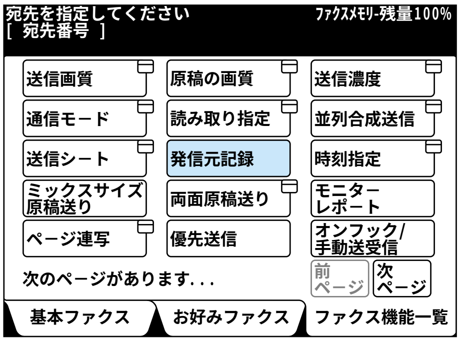
1 原稿をセットします。



7 便利な機能を使った通信

2 ファクス機能一覧画面の 発信元記録 を選択します。

発信元記録 が白黒反転表示されます。

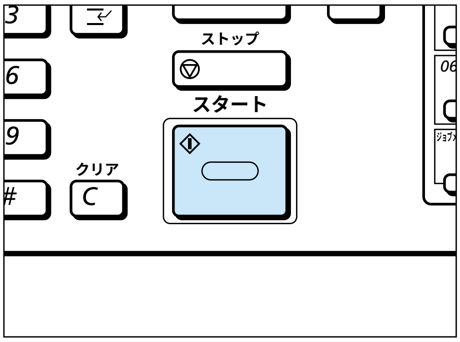


補足

- 工場出荷時は発信元記録がつくように設定されています。通常、選択する必要はありません。 発信元記録 が白黒反転表示されていることを確認してください。

3 相手先を指定し、 スタート を押します。

原稿が読み取られ、送信が開始されます。



補足

- 電話番号の指定方法については、「3-3　相手先を指定する」を参照してください。

7-8 時刻を指定して通信する(時刻指定)

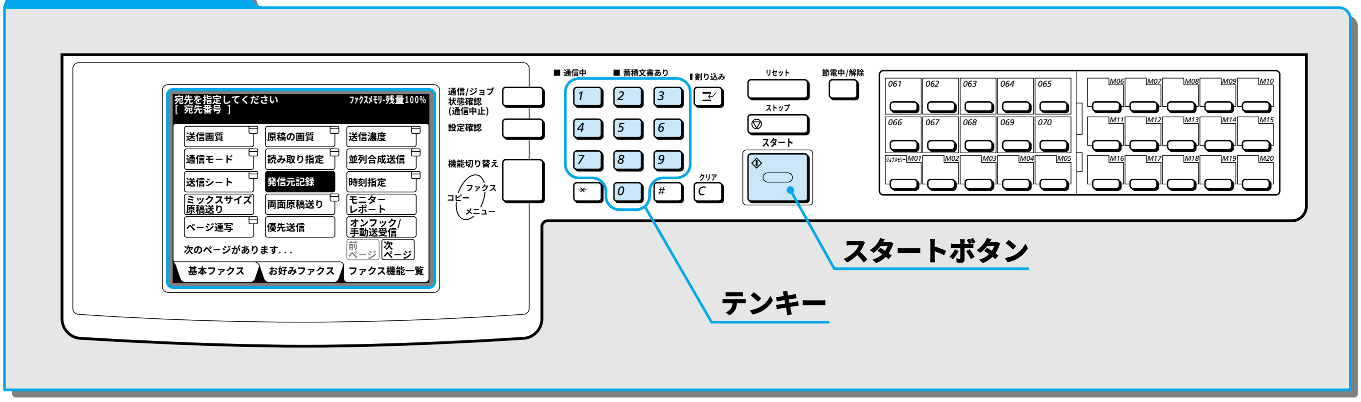
指定した時刻に通信を開始します。
電話料金の安い深夜などを利用して、通信するときなどに便利です。

- 指定できる時刻は、24時間以内です。日付の指定はできません。
- 短縮ダイヤルに登録しておくこともできます。ただし、同報送信時、短縮ダイヤル、またはグループで相手先を指定した場合は、短縮ダイヤルに登録されている時刻指定は無効になります。
- 指定時刻に回線が使用中などの理由で送信できなかった場合は、通信可能になり次第送信します。

注記

- 時刻指定機能が設定されている場合に電源を切ったり、停電があった場合は、時刻指定の設定は取り消され、電源が入った時に通信を開始します。

ここで使うボタン

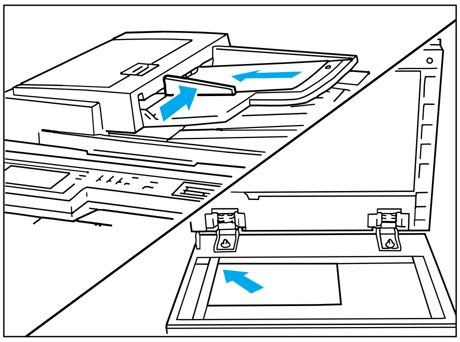


操作手順

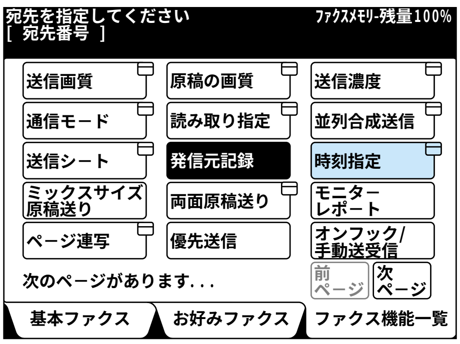
参照

●「2-2　原稿をセットする」を参照してください。

1 送信の場合は、原稿をセットします。



2 ファクス機能一覧画面の [時刻指定] を選択します。



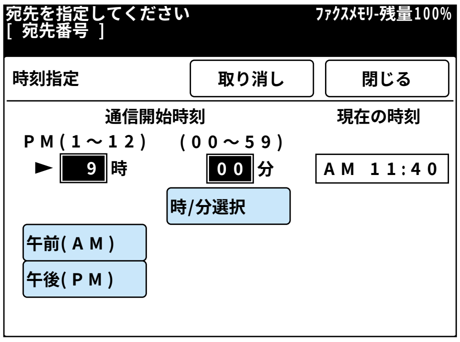
参照

● 初期値は、午後9時に設定されています。設定を変更する場合は、「9-1　仕様設定について」を参照してください。

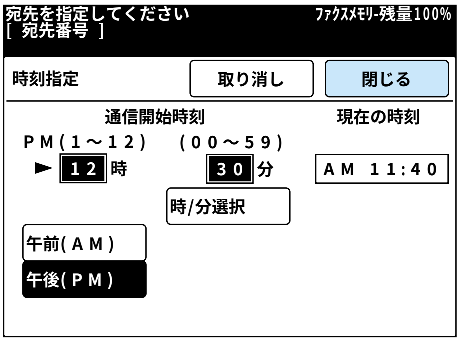
3 時刻を設定します。

時/分選択 で時または分を選択し、テンキーで入力します。また、午前(AM) / 午後(PM) を選択します。

● 24時間表示の場合は、午前(AM) と 午後(PM) は表示されません。



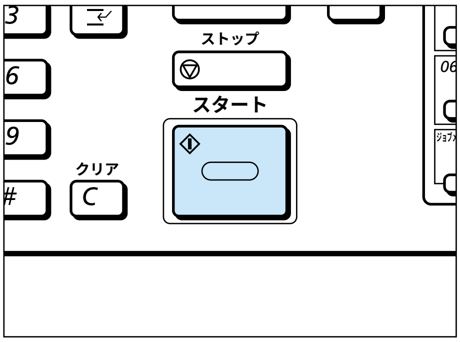
4 閉じる を選択します。



5 相手先を指定し、スタート を押します。

送信の場合は、原稿が読み取られ、メモリーに蓄積されます。

● 指定時刻を過ぎてから スタート を押した場合は、翌日の指定時刻に送信します。



参照

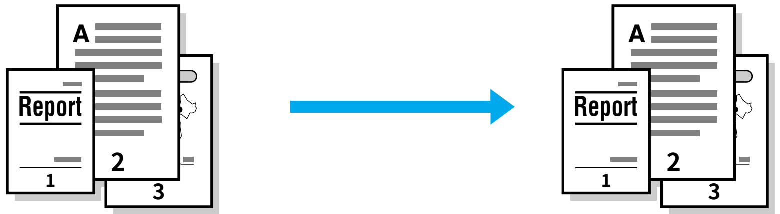
● 「3-3　相手先を指定する」を参照してください。

● 時刻指定通信を設定した文書を取り消す方法については、「第4章　通信の中止と通信状態の確認」を参照してください。

7-9 異なるサイズの原稿を一度に送信する（ミックスサイズ原稿送り）

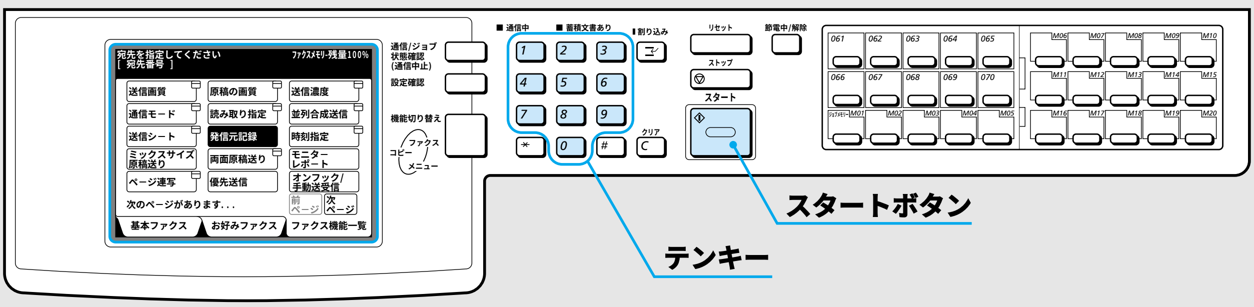
サイズの異なる原稿を一度に読み取ることができます。

異なるサイズの原稿　　**それぞれの原稿サイズを検知して読み取る**



● ミックスサイズ原稿送り機能を使う場合は、原稿サイズを検知できるA5▯からA3までの定形サイズの原稿をセットしてください。
● 読み取り指定機能を設定した場合は、指定した読み取りサイズで読み取られます。
● 並列合成送信と併用させると、ミックスサイズ原稿送りは機能しません。

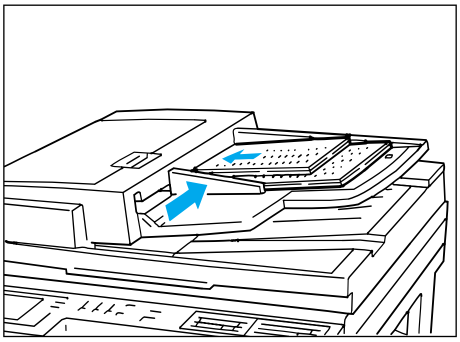
ここで使うボタン



操作手順

1 原稿を自動両面原稿送り装置にセットします。

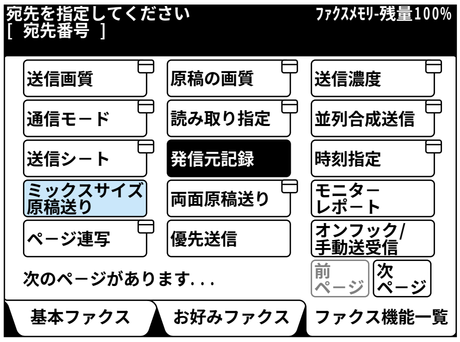
右図のようにすべての原稿を原稿ガイド(固定)側にそろえて当て、原稿ガイド(可動)を最大原稿幅の位置に合わせます。



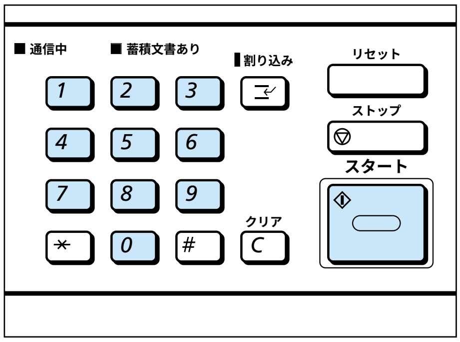
補足

● 原稿をクリップやホチキスでとめている場合ははずします。

2 ファクス機能一覧画面の ミックスサイズ原稿送り を選択します。



3 相手先を指定し、 スタート を押します。



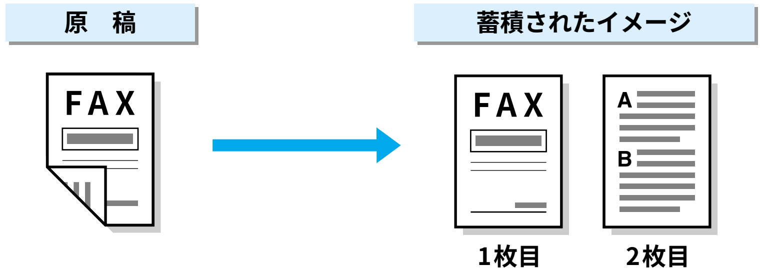
7

便利な機能を使った通信

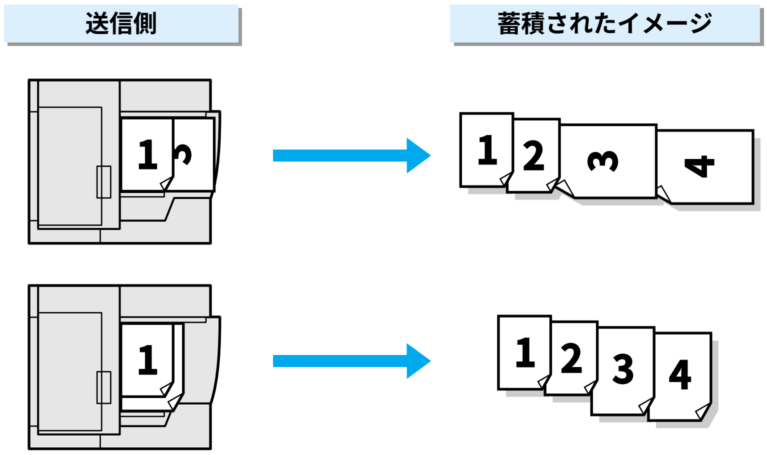
7-10 両面原稿を送信する(両面原稿送り)

自動両面原稿送り装置を使用して、両面原稿を自動的に読み取って送信します。

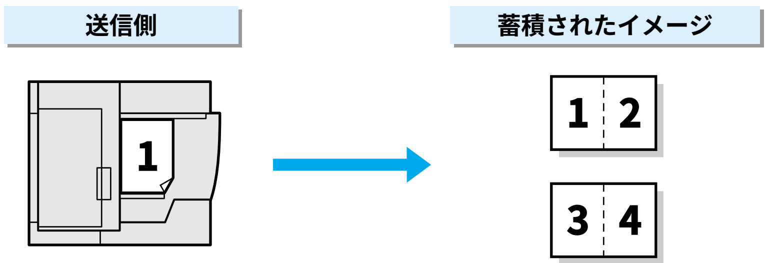
●基本的な両面原稿の送信



●異なるサイズの両面原稿の送信（ミックスサイズ原稿送り選択時）



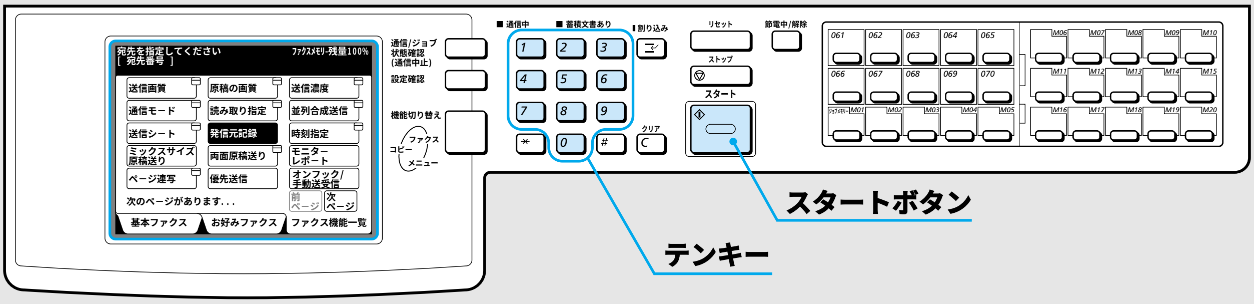
●並列合成送信との併用による両面原稿の送信



補足

- メモリーがいっぱいになったときには、両面送信できません。タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されたときには、メッセージに従ってください。
- [両面原稿送り] 選択中は原稿ガラスから原稿を読み取ることはできません。
- 並列合成送信と同時に [表紙のうら面は送信しない] を選択した場合は、1枚めの原稿は合成されません。発信元記録は合成後の各ページの先端部分に記録されます。

ここで使うボタン

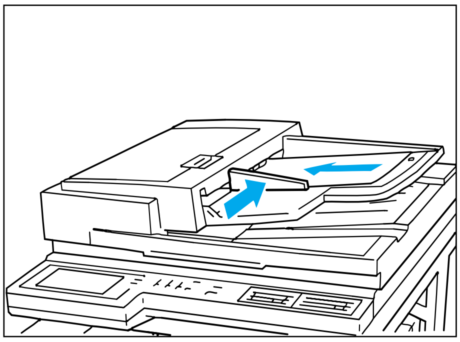


操作手順

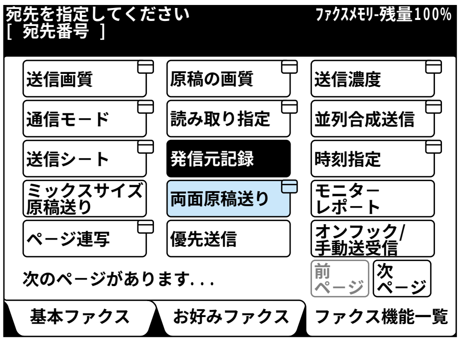
参照

●「2-2　原稿をセットする」を参照してください。

1 自動両面原稿送り装置に原稿をセットします。



2 ファクス機能一覧画面の 両面原稿送り を選択します。



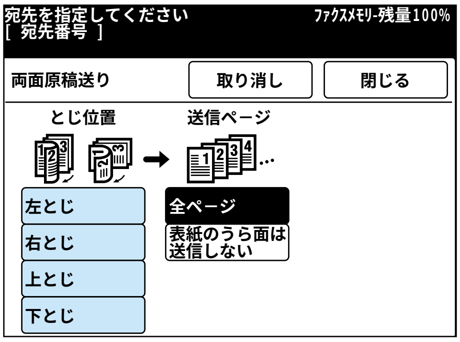
7

便利な機能を使った通信

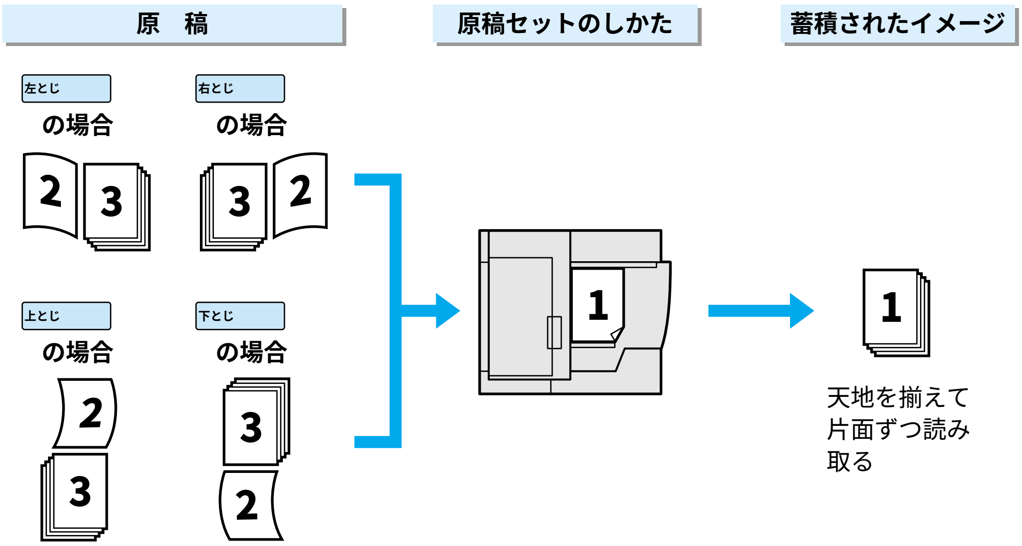
補足

- 左とじ 、 右とじ 、 上とじ 、 下とじ の選択が異なると相手先で天地の向きが正しくプリントされません。
- 上とじ または 下とじ が選択されている場合、原稿の裏面は反転して送信されます。
- 表紙のうら面は送信しない を選択した場合、多量の原稿を小分けに蓄積することはできません。 次の原稿あり を選択後の1枚めの原稿は表紙として認識され、うら面が送信されません。自動両面原稿送り装置の収容枚数の範囲内で送信してください。

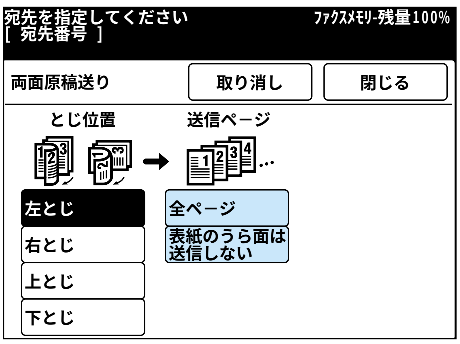
3 左とじ 、 右とじ 、 上とじ 、 下とじ を原稿のとじ位置に応じて選択します。



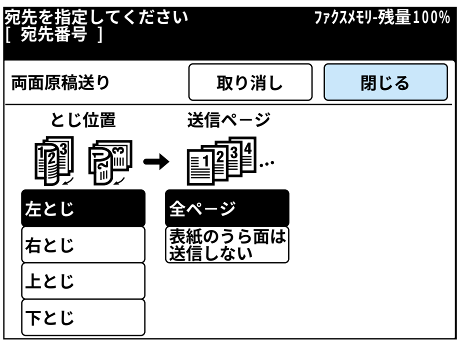
●原稿のセットのしかたと相手先でのプリントのされかた



4 全ページを両面送信する場合は 全ページ を、1枚目のうら面を送信しない場合は 表紙のうら面は送信しない を選択します。



5 閉じる を選択します。

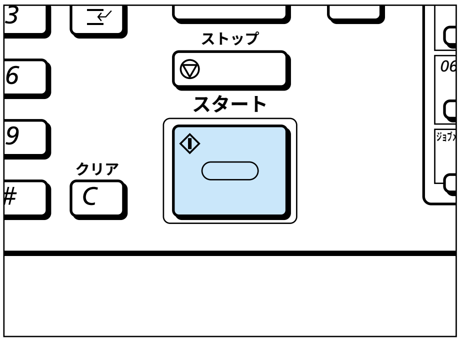


補足

- 取り消し を選択すると設定が取り消されます。

6 **相手先を指定し、 スタート を押します。**

原稿が読み取られ、送信されます。



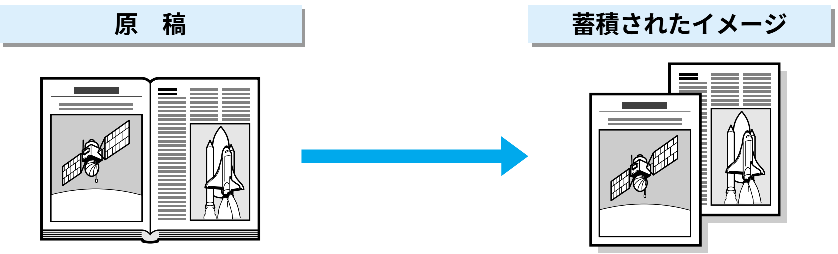
参照

●「3-3　相手先を指定する」を参照してください。

7 便利な機能を使った通信

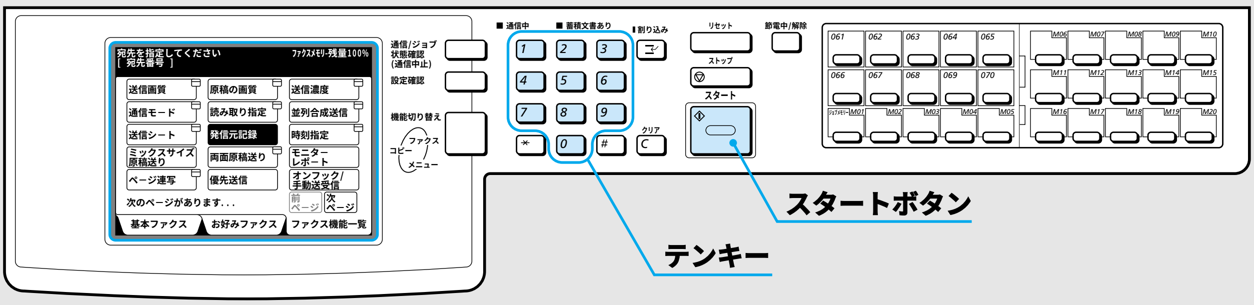
7-11 見開き原稿を左右に分割して送信する（ページ連写）

とじた原稿の見開きページを別々に読み取り送信することができます。



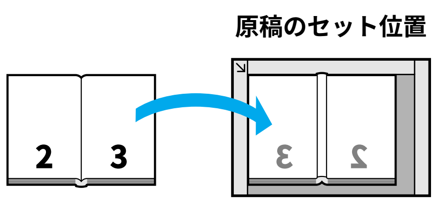
● ページ連写機能は、自動両面原稿送り装置に原稿をセットしたときは使用できません。
● 定型でない原稿や、サイズを検知できない原稿などは、正確に2等分されない場合があります。

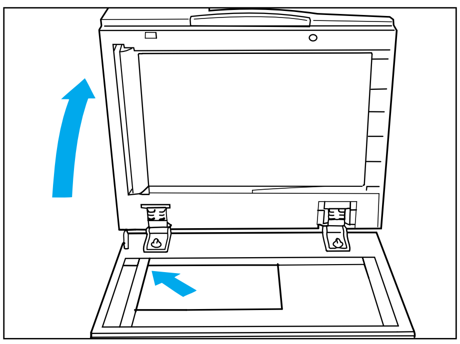
ここで使うボタン



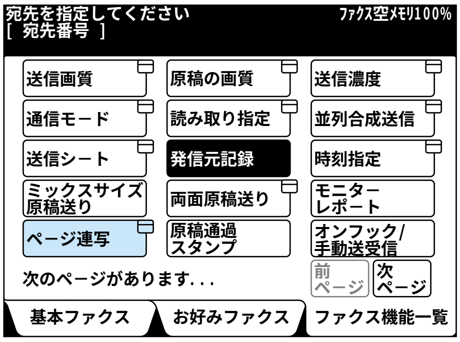
操作手順

1 **原稿ガラスに原稿をセットし、原稿カバーを閉じます。**



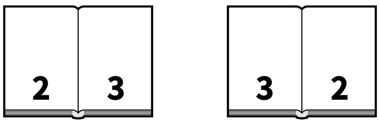


2 ファクス機能一覧画面の ページ連写 を選択します。

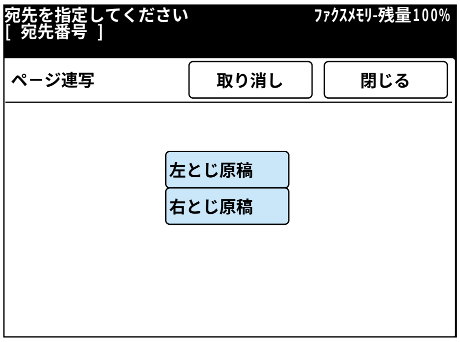


3 左とじ原稿 または 右とじ原稿 を選択します。

左とじの原稿　　右とじの原稿



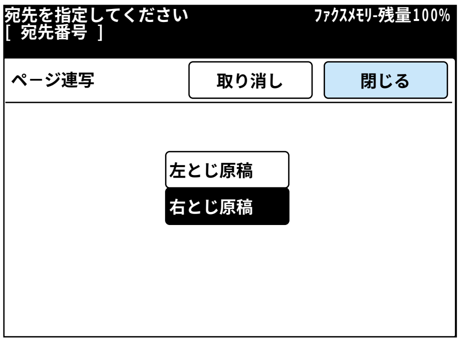
ここでは、例として 右とじ原稿 を選択します。



補足

● 左とじ原稿 と 右とじ原稿 を間違って選択すると、ページ順で読み取りされません。

4 閉じる を選択します。

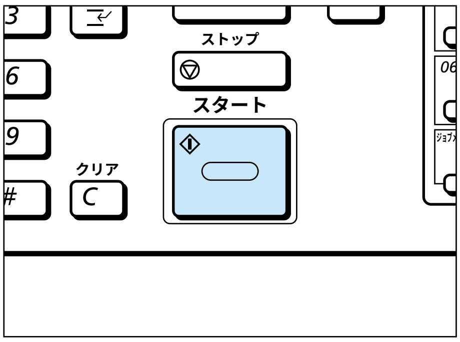


補足

● 取り消し を選択すると設定が取り消されます。

5 相手先を指定し、 スタート を押します。

原稿の見開きページが別々に読み取られ、送信されます。



参照

●「3-3　相手先を指定する」を参照してください。

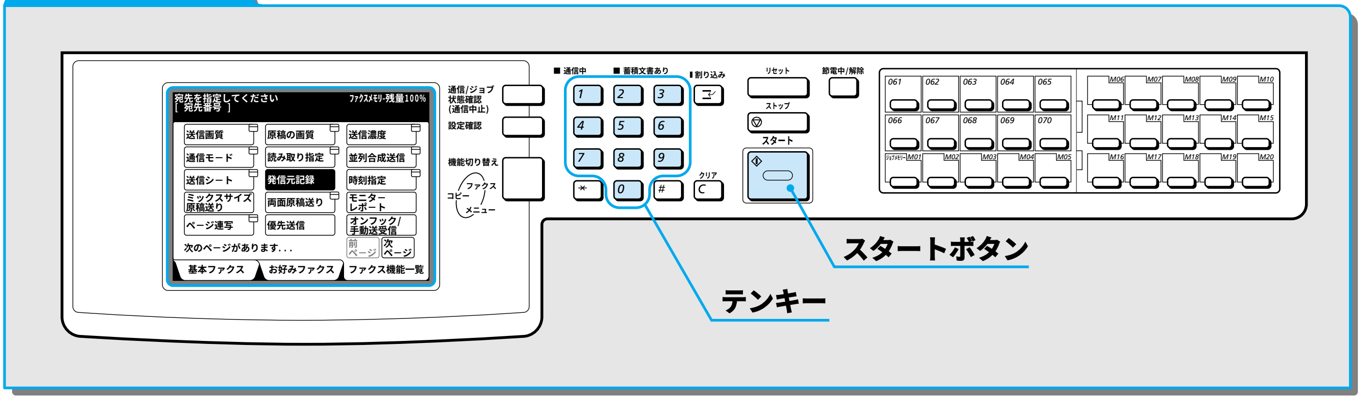
7 便利な機能を使った通信

7-12 急ぎの通信があるとき(優先送信)

すでに予約されている通信よりも、優先させて送信やポーリングすることができます。
またすでに予約されている通信（実行待ち）を優先させることもできます。

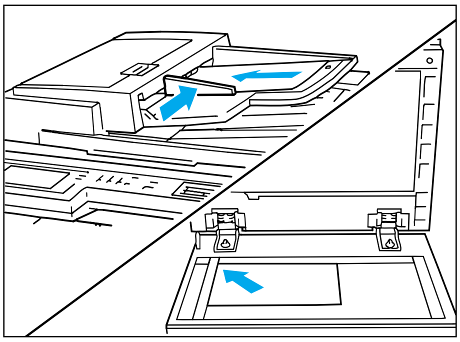
- 通信中に優先送信を行う場合は、その通信が終わってから送信されます。
- 時刻指定した場合は設定した時間に優先して送信されます。
- 再送信となった場合は、設定しているリダイヤル間隔をとったあと、優先して送信されます。
- 実行待ちの通信を優先させる場合は、「4-2　通信状態を確認する」の「通信待ち文書の確認」を参照してください。ただし、すでに優先させている通信を優先させることはできません。
- 同報先または集信先の1つ1つを個別に優先させることはできません。

ここで使うボタン



操作手順

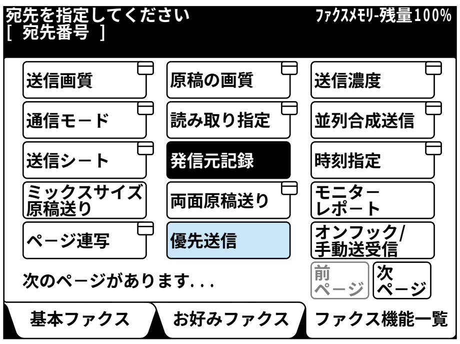
1 原稿をセットします。



補足

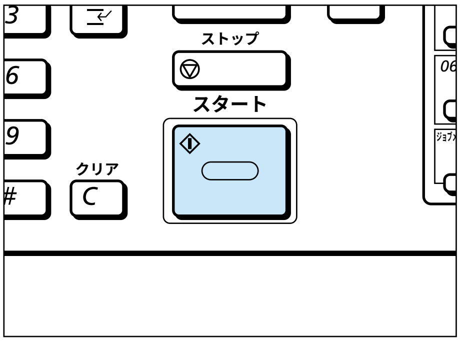
- 「2-2　原稿をセットする」を参照してください。

2 ファクス機能一覧画面の [優先送信] を選択します。



3 相手先を指定し、[◇スタート] を押します。

原稿が読み取られ、送信されます。



7-13 親展通信する(親展通信/親展ボックス)

親展通信とは、特定の人以外に見られたくない原稿を送受信する機能です。

親展通信には、以下の4つの機能があります。

●親展送信

親展送信した原稿は、相手先ファクスの親展ボックスに蓄積され、相手先で暗証番号を入力すると出力されます。

●親展受信

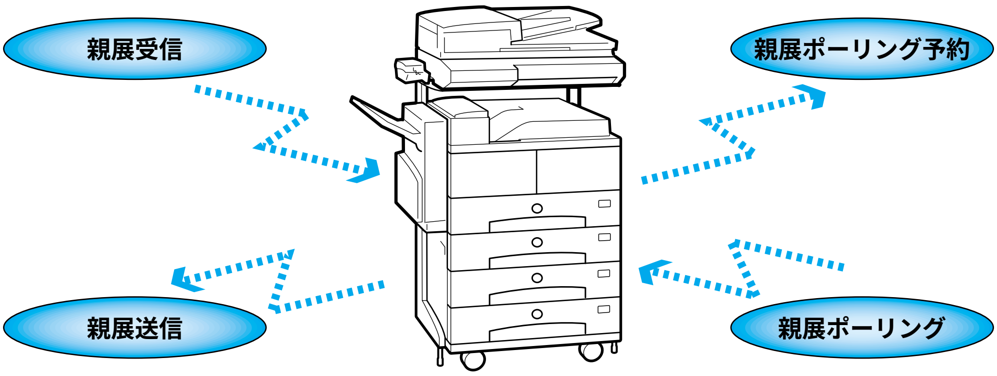
受信した文書は親展ボックスに蓄積され、暗証番号を入力し、出力を指示すると出力されます。

●親展ポーリング

親展ポーリングは、相手先の親展ボックスに蓄積されている文書を本機からの指示で送信させます。

●親展ポーリング予約

相手先からの指示で送信できるように親展ボックスに文書を蓄積しておきます。



親展送信や親展ポーリングを行うには、相手先に親展ボックスを登録しておく必要があります。
また、親展受信や親展ポーリング予約を行うには、自局に親展ボックスを登録しておく必要があります。
親展ボックスは、通信する文書を蓄積し、暗証番号の設定により他の人に文書を見られることなく通信します。

親展送信や親展ポーリングには、以下の2つの通信方式があります。

●FAX信号方式

独自の通信手順を用いているため、特定の親展通信可能機のみ使用できます。通信モードは、G3およびG4が可能です。

●PB信号方式

PB信号を送出可能で、かつ通信モードG3で手動送信、または手動受信が可能な機種であれば、本機に対して親展送信、または親展ポーリングすることができます。

FAX信号方式とPB信号方式の2つの方式に分けて、各手順で説明します。

補 足

● 暗証番号とは、親展ボックス登録時に設定する4ケタの番号です。

参 照

● 親展ボックスの登録については、「8-11 親展ボックスを登録する」を参照してください。

補 足

● 親展通信の相手機は限定されます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

7 便利な機能を使った通信

親展送信(FAX信号方式)

参照

● 短縮ダイヤルへの登録方法については、「8-2　短縮ダイヤルに登録する」を参照してください。

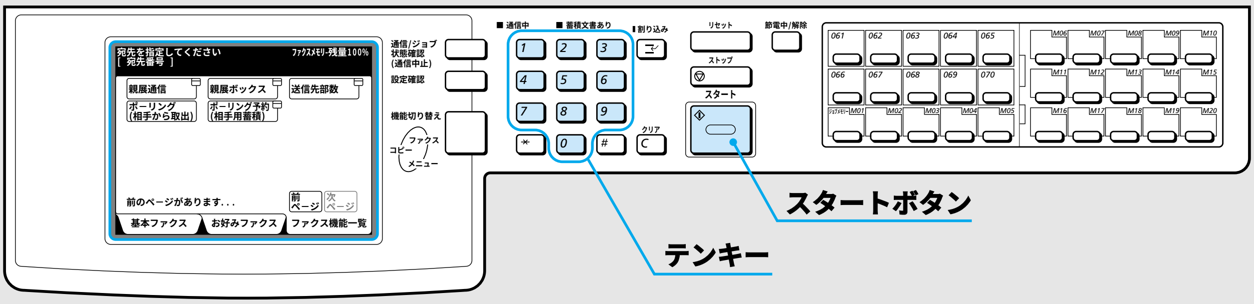
親展送信を行う場合、事前に相手先の親展ボックス番号の確認が必要です。

FAX信号方式で親展送信を行う方法には、以下の2種類の方法があります。

- **ファクス機能一覧 の 親展通信 で指示する**
- **事前に短縮ダイヤルを登録し、短縮ダイヤルする**

ここでは、ファクス機能一覧 の 親展通信 で指示する方法について説明します。

ここで使うボタン

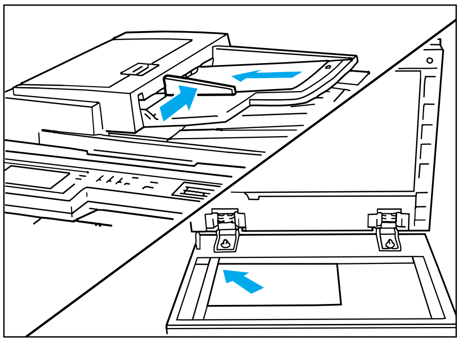


操作手順

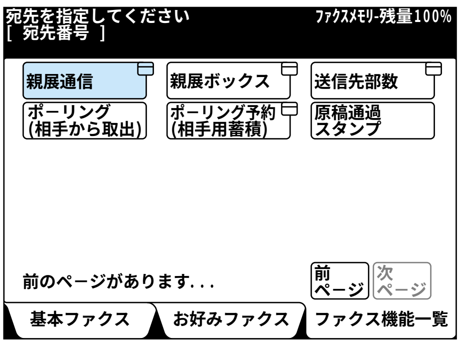
参照

●「2-2　原稿をセットする」を参照してください。

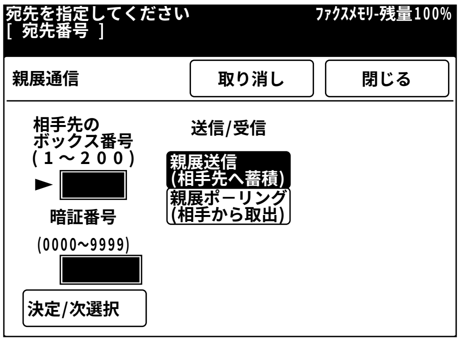
1 原稿をセットします。



2 ファクス機能一覧画面の 次ページ を選択し、親展通信 を選択します。



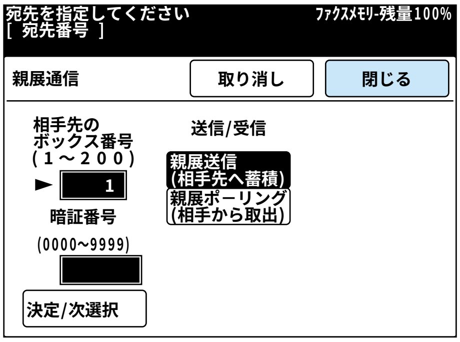
3 テンキーで相手先のボックス番号を入力します。



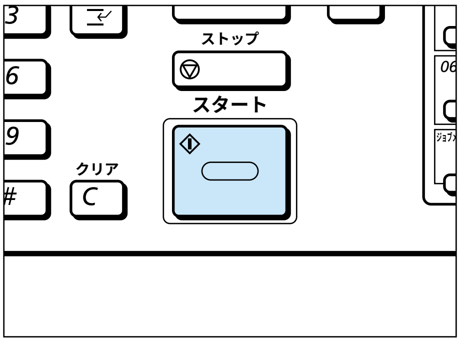
補足

● 暗証番号は、入力しなくても送信できます。暗証番号がまちがっていた場合は送信されません。

4 閉じる を選択します。



5 相手先を指定し、スタート を押します。



参照

● 電話番号の指定方法については、「3-3　相手先を指定する」を参照してください。

7 便利な機能を使った通信

親展送信(PB信号方式)

親展送信を行う場合、事前に相手先の親展ボックス番号が必要です。

PB信号方式で親展送信を行う場合、以下の2とおりの方法があります。

●自動送信(受話器をあげずに送信)、または短縮ダイヤルに登録する場合

● 本機種から本機種に対してのみ、指示が可能です。

ダイヤル指示の形式は、以下のとおりです。

相手先電話番号 **!** **＊** **$** **相手先親展ボックス番号** **#** **#** **$**

●手動で(受話器をあげて)送信する場合

● PB信号を送出可能なG3ファクスから本機に対して手動送信することができます。

ダイヤル指示の形式は、以下のとおりです。

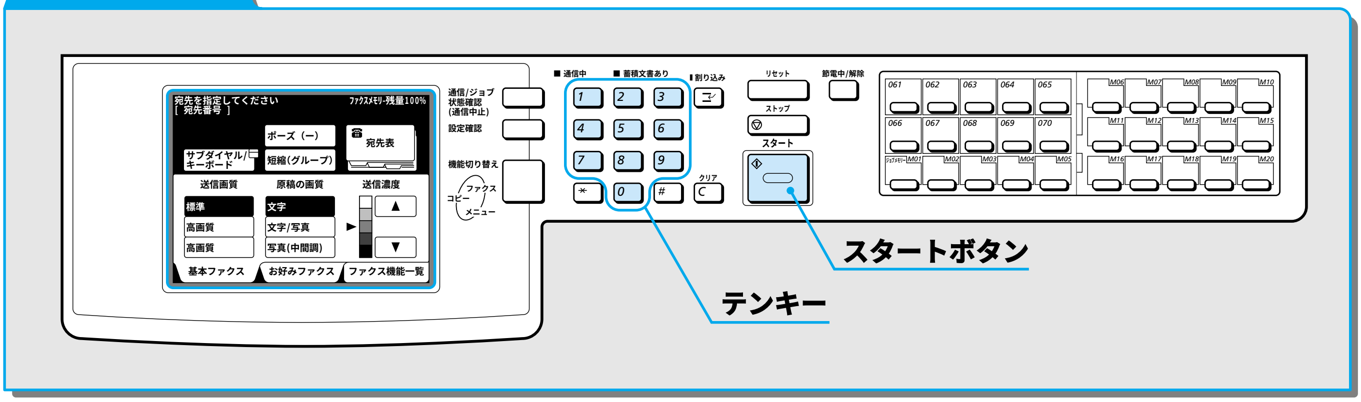
相手先電話番号 「ピープルプル」音を確認 ＊ 「ピーピーピー」音を確認 ....
相手先親展ボックス番号 # # 「ピーピーピー」と鳴ります 「スタート」の指示(機種により異なります)

ここでは、自動送信(ハンドセット(受話器)をあげずに送信)する方法を説明します。

補足

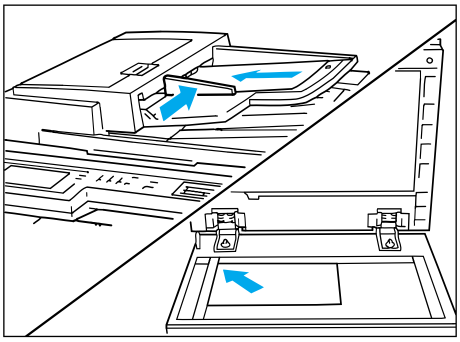
● ここでいう親展ボックス番号は、相手先に登録されている親展ボックスの番号です。
● ダイヤル回線で使用している場合は、電話番号の入力後、PB信号に切り替えてください。

ここで使うボタン



操作手順

1 原稿をセットします。



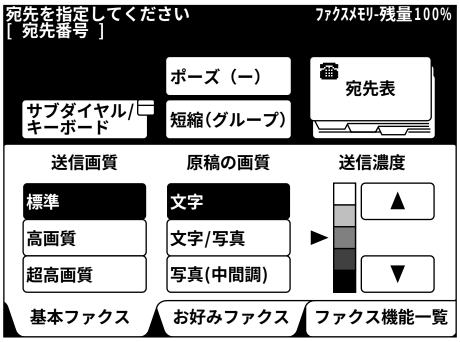
参照

●「2-2　原稿をセットする」を参照してください。

2 親展送信を指示します。

以下の形式で入力します。
「相手先電話番号」！＊＄「親展ボックス番号」＃＃＄

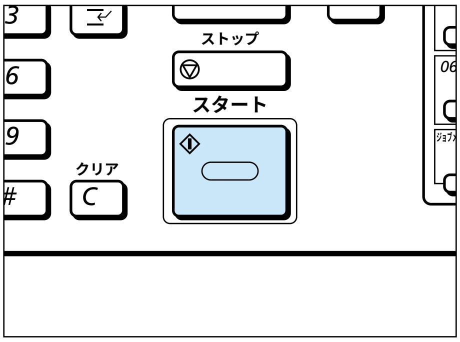
●「!」や「＊」などの記号は、サブダイヤル/キーボード を選択して入力します



参照

●「!」や「＊」などの入力のしかたについては「1-6　文字の入力のしかた」を参照してください。

3 スタート を押します。



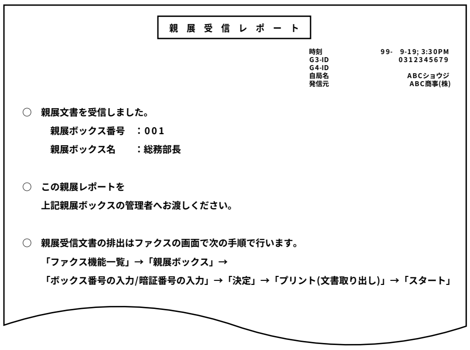
補足

●ダイヤル回線で使用している場合は、電話番号の直後に : を入力してください。

親展受信

親展受信されると **■蓄積文書あり** ランプが点灯し、親展受信レポートが出力されます。
親展受信レポートには、親展ボックス番号、ボックス名が記載されています。
ここでは、親展受信文書の出力のしかたについて説明します。

- 本機では、PB信号方式で親展受信できますが、受け付けられる信号は、数字および＊、#のみです。
- 親展受信レポートの詳細については、「10-12　親展受信レポートの見かた」を参照してください。



親展受信レポート

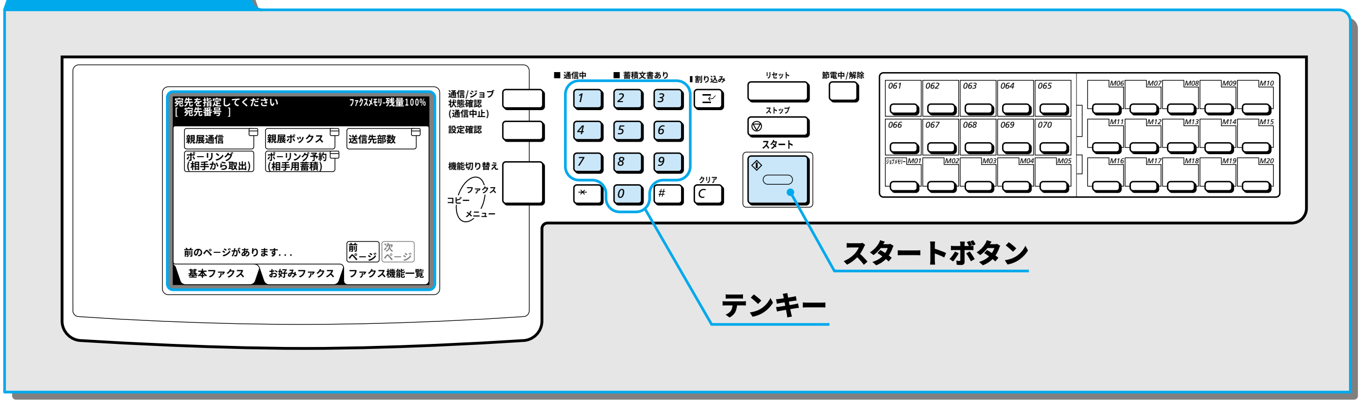
時刻 99- 9-19; 3:30PM
G3-ID 0312345679
G4-ID
自局名 ABCショウジ
発信元 ABC商事(株)

○ 親展文書を受信しました。
親展ボックス番号　：001
親展ボックス名　　：総務部長

○ この親展レポートを
上記親展ボックスの管理者へお渡しください。

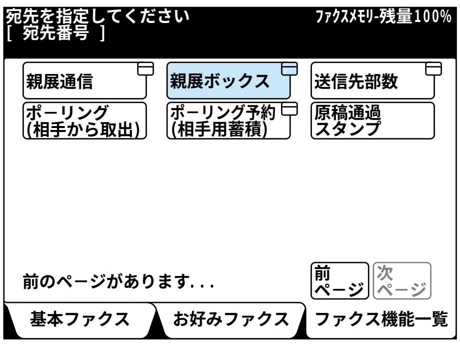
○ 親展受信文書の排出はファクスの画面で次の手順で行います。
「ファクス機能一覧」→「親展ボックス」→
「ボックス番号の入力/暗証番号の入力」→「決定」→「プリント(文書取り出し)」→「スタート」

ここで使うボタン

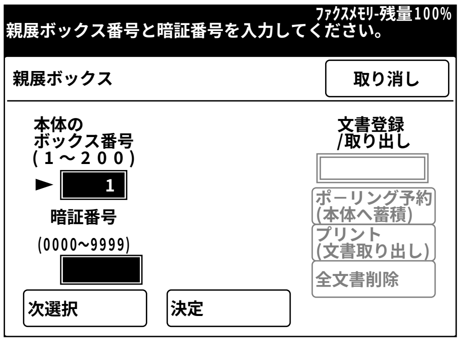


操作手順

1 **ファクス機能一覧画面の [次ページ] を選択し、[親展ボックス] を選択します。**

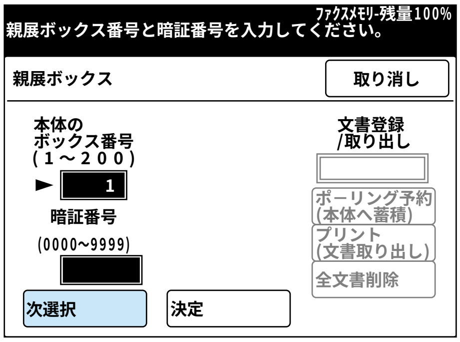


2 テンキーで親展ボックスの番号を入力します。

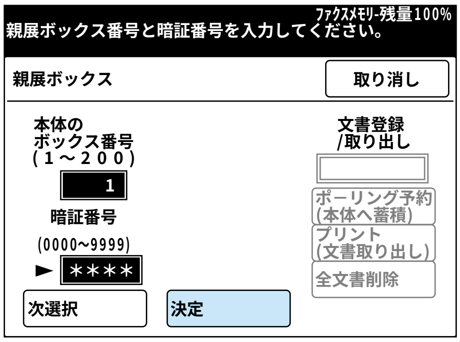


3 次選択 を選択します。

暗証番号 の左に ► が表示されます。



4 テンキーで暗証番号を入力し、決定 を選択します。

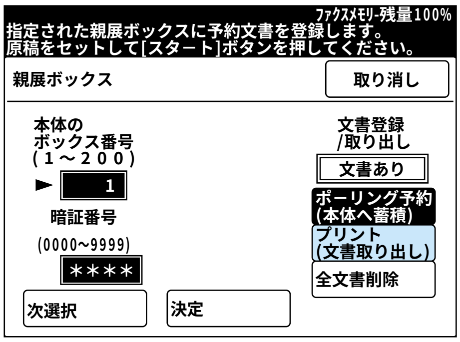


5 プリント(文書取り出し) を選択し、スタート を押します。

受信文書が出力され、文書データが削除されます。

注記

● ポーリング予約文書が同じ親展ボックスに入っている場合は、ポーリング予約文書も、プリントされ文書データは削除されます。



補足

● 暗証番号がまちがっていた場合は、決定 を選択した時に異常音が鳴り、プリント(文書取り出し) などのボタンが点滅で表示されます。
● 親展ボックスに文書がないときには、プリント(文書取り出し) などのボタンが点滅で表示されます。

親展ポーリング(FAX信号方式)

参照

●短縮ダイヤルへの登録方法については、「8-2　短縮ダイヤルに登録する」を参照してください。

補足

●一度のポーリングで、複数の親展ボックスから、文書を送信させることはできません。

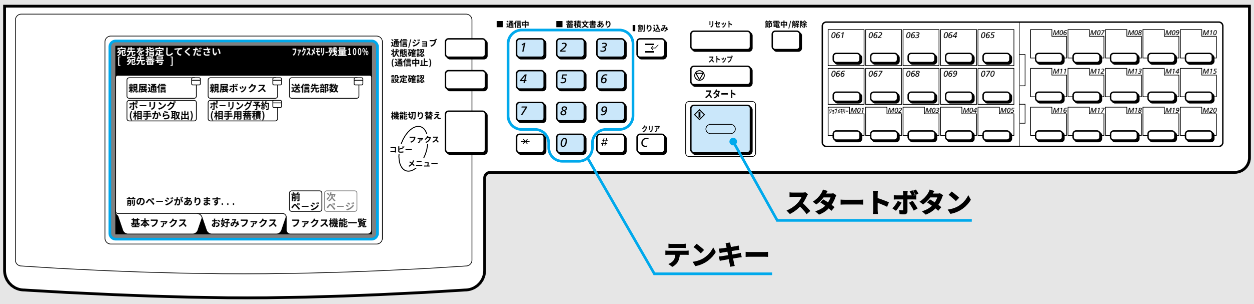
FAX信号方式で、親展ポーリングを行う場合、以下の2種類の方法があります。

● ファクス機能一覧 の 親展ボックス で指示する

●事前に短縮ダイヤルに登録し、短縮ダイヤルする

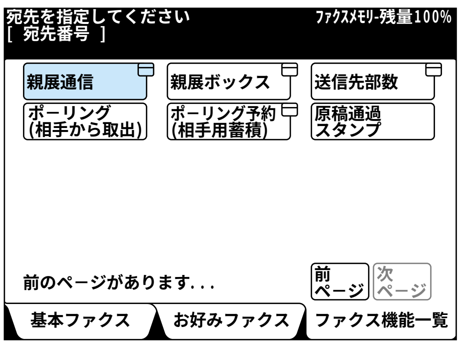
ここでは、 ファクス機能一覧 の 親展通信 で指示する親展ポーリングの方法について説明します。
親展ポーリングを行う場合、相手先の親展ボックス番号と暗証番号が必要です。

ここで使うボタン



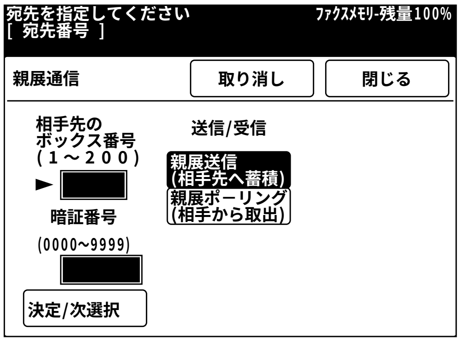
操作手順

1 ファクス機能一覧画面の 次ページ を選択し、 親展通信 を選択します。



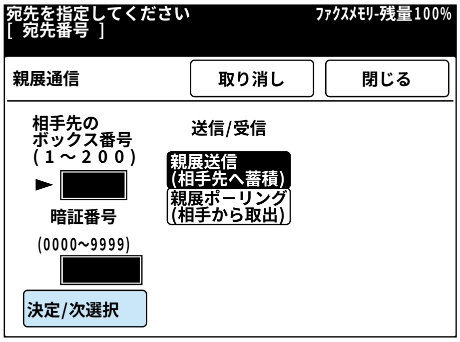
7 便利な機能を使った通信

2 テンキーで親展ボックスの番号を入力します。

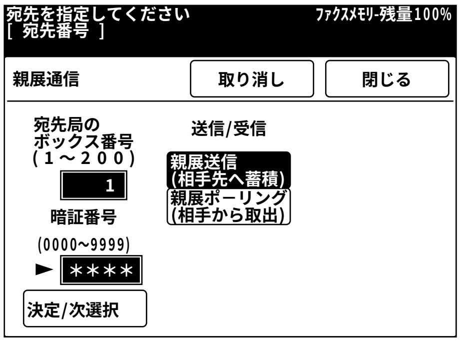


3 決定/次選択 を選択します。

暗証番号 の左に ► が表示されます。



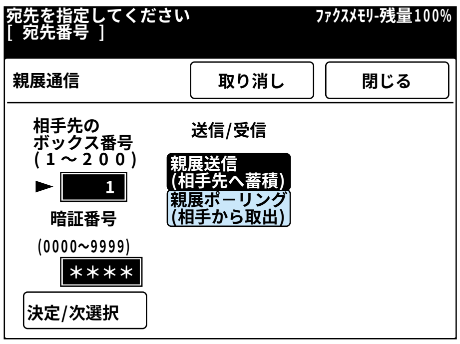
4 テンキーで暗証番号を入力します。



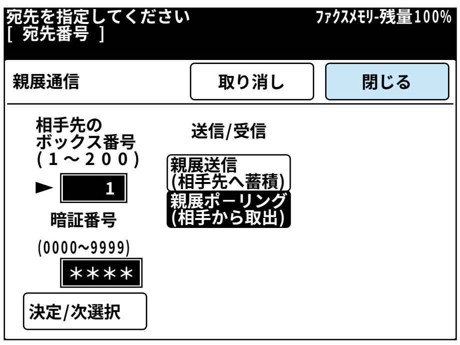
補足

- 暗証番号がまちがっていた場合は、親展ポーリングは行われません。

5 親展ポーリング (宛先から取出) を選択します。



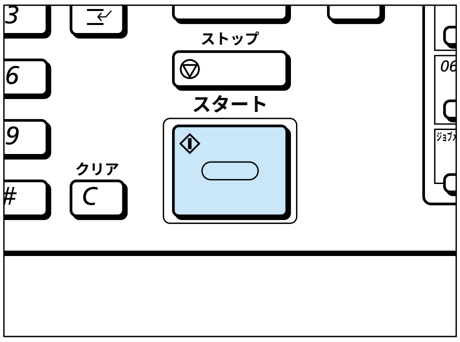
6 閉じる を選択します。



補足

● 電話番号の指定方法については、「3-3　相手先を指定する」を参照してください。

7 **相手先を指定し、[スタート] を押します。**



親展ポーリング(PB信号方式)

PB信号方式で親展ポーリングを指示する場合、以下の2種類の方法があります。

● 自動でポーリング、または短縮ダイヤルに登録する場合

● 本機種から本機種に対してのみ、指示が可能です。

ダイヤル指示の形式は、以下のとおりです。

[相手先電話番号] [!] [＊] [$] [#] [¥] [相手先親展ボックスの暗証番号] [¥] [＊] [＊] [$]

● 手動でポーリングする場合

● PB信号を送出可能なG3ファクスから本機に対して指示することができます。

ダイヤル指示の形式は、以下のとおりです。

[相手先電話番号] 「ピープルプル」音を確認 ＊ 「ピーピーピー」音を確認 ....

\# [相手先親展ボックスの暗証番号] ＊ ＊ 「ピーピーピー」と鳴ります [手動受信指示 (機種により異なります。)]

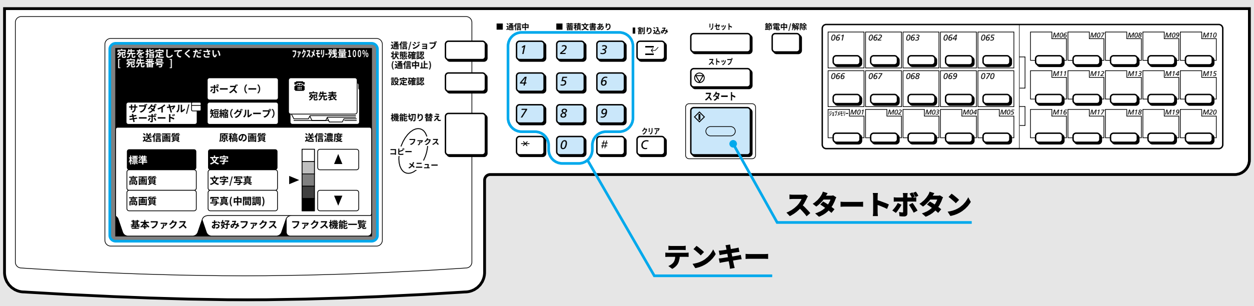
ここでは、自動でポーリングする方法を説明します。

補足

● 一度のポーリングで、複数の親展ボックスから、文書を送信させることはできません。

● ダイヤル回線で使用している場合は、電話番号の入力後、PB信号に切り替えてください。

ここで使うボタン

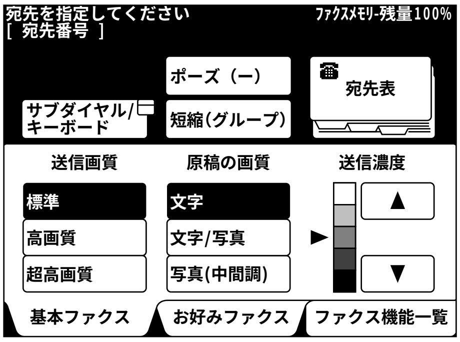


操作手順

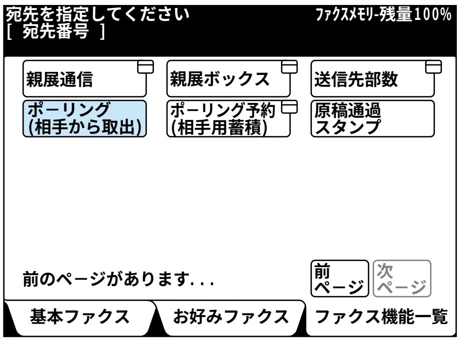
1 親展ポーリングを指示します。

以下の形式で入力します。
「相手先電話番号」!＊　$＃　\「暗証番号」\＊＊$

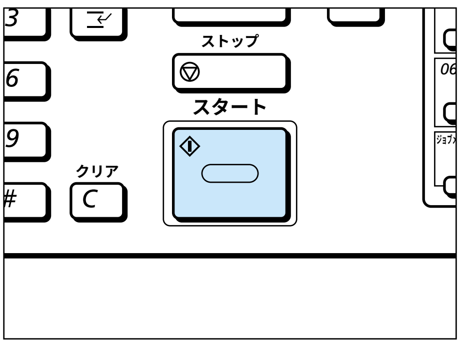
● 「!」や「＊」などの記号は、[サブダイヤル/キーボード] を選択して入力します。



2 ファクス機能一覧画面の [次ページ] を選択し、[ポーリング（相手から取出）] を選択します。



3 [スタート] を押します。



参照

● 「!」や「＊」などの入力のしかたについては「1-6　文字の入力のしかた」を参照してください。

補足

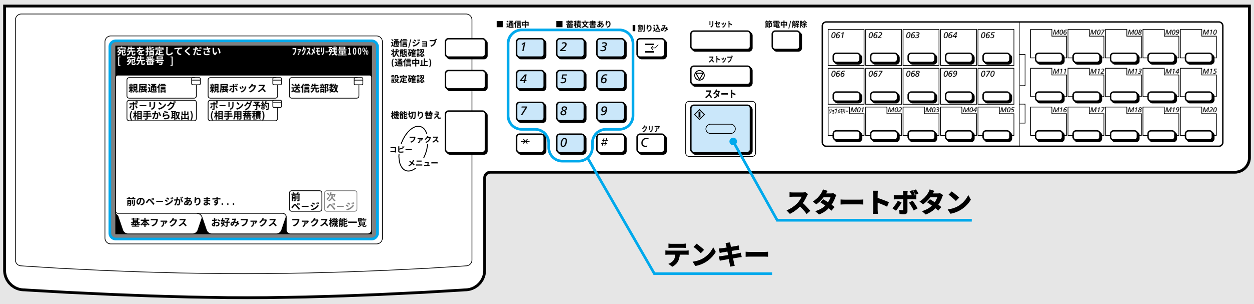
● ダイヤル回線で使用している場合は、電話番号の直後に [:] を入力してください。

親展ポーリング予約

親展ポーリング予約は、相手先からの指示で送信する文書を自局の親展ボックスにあらかじめ蓄積する機能です。

●親展ポーリング予約された文書は、自局でプリントしたり、親展ボックスに蓄積している全文書を削除したりすることができます。次項を参照してください。

ここで使うボタン

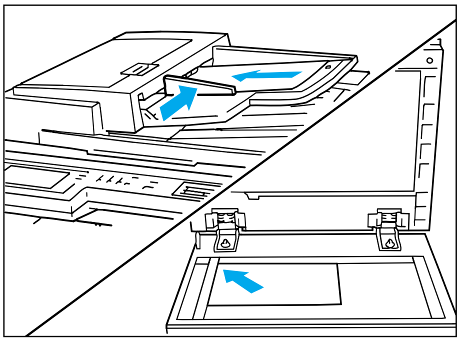


操作手順

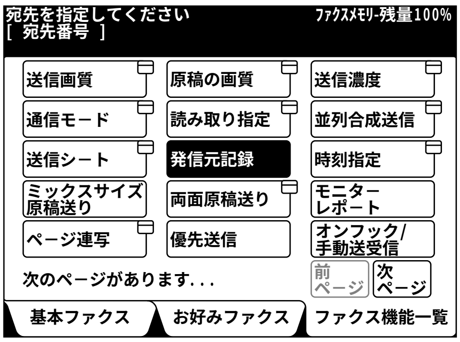
参照

●「2-2　原稿をセットする」を参照します。

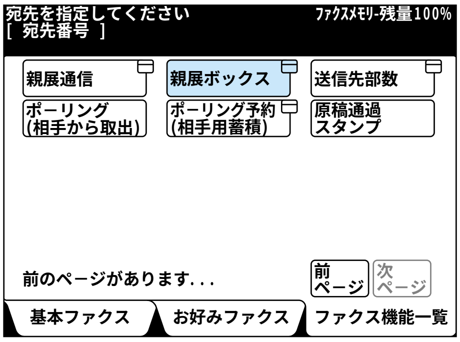
1 原稿をセットします。



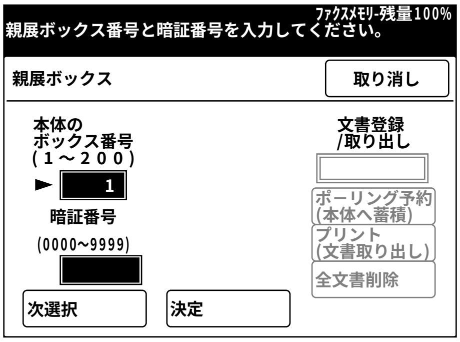
2 送信画質などその他の機能を設定します。



3 **ファクス機能一覧画面の[次ページ]を選択し、[親展ボックス]を選択します。**

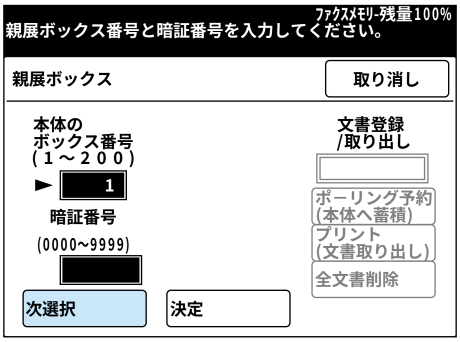


4 **テンキーで親展ボックスの番号を入力します。**

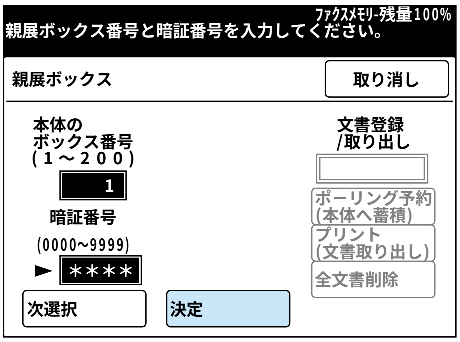


5 **[次選択]を選択します。**

[暗証番号]の左に►が表示されます。



6 **テンキーで暗証番号を入力し、[決定]を選択します。**

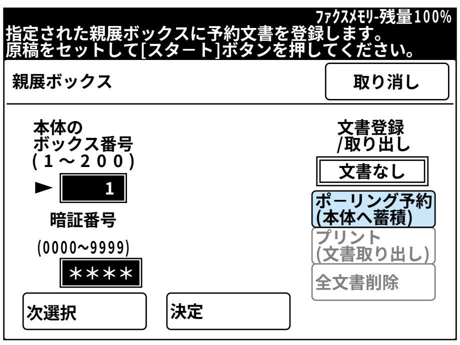


補足

- 暗証番号がまちがっていた場合は、[決定]を選択した時に異常入力音が鳴り、[プリント(文書取り出し)]などのボタンが点線で表示されます。

7 **[ポーリング予約(本体へ蓄積)]を選択し、[スタート]を押します。**

親展文書が蓄積されます。

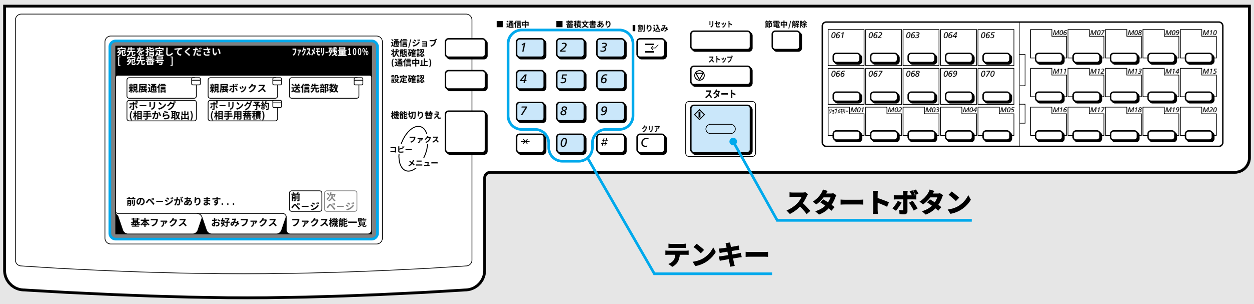


親展ポーリング予約文書のプリントと削除

親展ポーリング予約した文書を削除したり、プリントすることができます。
プリントすると、蓄積されている文書は削除されます。

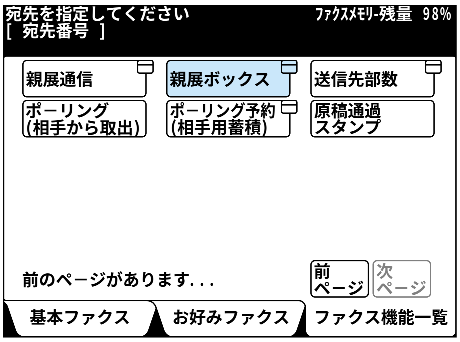
● 親展ポーリング予約した文書は、送信後、自動的に削除されます。

ここで使うボタン

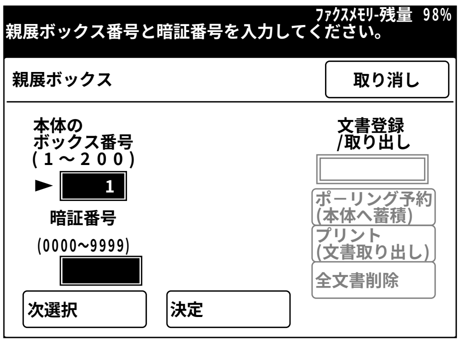


操作手順

1 ファクス機能一覧画面の [次ページ] を選択し、[親展ボックス] を選択します。

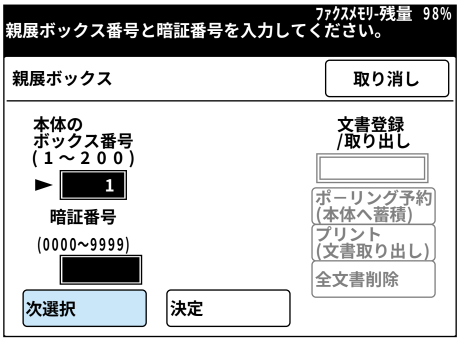


2 テンキーで親展ボックスの番号を入力します。

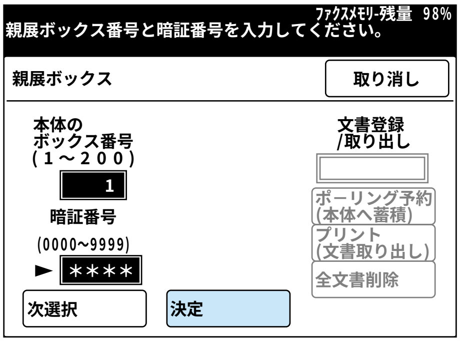


3 次選択 を選択します。

暗証番号 の左に ► が表示されます。



4 テンキーで暗証番号を入力し、決定 を選択します。



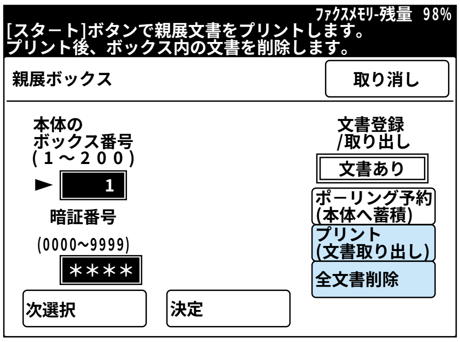
補足

● 暗証番号がまちがっていた場合は、決定 を選択した時に異常入力音が鳴り、プリント(文書取り出し) などのボタンが点線で表示されます。

5

▶ **親展ポーリング予約文書をプリントし、削除する場合には プリント(文書取り出し) を選択します。**

▶ **ポーリング予約文書を全て削除する場合には 全文書削除 を選択し、次画面で はい(削除する) を選択します。**



注記

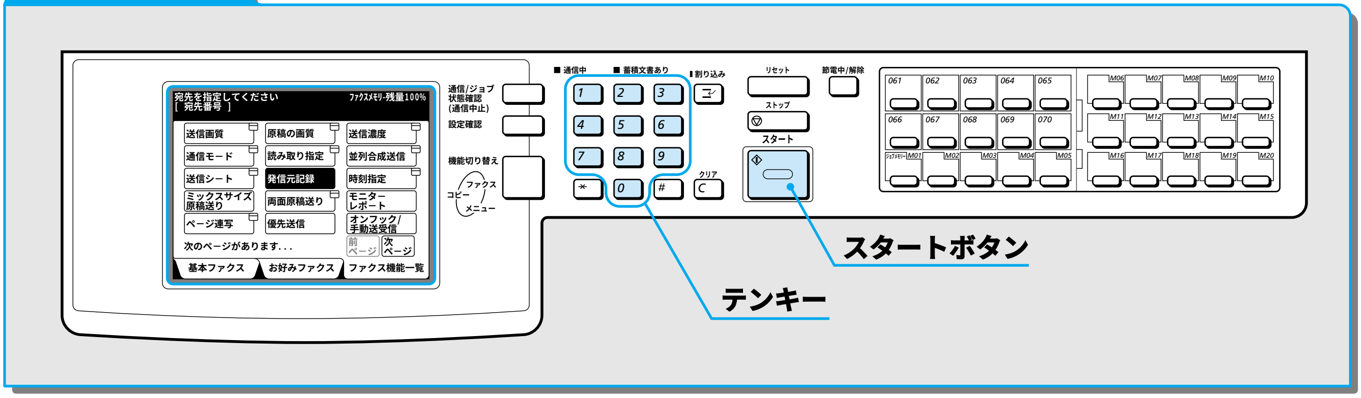
● 受信した文書も親展ポーリング予約文書と同様に扱われるので、全文書削除 を選択すると、削除されてしまいます。

7-14 送信先で複数部コピーする(送信先部数)

送信した原稿を、受信側で複数部コピーして出力することができます。

● 送信先部数機能を使用できる相手先は限定されます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

ここで使うボタン

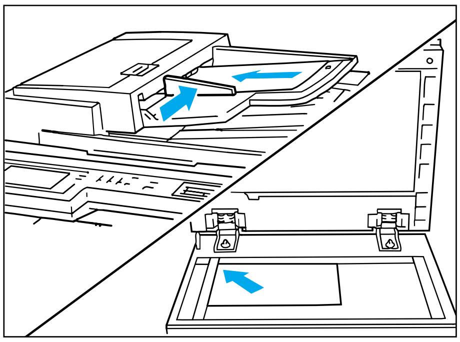


操作手順

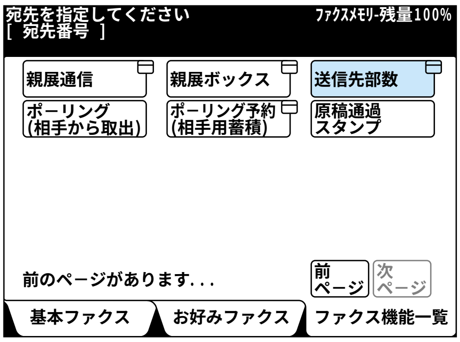
参照

●「2-2　原稿をセットする」を参照してください。

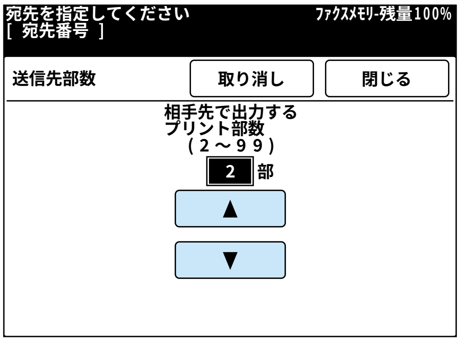
1 原稿をセットします。



2 ファクス機能一覧画面の [次ページ] を選択し、[送信先部数] を選択します。



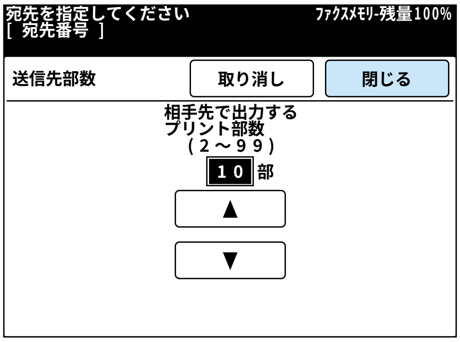
3 部数を ▲ ▼ で設定します。



補足

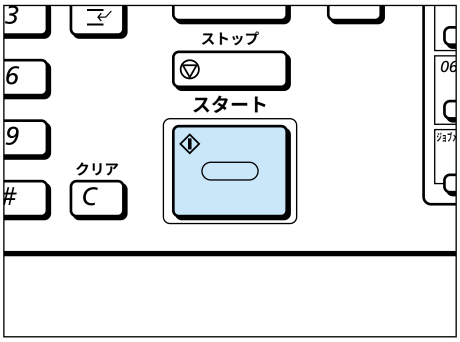
● ２～９９部の範囲で設定できます。

4 閉じる を選択します。



5 相手先を指定し、 スタート を押します。

原稿が読み取られ、送信が開始されます。



参照

●「3-3　相手先を指定する」を参照してください。

7 便利な機能を使った通信

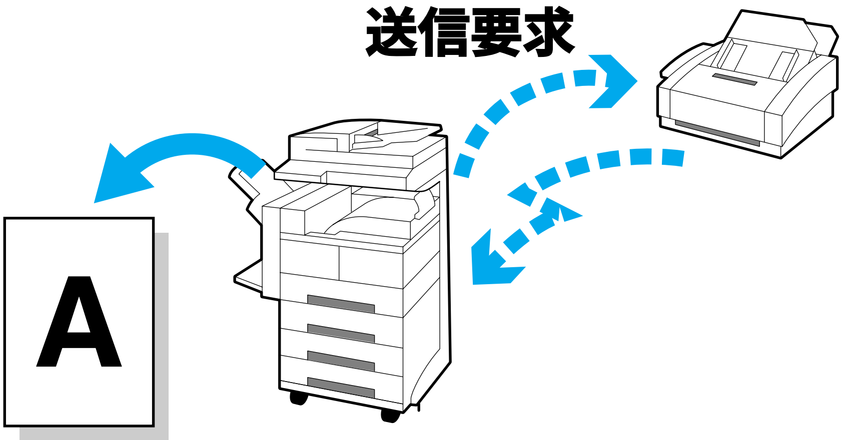
7-15 相手先の原稿を取り出す(ポーリング)

参照

● ファクス情報サービスを利用する場合は「付録-D　FAX情報サービスについて」を参照してください。

ポーリングとは、相手先でポーリング予約されている原稿を、こちらからの操作で送信させる機能です。
また、複数の相手先から原稿を取り出す集信(マルチポーリング)もできます。

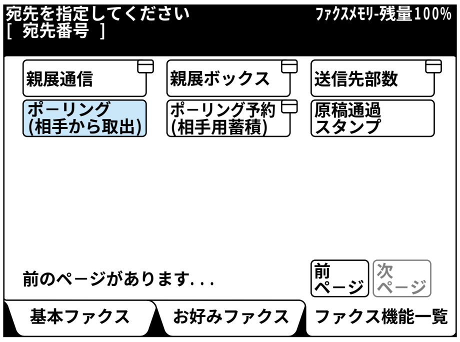
● ポーリングは、相手機により、使用できない場合があります。
● 一度に指定できる相手先の最大数は、以下のとおりです。
  ・テンキーによる指定 ……………………………50宛先
  ・短縮ダイヤルによる指定 ………………………500宛先
  ・テンキーと短縮ダイヤルの組み合せ ……549宛先
● 時刻指定 を行い、ポーリングを指示すれば、時刻指定ポーリングもできます。



7 便利な機能を使った通信

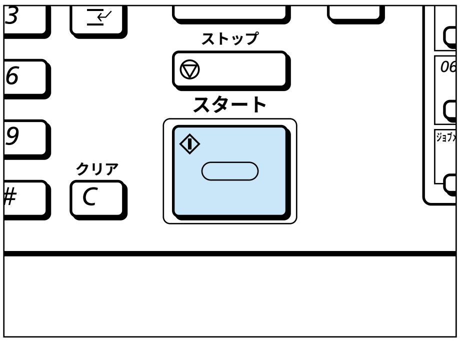
操作手順

1 **ファクス機能一覧画面の［次ページ］を選択し、［ポーリング（相手から取出）］を選択します。**



2 **相手先を指定します。**

集信を行う場合には、複数の相手先を指定します。



3 **［スタート］を押します。**

参照

●「3-3　相手先を指定する」を参照してください。

7

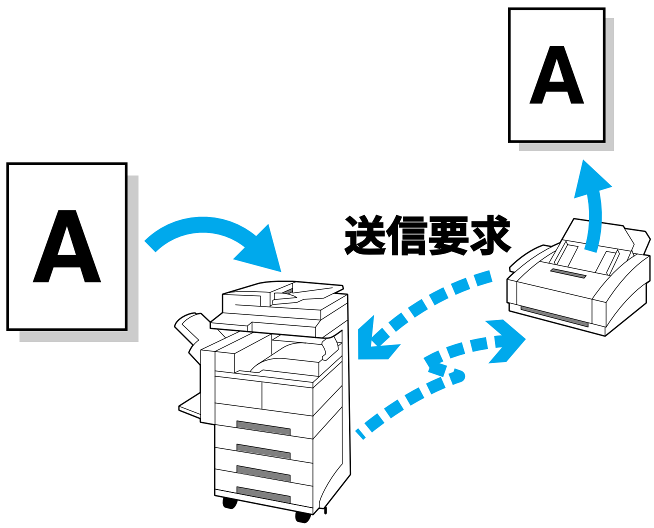
便利な機能を使った通信

7-16 相手先からの操作で原稿を送信する(ポーリング予約)

参照

●ポーリング予約文書を送信後に自動的に削除するように設定することができます。設定方法については「9-1　仕様設定について」を参照してください。

ポーリング予約とは、こちらの原稿をメモリーに蓄積しておいて相手先からの操作で送信できるようにすることです。必要に応じて相手局を制限することができます。相手先を制限する場合は、ポーリングしてよい相手局のIDを指定します。相手局IDは、G3の場合はG3ID、G4の場合は加入者番号を指定します。



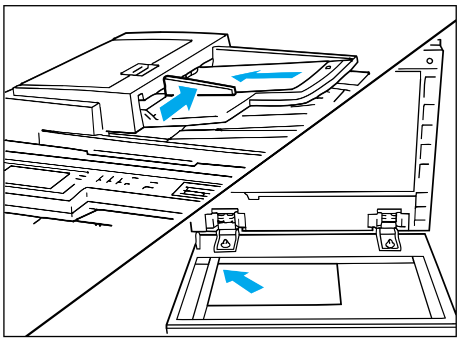
ポーリング予約する

操作手順

参照

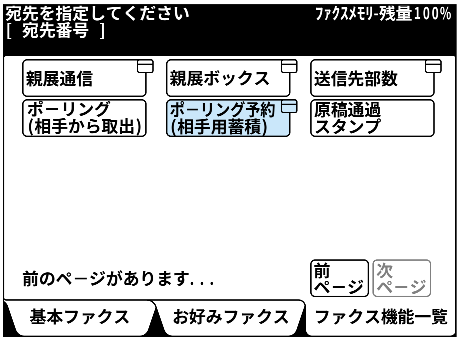
●「2-2　原稿をセットする」を参照してください。

1 **原稿をセットします。**

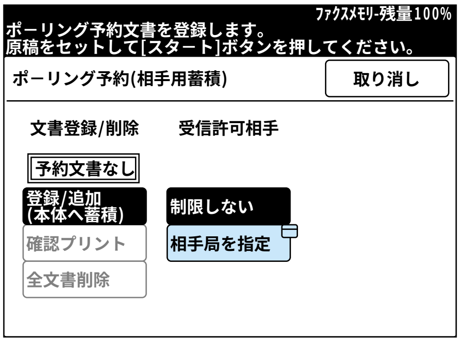


7
便利な機能を使った通信

2 **ファクス機能一覧画面の［次ページ］を選択し、［ポーリング予約（相手用蓄積）］を選択します。**

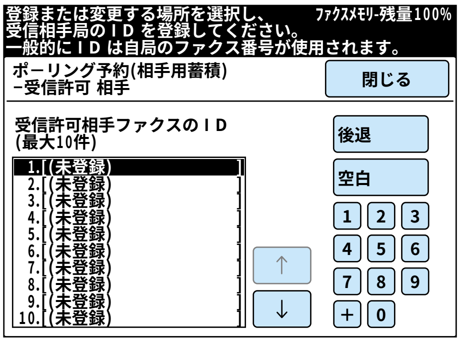


3 **相手先を制限する場合には、［相手局を指定］を選択します。**

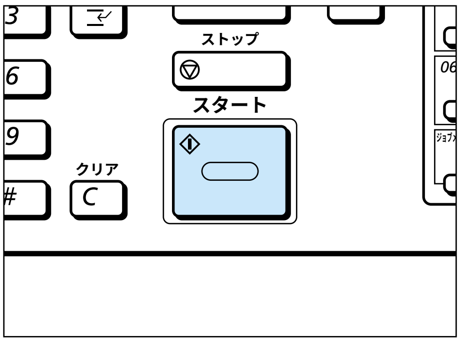


4 **［↑］［↓］で（未登録）の番号を選択し、テンキーまたは画面内のテンキーで相手先のIDを入力し、［閉じる］を選択します。**

G３の場合はG３ID、G４の場合は加入者番号を入力します。



5 **［スタート］を押します。**



補足

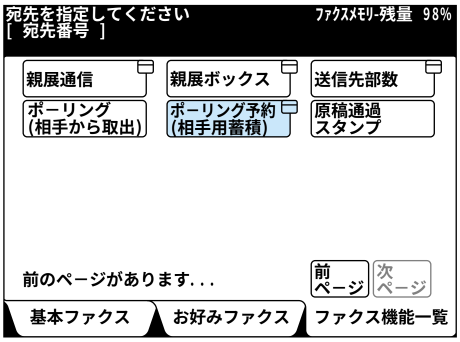
● 相手先は、１０局まで指定できます。
● 相手先のIDは、最大２０けたまで入力できます。
● 入力できる記号は、数字、スペース、+です。

7
便利な機能を使った通信

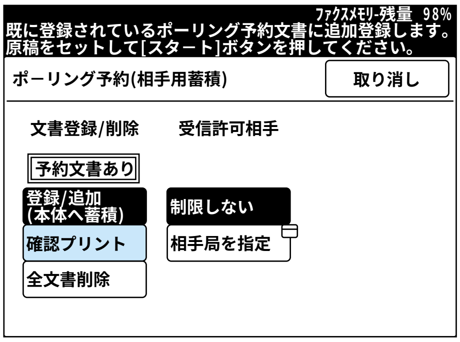
ポーリング予約内容を確認する

操作手順

1 **ファクス機能一覧画面の [次ページ] を選択し、[ポーリング予約（相手用蓄積）] を選択します。**

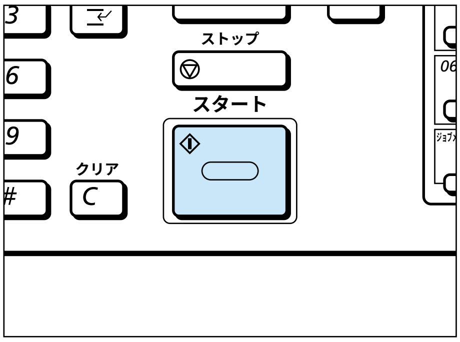


2 **[確認プリント] を選択します。**



3 **[スタート] を押します。**

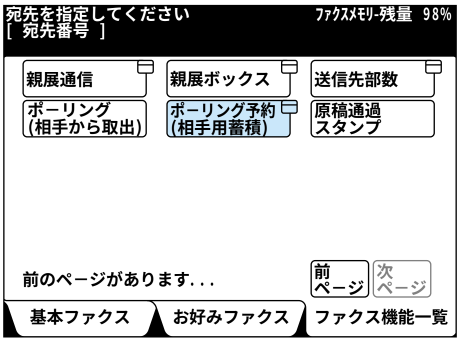
ポーリング予約した文書がプリントされます。



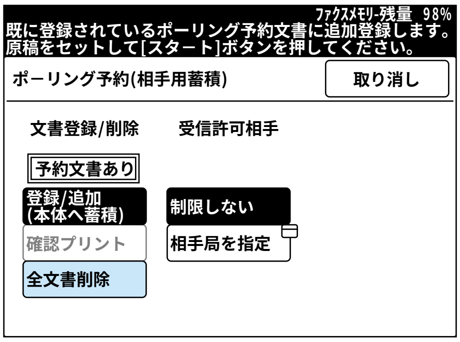
ポーリング予約全文書を削除する

操作手順

1 **ファクス機能一覧画面の［次ページ］を選択し、［ポーリング予約（相手用蓄積）］を選択します。**

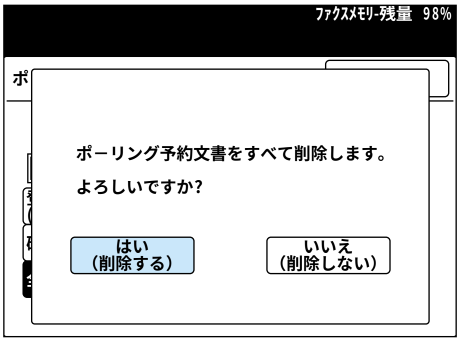


2 **［全文書削除］を選択します。**



3 **［はい（削除する）］を選択します。**

ポーリング予約した文書がすべて削除されます。



補足

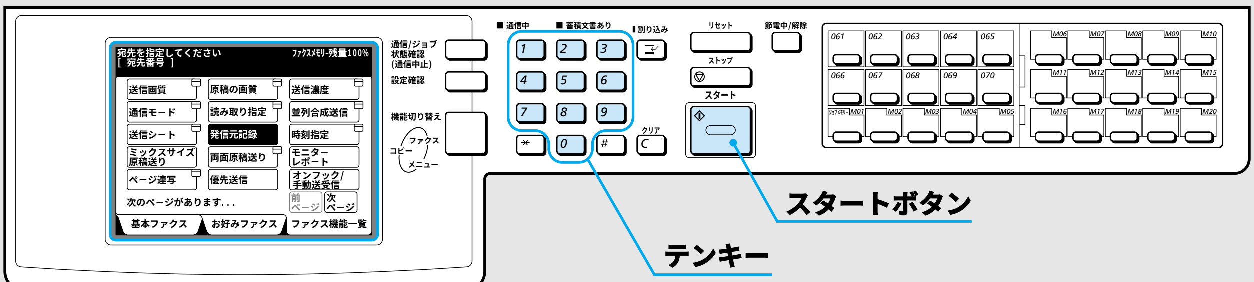
- ［いいえ（削除しない）］を選択すると、ポーリング予約した原稿は削除されません。

7-17 原稿通過スタンプをつける(原稿通過スタンプ)

原稿通過スタンプは、原稿が自動両面原稿送り装置を通過するときにスタンプを押す機能です。スタンプは○印で原稿の読み取り面の後端に押されます。
スタンプの有無により、原稿を1枚ずつ読み取ったかどうかを確認することができます。

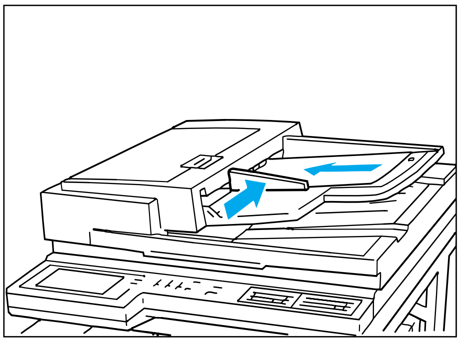
- スタンプを押すにはオプションの済スタンプキットが必要です。
- スタンプインクは消耗品です。「付録B　スタンプの交換」を参照してください。

ここで使うボタン



操作手順

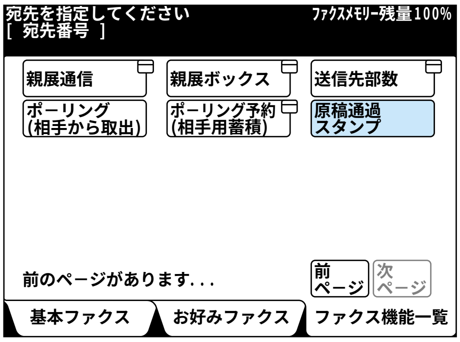
1 原稿をセットします。



参照
- 「2-2　原稿をセットする」を参照してください。

2 ファクス機能一覧画面の [次ページ] を選択し、[原稿通過スタンプ] を選択します。

[原稿通過スタンプ] が白黒反転表示されます。
オプションの済スタンプキットを装着していない場合は、[原稿通過スタンプ] は表示されません。

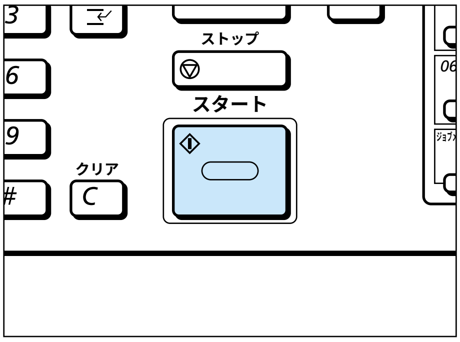


参照

●「3-3　相手先を指定する」を参照してください。

3 **相手先を指定し、[スタート] を押します。**

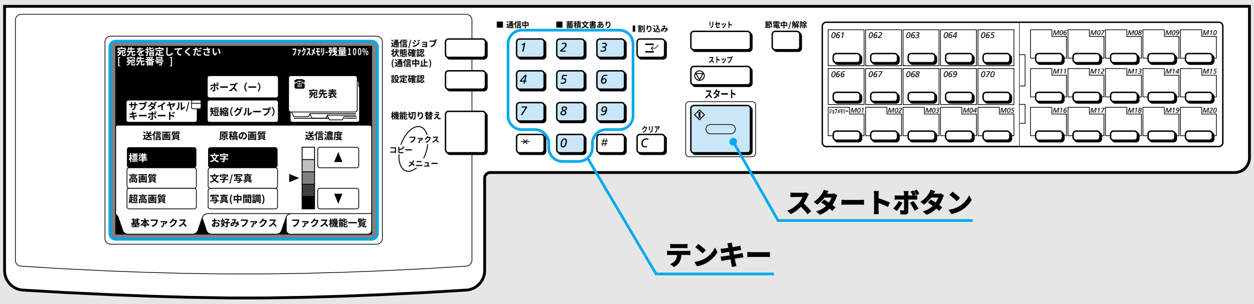
原稿が読み取られ、読み終わった原稿面にスタンプが押され、送信が開始されます。



7-18 回線を指定して送信する

ここでは、回線を指定して通信する方法を説明します。

ここで使うボタン

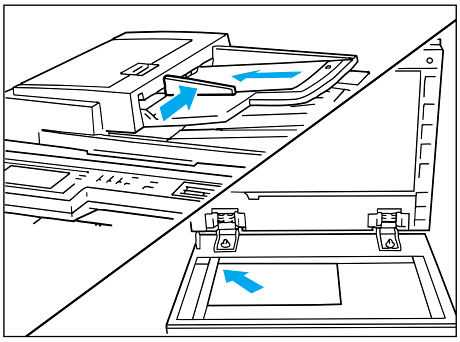


操作手順

参照

●「2-2　原稿をセットする」を参照してください。

1 原稿をセットします。

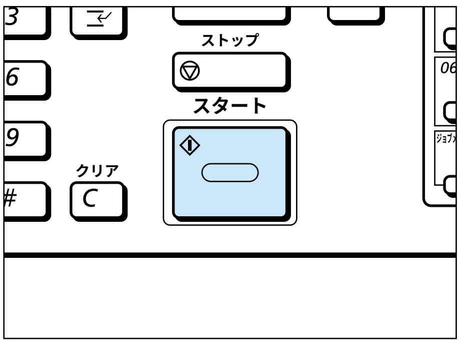


2 [サブダイヤル/キーボード] を2回選択し、タッチパネル上にキーボードを表示し、以下の形式を入力します。

[＜] [ポート番号] [＞] [相手先電話番号]

●ポート番号は、以下のように対応しています。
外線1→1、外線2→3、外線3→5、ISDN→9

3 [スタート] を押します。

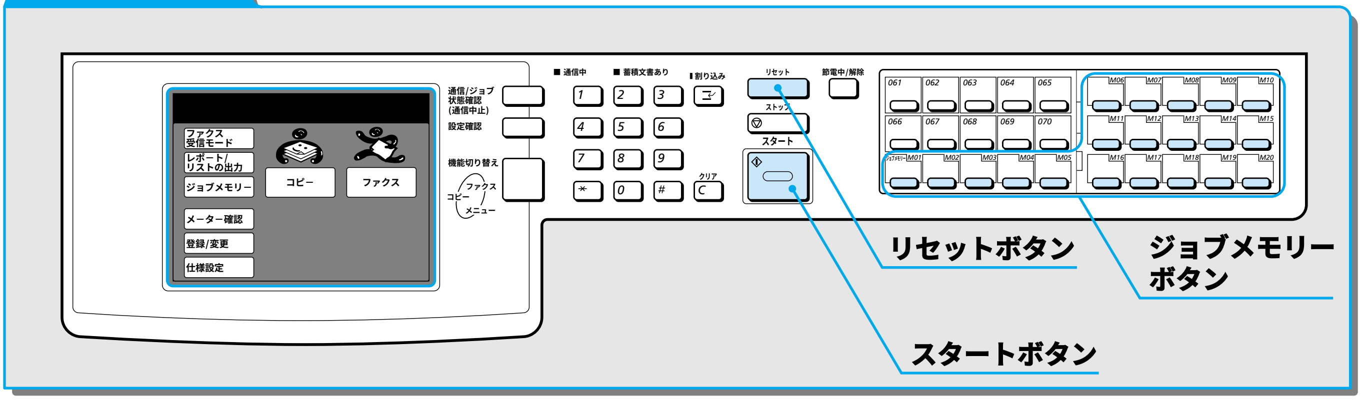


7-19 定型操作を登録して操作する(ジョブメモリー)

一連の定型操作をジョブメモリーに登録しておくと、1つのボタンを押すだけで登録した操作を行うことができます。
いつも同じように送受信するときには、一連の操作を登録しておくと便利です。
この節では、ジョブメモリーへの登録のしかたとジョブメモリーの使い方を説明します。

● ジョブメモリーには、ジョブメモリーボタン、割り込み、リセット、スタート、ジョブメモリー、メーター確認、仕様設定は登録できません。

ここで使うボタン

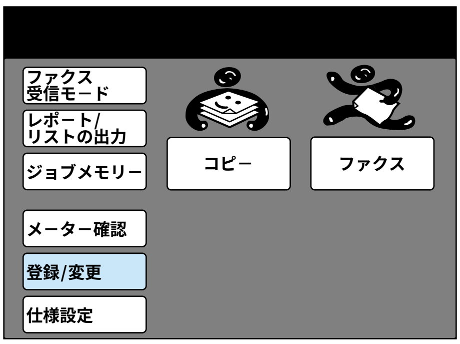


ジョブメモリーに登録する

定型操作をジョブメモリーに登録する手順について説明します。
ジョブメモリーは、コピー機能を含めて20種類登録することができます。
また、登録できる操作は、1つのジョブメモリーにつき、58ステップまで登録できます。
1ステップは、ボタンを1回選択する(押す)操作です。

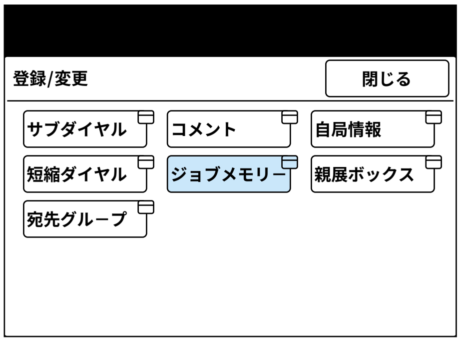
操作手順

1 メニュー画面の 登録/変更 を選択します。



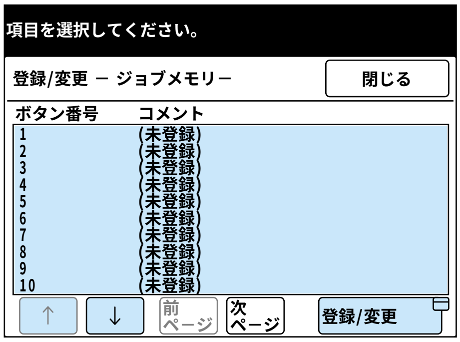
7
便利な機能を使った通信

2 [ジョブメモリー] を選択します。



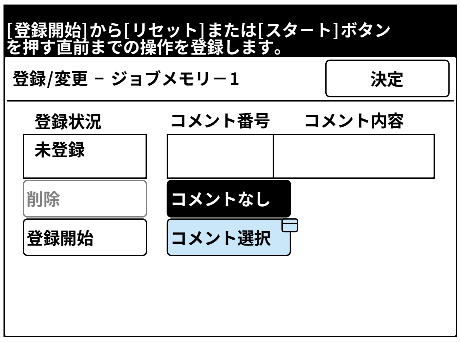
3 直接指で触れるか [↑] [↓] を使って登録するジョブの番号を選択します。

4 [登録/変更] ボタンを押します。



5 ジョブメモリーにコメントをつける場合には、[コメント選択] を選択します。

▶ コメントをつけない場合には、手順9に進んでください。



補足

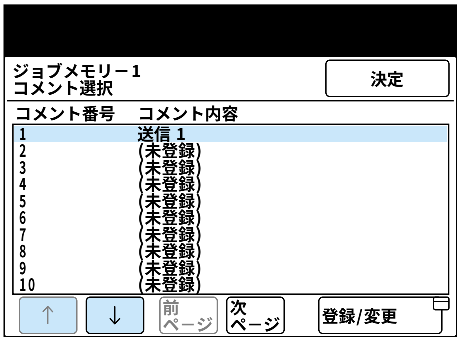
● 登録済みのジョブメモリーの場合、コメントのみを変更することはできますが、操作の追加や変更はできません。[削除] を選択してから、登録しなおしてください。

6 コメントが登録されている場合には、直接指で触れるか [↑] [↓] を使ってコメントの番号を選択します。

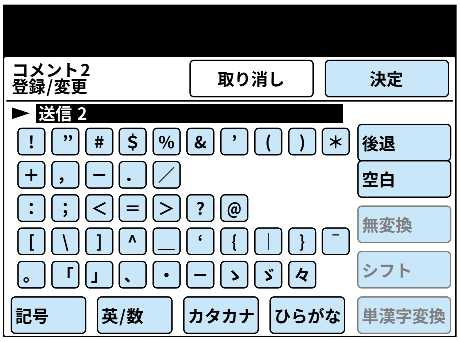
手順8に進んでください。

コメントが [(未登録)] の場合には、コメントを登録します。

直接指で触れるか [↑] [↓] を使ってコメント番号を選択し、手順7に進んでください。



7 コメントを入力し、［決定］を選択します。



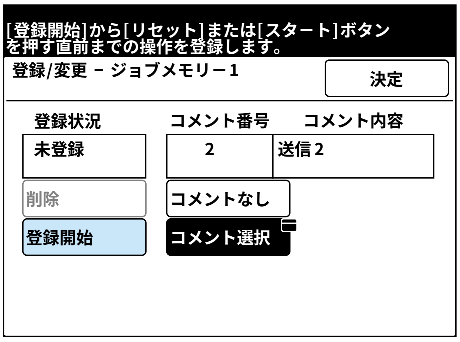
参照

- 文字の入力方法については、「1-6　文字の入力のしかた」を参照してください。

8 コメントが選択されていることを確認し、［決定］を選択します。



9 ［登録開始］を選択します。

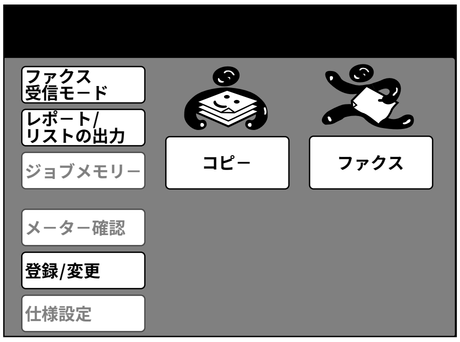


補足

- 以前に登録した操作をすべて削除したい場合には、［削除］を選択します。
- ジョブメモリー登録中は、「プッ、プッ、プッ…」という音が鳴ります。

10 登録する操作を選択します。

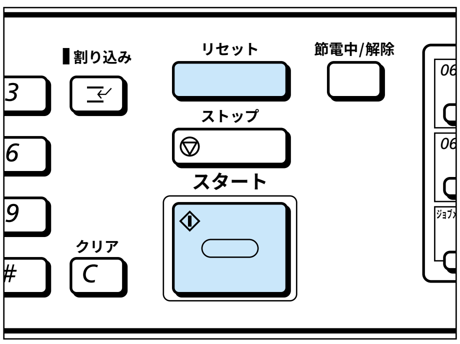
登録したい操作を続けて選択してください。



補足

- 1つのジョブメモリーに58ステップまで登録できます。

11 ［リセット］または［スタート］を押し、操作の登録を終了します。



補足

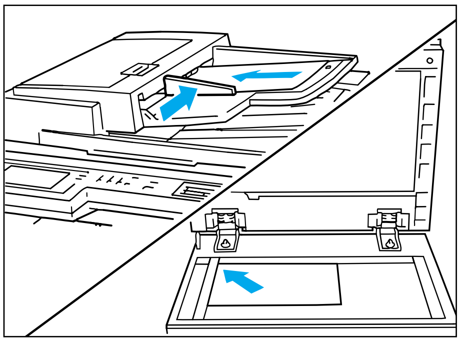
- ［オンフック/手動送受信］や、その他のプリントが始まるボタンを押しても、操作の登録は終了します。
- ［スタート］、［リセット］、その他のプリントが始まるボタンは、登録できません。

ジョブメモリーを使う

あらかじめジョブメモリーに登録しておいた一連の操作を行います。

操作手順

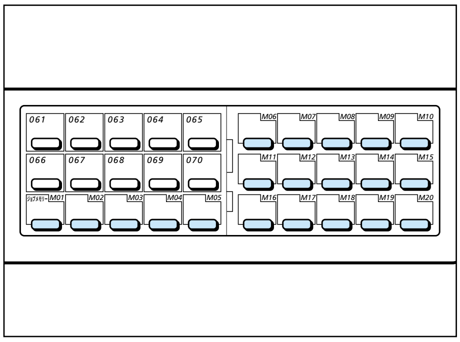
1 **原稿をセットする必要がある操作は、原稿をセットします。**



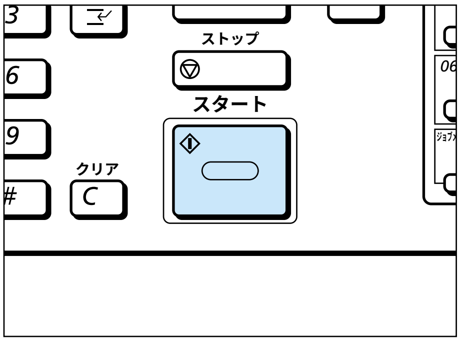
2 **ワンタッチパネルが右図になるようにパネルをめくり、登録されているジョブメモリーボタン（M01～M20）を押します。**

ジョブメモリーに登録されている設定が行われます。

● ジョブメモリー1～20はM01～M20に対応しています。



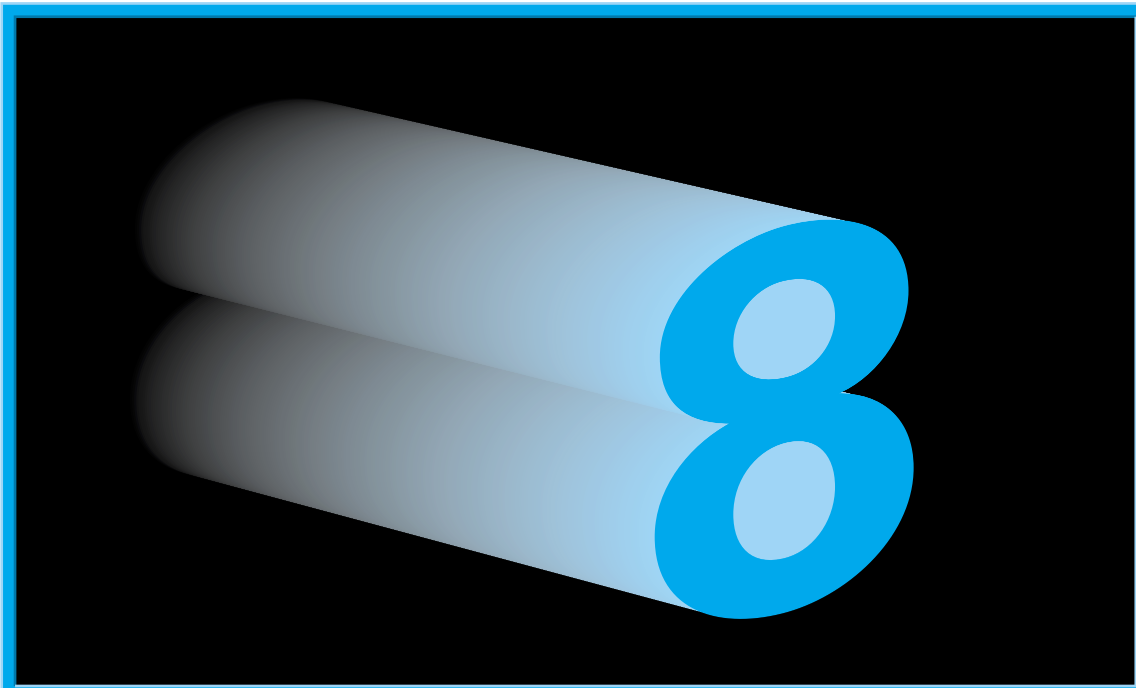
3 **通信などを開始する操作が必要な場合は、［スタート］を押します。**



補足

● ジョブメモリーは、メニュー画面で［ジョブメモリー］を選択して使用することもできます。

7 便利な機能を使った通信



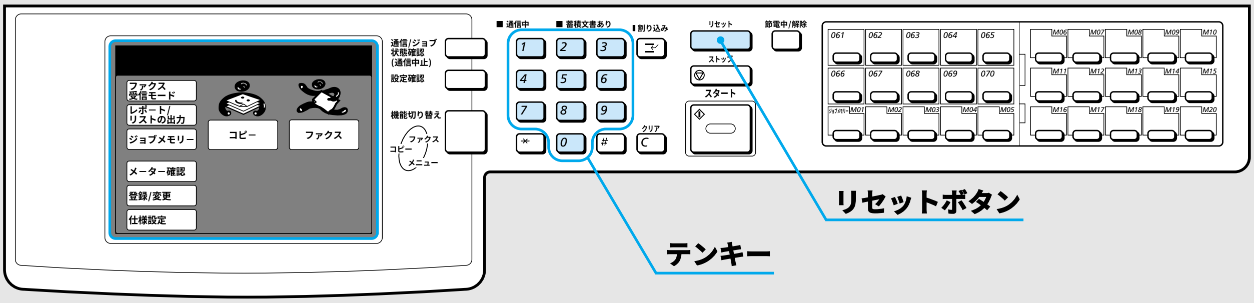
データの登録

8-1 サブダイヤルを登録する

よく使う番号をサブダイヤルに登録することができます。
電話番号を入力するときに、登録しておいたサブダイヤルを併用して電話番号を指定します。
短縮ダイヤル登録時にも使用できます。

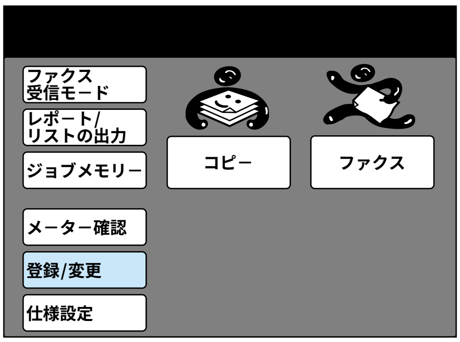
- サブダイヤルは、16けたまで登録できます。
  文字の入力方法については、「1-6　文字の入力のしかた」を参照してください。
- サブダイヤルは、10種類登録できます。
- サブダイヤルの登録内容は、登録ダイヤルリストで確認することができます。

ここで使うボタン

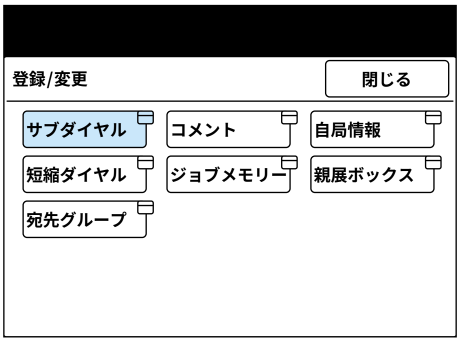


操作手順

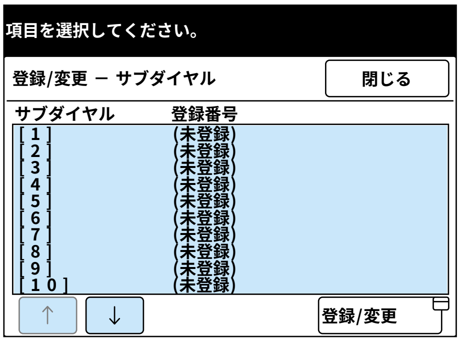
1 **メニュー画面の 登録/変更 を選択します。**



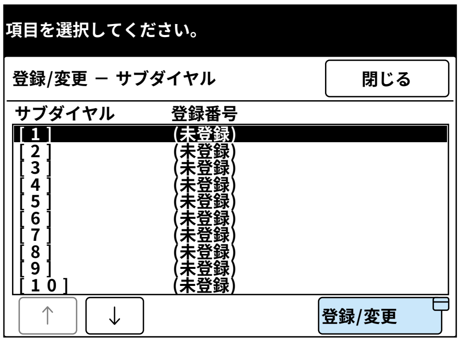
2 **サブダイヤル を選択します。**



3 登録したいサブダイヤル番号を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。



4 登録/変更 を選択します。

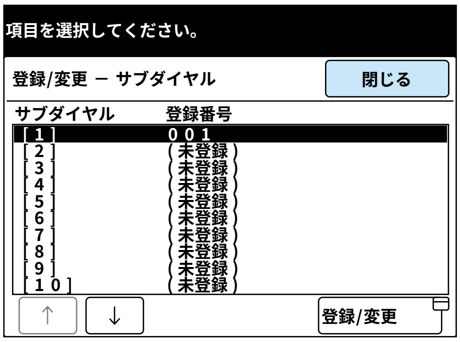


5 番号を入力して、 決定 を選択します。



6 閉じる を選択します。

リセット を押し、初期画面に戻ります。



参照

- 番号の入力方法については、「1-6　文字の入力のしかた」を参照してください。

補足

- 数字はテンキーからも入力できます。
- 取り消し を選択すると、手順5で登録した値は取り消されます。

注記

- すでに指示した通信に変更したサブダイヤルが使用されている場合、変更したサブダイヤルで通信が開始されます。

8 データの登録

8-2 短縮ダイヤルに登録する

よく送信する相手の電話番号を短縮ダイヤルに登録することができます。短縮ダイヤルに登録すると、［☎宛先表］で検索することもできます。
短縮ダイヤルは、500局まで登録することができます。

● 短縮番号001～070はワンタッチボタンに対応しています。

短縮ダイヤルに登録できる内容は、以下のとおりです。

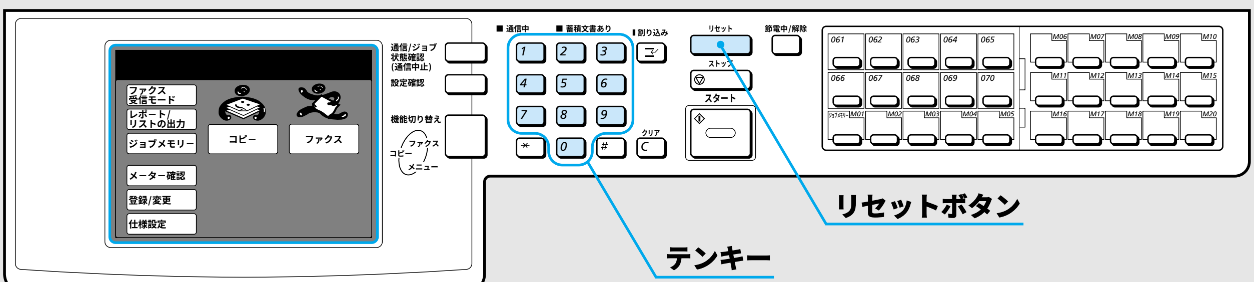
● ファクス番号のみの登録で、短縮ダイヤルの機能が使えます。その他の項目は、必要に応じて設定してください。

	項目	内容	工場出荷時
1	ファクス番号	最大39けたまで登録することができます。	未登録
2	回線	設定できません。	外線
3	宛先名	最大18文字まで登録することができます。 使用できる文字は、「1-6　文字の入力のしかた」を参照してください。	未登録
4	索引文字	宛先表で検索するときに使うキーワードとして、ひらがな、英数字のうちいずれか1文字を登録することができます。	未登録
5	中継指示局登録	中継同報を行う場合、本機が中継局となるように設定できます。	しない
6	通信モード	G3自動、国際通信、G4自動（オプション）を選択します。	G3自動
7	送信画質	標準、高画質、超高画質、パネル(操作パネルで選択されている画質)を選択します。	パネル
8	送信シート	送信シートの有無と送信シートに入れるコメント番号を指示します。	なし
9	最大蓄積サイズ	相手先の受信紙サイズに合わせてA4、B4、A3の中から最大蓄積サイズを選択します。	A3
10	時刻指定	時刻指定で送信する場合、送信の開始時刻を入力します。日付の指定はできません。	しない
11	親展通信	親展通信を行う場合、親展ボックス番号および暗証番号を設定します。	しない
12	中継同報	本機が指示局となり中継同報を行う場合に設定します。	しない

注記

● 誤送信や間違い電話を防ぐため、短縮ダイヤルに登録する際は番号違いのないようタッチパネルディスプレイを見ながら正確に行ってください。また、登録後は登録ダイヤルリストで正しく登録されていることを確認してください。
ファクス番号を誤って登録すると、自動リダイヤルにより相手の方を何度も呼び出し大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。

ここで使うボタン

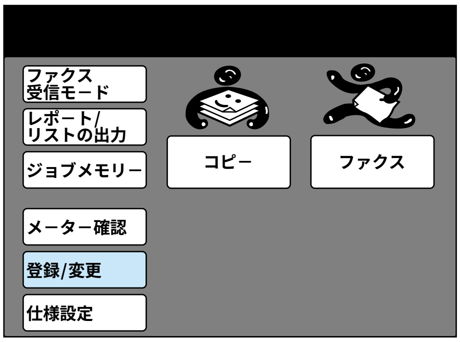


ファクス番号と宛先名を登録/変更する

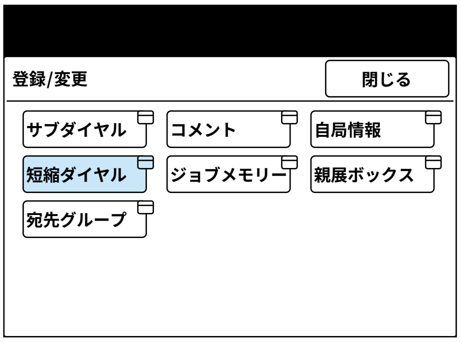
短縮ダイヤルに相手先のファクス番号と名前を登録したり、登録したものを変更したりする手順について説明します。ファクス番号のみの登録で、短縮ダイヤルを使うことができます。宛先名は、宛先表や短縮番号で相手先を指定したときなどにタッチパネルディスプレイに表示されたり、相手先に発信元記録として出力されたりします。

操作手順

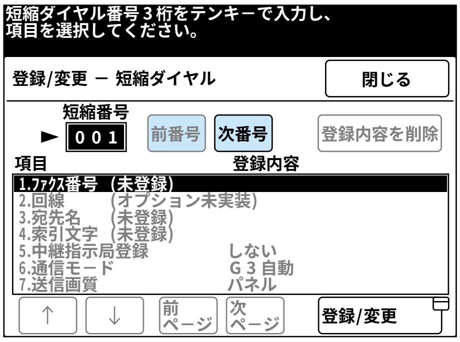
1 **メニュー画面の 登録/変更 を選択します。**



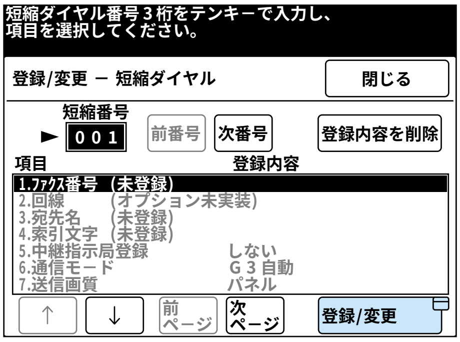
2 **短縮ダイヤル を選択します。**



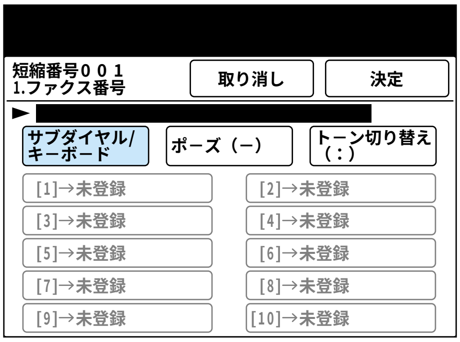
3 **登録または変更したい短縮番号（3けた）を、テンキーまたは 次番号 前番号 で選択します。**



4 **1.ﾌｧｸｽ番号 が選択されていることを確認し、 登録/変更 を選択します。**



5 **サブダイヤル/キーボード を選択し、キーボードを表示します。**



6 **ファクス番号を入力します。**

番号を変更する場合は 後退 で1文字ずつ消してから入力します。

● 数字はテンキーからも入力できます。

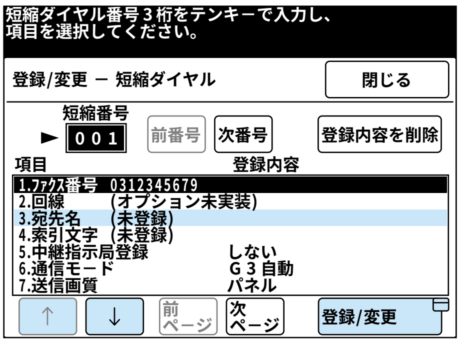


7 **決定 を選択します。**



8 **3.宛先名 を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。**

9 **登録/変更 を選択します。**



参照

● 番号の入力方法については、「1-6　文字の入力のしかた」を参照してください。

● 特殊記号も入力することができます。特殊記号については「3-3　相手先を指定する」の「特殊記号を入力するとき」を参照してください。

10 **相手先名を入力し、決定を選択します。**

変更する場合は後退で1文字ずつ消してから入力します。
その他の登録項目は、必要に応じて設定します。



参照

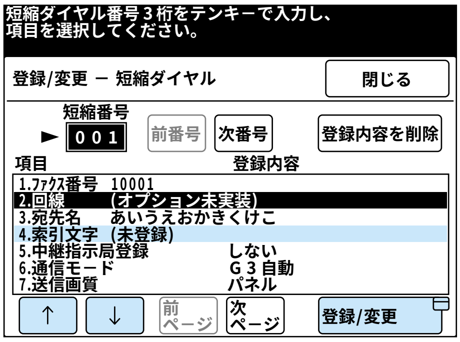
● 文字の入力方法については、「1-6 文字の入力のしかた」を参照してください。

索引文字を登録する

宛先表のインデックスで検索するときに用いる、索引文字を登録する手順について説明します。

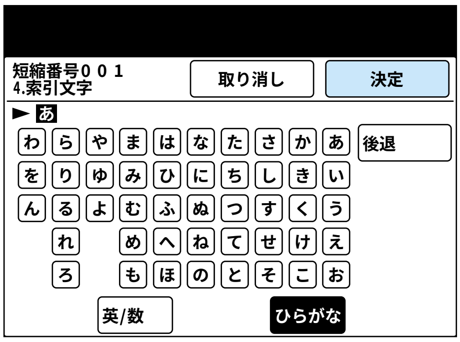
操作手順

1 **4.索引文字を、直接指で触れるか↑↓を使って選択します。**



2 **登録/変更を選択します。**

3 **索引文字を入力し、決定を選択します。**



補足

● 英数字、またはひらがなのうちいずれか1文字を入力することができます。
● 濁音は入力できません。

参照

● 文字の入力方法については、「1-6 文字の入力のしかた」を参照してください。

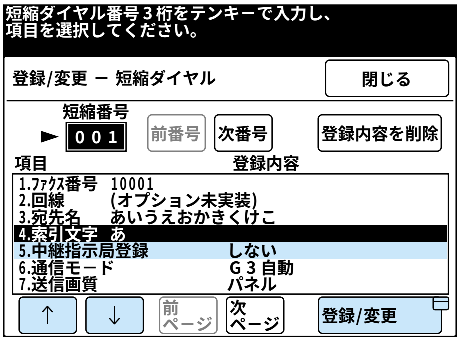
8 データの登録

中継指示局に設定する

中継同報を行う場合、本機が中継局となるように設定する手順について説明します。

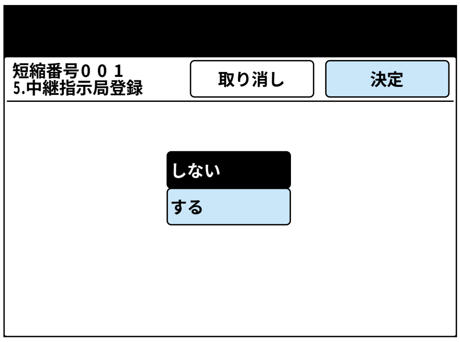
操作手順

1 5.中継指示局登録 を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。



2 登録/変更 を選択します。

3 中継指示局に登録する場合、する を選択し、 決定 を選択します。



通信モードを選択する

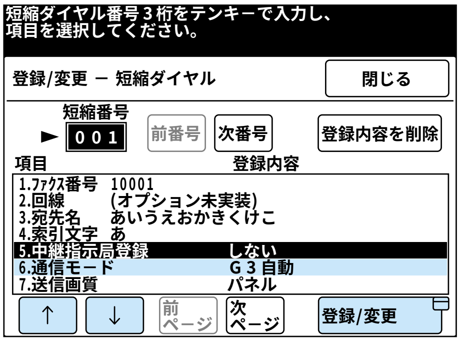
補 足

● G４自動は、オプションです。

通信モードを選択するときの手順について説明します。
なおこの設定を行った短縮ダイヤルで相手先を指定した場合は、ファクス操作画面での変更はできません。

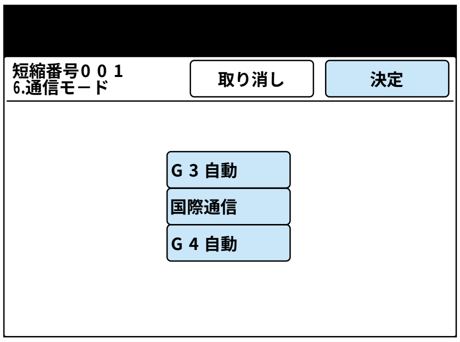
操作手順

1. [6.通信モード] を、直接指で触れるか [↑] [↓] を使って選択します。



2. [登録/変更] を選択します。

3. [G３自動]、[国際通信]、[G４自動] の中から通信モードを選択し、[決定] を選択します。



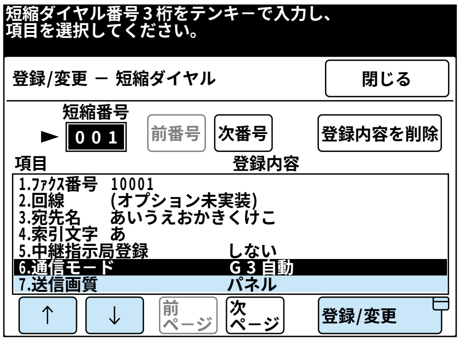
送信画質を選択する

送信画質を選択するときの手順について説明します。
なおこの設定を行った短縮ダイヤルで相手先を指定したときに、ファクス操作画面で変更できます。

操作手順

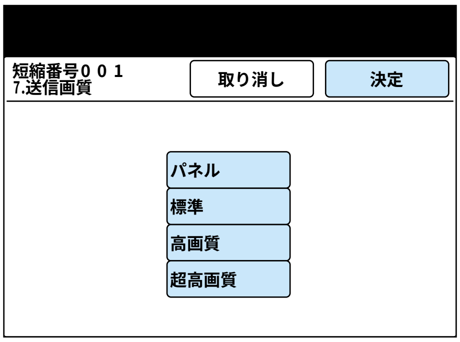
1 **7.送信画質 を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。**

2 **登録/変更 を選択します。**



3 **送信画質を選択し、決定 を選択します。**

パネル 、標準 、高画質 、超高画質 の中から選択します。
パネル は、送信を指示したときにファクス画面で選択されている送信画質で読み取ります。

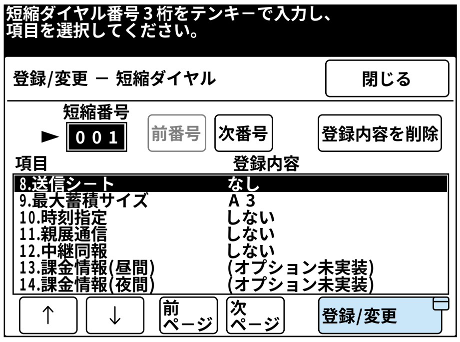


送信シートをつける

送信シートをつけるときの手順について説明します。
なおこの設定を行った短縮ダイヤルで相手先を指定したときに、ファクス操作画面で変更できます。

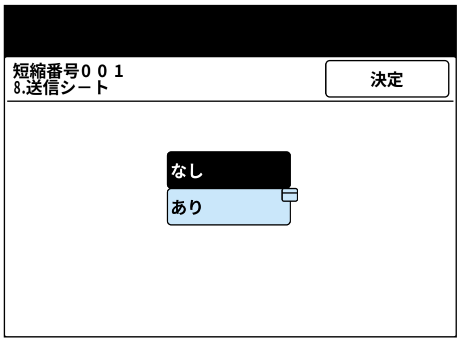
操作手順

1 [次ページ] を選択し、[8.送信シート] が選択されていることを確認します。

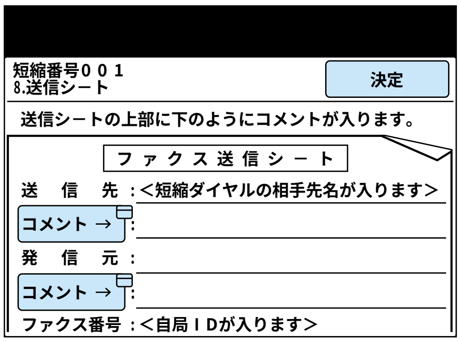


2 [登録/変更] を選択します。

3 送信シートをつける場合、[あり] を選択します。



4 コメントが必要な場合は、送信先や発信元の [コメント →] を選択し、コメント文を選び、[決定] を選択し、次の画面で [決定] を選択します。
コメントが必要ない場合は、[決定] を選択します。



参照

- コメントの入れかたについては、「7-6　表紙をつけて送信する(送信シート)」を参照してください。
- コメント文の登録については、「8-10　コメントを登録する」を参照してください。

最大蓄積サイズを設定する

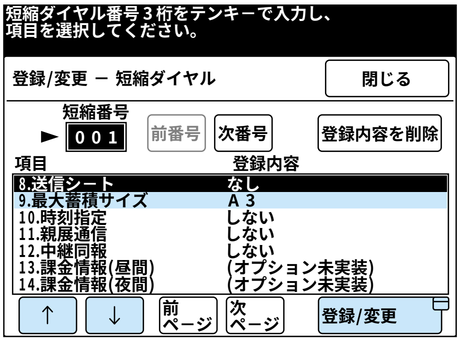
相手先の受信紙サイズに応じて最大蓄積サイズを設定するときの手順について、説明します。

8

データの登録

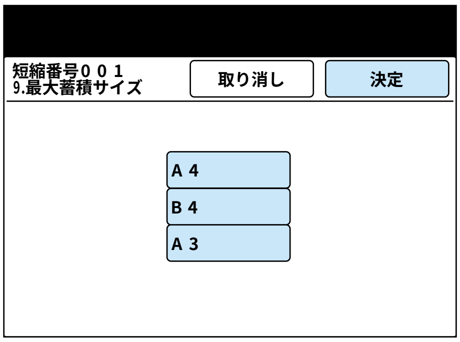
操作手順

1 9.最大蓄積サイズ を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。



2 登録/変更 を選択します。

3 A 4 、B 4 、A 3 の中から最大蓄積サイズを選択し、決定 を選択します。

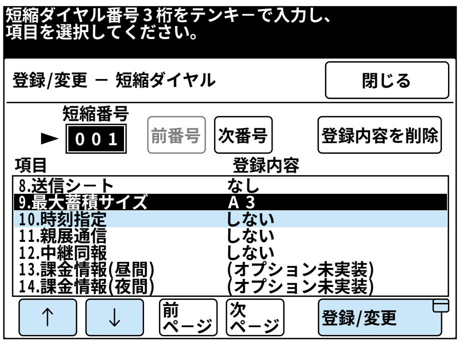


時刻指定通信を設定する

時刻指定通信を設定するときの手順について、説明します。
なおこの設定を行った短縮ダイヤルで相手先を指定しても、ファクス画面で変更できます。

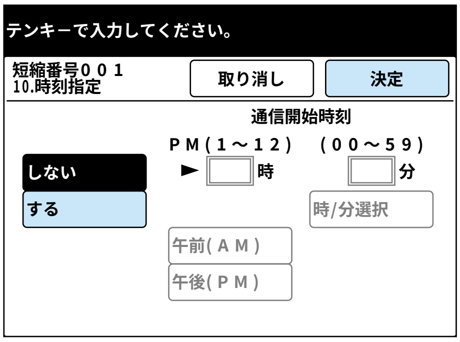
操作手順

1 10.時刻指定 を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。



2 登録/変更 を選択します。

3 する を選択し、時刻を指定します。



4 決定 を選択します。

参照

● 時刻指定通信については、「7-8　時刻を指定して通信する(時刻指定)」を参照してください。

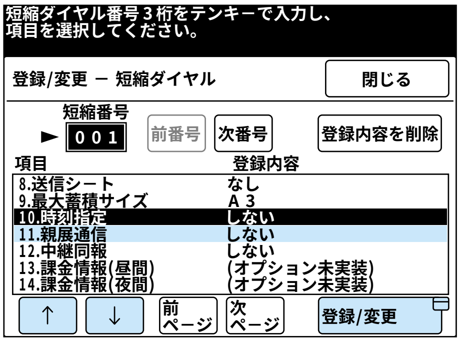
親展通信を設定する

親展通信を設定するときの手順について説明します。
なおこの設定を行った短縮ダイヤルで相手先を指定しても、ファクス画面で変更できます。

● 親展通信を行う場合には、あらかじめ、相手先の親展ボックスの番号とパスワード(暗証番号)が必要です。

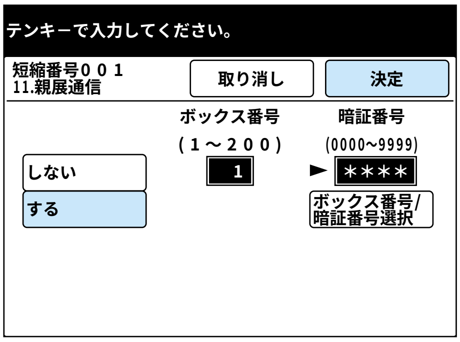
操作手順

1 11.親展通信 を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。



2 登録/変更 を選択します。

3 する を選択し、ボックス番号と暗証番号を入力します。



4 決定 を選択します。

参照

● 親展通信については、「7-13　親展通信する(親展通信/親展ボックス)」を参照してください。

8 データの登録

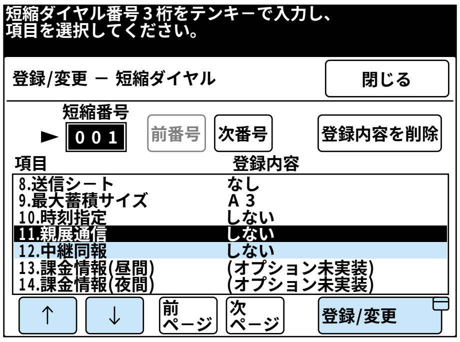
中継同報を設定する

本機が指示局となり、中継同報を設定するときの手順について説明します。

- ００１～０７０の短縮番号に設定した場合、ひとつのワンタッチボタンから、多数の宛先に中継同報されます。誤送信防止のため、ワンタッチボタンのラベルに内容を記載すると便利です。
- 中継同報についての詳細は、「7-2　中継局を介して同報送信する(中継同報)」を参照してください。

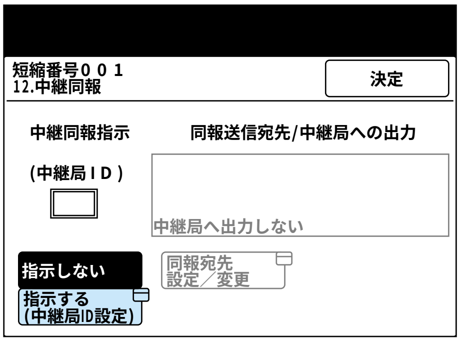
操作手順

1 12.中継同報 を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。

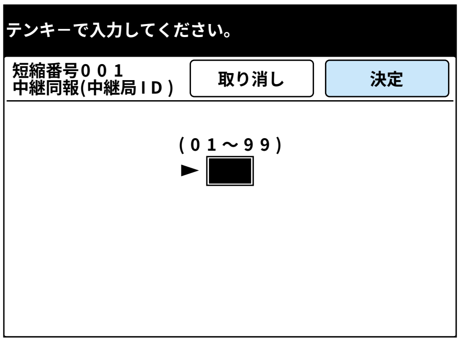


2 登録/変更 を選択します。

3 中継同報指示の 指示する(中継局ID設定) を選択します。



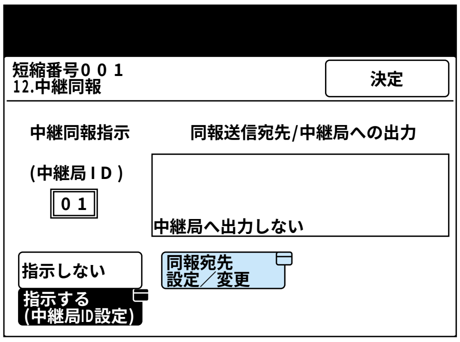
4 中継局IDを入力し、 決定 を選択します。



補足

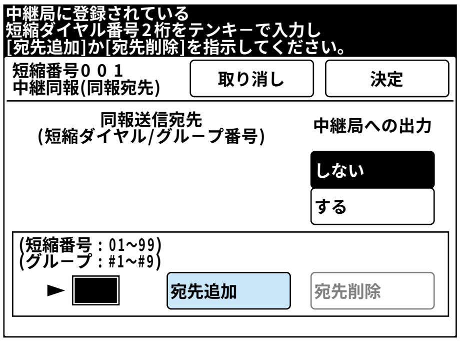
- 中継局IDとは、あらかじめ、中継局に登録されている指示局(本機)の短縮番号です。
  例) 短縮番号　中継局ID
  ００１　……０１
  ０９９　……９９

5 [同報宛先設定/変更] を選択します。



6 同報先の短縮番号またはグループ番号をテンキーで入力し、[宛先追加] を選択します。

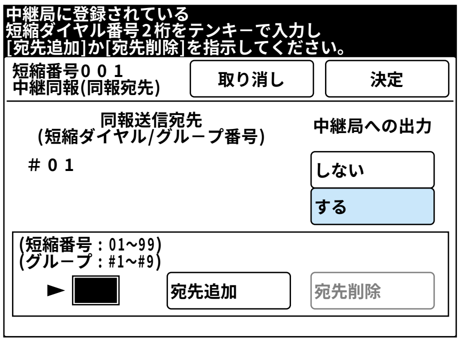
複数同報先がある場合には、続けて短縮番号またはグループ番号を入力し、[宛先追加] を選択します。



補足

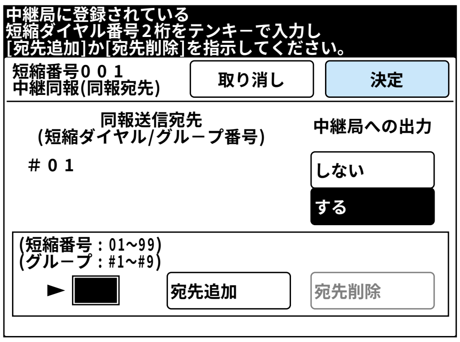
- 短縮番号/グループ番号は、２けた（０１～９９ / #1～#9）で入力します。
- 宛先を削除する場合には、短縮番号/グループ番号を入力し、[宛先削除] を選択します。

7 中継局にも文書を出力する場合には、[中継局への出力] を [する] を選択します。



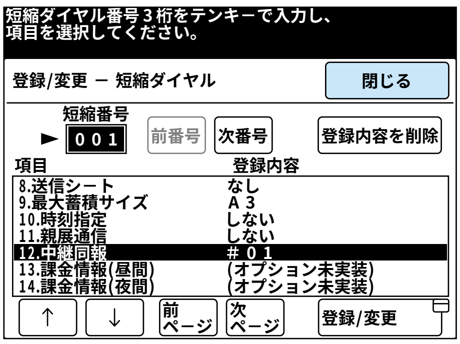
8 [決定] を選択します。

画面が変わったらもう一度 [決定] を選択し、中継同報の設定を終了します。



9 [閉じる] を選択します。

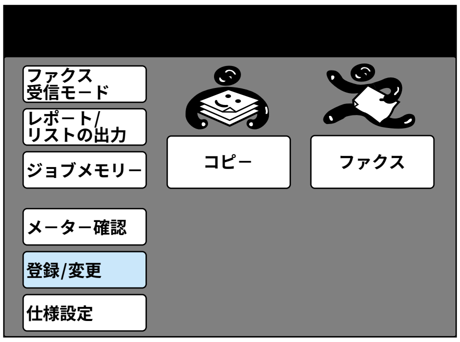
[リセット] を押し、初期画面に戻ります。



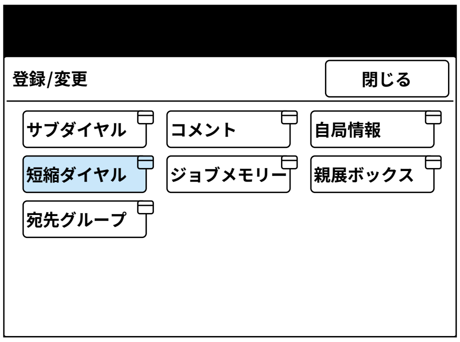
短縮ダイヤルの登録内容を変更/削除する

操作手順

1 メニュー画面の 登録/変更 を選択します。



2 短縮ダイヤル を選択します。



3 変更または削除したい短縮番号を指定します。

▶ **登録内容を変更する場合**

変更したい項目を直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。

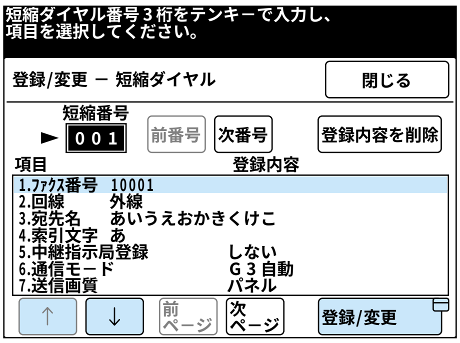
登録/変更 を選択します。

表示された画面で登録内容を変更し、 決定 を選択します。

続けて項目を変更する場合は、この手順を繰り返します。

▶ **登録内容の全ての項目を削除する場合**

登録内容を削除 を選択し、手順4に進みます。

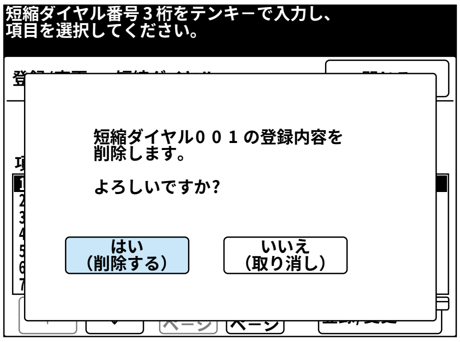


補足

- 取り消し を選択すると、登録内容が変更されません。

8 データの登録

4 はい(削除する) を選択します。



補足

- いいえ(削除しない) を選択すると登録内容は削除されません。
- 再登録するときは、本節の最初に戻り、再登録してください。

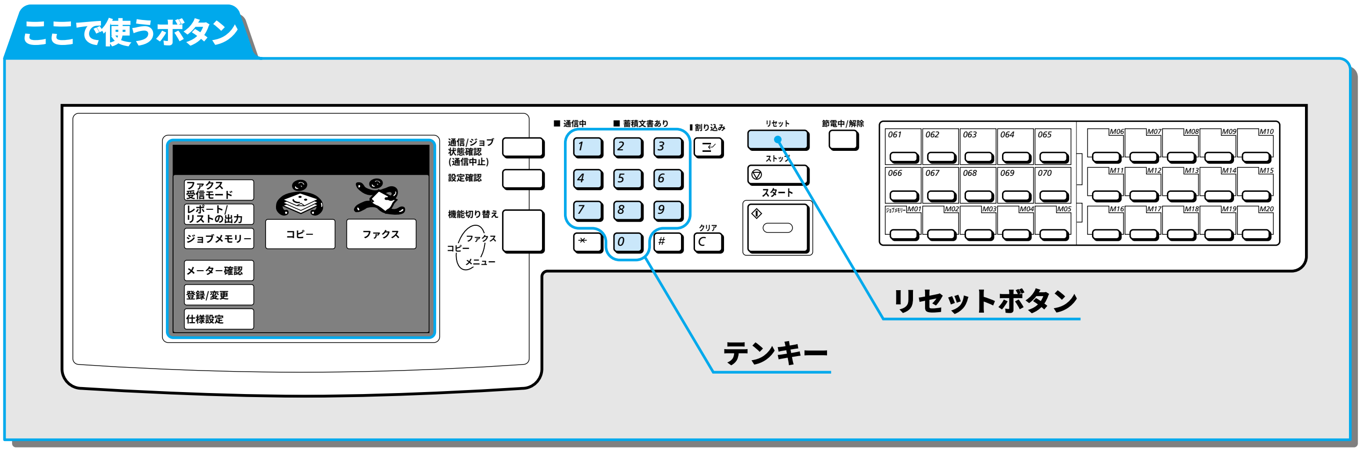
8 データの登録

8-3 グループを登録する

同報送信する相手先をまとめて、グループに登録することができます。
グループに登録する相手先は、短縮ダイヤルに登録しておく必要があります。

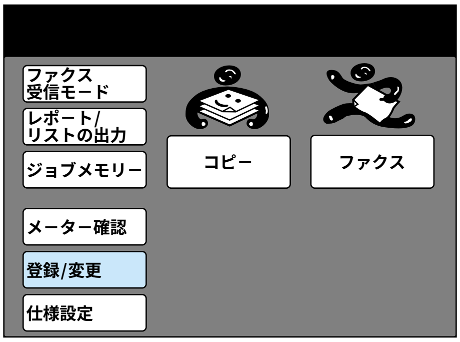
- 1グループに短縮ダイヤルは、20まで登録できます。ワイルドカード(＊)も使用できます。
- グループ数は、10まで登録できます。

ここで使うボタン

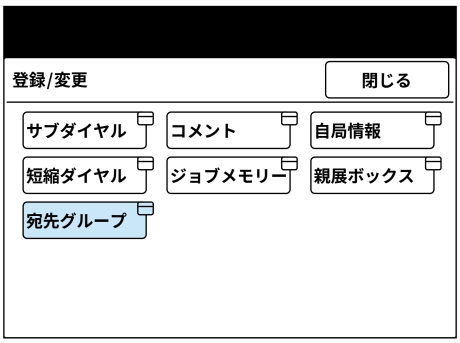


操作手順

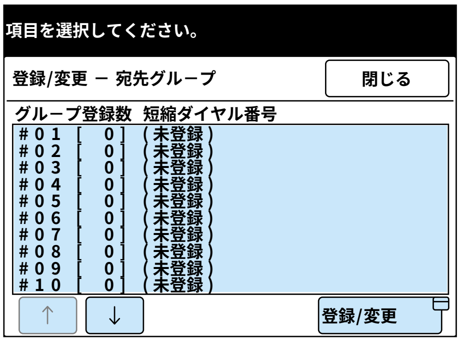
1 メニュー画面の 登録/変更 を選択します。



2 宛先グループ を選択します。



3 **登録したいグループ番号を、直接指で触れるか [↑] [↓] で選択します。**

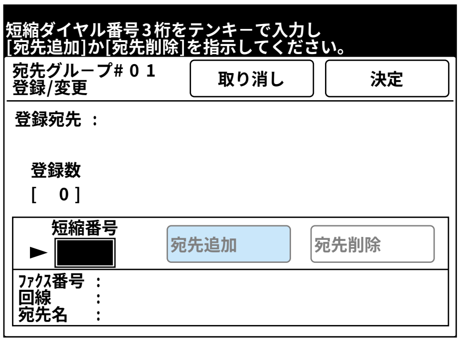


4 **[登録/変更] を選択します。**

5 **テンキーで短縮番号(3けた)を入力し、[宛先追加] を選択します。**

上記の操作を繰り返し、短縮番号を登録します。

- 宛先を削除したい場合は、テンキーで削除したい短縮番号を入力し、[宛先削除] を選択します。

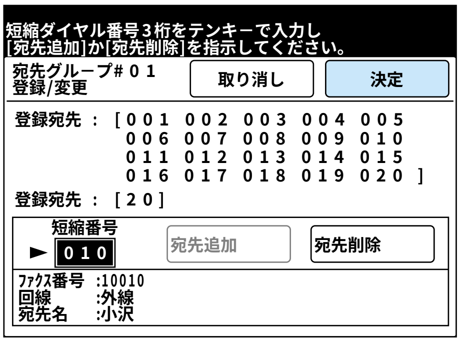


補足

- グループにグループは登録できません。
- ワイルドカードの使用例
  01*: 010～019の10件の短縮登録された宛先が指定できます。
  ***: 短縮登録されたすべての宛先が指定できます。

6 **[決定] を選択します。**

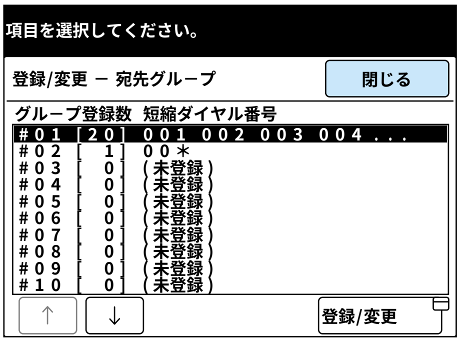
グループに登録した短縮番号が表示されます。



7 **[閉じる] を選択します。**

グループに登録した短縮番号が表示されます。

[リセット] を押し、初期画面に戻ります。



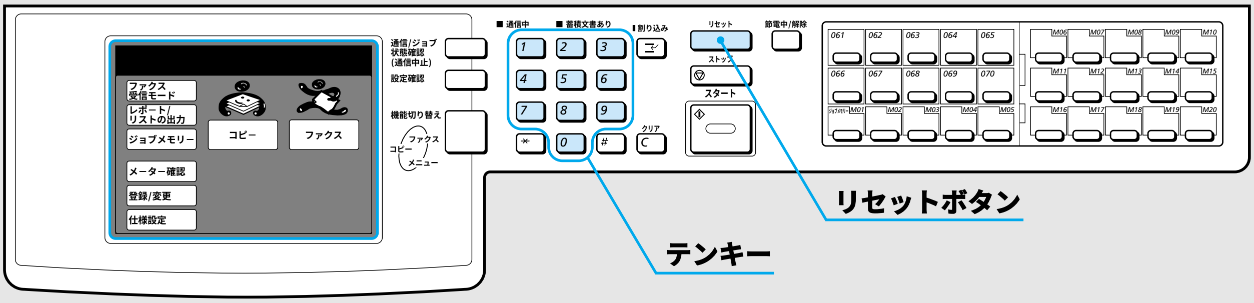
8 データの登録

8-4 自局名を登録する

自局の名前を自局名として登録します。
自局名は、相手側のディスプレイや通信管理レポートに表示されます。
ただし、相手機によっては表示されないことがあります。

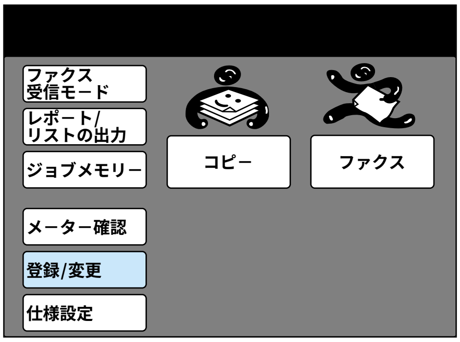
● 自局名には、カタカナ/英数字/記号で最大20文字まで登録できます。

ここで使うボタン

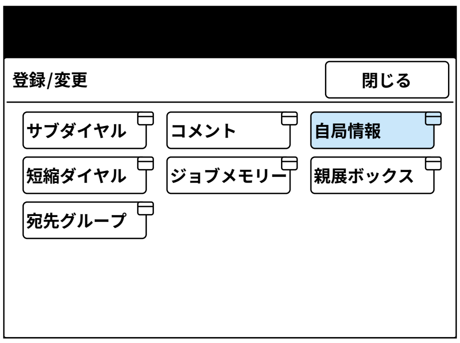


操作手順

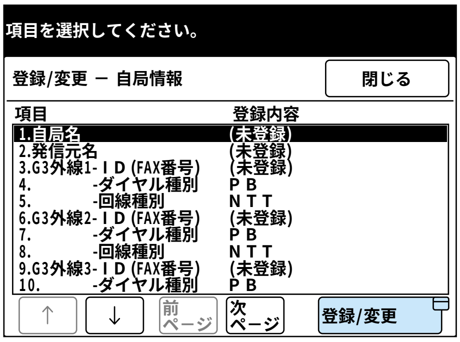
1 **メニュー画面の 登録/変更 を選択します。**



2 **自局情報 を選択します。**



3 1.自局名 が選択されていることを確認し、登録/変更 を選択します。



4 自局名を入力し、決定 を選択します。

リセット を押し、初期画面に戻ります。



参照

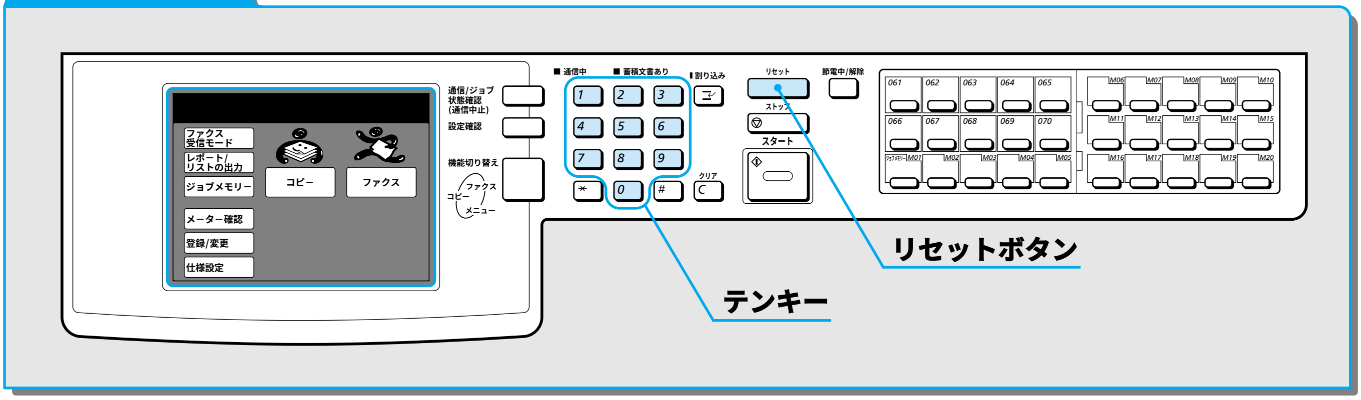
● 文字の入力方法については、「1-6　文字の入力のしかた」を参照してください。

8-5 発信元名を登録する

発信元の名前(会社名など)を登録します。
発信元名は、発信元記録や送信シートなどに出力される自局の名称です。

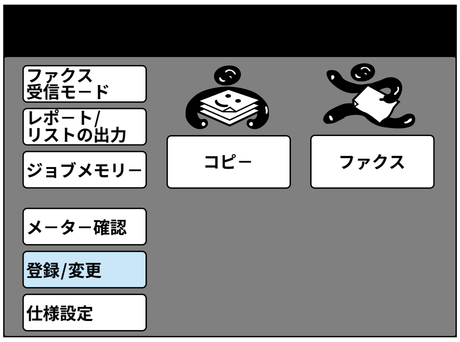
● 発信元名には、最大30文字まで登録できます。

ここで使うボタン

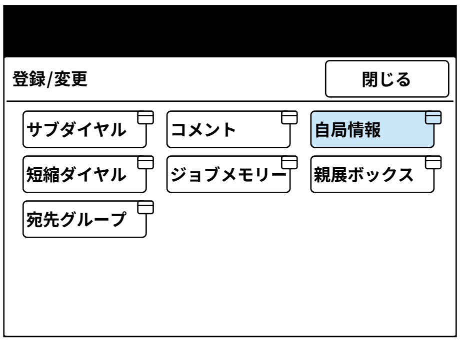


操作手順

1 メニュー画面の 登録/変更 を選択します。



2 自局情報 を選択します。



3 2.発信元名 を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。



4 登録/変更 を選択します。

5 発信元名を入力し、決定 を選択します。

リセット を押し、初期画面に戻ります。



参照

● 文字の入力方法については、「1-6　文字の入力のしかた」を参照してください。

8

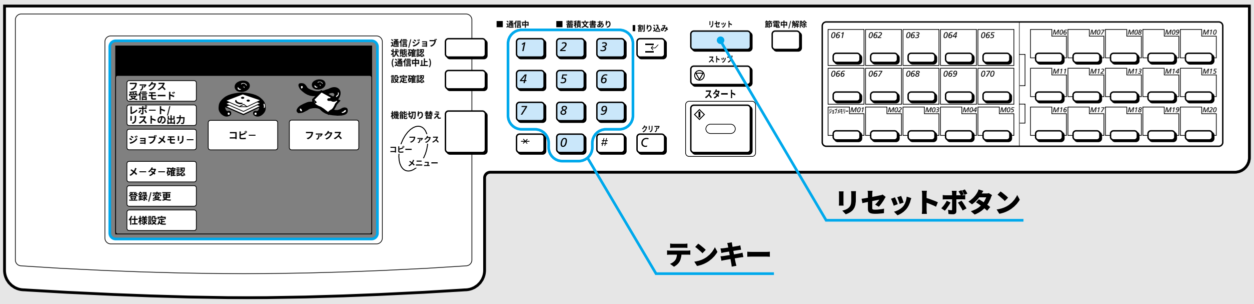
データの登録

8-6 G3 IDと回線を設定する

G3通信を行う場合、G3 IDの登録と回線の設定を行います。
G3 IDには、通常、自局のファクス番号を設定します。
回線の設定には、ダイヤル種別と回線種別の設定があります。

- G3通信で使用できる回線は、最大3回線(オプション装着時)です。
- 回線毎にG3IDを設定できます。特定の回線を指定して送信したい場合は「7-18　回線を指定して送信する」を参照してください。

ここで使うボタン

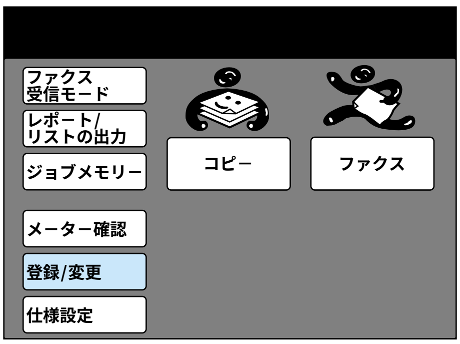


G3 IDを登録する

G3 IDには、通常、自局のファクス番号を登録します。

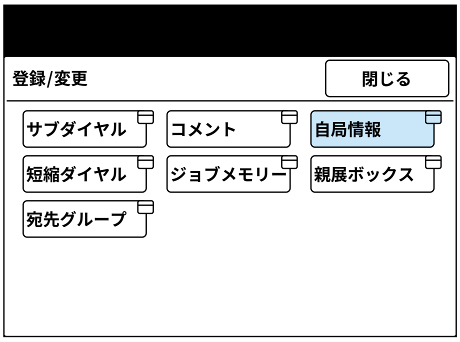
操作手順

1 **メニュー画面の 登録/変更 を選択します。**

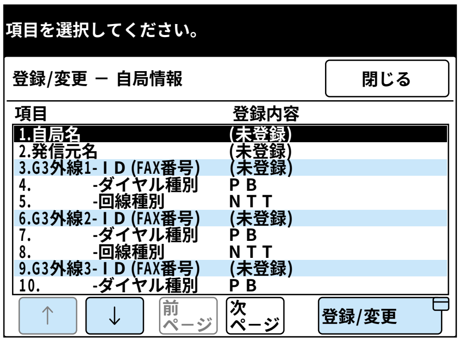


8 データの登録

2 自局情報 を選択します。



3 登録する外線を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。



4 登録/変更 を選択します。

5 ファクス番号を入力し、決定 を選択します。



補足

● 文字の入力方法については、「1-6　文字の入力のしかた」を参照してください。

● 登録できる番号は、最大20けたです。

● 入力できる番号は、数字と+です。

ダイヤル種別を選択する

補足

● 工場出荷時は、PB に設定されています。

ダイヤル種別を選択します。

ダイヤル種別は、以下のとおりです。

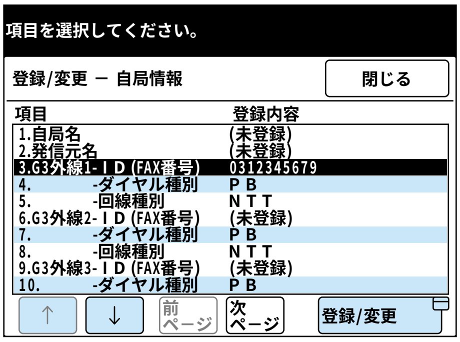
●プッシュ回線(PB)

●ダイヤル回線(10pps)

●ダイヤル回線(20pps)

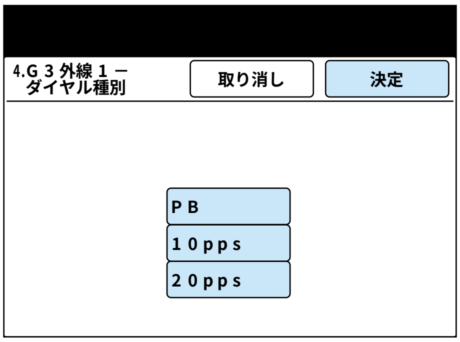
操作手順

1 ダイヤル種別 を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。



2 登録/変更 を選択します。

3 ＰＢ 、10pps 、20pps の中からダイヤル種別を選択し、決定 を選択します。



回線種別を選択する

補足

● 初期値は、NTTです。

回線種別を選択します。

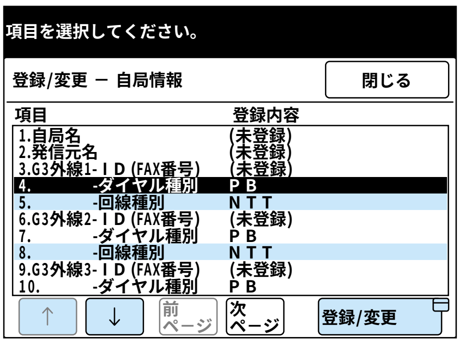
回線種別は、以下のとおりです。

●NTT ………一般電話回線

●PBX ………構内交換機

操作手順

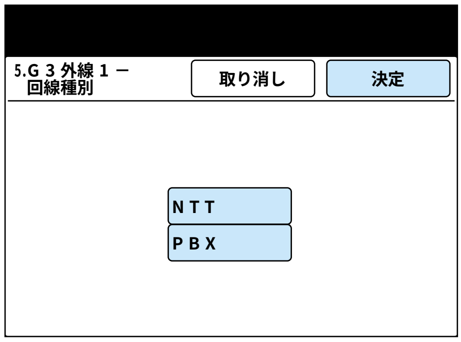
1 回線種別 を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。



2 登録/変更 を選択します。

3 **［NTT］、［PBX］から選択し、［決定］を選択します。**

［リセット］を押し、初期画面に戻ります。



8-7 G4 IDを設定する

G4通信を行う場合、G4 IDを登録します。
G4 IDには、網/国別コード、加入者番号、加入者略号を登録します。

網/国別コード - **加入者番号** = **加入者略号**

最大15文字

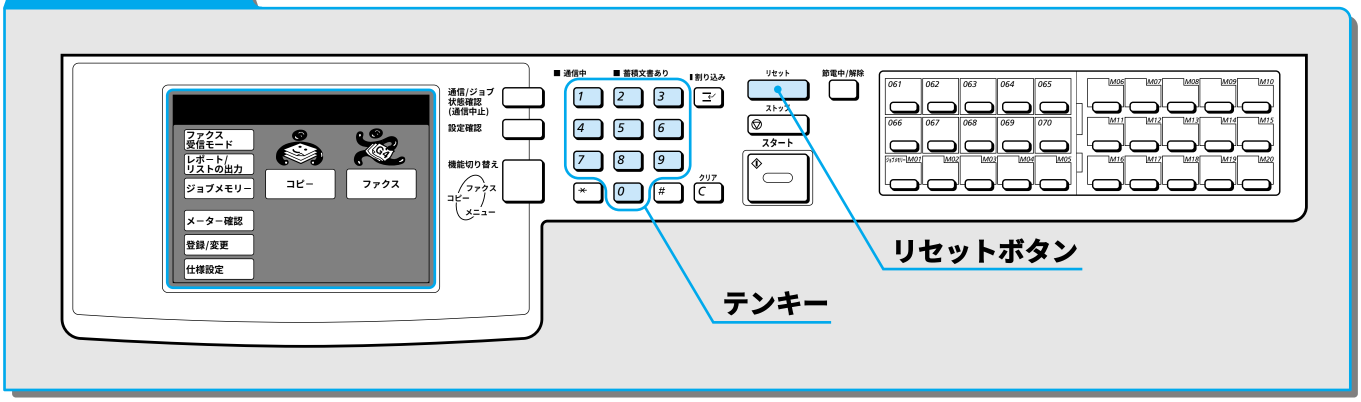
最大24文字

網/国別コード: 1文字以上4文字以下の数字
加入者番号: 12文字以内の英数字/記号
加入者略号: 3文字以上の英字

補足

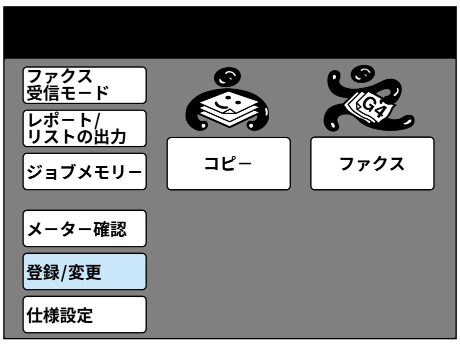
- G4はオプションです。
- 最大2回線まで増設できます。
- 日本の国別コードは「81」となります。

ここで使うボタン

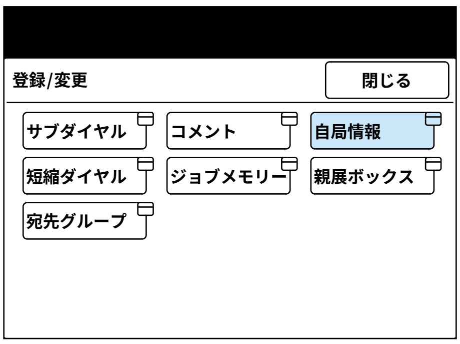


操作手順

1 メニュー画面の 登録/変更 を選択します。



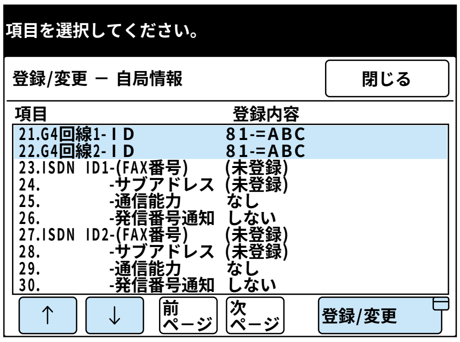
2 自局情報 を選択します。



8 データの登録

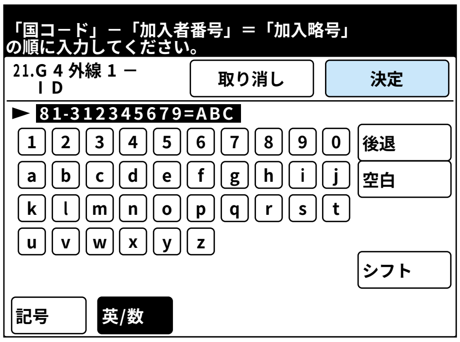
3 次ページ を2回選択し、登録する G4回線ＩＤ を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。

4 登録/変更 を選択します。



5 G4 IDを入力し、決定 を選択します。

リセット を押し、初期画面に戻ります。



参照

● 文字の入力方法については、「1-6　文字の入力のしかた」を参照してください。

8 データの登録

8-8 ISDN IDを設定する

ISDNを利用する場合、ISDN IDを登録します。
ISDN IDには、ファクス番号、サブアドレス、通信能力、発信番号通知があります。ファクス番号と通信能力は、必ず登録します。

項目	内容
FAX番号 (ファクス番号)	契約したISDN番号の市内局番と加入者番号をつないだものを32けた以内で登録します。 INSネットのダイヤルインサービスを使用する場合は、ID1〜ID4にダイヤルイン番号を登録します。
サブアドレス	INSネットのサブアドレス通知サービスを使用するときに19けた以内で登録します。 サブアドレス通知サービスを使用し、ひとつのISDN回線に複数の端末が接続されている場合に、相手側もINSネットに加入していれば「電話番号+サブアドレス」をダイヤルし、特定の端末(本機)を指示できます。 ● サブアドレス通知サービスを使用しないときは、登録の必要はありません。
通信能力	IDごとに通信できる通信能力(電話/G3/G4)を設定します。 ● ファクス番号またはサブアドレスを登録したときは、必ず設定します。
発信番号通知	INSネットの発信者番号通知サービスを利用するために設定します。 発信者番号通知サービスは、自局の電話番号を相手側に知らせるサービスです。 ● ファクス番号またはサブアドレスを登録したときは、必ず設定します。

■発信者番号通知について

発信者番号（契約者回線番号またはダイヤルイン番号）を相手の方に通知する機能です。相手の方に通知する／しないを選択することができます。

「INSネット契約」：INSネットのご加入時に選択いただいた発信者番号通知サービスの契約種別には、通常通知（通話ごと非通知）、通常非通知（回線ごと非通知）があります。

「本機の設定」：発信者番号を通知する／通知しないを指定する本機の設定には、［する］［しない］があります。

「184、186」：電話番号の前に付加して発信者番号を通知する／通知しないを指定するダイヤル操作には「184（通知しない）」、「186（通知する）」があります。

●あなたの電話番号の通知のされ方

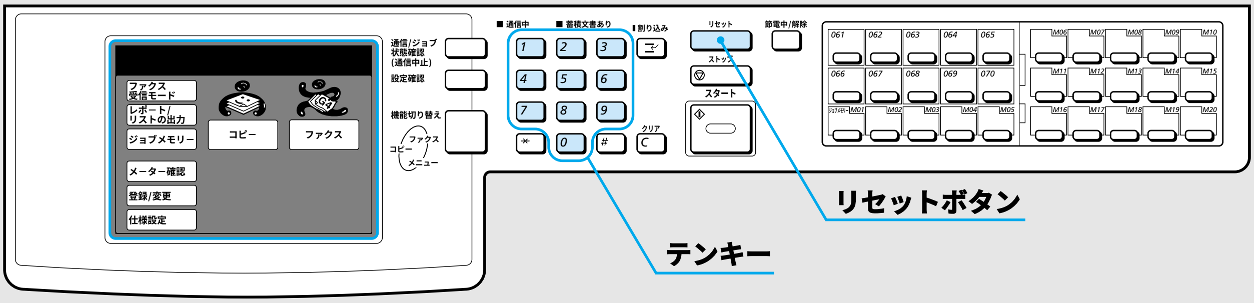
- 「184」を相手の電話番号の前に付加してダイヤルすると、「INSネット契約」や「本機の設定」にかかわらず、あなたの電話番号を相手の方に通知しません。
- 「186」を相手の電話番号の前に付加してダイヤルすると、「INSネット契約」や「本機の設定」にかかわらず、あなたの電話番号を相手の方に通知します。
- 相手の電話番号だけをダイヤルすると、以下のとおり「INSネット契約」や「本機の設定」の組合わせによって、あなたの電話番号を通知する／しないが決まります。

「INSネット契約」、「本機の設定」の組合わせによる通知する／通知しない

		本機の設定	
		しない	する
INSネット契約	通常通知（通話ごと非通知）	通知しません	通知します
	通常非通知（回線ごと非通知）	通知しません	通知します

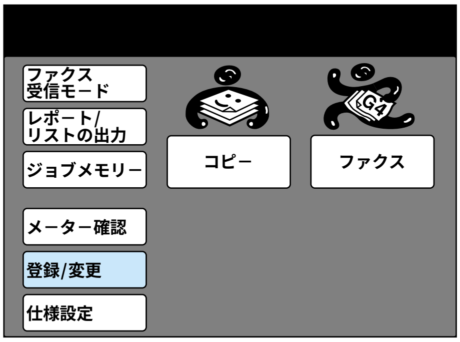
※すでに「常時通知拒否」ご契約の場合は、いかなる設定でも通知しません。（「184、186」は利用できません。）

ここで使うボタン

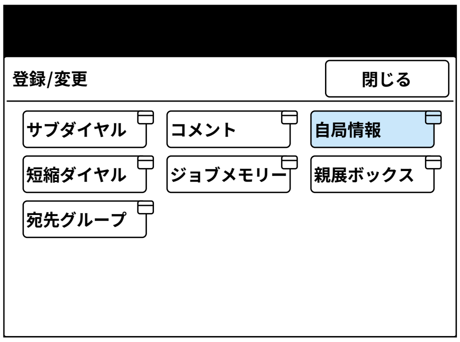


操作手順

1 メニュー画面の 登録/変更 を選択します。

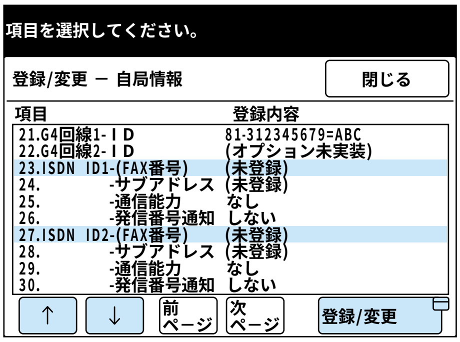


2 自局情報 を選択します。



3 登録する ISDN ID を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。

4 登録/変更 を選択します。



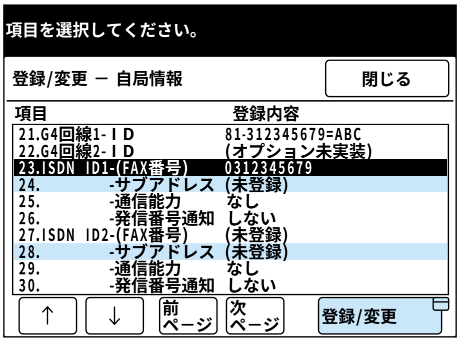
参照

● 文字の入力方法については、「1-6　文字の入力のしかた」を参照してください。

5 ファクス番号を入力し、決定を選択します。



6 サブアドレスを登録する場合は、サブアドレスを選択し、登録/変更を選択します。



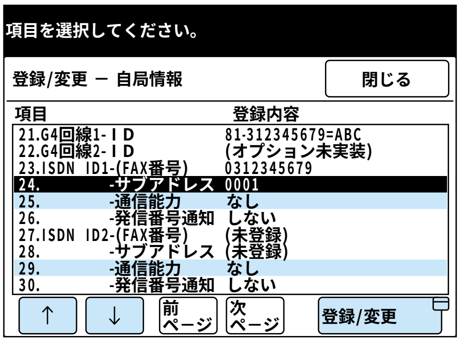
7 サブアドレスを入力して、決定を選択します。



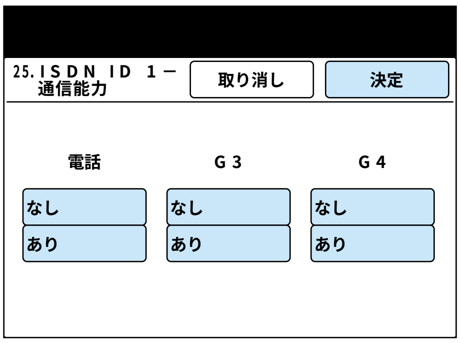
参照

● 文字の入力方法については、「1-6　文字の入力のしかた」を参照してください。

8 通信能力を選択し、登録/変更を選択します。



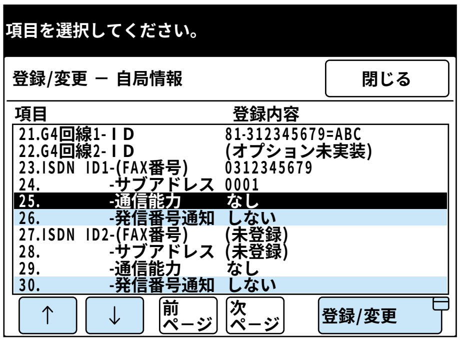
9 通信能力を選択し、決定を選択します。



補足

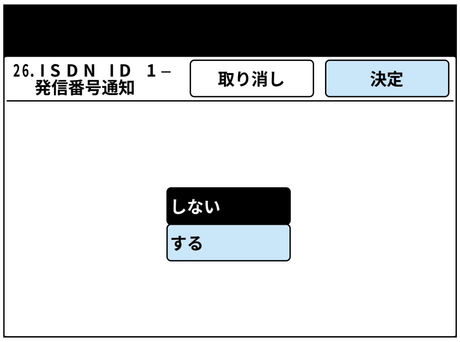
● ファクス番号やサブアドレスを設定した場合には、必ず選択します。

10 **［発信番号通知］を選択し、［登録/変更］を選択します。**



11 **発信番号通知を行う場合には、［する］を選択し、［決定］を選択します。**

［リセット］を押し、初期画面に戻ります。



補足

- ファクス番号やサブアドレスを設定した場合には、必ず［する］を選択します。

8

データの登録

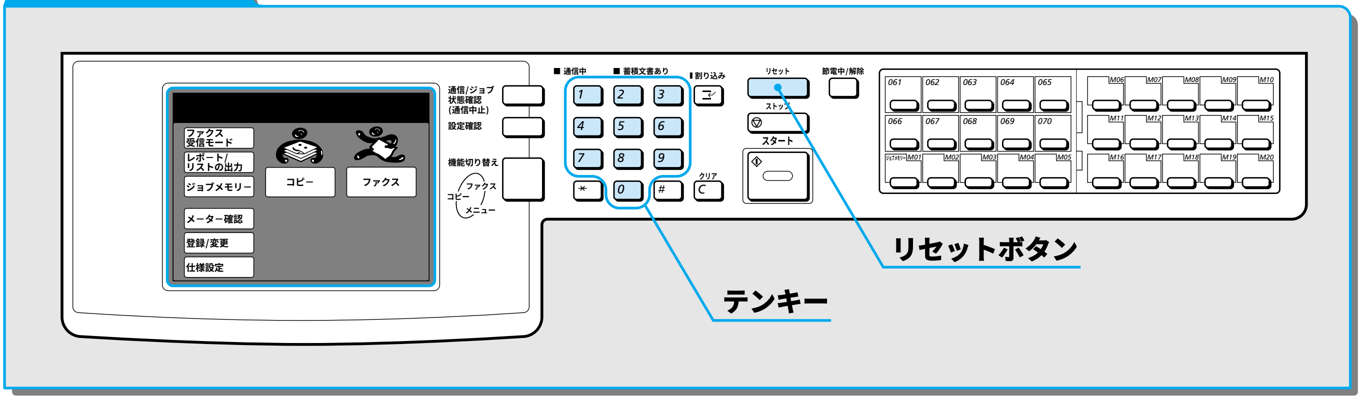
8-9 日付/時刻を設定する

現在の日付と時刻を設定します。
設定した時刻をもとに時刻指定送信などが機能しますので、正確な時刻を入力してください。

注記

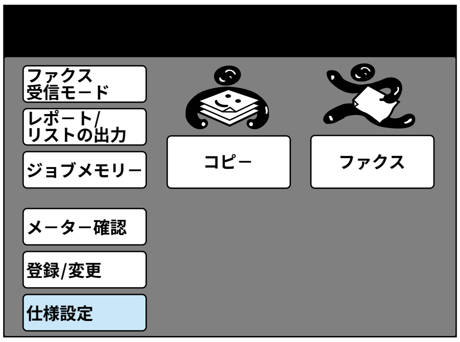
- 時刻表示は、あくまでも目安としてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は、登録をやり直してください。(時間精度：平均月差±30秒以内)

ここで使うボタン

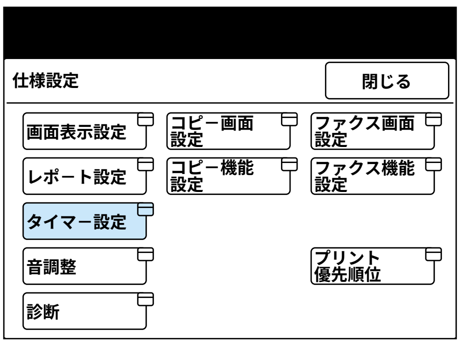


操作手順

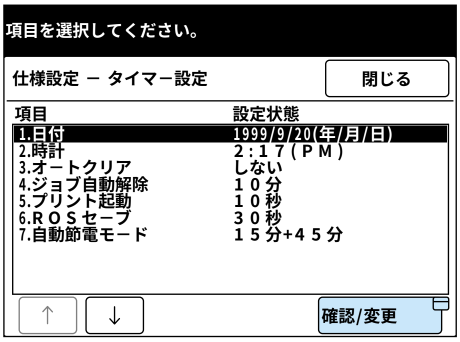
1 メニュー画面の 仕様設定 を選択します。



2 タイマー設定 を選択します。

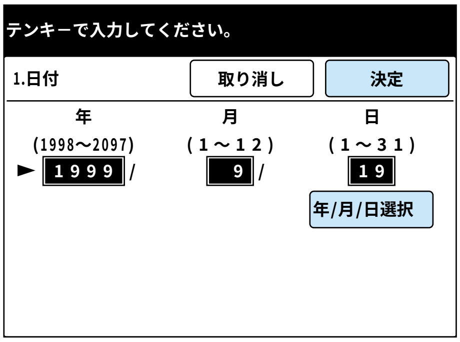


3 **1.日付 が選択されていることを確認し、確認/変更 を選択します。**



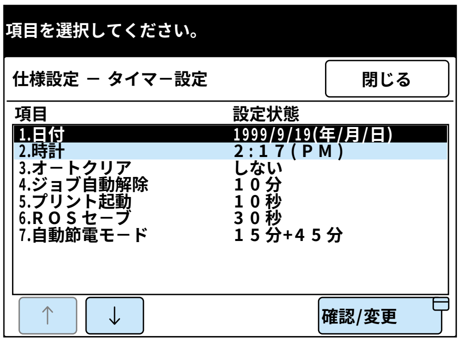
4 **年/月/日選択 を選択し、変更したい項目に ► を表示させます。**

テンキーで数字を入力し、決定 を選択します。



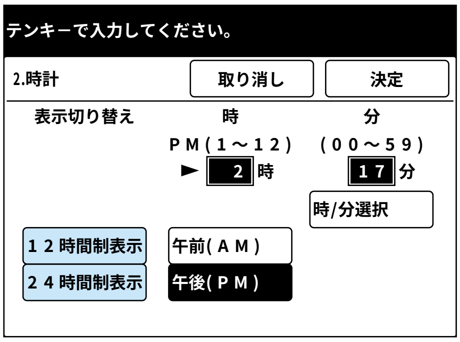
5 **2.時計 を、直接指で触れるか ↑ ↓ を使って選択します。**

6 **確認/変更 を選択します。**

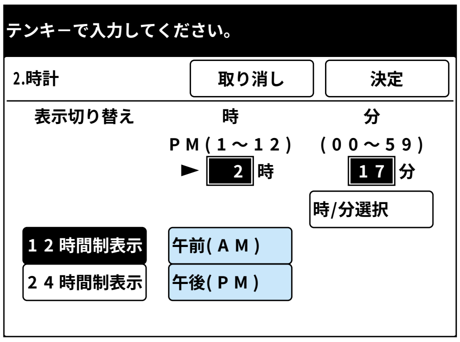


7 **12時間制表示 か 24時間制表示 を選択します。**

▶ **24時間制表示 を選択した場合は手順9に進みます。**



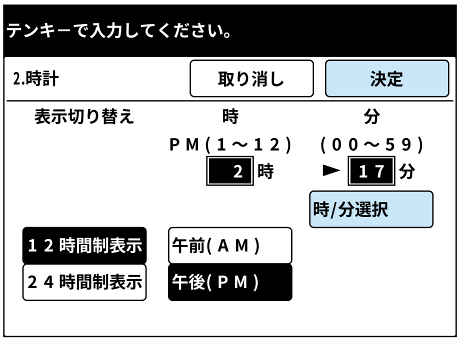
8 **午前(AM) か 午後(PM) のどちらかを選択します。**



9 **時/分選択 を選択し、変更したい項目に ► を表示させます。**

テンキーで数字を入力し、決定 を選択します。

決定 を選択した時点で、秒は00秒から始まります。



リセット ボタンを押し、初期画面に戻ります。

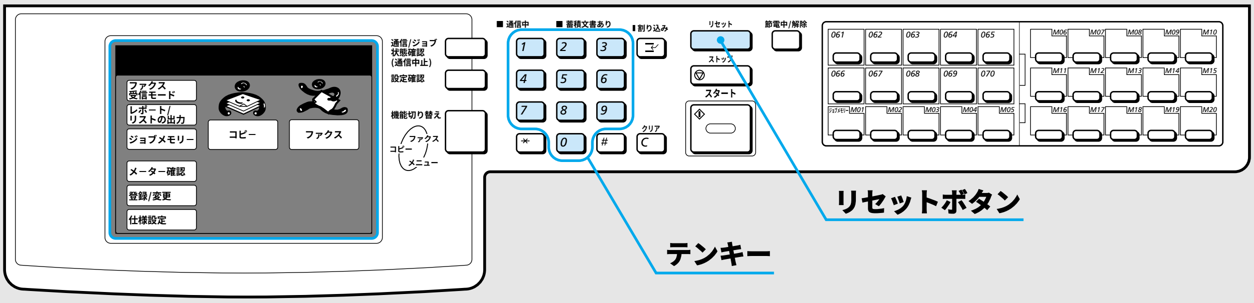
8 データの登録

8-10 コメントを登録する

送信シートやジョブメモリーにつけるコメントを登録します。

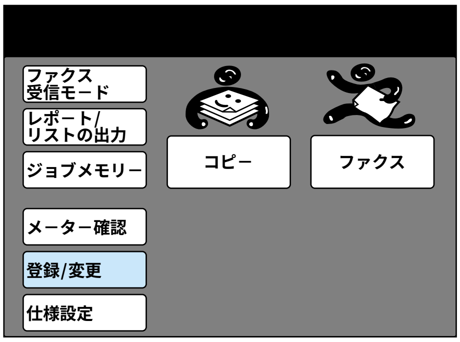
- コメントは、18文字まで登録できます。
- コメント数は、最大50です。
- 登録できる文字については、「1-6　文字の入力のしかた」を参照してください。

ここで使うボタン

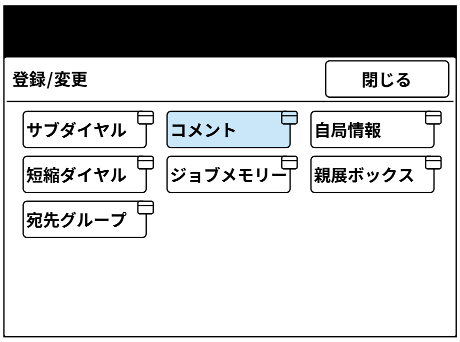


操作手順

1 **メニュー画面の 登録/変更 を選択します。**

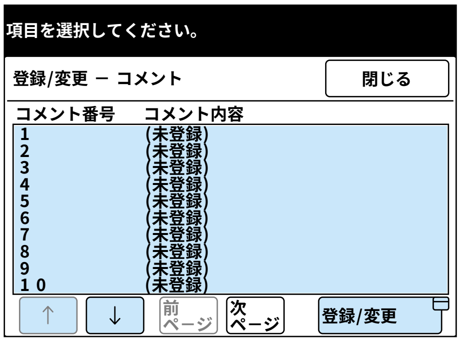


2 **コメント を選択します。**



8 データの登録

3 登録したい番号を、直接指で触れるか［↑］［↓］を使って選択します。



4 ［登録/変更］を選択します。

5 コメントを入力し、［決定］を選択します。



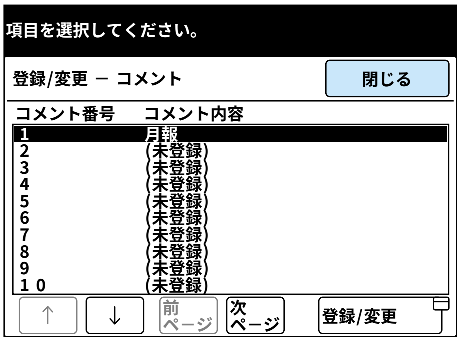
参照

● 文字の入力方法については、「1-6　文字の入力のしかた」を参照してください。

6 ［閉じる］を選択します。

登録したコメントが表示されます。

［リセット］を押し、初期画面に戻ります。

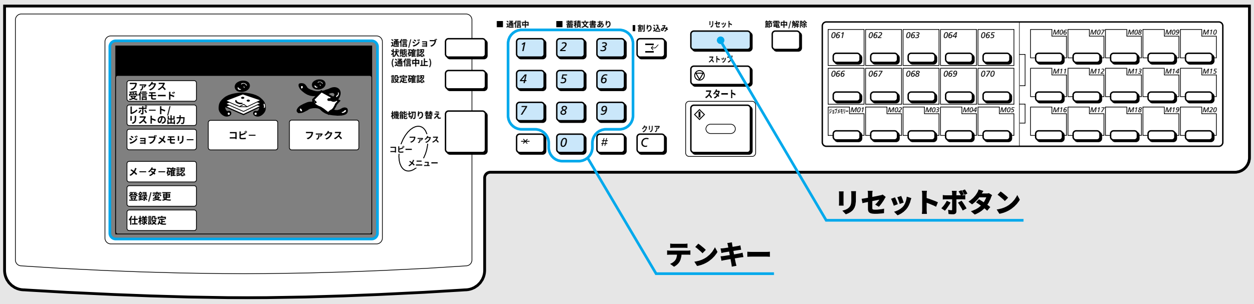


8-11 親展ボックスを登録する

親展通信を行う場合、親展ボックスを登録します。
親展受信した文書や親展ポーリング予約した文書は、親展ボックスに入ります。
親展ボックス登録時には、暗証番号とボックス名が登録できます。
親展ボックスは、受信用と送信(ポーリング予約)用とを分けて運用したほうが便利です。

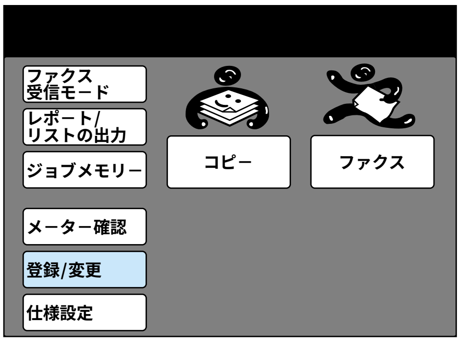
- 親展ボックスは、200個まで登録できます。
- 登録された暗証番号は、あらかじめ、相手先に連絡します。詳しくは、「7-13　親展通信する(親展通信/親展ボックス)」を参照してください。

ここで使うボタン

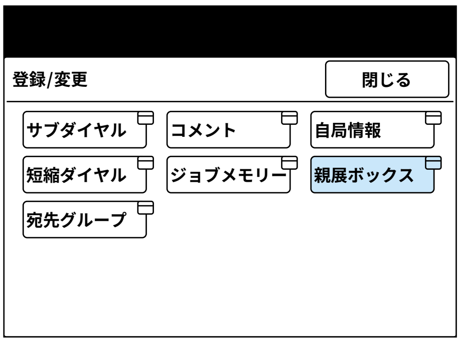


操作手順

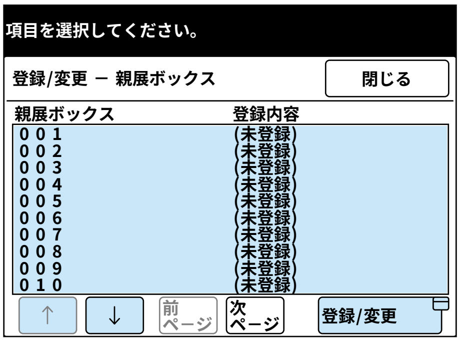
1 メニュー画面の 登録/変更 を選択します。



2 親展ボックス を選択します。



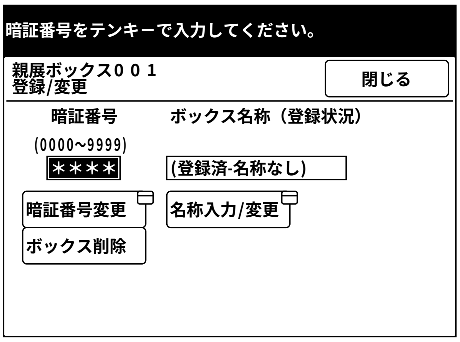
3 登録したい親展ボックスの番号を、直接指で触れるか [↑] [↓] を使って選択します。



4 [登録/変更] を選択します。

5 テンキーで4けたの暗証番号を入力します。

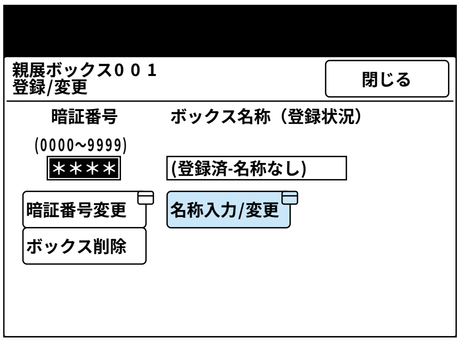
● 登録した親展ボックスを削除する場合には、[ボックス削除] を選択します。
● 暗証番号を変更するには、[暗証番号変更] を選択します。



補足

● 暗証番号は必ず入力してください。
● 他の親展ボックスと同じ暗証番号は使用できません。

6 ボックス名称を入力する場合は、[名称入力/変更] を選択します。



7 親展ボックス名を入力し、[決定] を選択します。

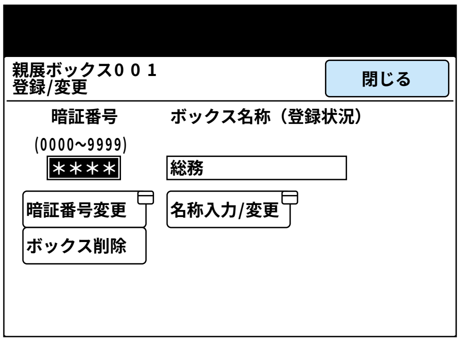


参照

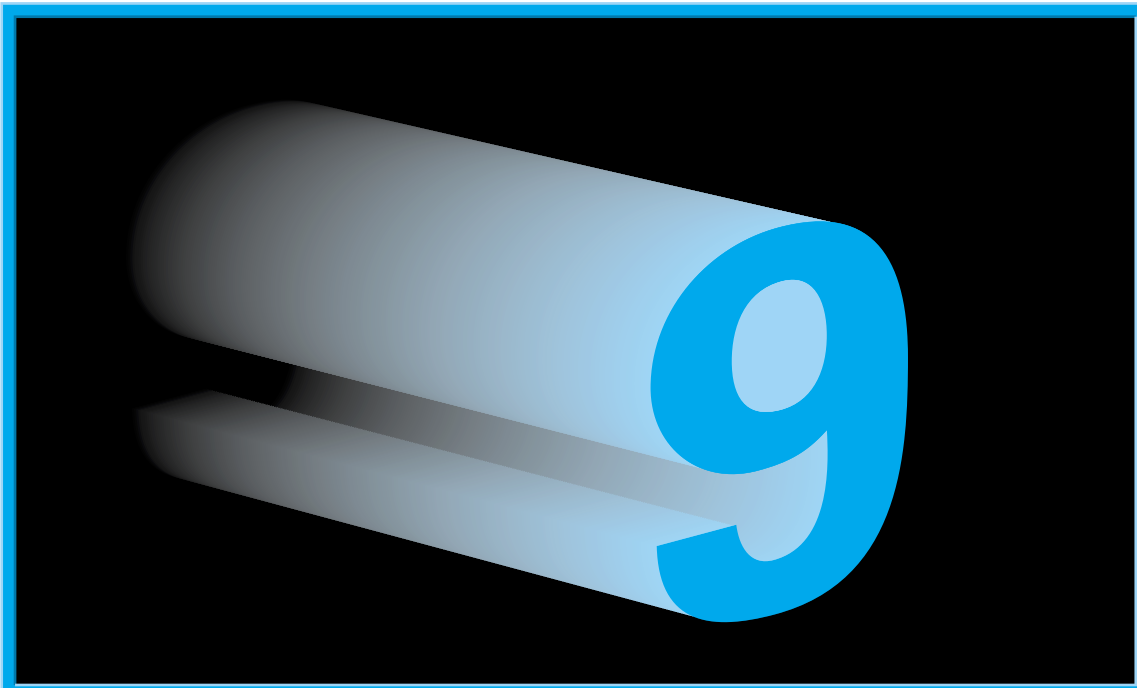
● 文字の入力方法については、「1-6　文字の入力のしかた」を参照してください。

8 [閉じる] を選択します。

登録した親展ボックス名が表示されます。



[リセット] を押し、初期画面に戻ります。



仕様設定

9-1 仕様設定について

本機の各機能は、工場出荷時にある値(初期値)に設定されていますが、いくつかの機能については値を変更することができます。これを仕様設定といいます。よく使う値があるときに仕様設定しておくと、操作時に変更する手間が省けて便利です。
ファクス画面での設定は、以下の条件のとき、仕様設定で設定してある値(初期値)に戻ります。

●電源を投入したとき
●節電状態から復帰したとき
● リセット を押したとき
●送信スタート後

注 記
●仕様設定画面のときは、ファクス受信することはできません。

仕様設定で設定または変更できる機能と設定できる値の範囲は、以下の表のようになります。
なお実際の設定方法は、「操作手順例」を参考に操作を行ってください。

●画面表示設定

機能	機能概要	設定できる値
1.初期画面（電源投入時）	電源を入れたとき、タッチパネルディスプレイに最初に表示される画面を変更することができます。	メニュー、コピー、ファクス
2.コピー初期画面	コピー画面を表示したときに、最初に表示される画面を変更することができます。	基本コピー、お好みコピー、コピー機能一覧
3.ファクス初期画面	ファクス画面を表示したときに、最初に表示される画面を変更することができます。	基本ファクス、お好みファクス、ファクス機能一覧
4.スキャナー初期画面*	スキャナー画面を表示したときに、最初に表示される画面を変更することができます。	スキャナガイドを参照してください。

____がついている値が、工場出荷時の値です。
*：LAN接続ユニット装着機

●タイマー設定

機能	機能概要	設定できる値
1.日付	現在の日付を設定します。	参 照 ●「8-9　日付/時刻を設定する」
2.時計	現在の時刻を設定します。12時間表示と24時間表示を選択することができます。	参 照 ●「8-9　日付/時刻を設定する」

____がついている値が、工場出荷時の値です。

機能	機能概要	設定できる値/設定方法
5.プリント起動	機械を操作しているときにファクス受信文書やレポートが蓄積されている場合、機械の操作を終えてからプリント起動されるまでの時間を設定できます。	0〜240秒（10秒）

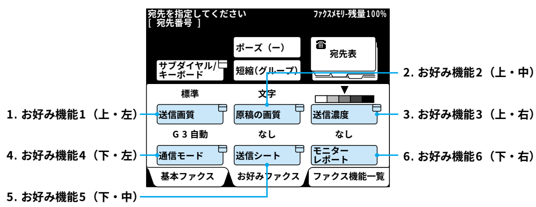
____がついている値が、工場出荷時の値です。

●音調整

機能	機能概要	設定できる値
5.正常終了音（コピー以外）	通信蓄積時、プリント時（ソート以外）、通信終了時、自動診断終了時などに鳴るように設定できます。	あり、なし
8.メモリー代行受信通知音	代行蓄積文書画面が表示されたとき、鳴るように設定できます。	あり、なし
9.ラインモニター音量	発呼してから、相手先に接続されるまでの間、電話回線上の音を本機のスピーカーから聞くことができるよう設定できます。	なし、あり1〜3（2）
10.呼び出しベル音量	本機に着信したときの呼出し音を設定できます。「0」に設定すると鳴らなくなります。 補足　G4通信ユニットまたは増設G4ポートを装着していない場合はハンドセット（受話器）でもベルが鳴ります。調整方法については「6-2　電話のとりかた」の「呼び出しベル音量の調節」を参照してください。	0〜3（3）

____がついている値が、工場出荷時の値です。

●ファクス画面設定

機能	機能概要	設定できる値
1〜6.お好み機能1〜6	お好み機能画面に表示されている機能は、ファクス機能一覧画面に表示されている機能の中から任意に6つ選んで入れ替えることができます。良く使う機能などを入れておくと便利です。 	ファクス機能一覧画面の機能から6種類
7.宛先表表示開始番号	宛先表を開いたときに、最初に表示される宛先の番号を設定できます	001〜500
8.時刻指定初期値	時刻指定通信する場合に、最初に表示される開始時間を設定できます。良く使う時間を設定すると便利です。	1:00〜12:59 AM/PM（9:00（PM））
9.送信中画面表示	送信中に、送信の状態をタッチパネルディスプレイに表示させるかどうか設定できます。	しない、する

____がついている値が、工場出荷時の値です。

9
仕様設定

●ファクス機能設定

機能	機能概要	設定できる値
1.送信画質	送信画質の初期値を設定できます。良く使う読み取り画質を設定すると便利です。	標準、高画質、超高画質
2.原稿の画質	原稿の画質の初期値を設定できます。良く使う画質を設定すると便利です。	文字、文字/写真、写真（中間調）
3.送信濃度	送信する原稿を読み取るときの、濃度の初期値を設定できます。良く使う濃度を設定すると便利です。	ふつう（5段階に調節）
4.通信モード	通信するときの回線モード初期値を設定できます。良く使う回線モードを設定すると便利です。	G3自動、国際通信、G4自動*
5.発信元記録	発信元記録の初期値を設定できます。設定すると電源投入時などに[発信元記録]は、選択された状態となります。	付ける、付けない
6.ポーリング予約の発信元記録	ポーリング予約文書に発信元記録を付けるかどうか設定できます。	付ける、付けない
7.ミックスサイズ原稿送り	ミックスサイズ原稿送りの初期値を設定できます。設定すると電源投入時などに［ミックスサイズ原稿送り］は、選択された状態となります。	する、しない
8.モニターレポート	モニターレポートの初期値を設定できます。設定すると電源投入時などに［モニターレポート］は、選択された状態となります。	出力しない、出力する
9.ポーリング予約文書削除	ポーリング予約された文書を、送信後に自動削除するかどうかを設定できます。なお親展ポーリング予約文書は、送信後に自動削除されます。	自動削除しない、送信完了後に削除
10.原稿通過スタンプ*	原稿通過スタンプの初期値を設定できます。設定すると電源投入時などに［原稿通過スタンプ］は、選択された状態となります。	押さない、押す
11.長尺原稿	自動原稿送り装置で読み取ることのできる原稿の最大長を設定できます。長尺原稿は片面のみの読み取りとなります。また読み取り中にメモリーオーバーした場合は、読み取りが中断されます。	600mm、3600mm
12.自動回転送信	原稿の向きを回転させれば、原稿イメージを縮小することなく送信ができる場合に、自動回転するよう設定できます。並列合成送信、読み取り指定機能で任意倍率を指定した場合は、自動回転送信は機能しません。また回転することのできる原稿サイズはA4 、A5、B5 （ただし、B5 は最大蓄積サイズA4を設定している場合のみ）となります。	する、しない
13.G3-IDの送出	G3通信時に、G3-IDを相手先に通知するかどうか、設定できます。	する、しない
14.リダイヤル回数	リダイヤルは、相手先が話し中などで応答しないときに、自動的に再度ダイヤルする機能です。リダイヤルする回数を設定できます。	0～9回（5回）
15.リダイヤル間隔	リダイヤルする間隔を設定できます。	1～255分（1分）

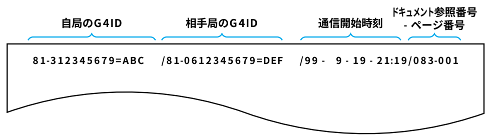
____がついている値が、工場出荷時の値です。
*：オプション装着時に設定できます。

機能	機能概要	設定できる値
16.自動ページ再送	自動ページ再送は、通信中になんらかの障害が起こり送信が中断された場合、そのページを送り直す機能です。送り直す回数を設定できます。 ただし、手動送信およびイミディエト送信で送信された場合は再送されません。また再送される間隔は、リダイヤル間隔で設定された値となります。	0～5回（3回）
17.通信インターバル	一つの通信が終わった後、次に送信を始めるまでの時間を設定できます。通信インターバルが長いほど、同報送信などにかかる全体の時間も長くなりますが、待機時間中は受信できるため受信しやすくなります。	3～255秒(8秒)
18.同一宛先一括送信	一括送信とは、複数の送信が予約されているときに同一の宛先がある場合、1回の通信で同一の宛先の文書を送信する機能です。通信コストを低減することができます。 なお、イミディエト通信、手動送信、同報、中継同報、親展通信、指定時刻より前の時刻指定通信などの場合は、機能しません。	する、しない
19.手動送受信初期設定	オンフックまたはオフフックを使用した場合、タッチパネルディスプレイに最初に表示される状態を手動受信にするか手動送信にするかを設定できます。よく使用する手動通信方法を設定すると便利です。	受信、送信
20.ファクス切り替え時間	電話がかかってきてからファクス通信を開始するまでの時間を設定できます。相手が電話であれば、設定時間内に受話器を取って会話することができ、ファクス通信であれば手動受信を行います。	0～15秒（0秒）
21.ファクス受信モード	電源を入れたときのファクス受信方法を設定できます。	自動受信、手動受信
22.ページ分割しきい値	受信文書の長さが用紙サイズより長い場合、どの値でページ分割するかを設定できます。自動縮小受信機能と組み合わせて設定すると便利です。	0～127mm(30mm)
23.自動縮小受信	受信文書の長さが、ページ分割しきい値以内で用紙の長さを越える場合、用紙に収まるように自動的に画像を縮小する機能です。ページ分割しきい値と組み合わせて設定すると便利です。設定しない場合、用紙の長さより越えた部分の画像は切り捨てます。	しない、する

____がついている値が、工場出荷時の値です。

機能	機能概要	設定できる値
24.受信紙宣言	ファクス受信側から送信側への受信文書用紙サイズ宣言方法（モード）を設定できます。 **●トレイモード** セットされている用紙トレイ（手差しトレイ除く）の用紙サイズを送信側へ宣言します。受信文書はセットされている用紙の中で、等倍で画像が欠けることなく最も近い用紙サイズに出力されます。ただし、受信文書サイズより小さい用紙しかセットされていない場合は、最も近い用紙サイズに送信側で縮小を行われ、その用紙に出力します。 **●ユーザーモード** 設定する受信紙サイズを送信側へ宣言します。宣言した用紙サイズの用紙トレイ（手差しトレイ除く）がセットされており、その中に受信文書の用紙サイズがある場合は、等倍で出力します。受信文書の用紙サイズが宣言した用紙サイズの中にない場合、等倍で画像が欠けることなく出力できる用紙へ出力されます。それ以外の場合は、代行蓄積文書となります。 常に、同じサイズの用紙に出力したり、等倍で出力したいときはこのモードを選択します。	トレイモード、 ユーザーモード （A5▯、A4▯、 A4▭、A3▭、 8.5×11"▭、B5▯、 B4▭）
25.並列合成受信	2枚受信した文書のサイズがA4（▯に限る）で、セットされている用紙がA4以上（▯を除く）のみの場合、2ページを1ページに並列合成して受信するように設定できます。用紙を節約したい場合に便利です。 例えばA5▯を2枚受信した場合、A4▭の用紙1枚に出力します。ただし受信した用紙と同じ用紙サイズの用紙が宣言されていれば、その用紙へ出力されます。	しない、 2枚合成する
26.両面プリント*	受信文書やレポートを用紙の両面に出力するよう設定できます。用紙を節約したい場合に便利です。1枚目に送信シートがついてくることが多い場合は、1枚目のみ片面プリントし、2枚目以降を両面プリントするようにも設定できます。ただしメールボックスへ排出する場合は両面プリントできません。	する、しない、 2枚目以降両面プリントする
27.うら面の画像回転プリント	両面プリントを行う場合に、うら面の画像を180°回転させるように設定できます。うら面とおもて面の天地を合わせる場合に便利です。	する、しない、 たて送り用紙（▭）のみ回転、よこ送り用紙（▯）のみ回転
28.レポート/リスト排出先 **29.自動出力レポート排出先** **30.外線1排出先** **32.外線2排出先*** **34.外線3排出先*** **36.ISDN排出先***	それぞれの文書の排出先を設定できます。 （31.内線1排出先、33.内線2排出先、35.内線3排出先は設定できません。）	センタートレイ、 サイドトレイ*、 スタッカートレイ1～3*、 メールボックス1～10* サイドトレイ1（上段）* サイドトレイ2（下段）*

____がついている値が、工場出荷時の値です。
*：オプション装着時に設定できます。

機能	機能概要	設定できる値
37.呼識別行（G4ヘッダ）*	G4で通信された文書にヘッダーを付けるよう設定できます。ヘッダーは用紙の先端に以下のように付きます。	付ける、<u>付けない</u>

＿＿がついている値が、工場出荷時の値です。
*：オプション装着時に設定できます

●プリント優先順位

機能	機能概要	設定できる値
1.ファクス受信文書 2.自動出力レポート 3.プリンター文書*	ファクス受信文書、自動出力レポート、プリンター出力文書などが同時にプリント待ちとなっている場合の、プリント優先順序を設定できます。優先度が同じ場合は、プリント待ちとなった順で出力されます。	優先度1（高）、 優先度2（中）、 <u>優先度3（小）</u>

＿＿がついている値が、工場出荷時の値です。
*はオプションの場合があります。

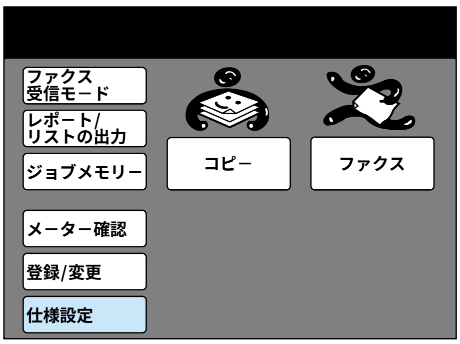
その他の仕様設定については、「本体管理/コピー編」を参照してください。

操作手順例

補足

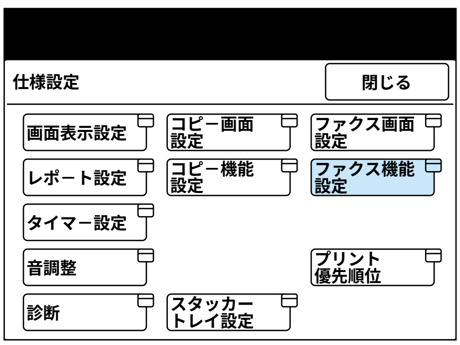
● 右の画面が表示されていない場合は、［機能切り替え］を押し、メニュー画面を表示させます。

1　メニュー画面の［仕様設定］を選択します。



2　設定するボタンを選択します。

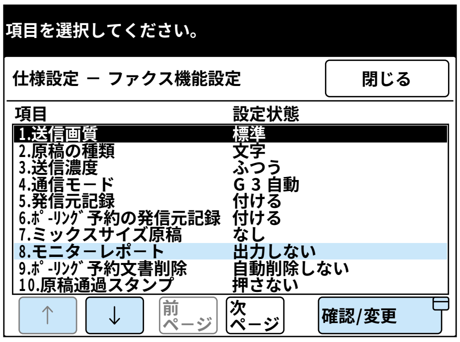
ここでは［ファクス機能設定］を選択します。



9 仕様設定

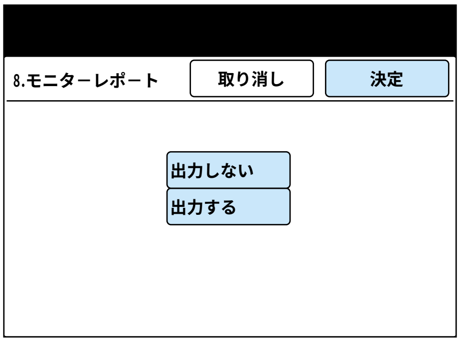
3 **設定する項目を選択し、確認/変更を選択します。**

ここでは、8.モニターレポートを選択します。



4 **設定したい値を選択します。**

ここでは、出力するを選択します。



5 **決定を選択します。**

リセットを押し、初期画面に戻ります。

補足

● 取り消しを選択すると設定が取り消されます。

9 仕様設定

10 レポート/リストについて

10-1 レポート/リストについて

レポートやリストを出力し、通信状況や設定内容を見ることができます。
自動的に出力するかしないかを設定できるレポート/リストもあります。

レポート/リスト名	内容	出力されるタイミング	参照先
通信管理レポート	送受信の通信結果や通信内容	● 通信結果の合計が50になったとき(設定が必要) ● 出力を指示したとき	10-4
機能設定リスト	各機能の設定値や親展ボックス、コメント登録リスト	● 出力を指示したとき	10-5
蓄積文書リスト	蓄積文書とその状態	● 出力を指示したとき	10-6
登録ダイヤルリスト	短縮ダイヤル、グループ、サブダイヤルの登録内容	● 出力を指示したとき	10-7
パワーオフレポート	電源が切れたことによって消去された内容	● 電源投入後、自動的に出力	10-8
同報/集信レポート	同報/集信での通信結果	● 同報/集信通信後、自動的に出力(設定が必要)	10-9
モニターレポート	送信文書の1ページめとその通信結果	● 通信の正常終了後に出力(設定が必要)、異常終了時は未送信レポートを出力	10-10
未送信レポート	送信できなかった文書の1ページめとその通信結果	● 通信の異常終了後、自動的に出力(設定が必要)	10-10
中継同報レポート	中継同報の結果	● 通信後自動的に出力(設定が必要)	10-11
親展受信レポート	親展受信の結果	● 親展受信後自動的に出力(設定が必要)	10-12

レポートの出力の設定については、「10-3　レポートの出力を設定する」を参照してください。
また、出力の指示の方法については、「10-2　レポート/リストを出力する」を参照してください。

10-2 レポート/リストを出力する

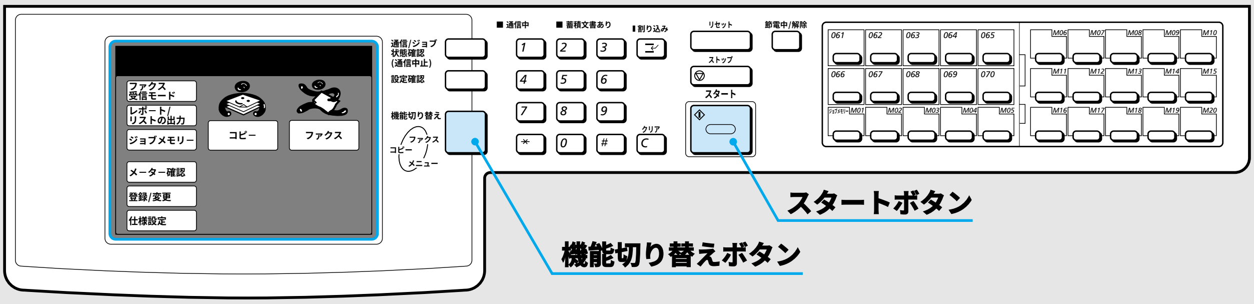
レポート/リストは以下の手順で出力します。

メニュー画面からのレポート/リスト出力

通信管理レポート、機能設定リスト、蓄積文書リスト、登録ダイヤルリストの出力方法を説明します。

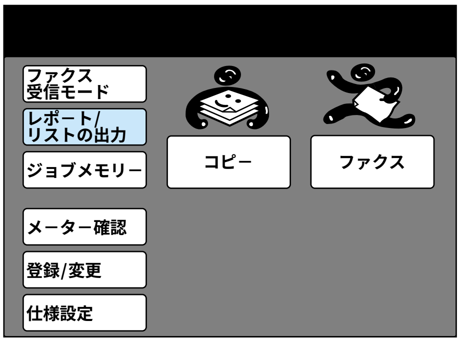
- 蓄積文書がない場合は、蓄積文書リストは出力されません。

ここで使うボタン



操作手順

1 **メニュー画面の [レポート/リストの出力] を選択します。**



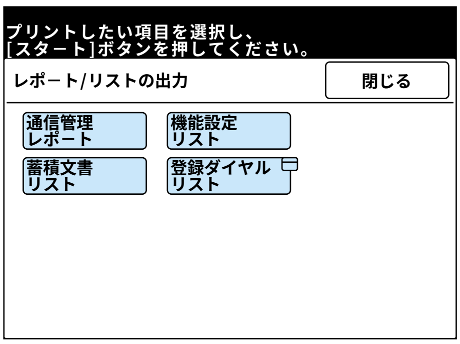
補足

- 右の画面が表示されていない場合は、[機能切り替え] を押し、メニュー画面を表示させます。

2 **出力するレポートを選択します。**

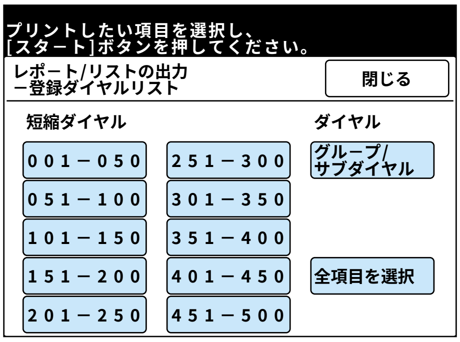
▶ **登録ダイヤルリストの場合には、手順3に進んでください。**

▶ **その他の場合は、手順4に進みます。**



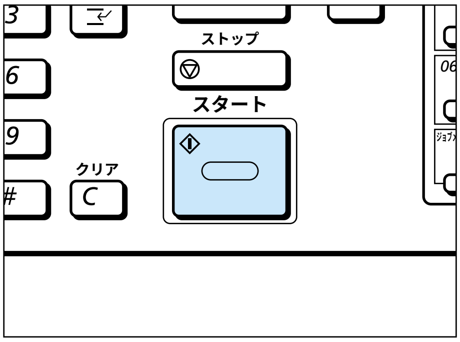
3 出力したい番号の範囲を選択します。

グループとサブダイヤルを出力したい場合は、［グループ/サブダイヤル］を、すべてを出力したい場合には、［全項目を選択］を選択します。



4 ［スタート］を押します。

レポートまたはリストが出力されます。



モニターレポートの出力

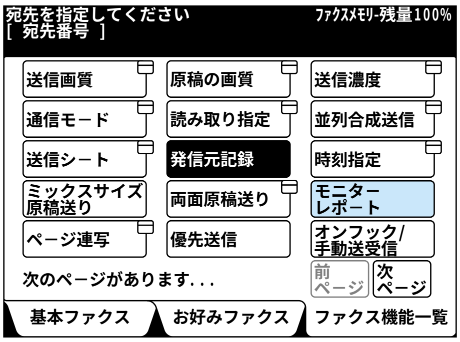
通信を指示するときにモニターレポートの出力を設定しておくと、通信の終了後にモニターレポートが出力されます。

- ［モニターレポート］を選択して送信できなかった場合は、未送信レポートが出力されます。モニターレポートや未送信レポートについては、「10-10　モニターレポート/未送信レポートの見かた」を参照してください。

操作手順

1 ファクス機能一覧画面で［モニターレポート］を選択します。

通信終了後にモニターレポートが出力されます。



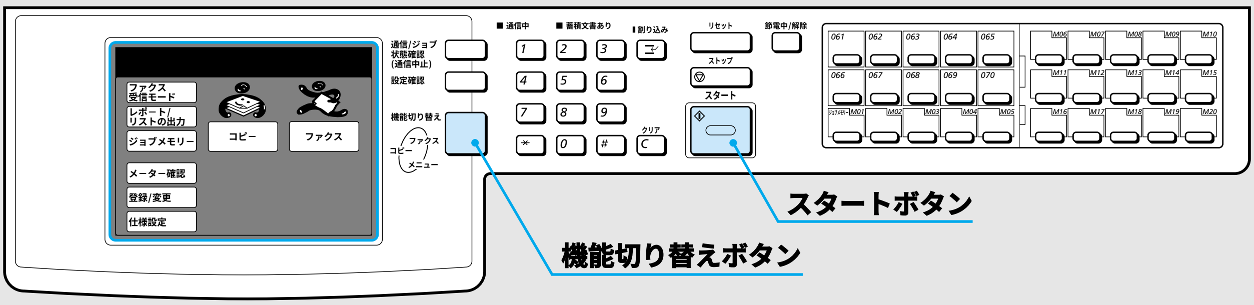
10-3 レポートの出力を設定する

レポートを自動出力させるように設定できます。

以下のレポートについて、設定することができます。
●通信管理レポート
●未送信レポート
●通信を中止した文書の未送信レポート
（未送信レポートが出力されるように設定しているときのみ有効）
●親展受信レポート
●同報/集信レポート
●中継同報レポート

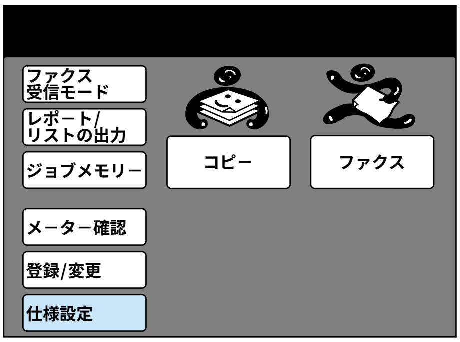
以下に、レポートの設定方法について説明します。

ここで使うボタン



操作手順

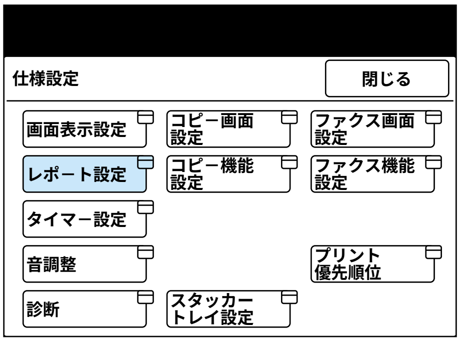
1 メニュー画面の 仕様設定 を選択します。



補足

● 右の画面が表示されていない場合は、機能切り替え を押し、メニュー画面を表示させます。

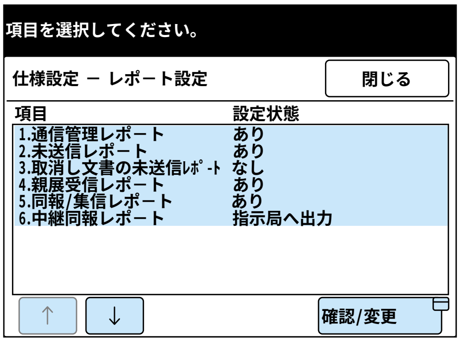
2 レポート設定 を選択します。



3 設定するレポートを選択し、確認/変更 を選択します。

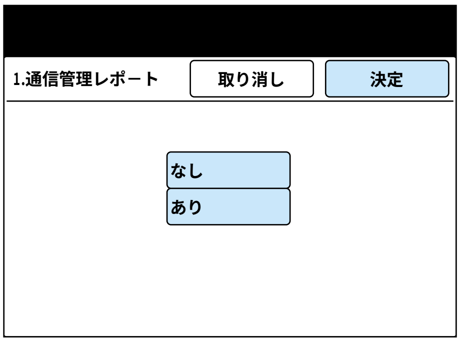
ここでは、通信管理レポートを選択した例を表示します。

▶ 6.中継同報レポート を設定する場合には、手順5に進んでください。



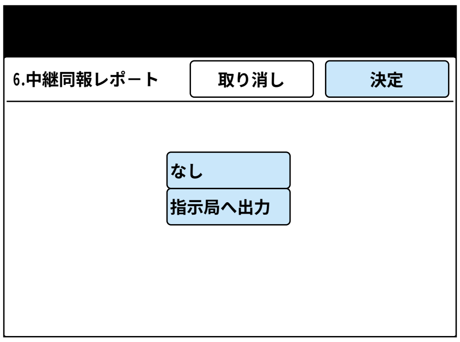
4 レポートを出力する場合は あり 、出力しない場合は なし を選択し、決定 を選択します。

リセット を押し、初期画面に戻ります。



5 レポートを出力しない場合は なし 、指示局へ出力する場合は 指示局へ出力 を選択し、決定 を選択します。

リセット を押し、初期画面に戻ります。



10-4 通信管理レポートの見かた

通信管理レポートとは、送受信が正常に終了したかを確認するためのレポートです。相手局名や通信結果/状態が記録されます。

● 以下の場合は、通信管理レポートに掲載されません。
・リダイヤルされる送信やポーリング
・送信待機中、リダイヤル待機中に送信待ちの文書を削除した場合
・通信中に電源が切断した場合やシステムエラーが発生した場合

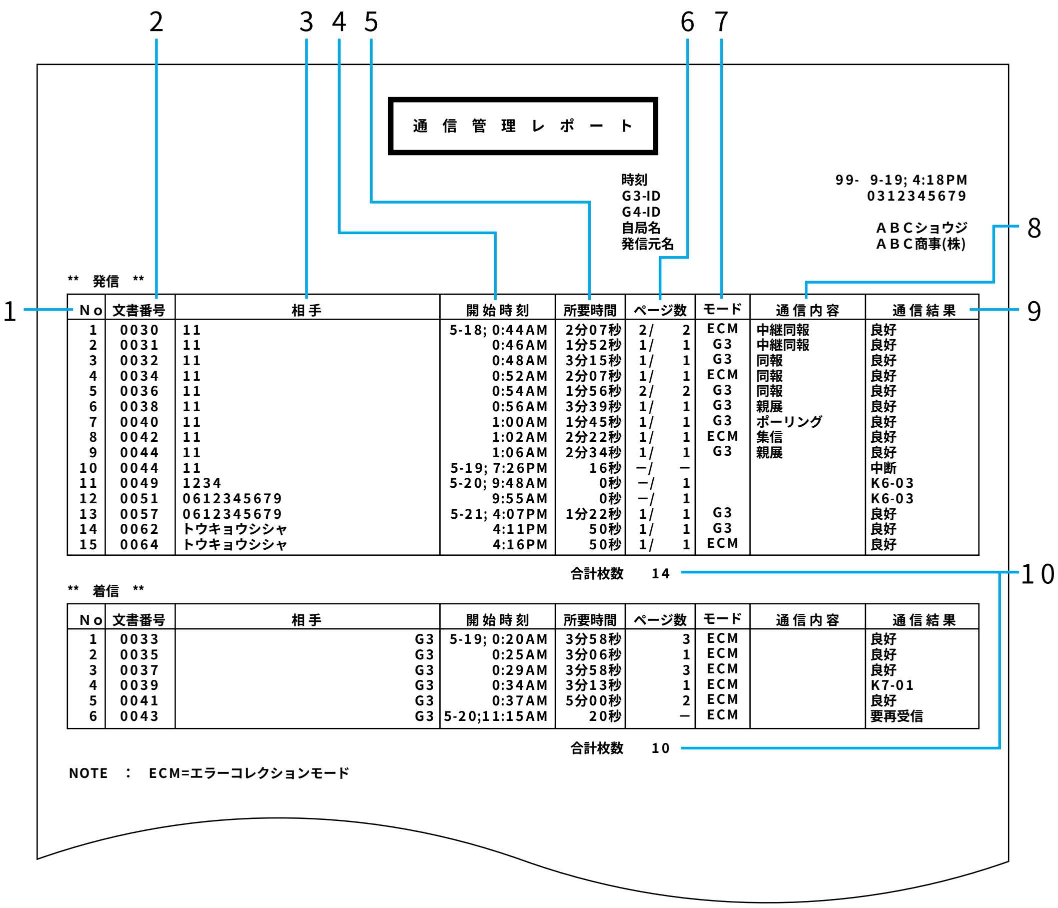
プリント方法には、次の2種類があります。

●自動プリント

通信結果の合計が50通信になるごとに自動的にレポートをプリントさせる方法です。一度プリントされると、それまでの通信結果や状況の情報は消去されます。設定手順は「10-3　レポートの出力を設定する」を参照してください。

●手動プリント

必要な時に、レポートをプリントさせる方法です。プリント手順は「10-2　レポート/リストを出力する」を参照してください。



通 信 管 理 レ ポ ー ト

時刻　99- 9-19; 4:18PM
G3-ID　0312345679
G4-ID
自局名　ＡＢＣショウジ
発信元名　ＡＢＣ商事(株)

** 発信 **

No	文書番号	相手	開始時刻	所要時間	ページ数	モード	通信内容	通信結果
1	0030	11	5-18; 0:44AM	2分07秒	2/　2	ECM	中継同報	良好
2	0031	11	0:46AM	1分52秒	1/　1	G3	中継同報	良好
3	0032	11	0:48AM	3分15秒	1/　1	G3	同報	良好
4	0034	11	0:52AM	2分07秒	1/　1	ECM	同報	良好
5	0036	11	0:54AM	1分56秒	2/　2	G3	同報	良好
6	0038	11	0:56AM	3分39秒	1/　1	G3	親展	良好
7	0040	11	1:00AM	1分45秒	1/　1	G3	ポーリング	良好
8	0042	11	1:02AM	2分22秒	1/　1	ECM	集信	良好
9	0044	11	1:06AM	2分34秒	1/　1	G3	親展	良好
10	0044	11	5-19; 7:26PM	16秒	—/　—			中断
11	0049	1234	5-20; 9:48AM	0秒	—/　1			K6-03
12	0051	0612345679	9:55AM	0秒	—/　1			K6-03
13	0057	0612345679	5-21; 4:07PM	1分22秒	1/　1	G3		良好
14	0062	トウキョウシシャ	4:11PM	50秒	1/　1	G3		良好
15	0064	トウキョウシシャ	4:16PM	50秒	1/　1	ECM		良好

合計枚数　14

** 着信 **

No	文書番号	相手	開始時刻	所要時間	ページ数	モード	通信内容	通信結果
1	0033	G3	5-19; 0:20AM	3分58秒	3	ECM		良好
2	0035	G3	0:25AM	3分06秒	1	ECM		良好
3	0037	G3	0:29AM	3分58秒	3	ECM		良好
4	0039	G3	0:34AM	3分13秒	1	ECM		K7-01
5	0041	G3	0:37AM	5分00秒	2	ECM		良好
6	0043	G3	5-20;11:15AM	20秒	—	ECM		要再受信

合計枚数　10

NOTE ： ECM=エラーコレクションモード

1. No

発信、着信の連番がそれぞれ記録されます。

2. 文書番号

通信を受け付けたときに、自動的に付けられる蓄積文書の番号が記録されます。

3. 相手

通信した相手局名やG3ID/G4IDが以下の優先順位でひとつだけ記録されます。

- **発信時**（短縮ダイヤル使用時）
  ① 宛先名
  ② 相手局名
  ③ G3ID/G4ID(スペース含む)
  ④ 通信モード
  「ECM(またはG3、SG3)」
- **着信時**
  ① 相手局名
  ② G3ID/G4ID(スペース含む)
  ③ 通信モード
  「ECM(またはG3、SG3)」
- **発信時**（フルダイヤル使用時）
  ① G3ID/G4ID(スペース含む)
  ② 電話番号
  ③ 通信モード
  「ECM(またはG3、SG3)」

4. 開始時刻

通信が開始された時刻が記録されます。
一括送信は各文書の送信開始時刻が記録されます。

5. 所要時間

通信が開始されてから終了するまでに要した時間、一括送信の場合は各文書の時間が記録されます。

6. ページ数

0の場合は「 - 」で記録されます。

- **送信時**
  「/」より左は正常に送信完了した枚数、右は読み取った総ページ数が記録されます。
  手動送信の場合、総ページ数は記録されません（「-」が記録されます）。
- **受信/ポーリング時**
  通信完了枚数のみが記録されます。

7. モード

通信したときのモードが記録されます。
G3、G4、ECM、SG3（Super G3）(左記以外の通信モードの場合表示されません。)

8. 通信内容

以下の優先順位で通信の内容が記録されます。
内容は重複して記録される場合もあります。

- **発信時**
  ①再送信　②親展　③同報/集信　④ポーリング
  ⑤中継同報　⑥中継同報指示
- **着信時**
  ①親展　②ポーリング　③中継同報要求

9. 通信結果

通信結果の内容が記録されます。

良好………………	正常終了したもの
話中………………	相手先が話中で通信ができない、または応答がなかったもの
自動再送…………	再送扱いになっていて再送回数を超えていないもの
プリント待ち……	正常に送受信終了したが、プリントが未完了のもの
文書削除…………	正常に受信したが、プリント前に削除したもの
中断………………	通信を中止したもの
要相手確認………	通信中に相手方または回線網が原因と考えられるエラーが発生したもの
要再送信…………	再度、送信が必要なもの
要再受信…………	再度、受信が必要なもの
Kx-xx ……………	通信異常を示す状態表示コード
F網通知 …………	結果情報のコード(G4通信ユニット装着時のみ)
要ケーブル確認…	電話線が接続されていなかったり、断線や接続不良が原因で通信できないもの
再送信……………	通信エラーが発生し、再送信したもの

参照

● Kx-xx (通信異常を示す状態表示コード)については、「11-2 状態表示コード一覧」を参照してください。

10.合計枚数

発信した枚数の合計と着信した枚数の合計が記録されます。

10

レポート/リストについて

10-5 機能設定リストについて

機能設定リストでは、送信機能、受信機能、コピー機能、その他の機能の仕様設定、自局設定、パネル初期設定、コメント登録内容が確認できます。
このリストは手動でプリントします。
プリント方法は、「10-2　レポート/リストを出力する」を参照してください。

補足

- 装着されているオプションによって、記録される内容が異なる場合があります。

機 能 設 定 リ ス ト

時刻　99- 9-19;10:30AM
G3-ID　0312345679
G4-ID
自局名　ＡＢＣショウジ
発信元名　ＡＢＣ商事(株)

G3設定

回線	ダイヤル種別	回線種別	内線-ダイヤル種別	内線-回線種別
1	PB	NTT	機能なし	機能なし
2				
3				

ISDNパラメータ

回線	ファクス番号	サブアドレス	通信能力	発信番号通知
1	未実装			
2	未実装			
3	未実装			
4	未実装			

画面表示設定

初期画面	コピー初期画面	ファクス初期画面
メニュー	基本コピー	宛先表

コピーお好み機能

用紙トレイ	縮小/拡大	コピー濃度
とじしろ	たてよこ独立変倍	原稿の画質

ファクスお好み機能

送信画質	原稿の画質	送信濃度
通信モード	並列合成送信	送信シート

コピー画面設定

項目	設定状態	項目	設定状態	項目	設定状態
倍率1	86.6%	倍率4	141.4%	左右わく消し初期値	2mm
倍率2	81.6%	倍率5	122.5%	上下わく消し初期値	2mm
倍率3	70.7%	倍率6	115.4%	中消し初期値	2mm

ファクス画面設定

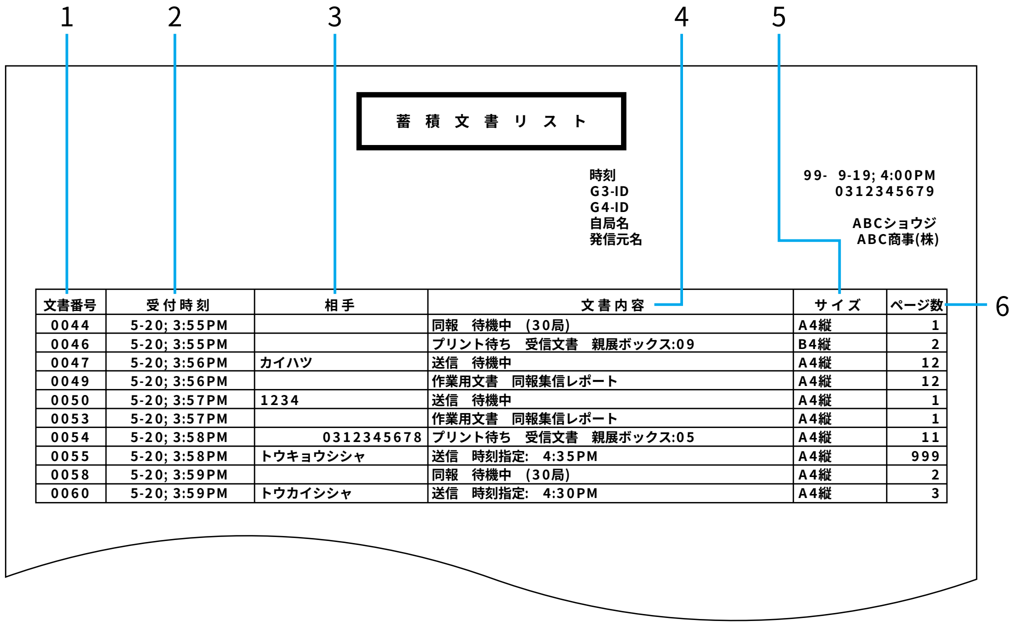
項目	設定状態	項目	設定状態	項目	設定状態
宛先表表示開始番号	001	時刻指定初期値	9：00(PM)	送信中画面表示	しない

レポート設定

項目	設定状態	項目	設定状態	項目	設定状態
通信管理レポート	あり	未送信レポート	あり	取消し文書の未送信レポート	あり
親展受信通知レポート	あり	同報/集信レポート	あり	中継同報レポート	指示局へ出力

10-6 蓄積文書リストの見かた

蓄積文書リストは、送信中や待機中などでメモリーに蓄積されている文書の情報をリストします。
35文書ごとに1ページに記録されます。
このリストは手動でプリントします。
プリント方法は、「10-2　レポート/リストを出力する」を参照してください。



蓄　積　文　書　リ　ス　ト

時刻　99-　9-19; 4:00PM
G3-ID　0312345679
G4-ID
自局名　ABCショウジ
発信元名　ABC商事(株)

文書番号	受付時刻	相手	文書内容	サイズ	ページ数
0044	5-20; 3:55PM		同報　待機中　(30局)	A4縦	1
0046	5-20; 3:55PM		プリント待ち　受信文書　親展ボックス:09	B4縦	2
0047	5-20; 3:56PM	カイハツ	送信　待機中	A4縦	12
0049	5-20; 3:56PM		作業用文書　同報集信レポート	A4縦	12
0050	5-20; 3:57PM	1234	送信　待機中	A4縦	1
0053	5-20; 3:57PM		作業用文書　同報集信レポート	A4縦	1
0054	5-20; 3:58PM	0312345678	プリント待ち　受信文書　親展ボックス:05	A4縦	11
0055	5-20; 3:58PM	トウキョウシシャ	送信　時刻指定:　4:35PM	A4縦	999
0058	5-20; 3:59PM		同報　待機中　(30局)	A4縦	2
0060	5-20; 3:59PM	トウカイシシャ	送信　時刻指定:　4:30PM	A4縦	3

1.　文書番号

送信操作を受け付けたときや受信したときに自動的に付けられる文書の番号が記録されます。

2.　受付時刻

送信文書が蓄積された時刻、受信文書は着信時刻が記録されます。
また、レポートなどの文書は作成時刻、その他は送信、集信などの指示をした時刻が記録されます。

3.　相手

通信した相手局名やG3ID/G4IDが記録されます。同報、集信、中継同報指示の場合は記録しません。
以下の優先順位でひとつだけ記録されます。

- **発信時**（短縮ダイヤル使用時）
  - ① 宛先名
  - ② 相手局名
  - ③ G3ID/G4ID(スペース含む)
  - ④ 通信モード
    「ECM(またはG3、SG3)」
- **着信時**
  - ① 相手局名
  - ② G3ID/G4ID(スペース含む)
  - ③ 通信モード
    「ECM(またはG3、SG3)」
- **発信時**（フルダイヤル使用時）
  - ① G3ID/G4ID(スペース含む)
  - ② 電話番号
  - ③ 通信モード
    「ECM(またはG3、SG3)」

4. 文書内容

文書の内容、状態、親展ボックスの情報、リダイヤルの情報について記録されます。
これらの内容は重複して記録される場合もあります。
主に以下の内容が記録されます。

同報 ………………………………	同報またはマルチ中継同報の指示があります。
送信 ………………………………	送信の指示があります。
受信文書 ………………………	受信文書があります。
(XXX局中残りYYY局) ………	同報、集信において1局めの通信が終了(正常終了、異常終了)している場合に表示されます。
(XXX局) ………………………	同報、集信において1局めの通信が終了していない場合に表示されます。
待機中 …………………………	通信が再送になった場合と、同報または集信において1局以上の通信が終了(正常終了、異常終了)した場合に表示されます。
時刻指定:hh:mmAM(PM) …	時刻指定通信がhh:mm(時:分)に指定されています。
作業用文書イメージ …………	モニターレポート/未送信レポートに表示する原稿の1ページ目のイメージがあります。
作業用文書 ……………………	内部処理のために機械が作成した文書があります。
未送信 …………………………	未送信文書があります。
優先 ………………………………	優先通信されるものがあります。
プリント待ち …………………	プリント待ちの文書があります。
スキャン画像 …………………	スキャナーで読み込んだ文書があります。
ポーリング予約 ………………	ポーリング予約した文書があります。

5. サイズ

蓄積されている文書の1ページめのサイズが記録されます。
A3縦、A4縦、B4縦、A4横、A5横、B5横、8.5×11縦、8.5×11横、8.5×14縦
イミディエト受信で代行文書になった場合やサイズが正しく検知できない場合は、用紙を送る方向に対して垂直方向のみでサイズを判別し、A3縦、A4縦、B4縦のいずれかのサイズが記録されます。

6. ページ数

蓄積されていた文書の枚数が記録されます。

10-7 登録ダイヤルリストについて

登録ダイヤルリストは、登録した短縮ダイヤルの番号および宛名グループ、中継指示局設定などの内容をリストします。
このリストは手動でプリントします。プリント方法は「10-2　レポート/リストを出力する」を参照してください。プリント時に短縮ダイヤル番号を指定すると、指定した番号の短縮ダイヤル設定表(1/3)（2/3)、中継指示局設定表(3/3)がプリントされます。1ページに50個の短縮番号の情報がプリントされます。
グループ/サブダイヤルを指定すると、宛名グループ設定表とサブダイヤル設定表がプリントされます。
全ページを指定すると、全短縮番号についての短縮ダイヤル設定表、中継指示局設定表、宛名グループ設定表とサブダイヤル設定表がプリントされます。

登録ダイヤルリスト

時刻　99- 9-19; 9:30PM
G3-ID　0312345679
G4-ID
自局名　ABCショウジ
発信元名　ABC商事(株)

短縮ダイヤル設定表

短縮番号	索引	宛先名	ファクス番号	回線	通信モード	送信画質	蓄積サイズ
001	T	トウキョウシシャ	0312345678		G3自動	パネル	B4
002	T	トウカイシシャ	0612345678		G3自動	標準	A3
003	H		011		国際通信	高画質	A3
004							
・							
・							
・							
050	か	カゴシマシシャ	0612345679		G3自動	パネル	A4

1-50　(1/3)

登録ダイヤルリスト

時刻　99- 9-19; 9:30PM
G3-ID　0312345679
G4-ID
自局名　ABCショウジ
発信元名　ABC商事(株)

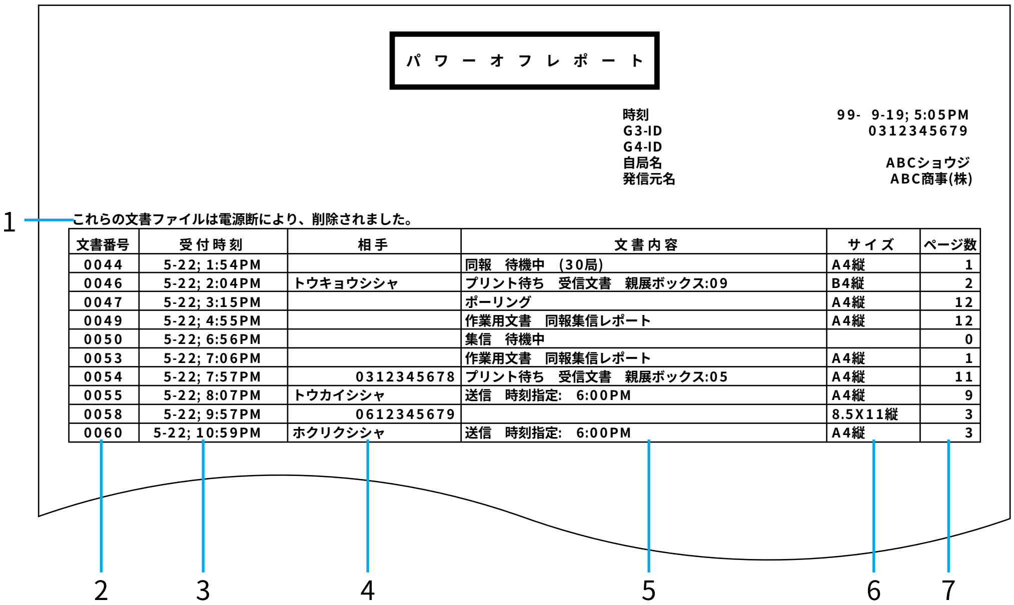
短縮ダイヤル設定表

短縮番号	時刻指定	ボックス番号	暗証番号	送信シート	送信先コメント	発信元コメント
001	3:00PM			あり	03:よろしくお願いします。	
002		1	****	あり	03:よろしくお願いします。	
003				なし		
004				あり	20:回覧して下さい。	10:新製品リストです。
・						
・						
・						
050				あり	50:至急連絡下さい。	

1-50　(2/3)

10-8 パワーオフレポートの見かた

パワーオフレポートは、電源が切れたことにより削除された蓄積文書を確認できます。
このレポートは、再度電源が入ったときに自動的にプリントされます。



パ ワ ー オ フ レ ポ ー ト

時刻 99- 9-19; 5:05PM
G3-ID 0312345679
G4-ID
自局名 ABCショウジ
発信元名 ABC商事(株)

これらの文書ファイルは電源断により、削除されました。

文書番号	受付時刻	相手	文書内容	サイズ	ページ数
0044	5-22; 1:54PM		同報　待機中　(30局)	A4縦	1
0046	5-22; 2:04PM	トウキョウシシャ	プリント待ち　受信文書　親展ボックス:09	B4縦	2
0047	5-22; 3:15PM		ポーリング	A4縦	12
0049	5-22; 4:55PM		作業用文書　同報集信レポート	A4縦	12
0050	5-22; 6:56PM		集信　待機中		0
0053	5-22; 7:06PM		作業用文書　同報集信レポート	A4縦	1
0054	5-22; 7:57PM	0312345678	プリント待ち　受信文書　親展ボックス:05	A4縦	11
0055	5-22; 8:07PM	トウカイシシャ	送信　時刻指定:　6:00PM	A4縦	9
0058	5-22; 9:57PM	0612345679		8.5X11縦	3
0060	5-22; 10:59PM	ホクリクシシャ	送信　時刻指定:　6:00PM	A4縦	3

1. 電源断メッセージ
電源断により、蓄積文書が削除されたというメッセージが記録されます。

2. 文書番号
操作を受け付けたときに、自動的に付けられる文書の番号が記録されます。

3. 受付時刻
送信文書が蓄積された時刻、受信文書は着信時刻が記録されます。
また、レポートなどの作業用文書は作成時刻、その他は送信、集信などの指示をした時刻が記録されます。

4. 相手
送信先、受信元の相手局名またはG3ID/G4IDなどが記録されます。
同報、集信、中継同報指示の場合は記録しません。
以下の優先順位でひとつだけ記録されます。

- **発信時**（短縮ダイヤル使用時）
  ① 宛先名
  ② 相手局名
  ③ G3ID/G4ID(スペース含む)
  ④ 通信モード
  「ECM(またはG3、SG3)」
- **着信時**
  ① 相手局名
  ② G3ID/G4ID(スペース含む)
  ③ 通信モード
  「ECM(またはG3、SG3)」
- **発信時**（フルダイヤル使用時）
  ① G3ID/G4ID(スペース含む)
  ② 電話番号
  ③ 通信モード
  「ECM(またはG3、SG3)」

10
レポート／リストについて

5. 文書内容

文書の内容、状態、親展ボックスの情報、リダイヤルの情報について記録されます。
これらの内容は重複して記録される場合もあります。
主に以下の内容が記録されます。

同報	同報またはマルチ中継同報の文書
送信	送信の指示があった文書
受信文書	受信した文書
(XXX局中残りYYY局)	同報、集信において1局めの通信が終了(正常終了、異常終了)している場合に表示されます。
(XXX局)	同報、集信において1局めの通信が終了していない場合に表示されます。
待機中	通信が再送になった場合と、同報または集信において1局以上の通信が終了(正常終了、異常終了)した場合に表示されます。
時刻指定:hh:mmAM(PM)	時刻指定通信がhh:mm(時:分)に指定されていた文書
作業用文書イメージ	モニターレポート/未送信レポートに表示する原稿の1ページ目のイメージ
作業用文書	内部処理のために機械が作成した文書
未送信	未送信文書
優先	優先通信が指示された文書
プリント待ち	プリント待ちになっていた文書
スキャン画像	スキャナーで読み込んだ文書
ポーリング予約	ポーリング予約した文書

6. サイズ

蓄積されている文書の1ページめのサイズが記録されます。
A3縦、A4縦、B4縦、A4横、A5横、B5横、8.5×11縦、8.5×11横、8.5×14縦
イミディエト受信で代行文書になった場合やサイズが正しく検知できない場合は、用紙を送る方向に対して垂直方向のみでサイズを判別し、A3縦、A4縦、B4縦のいずれかのサイズが記録されます。

7. ページ数

蓄積されていた文書の枚数が記録されます。

10-9 同報/集信レポートの見かた

同報/集信レポートは、同報/集信の通信終了結果を確認できます。
相手局名や通信結果/状態が記録されます。
通信機能の仕様設定で自動プリントするように設定すると、同報/集信の通信終了後に自動的にプリントされます。
設定手順は、「10-3　レポートの出力を設定する」を参照してください。

補足

- 実際には、同報レポートおよび集信レポートは、別々にプリントされます。
- 原稿サイズおよび原稿のイメージは、同報レポートのときのみ表示されます。

同　報　レ　ポ　ー　ト

時刻	99-　9-19; 5:35PM
G3-ID	0312345679
G4-ID	
自局名	ABCショウジ
発信元名	ABC商事(株)

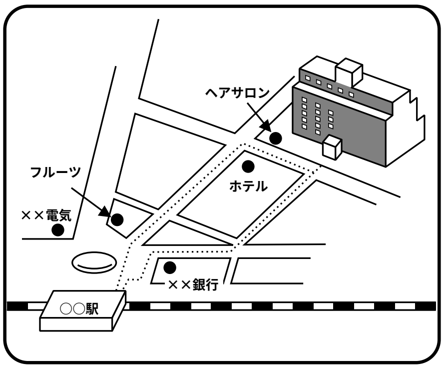
原稿サイズ　A4縦

トウキョウシシャ

■ 住　所　. . . . . . .　東京都○○○○○○○○
△△△△△△ビル

■ 最寄駅からの所要時間
. . . .　JR中央線・総武線　○○駅より　3分

■ 経　路



No	文書番号	相手	開始時刻	所要時間	ページ数	モード	通信内容	通信結果
1	0044	T03	5-22; 1:52PM	32秒	1/　1	SG3	同報	良好
2	0044	0312345678	2:01PM	50秒	1/　1	ECM	同報	良好
3	0044	エイギョウ	2:03PM	17秒	1/　1	G4	同報	良好
4	0044	カイハツ	2:08PM	18秒	1/　1	G4	同報	良好
5	0044	0612345678	2:15PM	17秒	1/　1	G4	同報	良好
6	0044	カイハツ	2:47PM	17秒	1/　1	G4	同報	良好
7	0044	0612345679	2:51PM	17秒	1/　1	G4	同報	良好
8	0044	エイギョウ	2:59PM	17秒	1/　1	G4	同報	良好

1　2　3　4　5　6　7　8　9

1. No

送信、受信の連番がそれぞれ記録されます。

2. 文書番号

送信操作を受け付けたときや受信したときに、自動的に付けられる文書の番号が記録されます。

3. 相手

通信した相手局名やG3ID/G4IDが以下の優先順位でひとつだけ記録されます。

- 短縮ダイヤル使用時
  ① 宛先名
  ② 相手局名
  ③ G3ID/G4ID(スペース含む)
  ④ 通信モード
  「ECM(またはG3、SG3)」
- フルダイヤル使用時
  ① G3ID/G4ID(スペース含む)
  ② 電話番号
  ③ 通信モード
  「ECM(またはG3、SG3)」

4. 開始時刻

通信が開始された時刻が記録されます。一括送信は各文書の送信開始時刻が記録されます。

5. 所要時間

通信が開始されてから終了するまでに要した時間、一括送信は各文書の時間が記録されます。

6. ページ数

0の場合は「 - 」で記録されます。

- **同報時**
  「/」より左は正常に送信完了した枚数、右は読み取った総ページ数が記録されます。
- **集信時**
  通信完了枚数のみが記録されます。

7. モード

通信したときのモードが記録されます。
G3、G4、ECM、SG3（SuperG3）

8. 通信内容

以下の優先順位で通信の内容が記録されます。
内容は重複して記録される場合もあります。
①再送信　②親展　③同報/集信　④中継同報指示

9. 通信結果

通信結果の内容が記録されます。

良好………………	正常終了したもの
話中………………	相手先が話中で通信ができない、または応答がなかったもの
自動再送…………	再送扱いになっていて再送回数を超えていないもの
文書削除…………	正常に受信したが、プリント前に削除したもの
中断………………	通信を中止したもの
要相手確認………	通信中に相手方または回線網が原因と考えられるエラーが発生したもの
要再送信…………	再度、送信が必要なもの
要再受信…………	再度、受信が必要なもの
Kx-xx ……………	通信異常を示す状態表示コード
F網通知 …………	結果情報のコード(G4通信ユニット装着時のみ)
要ケーブル確認…	電話線が接続されていなかったり、断線や接続不良が原因で通信できないもの

参照

● Kx-xx (通信異常を示す状態表示コード)については、「11-2　状態表示コード一覧」を参照してください。

10

レポート/リストについて

10-10 モニターレポート/ 未送信レポートの見かた

モニターレポートと未送信レポートは、送信原稿とその送信結果を確認できます。
送信結果が良好なときはモニターレポートがプリントされ、不良なときは未送信レポートがプリントされます。

モニターレポートのプリントの有無は、送信時に指定できます。
送信ごとに毎回プリントするには、「10-2　レポート/リストを出力する」を参照してください。
未送信レポートは自動的にプリントされるように設定できます。
自動的にプリントされるように設定する方法は、「10-3　レポートの出力を設定する」を参照してください。

モニターレポート/未送信レポートについての設定と通信結果によって出力されるレポートの関係は以下のとおりです。

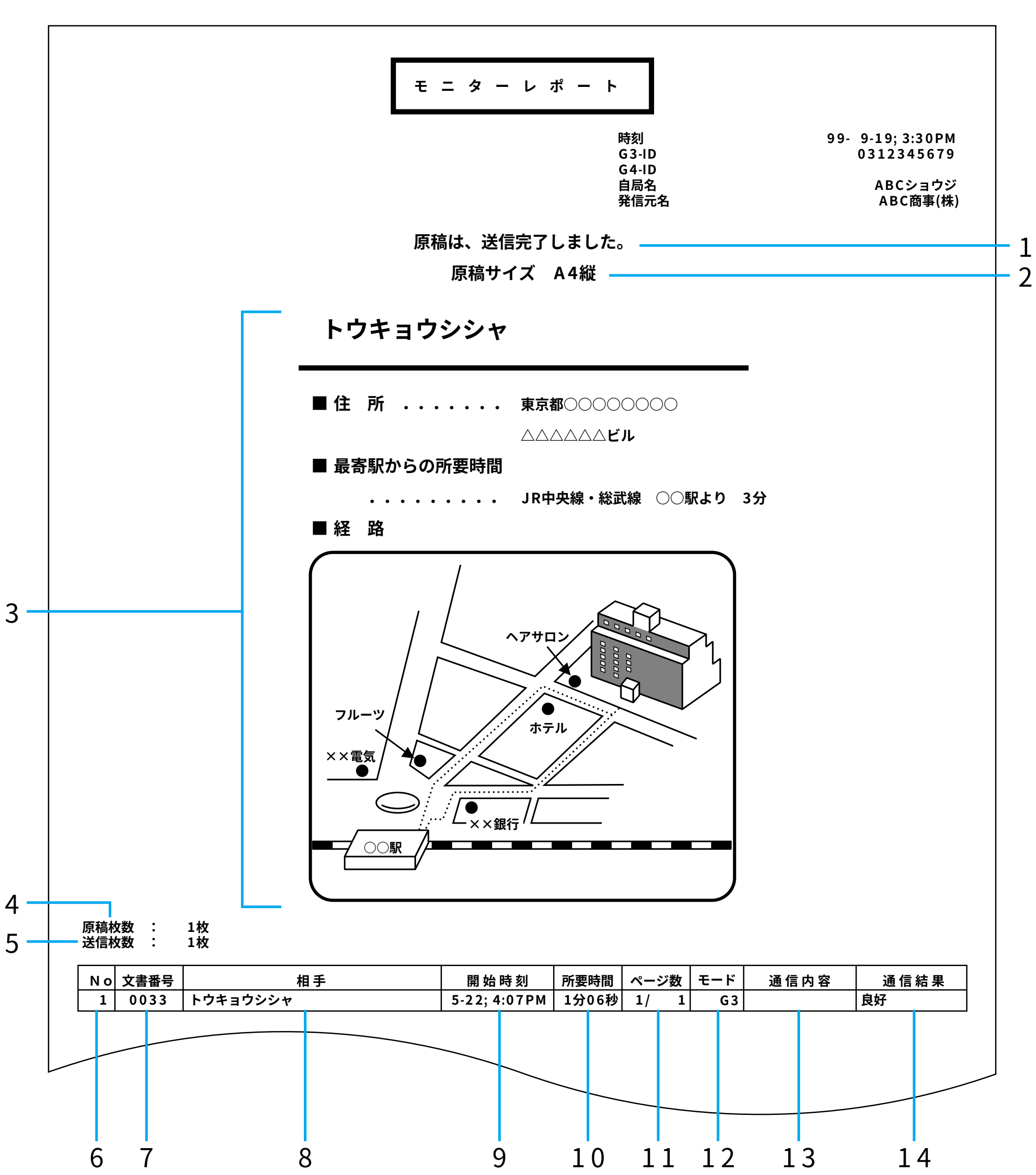
設定		通信結果とプリントされるレポート	
未送信レポート	モニターレポート	送信良好な場合	送信不良の場合
自動プリントあり	出力する	モニターレポート	未送信レポート
	出力しない	なし	未送信レポート
自動プリントなし	出力する	モニターレポート	未送信レポート
	出力しない	なし	なし

補足

● [モニターレポート]を選択すると[仕様設定]で2.未送信レポートが[なし]に設定されていても未送信レポートが出力されます。

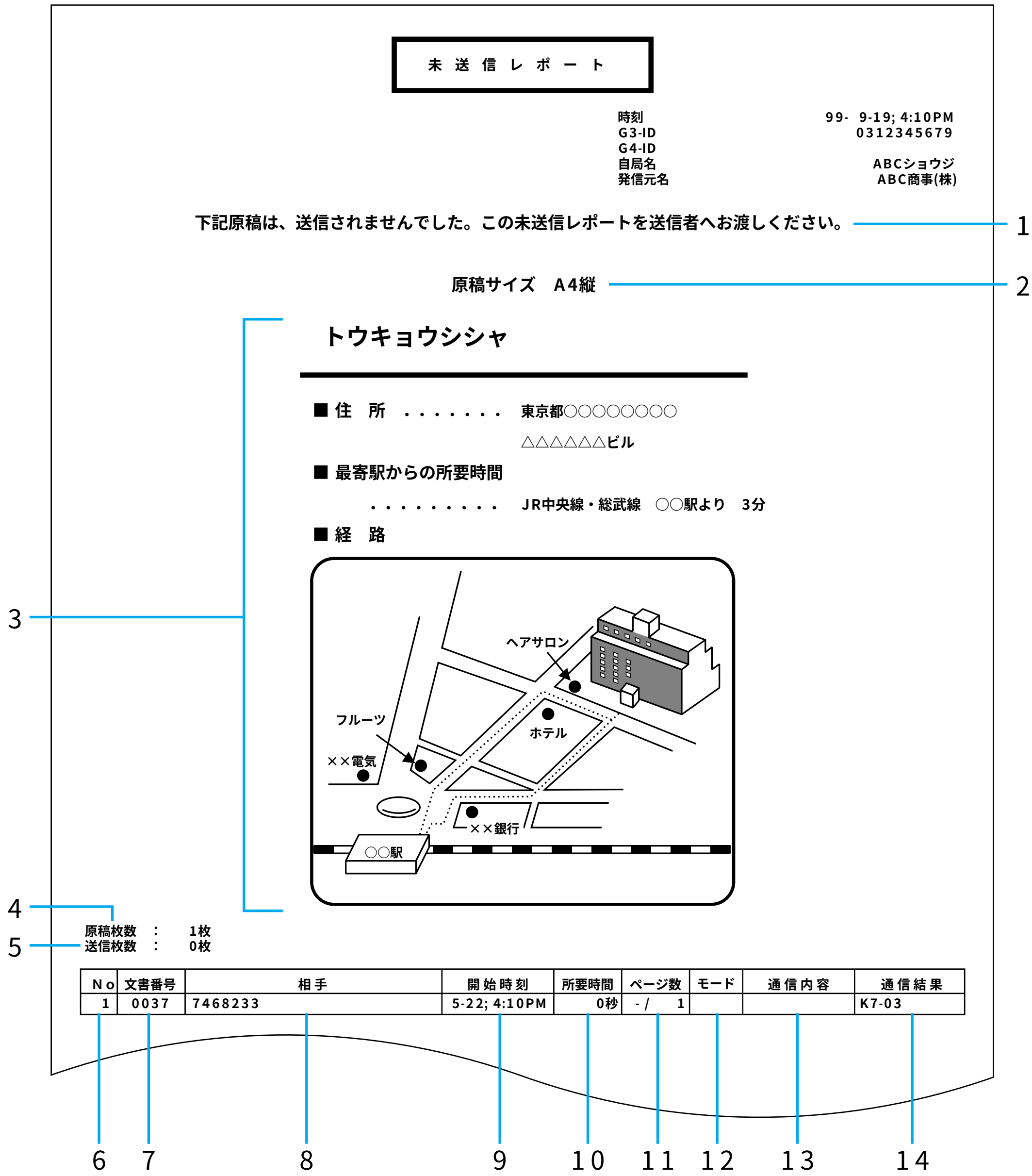
参照

● 同報や集信の場合は、同報/集信レポートで通信結果を確認してください。同報/集信レポートについては、「10-9　同報/集信レポートの見かた」を参照してください。



10

レポート/リストについて



未 送 信 レ ポ ー ト

時刻	99- 9-19; 4:10PM
G3-ID	0312345679
G4-ID	
自局名	ABCショウジ
発信元名	ABC商事(株)

下記原稿は、送信されませんでした。この未送信レポートを送信者へお渡しください。

原稿サイズ　A4縦

トウキョウシシャ

■ 住　所　．．．．．．．　東京都○○○○○○○○
△△△△△△ビル

■ 最寄駅からの所要時間
．．．．．．．．．　JR中央線・総武線　○○駅より　3分

■ 経　路

原稿枚数　：　1枚
送信枚数　：　0枚

No	文書番号	相手	開始時刻	所要時間	ページ数	モード	通信内容	通信結果
1	0037	7468233	5-22; 4:10PM	0秒	- / 1			K7-03

10

レポート/リストについて

1. メッセージ

送信結果によりどちらかが記録されます。

- **モニターレポート(送信成功)**
  「原稿は、送信完了しました。」
- **未送信レポート(送信不成功)**
  「下記原稿は、送信されませんでした。この未送信レポートを送信者へお渡しください。」

2. 原稿サイズ

送信した文書の1ページめのサイズが記録されます。
A3縦、A4縦、B4縦、A4横、A5横、B5横

3. イメージ

原稿の1ページめが縮小されて表示されます。
(手動送信時などには記録されません。)

4. 原稿枚数

原稿枚数が記録されます。
イミディエト送信、手動送信は原稿枚数が記録されず、「-」が記録されます。

5. 送信枚数

送信枚数が記録されます。

6. No

送信番号がそれぞれ記録されます。

7. 文書番号

操作を受け付けたときに、自動的に付けられる文書の番号が記録されます。

8. 相手

通信した相手局名やG3ID /G4IDが次の優先順位でひとつだけ記録されます。

- 短縮ダイヤル使用時
  ① 宛先名
  ② 相手局名
  ③ G3ID/G4ID(スペース含む)
  ④ 通信モード
  「ECM(またはG3、SG3)」
- フルダイヤル使用時
  ① G3ID/G4ID(スペース含む)
  ② 電話番号
  ③ 通信モード
  「ECM(またはG3、SG3)」

9. 開始時刻

通信が開始された時刻が記録されます。一括送信は各文書の送信開始時刻が記録されます。

10.所要時間

通信が開始されてから終了するまでに要した時間、一括送信は各文書の時間が記録されます。

11.ページ数

「/」より左は正常に送信完了した枚数、右は読み取った総ページ数が記録されます。
手動送信は総ページ数が記録されずに「-」が記録されます。

12.モード

通信したときのモードが記録されます。
G3、G4、ECM、SG3 (左記以外の通信モードの場合表示されません。)

13.通信内容

以下の優先順位で通信の内容が記録されます。
内容は重複して記録される場合もあります。
①再送信　②親展　③中継同報指示

14.通信結果

通信結果の内容が記録されます。

良好………………　正常終了したもの
話中………………　相手先が話中で通信ができない、または応答がなかったもの
自動再送…………　送ることのできなかったページがあったため再送扱いとなったもの
中断………………　強制停止したもの
要相手確認………　通信中に相手方または回線網が原因と考えられるエラーが発生したもの
要再送信…………　再度、送信が必要なもの
Kx-xx ……………　通信異常を示す状態表示コード
F網通知 …………　結果情報のコード（G4通信ユニット装着時のみ）
要ケーブル確認…　電話線が接続されていなかったり断線や接続不良が原因で通信できないもの

参照

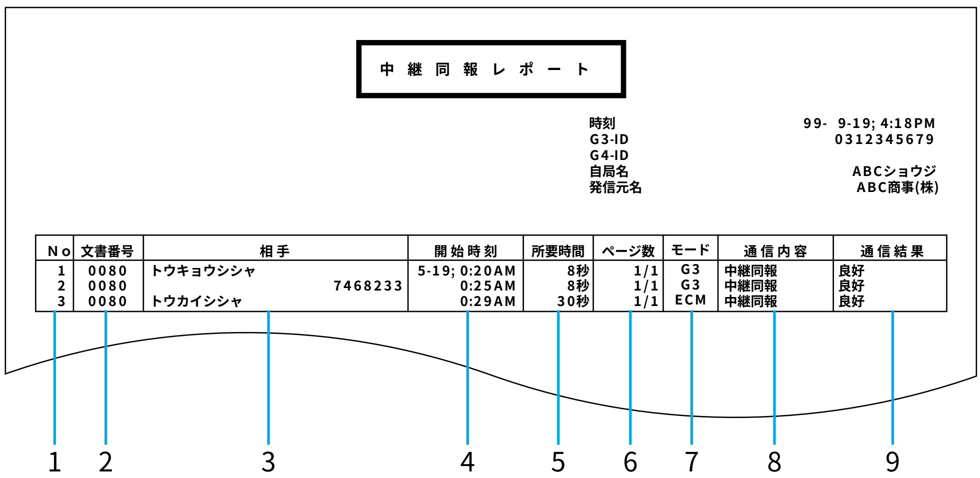
● Kx-xx (通信異常を示す状態表示コード)については、「11-2　状態表示コード一覧」を参照してください。

10-11 中継同報レポートの見かた

中継同報レポートは、中継同報の結果を確認できます。

参照

● レポートの出力の設定方法については「10-3　レポートの出力を設定する」を参照してください。



中継同報レポート

時刻　99- 9-19; 4:18PM
G3-ID　0312345679
G4-ID
自局名　ABCショウジ
発信元名　ABC商事(株)

No	文書番号	相手	開始時刻	所要時間	ページ数	モード	通信内容	通信結果
1	0080	トウキョウシシャ	5-19; 0:20AM	8秒	1/1	G3	中継同報	良好
2	0080	7468233	0:25AM	8秒	1/1	G3	中継同報	良好
3	0080	トウカイシシャ	0:29AM	30秒	1/1	ECM	中継同報	良好

1. No

送信番号がそれぞれ記録されます。

2. 文書番号

通信を受け付けたときに、自動的に付けられる文書の番号が記録されます。

3. 相手

通信した相手局名やG3ID /G4IDが次の優先順位でひとつだけ記録されます。

① 宛先名
② 相手局名
③ G3ID/G4ID(スペース含む)
④ 通信モード
「ECM(またはG3、SG3)」

4. 開始時刻

通信が開始された時刻が記録されます。

5. 所要時間

通信が開始されてから終了するまでに要した時間が記録されます。

6. ページ数

「/」より左は正常に送信完了した枚数、右は指示局から送られた総ページ数が記録されます。

7. モード

通信したときのモードが記録されます。
G3、G4、ECM、SG3 (左記以外の通信モードの場合表示されません。)

8. 通信内容

中継同報と記録されます。

9. 通信結果

通信結果の内容が記録されます。

良好………………… 正常終了したもの
話中………………… 相手先が話中で通信ができない、または応答がなかったもの
自動再送………… 再送扱いになっていて再送回数を超えていないもの
中断………………… 通信を中止したもの
要相手確認……… 通信中に相手方または回線網が原因と考えられるエラーが発生したもの
要再送信………… 再度、送信が必要なもの
Kx-xx …………… 通信異常を示す状態表示コード
要ケーブル確認… 電話線が接続されていなかったり、断線や接続不良が原因で通信できないもの

参照

● Kx-xx (通信異常を示す状態表示コード)については、「11-2 状態表示コード一覧」を参照してください。

10-12 親展受信レポートの見かた

親展受信レポートは、親展受信したことを確認できます。

参照

● レポートの出力の設定方法については、「10-3　レポートの出力を設定する」を参照してください。

親展受信レポート

時刻	99-　9-19; 3:30PM
G3-ID	0312345679
G4-ID	
自局名	ABCショウジ
発信元名	ABC商事(株)

○ 親展文書を受信しました。

親展ボックス番号　：001 ―― 1

親展ボックス名　：総務部長 ―― 2

○ この親展受信レポートを
上記親展ボックスの管理者へお渡しください。

○ 親展受信文書の排出はファクスの画面で次の手順で行います。
「ファクス機能一覧」→「親展ボックス」→
「ボックス番号の入力/暗証番号の入力」→「決定」→「プリント(文書取り出し)」→「スタート」

1. 親展ボックス番号

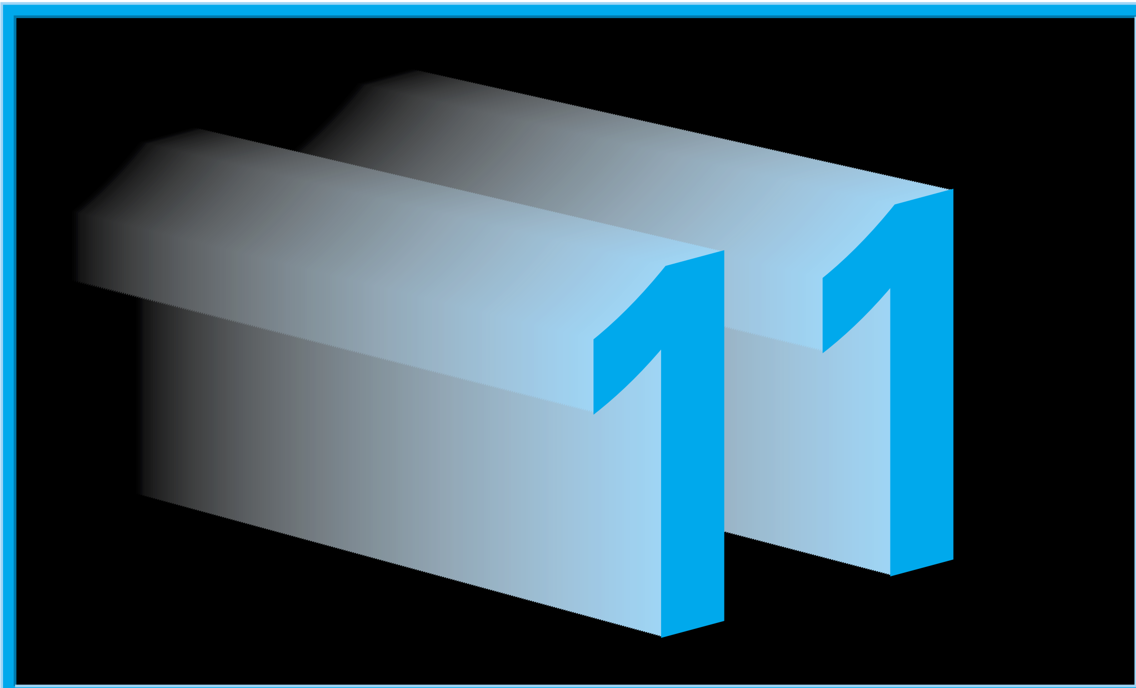
親展ボックス番号が記録されます。

2. 親展ボックス名

親展ボックス名が記録されます。

10

レポート/リストについて



トラブルと思ったら

11-1 トラブルと思ったら

本機のファクス機能に関する何らかのトラブルが発生した場合の対処方法について説明します。
以下の対処を行っても正常に戻らないときは、局番なしの113番にご連絡ください。

送信できないとき

チェック項目	対　処
送信手順は正しいですか？	手順を確認し、もう一度操作してください。
回線の接続は正しいですか？	電話回線が正しく接続されているか確認してください。
相手先のファクス番号は正しいですか？	画面に表示される番号を確認してください。短縮ダイヤルで指定している場合には、短縮ダイヤルリストで確認してください。間違っている場合は、登録されている番号を修正します。 参照 ●「8-2　短縮ダイヤルに登録する」 ●「10-3　レポートの出力を設定する」 ●「10-7　登録ダイヤルリストについて」
回線の設定は正しいですか？	ダイヤル種別、回線種別を機能設定リストで確認してください。設定が間違っている場合は修正します。 参照 ●「8-6　G3 IDと回線を設定する」 ●「10-3　レポートの出力を設定する」 ●「10-5　機能設定リストについて」
相手先にトラブルがありませんか？	相手先の機械の電源が切れていないかなど、通信できる状態かどうかを確認してください。
ISDNの契約をしていますか？	G4通信するには、当社との契約が必要です。
国際ISDNの契約をしていますか？	海外とG4通信するには、国際ISDNの契約が必要です。
未送信レポートは出力されていますか？	未送信レポートの内容を確認してください。 参照 ●「10-10　モニターレポート/未送信レポートの見かた」
通信管理レポートの通信結果はどのように表示されていますか？	通信管理レポートを確認してください。 参照 ●「10-4　通信管理レポートの見かた」
外線発信番号を忘れていませんか？	内線から外線へ発信する場合の外線発信番号を忘れていませんか？外線発信番号を入力してから電話番号を入力してください。
エラーメッセージが表示されていませんか？	メッセージにしたがって処置を行ってください。

受信できないとき

チェック項目	対　処
用紙補給のメッセージは表示されていませんか?	用紙切れの場合は、補給します。 参照 ●「本体管理/コピー編」
「紙づまり」のメッセージは表示されていませんか?	用紙づまりの場合は、つまった用紙を取り除いてください。 参照 ●「本体管理/コピー編」
メモリーオーバーしていませんか?	代行受信した文書などがメモリーに蓄積されている場合があります。また、用紙づまりなどのトラブルでプリントできない場合は、プリントできる状態にしてください。 参照 ●「11-1　トラブルと思ったら」の「メモリーオーバーまたは代行蓄積文書が表示されたとき」
モジュラージャックが本体側と回線側とも正しい位置に差し込まれていますか?	正しく差し込んでください。 参照 ●「1-3　電話回線接続部について」
手動受信に設定されていませんか?	手動受信を行うか、または自動受信に設定し直してください。
代行蓄積文書のメッセージが表示されていませんか？ 蓄積文書ありランプが点滅していませんか？	表示されている文書のサイズの用紙をセットしてください。 [スタート]を押すと他の用紙に強制的にプリントすることができます。
仕様設定画面になっていませんか？	仕様設定画面のときは、受信できません。仕様設定画面を閉じてください。
回線の接続は正しいですか？	電話回線が正しく接続されているか確認してください。
ISDNの契約をしていますか？	G4通信するには、当社との契約が必要です。
国際ISDNの契約をしていますか？	海外とG4通信するには、国際ISDNの契約が必要です。
電源は入っていますか？	電源を入れてください。 参照 ●「本体管理/コピー編」

11
トラブルと思ったら

その他のトラブルのとき

症状	チェック項目	対　処
Kx－xxを表示したとき	—	【参照】 ●「11-2　状態表示コード一覧」
原稿づまり/紙づまり	—	【参照】 ●「本体管理/コピー編」
通信できないとき	間違ったファクス番号を指定して通信を開始していませんか？	[通信/ジョブ状態確認(通信中止)] ボタンを押し、実行中画面または実行待ち画面で該当するジョブを選択してから通信を中止してください。 【参照】 ●「4-1　通信を中止する」
メールボックスでの紙づまり	—	【参照】 ●「本体管理/コピー編」
タッチパネルディスプレイが暗くなっている	[節電中/解除] が点灯していませんか？	節電モードに入っています。 [節電中/解除] またはいずれかのボタンを押して節電状態を解除してください。
	電源を切っていませんか？	電源を入れてください。 【参照】 ●「本体管理/コピー編」
電話のベルが鳴り続けるとき	手動受信に設定されていませんか?	自動受信に設定し直してください。 【参照】 ●「5-1　受信の流れ」の「自動受信と手動受信の切り替え方法」
	ファクス切り替え時間を長く設定していませんか?	FAX切り替え時間を設定し直すことができます。 【参照】 ●「9-1　仕様設定について」
	仕様設定画面になっていませんか?	仕様設定画面のときには受信できません。仕様設定画面を閉じてください。
受信文書が全く印字されないとき	相手先で原稿を正しくセットしていますか？	送信元へ確認してください。
	ドラム/トナーカートリッジが正しくセットされていますか?	ドラム/トナーカートリッジを確認し、正しくセットし直してください。
FAX情報サービスを利用できない	手動送信モードに設定されていませんか?	オンフックまたはオフフック画面で手動受信モードに設定し直して、情報コードなどを入力した後で、最後に [スタート] を押してください。 【参照】 ●「付録-D　FAX情報サービスについて」
“回線がつながっていません。ケーブルを確認してください。”というメッセージが表示された。	電話回線はつながっていますか？	回線を確認してください。

補足

● 通信時は、こちら側だけの問題ではなく、相手機のトラブルによって画質に異常が発生する場合があります。

症状	チェック項目	対　処
送信文書の画質が悪い	原稿読み取り部が汚れていませんか？	原稿読み取り部を清掃してください。 参照 ●「本体管理/コピー編」
	送信濃度の設定は正しいですか？	送信濃度を調節してください。 参照 ●「3-1　送信の操作の流れ（送信画質／原稿の画質／送信濃度）」
	受信先で問題はありませんか？	相手先へ確認してください。
受信文書の画質が悪い	ドラム/トナーカートリッジに傷がありませんか？	コピーしてみて画質が悪い場合は、ドラム/トナーカートリッジを交換してください。 参照 ●「本体管理/コピー編」
	送信元の原稿読み取り部が汚れていませんか？	送信元へ確認してください。

メモリーオーバーまたは代行蓄積文書が表示されたとき

エラーメッセージ	現象と処置
メモリーオーバーフローです。 [スタート］ボタンで蓄積したページを送信します。 [ストップ]ボタンで送信を中止します。	メモリーオーバーまたはページ数が多すぎます。以下のいずれかの処置を行ってください。 ● [スタート] を押して蓄積済みのページだけを送信します。 ● [ストップ] を押して送信を中止します。不要な蓄積文書をプリントまたは削除して、はじめからやり直します。
作用業メモリーオーバーフローです。 [スタート］ボタンで蓄積したページを送信します。 [ストップ]ボタンで送信を中止します。	
ページ数制限オーバーです。 [スタート］ボタンで蓄積したページを送信します。 [ストップ]ボタンで送信を中止します。	

11
トラブルと思ったら

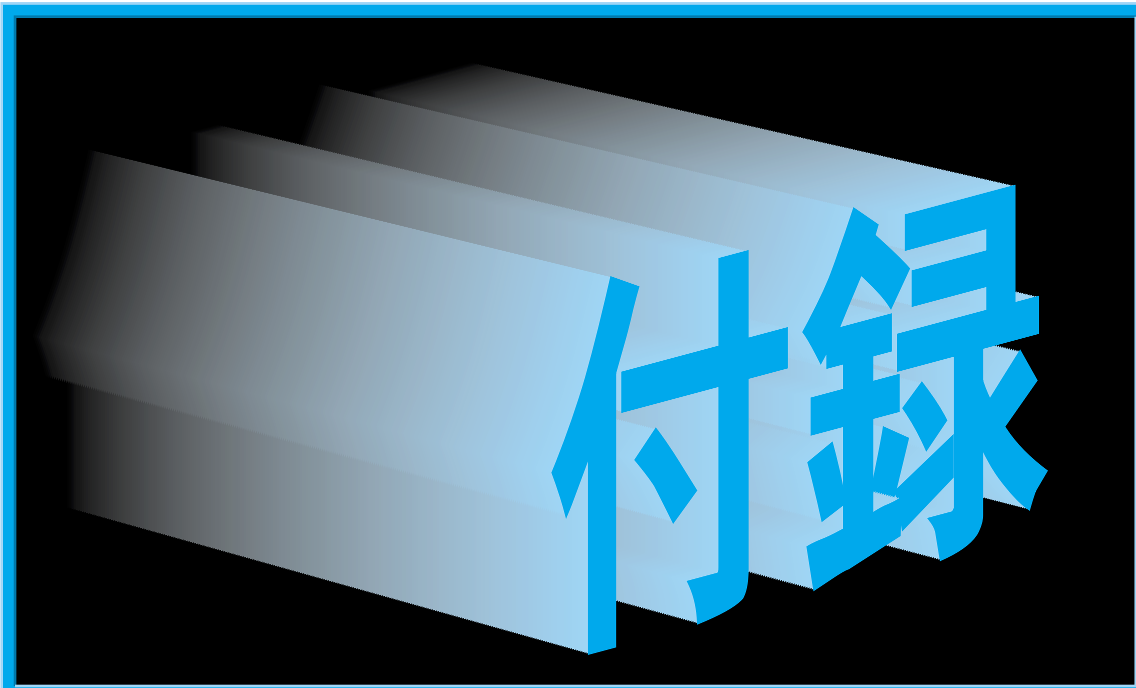
エラーメッセージ	現象と処置
メモリーオーバーフローです。 **［スタート］ボタンで蓄積したページを予約します。** **［ストップ］ボタンで予約を中止します。**	ポーリング予約のときの、メモリーオーバーまたはページ数が多すぎます。以下のいずれかの処置を行ってください。 ● [スタート] を押して蓄積済みのページだけを予約します。 ● [ストップ] を押して予約を中止します。不要な蓄積文書をプリントまたは削除して、はじめからやり直します。
作用業メモリーオーバーフローです。 **［スタート］ボタンで蓄積したページを予約します。** **［ストップ］ボタンで予約を中止します。**	
ページ数制限オーバーです。 **［スタート］ボタンで蓄積したページを予約します。** **［ストップ］ボタンで予約を中止します。**	
メモリーオーバーフローです。 **蓄積を中止しました。** **［ストップ］ボタンを押してください。**	メモリーオーバーです。[ストップ] を押して送信を中止します。不要な蓄積文書をプリントまたは削除して、はじめからやり直します。
作用業メモリーオーバーフローです。 **蓄積を中止しました。** **［ストップ］ボタンを押してください。**	
メモリーオーバーフローです。 **［スタート］ボタンで次の原稿を蓄積します。** **［ストップ］ボタンで蓄積を中止します。**	長尺原稿の読み取り時のメモリーオーバーです。以下のいずれかの処置を行ってください。 ● [スタート] を押して次の原稿を蓄積します。 ● [ストップ] を押して蓄積を中止します。
作業用メモリーが故障しています。 **片面プリントしました。** **取扱説明書を参照してください。** **H8**	受信文書、レポート/リストのプリント終了後にページメモリー故障があります。局番なしの113番へ連絡してください。
作業用メモリーが故障しています。 **自動画像回転機能は働きません。** **取扱説明書を参照してください。** **H8**	
代行受信文書あるいはレポート文書があります。 **いずれかのトレイに文書サイズの用紙をセットしてください。**	代行蓄積文書があります。表示されている文書サイズの用紙をセットしてください。 [スタート] を押すと他の用紙に強制的にプリントすることができます。

11 トラブルと思ったら

11-2 状態表示コード一覧

通信管理レポートなどに状態表示コードが表示された場合の状態と処置について説明します。
ここに記載されている以外の状態表示コードが表示されたときは、もう一度送り直していただき、それでも通信できない場合は、局番なしの113番にご連絡ください。

状態表示コード	状態および対処
K0-00	ISDNから通信を拒否されました。ISDNの回線契約を確認し、契約に合った使い方で操作してください。
K0-03	相手機と接続できませんでした。相手先の電話番号と相手機の状態を確認し、もう一度操作してください。
K0-05,K5-08 K0-08	メモリーがいっぱいです。蓄積文書を確認し、不要な蓄積文書を削除して、メモリー容量を確保してください。
K0-07	中継同報で無限ループを検知しました。中継同報宛先を確認し、もう一度操作してください。
K6-02	回線接続を確認し、もう一度操作してください。
K6-03	相手先から応答がないため、通信できませんでした。下記の確認後、もう一度操作してください。 ● 回線は正しく接続されているか ● 相手先の電話番号は正しいか(相手先がファクスでない可能性もあります) ● 外線にダイヤルする時、外線発信番号「0」などを忘れていないか(内線(PBX)に接続してる場合のみ) ● 相手のファクスが通信できる状態になっているか
K6-04,K6-05 K6-06	ダイヤルトーンが検知できないため、通信できませんでした。回線接続や回線設定を確認し、もう一度操作してください。
K6-07	相手先が話中などで通信できません。回線接続/回線設定を確認し、しばらくしてから、もう一度操作してください。
K6-08	ハンドセット(受話器)があがっています(オフフック)。受話器を戻して、もう一度操作してください。
K7-00	相手先のID番号と指定したパスワードが一致しないため、通信できませんでした。パスワードは相手先のファクスで設定されているID番号と一致するようにしてください。送信したくない相手からのポーリング要求に対して、このコードが表示された場合は正常な動作です。
K7-01	指定した機能(ポーリング予約など)を相手機がもっていない可能性があります。相手先を確認し、もう一度操作してください。
K7-03	相手先に受信能力がないため、通信できませんでした。相手先のファクスが受信できる状態か(メモリーがいっぱいになっていないかなど)を確認して、もう一度操作してください。また、中継同報や親展通信などの特別な機能を指定している場合は、相手機がその機能を持っているか確認してください。再度、エラーコードが表示される場合には、診断を行ってください。
K7-07	相手先が通信を中止しました。相手先のファクスの状態を確認し、もう一度操作してください。再度、エラーコードが表示される場合には、診断を行ってください。
K7-06,K9-01 K5-07	相手先を確認し、もう一度操作してください。再度、エラーコードが表示される場合には、診断を行ってください。



付　録

A 主な仕様

以下にファクスに関する主な仕様を記載します。製品の仕様、外観は改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

標準装備	
画像メモリー容量	2MB
短縮ダイヤル	登録数：500（001～070は、ワンタッチダイヤルに対応）
適応回線	電話網、ファクシミリ通信網、INSネット64 *1
走査線密度	G3 超高画質モード……16画素/mm×15.4 本/mm 高画質モード……8画素/mm×7.70 本/mm 標準モード……8画素/mm×3.85 本/mm G4（オプション） 超高画質モード……400dpi×400dpi 高画質モード……200dpi×200dpi 標準モード……200dpi×100dpi
電送時間	G3：2秒台*2 G4（オプション）：約1秒*2
通信速度	G4：最高 64kbit/s G3：33.6kbit/s *3～2400bit/s
符号化方式	MH / MR / MMR
最大通信画像サイズ	A3

*1　INSネット64(ISDN)は、G4通信ユニット（オプション）を装着時のみ有効です。

*2　A4判700字程度の原稿を標準的画質(G3:8画素×3.85本/mm、G4:200dpi×100dpi)、通信速度(G3:28.8kbit/s以上、G4:64kbit/s)で送った時の時間です。これは画像情報のみの電送時間で、通信の制御時間は含まれておりません。
なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。

*3　一般の電話回線での通信速度は、回線の条件、状況等によって33.6kbit/sの速度以下になる場合もあります。

補足

● ここに記載されているオプション品は、ファクス機能に関するものです。その他の仕様については、「本体管理/コピー編」の「付録A 主な仕様」を参照してください。

オプション	
増設メモリ4MB	最大2枚増設可能
その他のオプション	G4通信ユニット、増設G3ポート、増設G4ポート、ファクス用ハードディスク、デュアルアクセス拡張キット、済スタンプキット、サイドトレイキットC、サイドトレイキットD

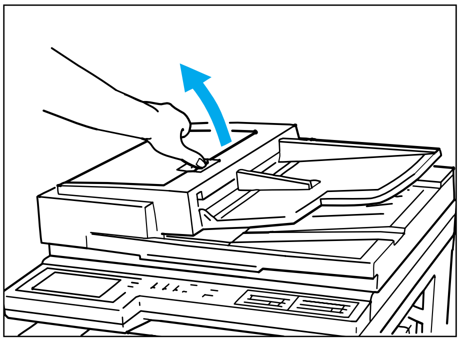
B スタンプの交換

オプションの済スタンプをご利用の場合、スタンプの写りが薄くなったら、スタンプインク(印体)を交換してください。

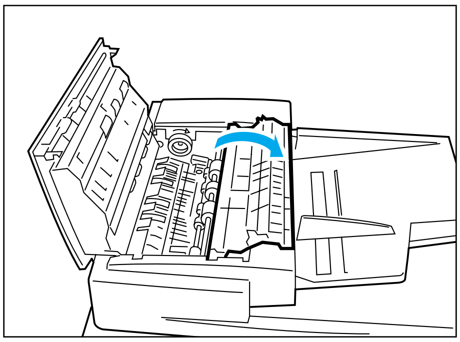
注記
- スタンプ面には直接手を触れないでください。手などに付着した場合は速やかに洗ってください。
- 消耗品を使用するときは、消耗品の箱や容器に記載された取り扱い上の注意をよく読んでから使用してください。
- 消耗品は予備を置くことをお勧めします。

操作手順

1 原稿送り部カバーのレバーを上げながら、カバーを開きます。

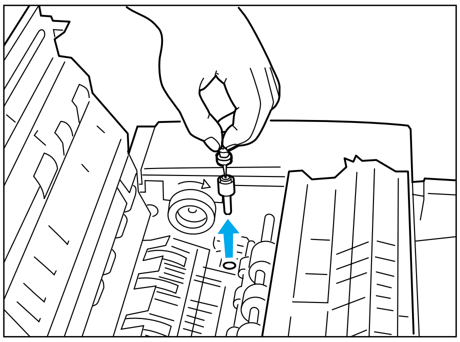


2 緑色のラベル部を持って内側のカバーを開けます。



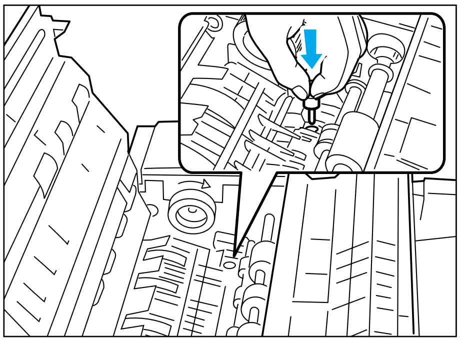
3 薄くなったスタンプの印体に、ピンを突き刺して抜き取ります。

- 印体のスポンジ部分だけ抜き取った場合は、印体の下部分も抜き取ってください。

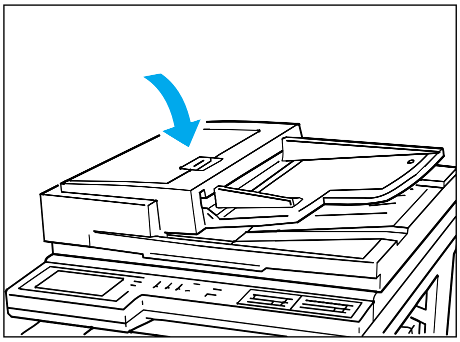


付録

4 新しいスタンプ(印体)を差し込みます。



5 内側のカバーを戻して、原稿送り部カバーをカチッと音がするまで閉じます。



C 機能の組み合わせ一覧表

1つの機能の動作中に別の機能を並行して処理することができるかを、以下の表にまとめました。

〈現在の状態〉	〈次のジョブ〉	コピー	ポーリング予約（蓄積）	ポーリング送信	自動送信（蓄積）	同報（蓄積）	文書送信	手動送信	自動受信	手動受信／手動ポーリング	自動ポーリング	集信	中継同報（受信）	受信プリント	手動レポートプリント	自動レポートプリント	親展受信文書のプリント	通話
コピー	読み取り中	×	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	●7	●5	●7	×	○
	プリント中	●5	●4	○	●4	●4	○	●3	○	○	○	○	○	●7	●5	●7	×	○
ポーリング予約	蓄積中	×	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	●6	●4	●6	●4	○
	送信中	○	×	●1	○	○	●2	●8	●1	●8	●2	●2	●1	○	○	○	○	●1
自動送信	蓄積中	×	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	●6	●4	●6	●4	○
	送信中	○	○	●1	○	○	●2	●8	●1	●8	●2	●2	●1	○	○	○	○	●1
	蓄積＆送信中	×	×	●1	×	×	●2	×	●1	●8	●2	●2	●1	●6	●4	●6	●4	●1
手動送信	蓄積＆送信中	×	×	●1	×	×	●2	×	●1	●8	●2	●2	●1	●6	●4	●6	●4	●1
	送信中	○	○	●1	○	○	●2	●8	●1	●8	●2	●2	●1	○	○	○	○	●1
同報	蓄積中	×	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	●6	●4	●6	●4	○
	送信中	○	○	●1	○	○	●2	●8	●1	●8	●2	●2	●1	○	○	○	○	●1
受信	受信中	○	○	●1	○	○	●2	●8	●1	●8	●2	●2	●1	○	○	○	○	●1
	プリント中	●5	●4	○	●4	●4	○	●3	○	○	○	○	○	●7	●5	●7	×	○
	受信＆プリント中	●5	●4	●1	●4	●4	●2	●3	●1	●8	●2	●2	●1	●7	●5	●7	×	●1
自動ポーリング／集信	受信中	○	○	●1	○	○	●2	●8	●1	●8	●2	●2	●1	○	○	○	○	●1
	プリント中	●5	●4	○	●4	●4	○	●3	○	○	○	○	○	●7	●5	●7	×	○
	受信＆プリント中	●5	●4	●1	●4	●4	●2	●3	●1	●8	●2	●2	●1	●7	●5	●7	×	●1
中継同報	受信中	○	○	●1	○	○	●2	●8	●1	●8	●2	●2	●1	○	○	○	○	●1
	プリント中	●5	●4	○	●4	●4	○	●3	○	○	○	○	○	●7	●5	●7	×	○
	同報中	○	○	●1	○	○	●2	●8	●1	●8	●2	●2	●1	○	○	○	○	●1
手動レポート	作成中	●5	●4	○	●4	●4	○	●4	○	○	○	○	○	●7	●5	●7	×	○
	プリント中	●5	●5	○	●4	●4	○	●3	○	○	○	○	○	●7	●5	●7	×	○
自動レポート	作成中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●5	●5	○	○
	プリント中	●5	●5	○	●4	●4	○	●3	○	○	○	○	○	●7	●5	●7	×	○
レポート送信	作成中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●5	●5	○	○
	送信中	○	○	●1	○	○	●2	●8	●1	●8	●2	●2	●1	○	○	○	○	●1
親展受信文書のプリント中		●5	●5	○	●4	●4	○	●3	○	○	○	○	○	●7	●5	●7	×	○
通話中		○	○	●1	○	○	●2	×	●1	×	●2	●2	●1	○	○	○	○	×

○：動作可能　　×：起動を受け付けない

●1：増設G3ポート（オプション）またはG4通信ユニット（オプション）が装着されていれば起動を受け付ける

●2：増設G3ポート（オプション）またはG4通信ユニット（オプション）が装着されていなければ通信は待たされる

●3：増設G3ポート（オプション）またはG4通信ユニット（オプション）と、デュアルアクセス拡張キット（オプション）が装着されていれば起動を受け付ける

●4：デュアルアクセス拡張キットが装着されていれば起動を受け付け、装置されていなければジョブ予約となる

●5：ジョブ予約になる

●6：デュアルアクセス拡張キットが装着されていればプリントを受け付ける

●7：プリントは待たされる

●8：増設G3ポート（オプション）または増設G4ポート（オプション）が装着されていれば起動を受け付ける

付録

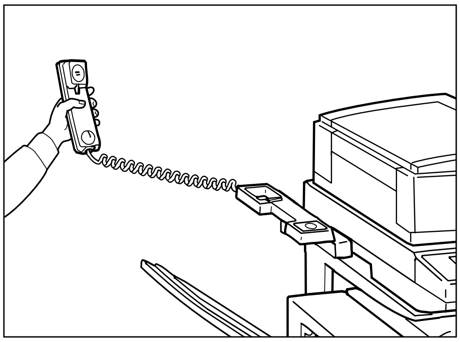
D FAX情報サービスについて

FAX情報サービスを利用するときの基本的な操作を説明します。契約内容および詳しい操作方法については、ご利用になるFAX情報サービス先にお問い合わせください。

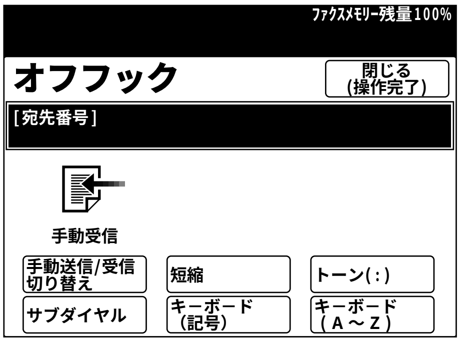
ハンドセット(受話器)を使用する場合

操作手順

1 ハンドセット(受話器)をとり、FAX情報サービス先の電話番号を指定します。



2 サービスに接続するとアナウンスが聞こえますので、アナウンスの指示に従って、必要な番号を入力します。

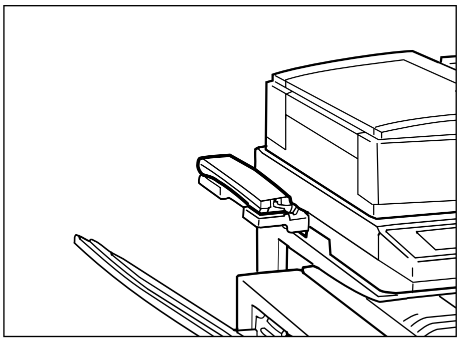


注記

● ダイヤル回線でご使用の場合でも相手を呼び出した後に [トーン(:)] を選択することにより、プッシュホンサービス（銀行ANSER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御など）を利用することができます。なお、回線種別がプッシュ回線に設定されているときは、[トーン(:)] は表示されません。

3 [手動受信] になっていることを確認し、[スタート] を押して、通信中ランプの点灯を確認し、ハンドセット(受話器)を戻します。

受信が開始されます。



補足

● [手動送信] になっている場合は、[手動送信/受信切り替え] で [手動受信] に切り替えて [スタート] で受信を開始します。

付録

オンフックを使用する場合

操作手順

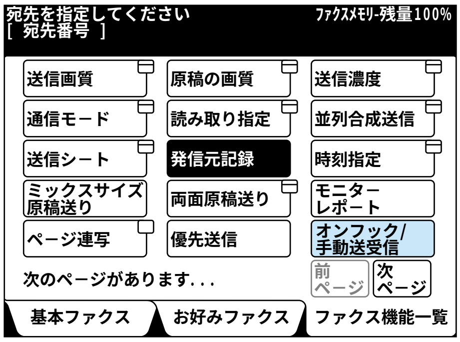
参照

●「9-1　仕様設定について」

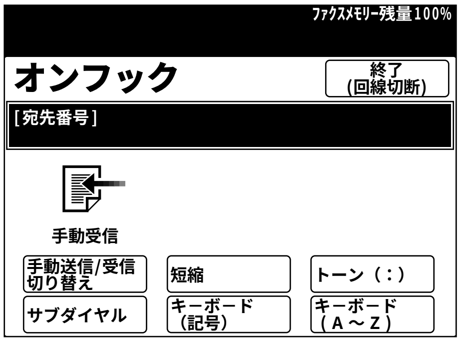
1　ラインモニターの音量を調節します。

音量は1～3までのレベル調節が可能ですが、音声ガイダンスを聞き取りやすくするためには、最大の［3］に設定することをお勧めします。

2　ファクス機能一覧画面の［オンフック/手動受信］を選択し、FAX情報サービスの電話番号を指定します。



3　サービスに接続するとアナウンスが聞こえますので、アナウンスの指示に従って、必要な番号を入力します。

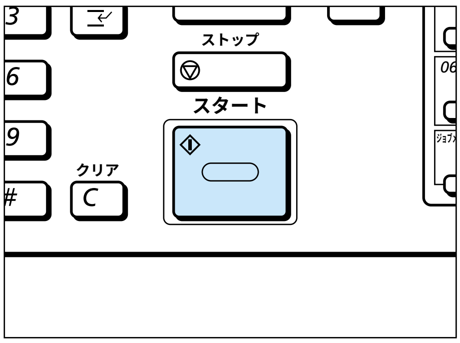


注記

● ダイヤル回線でご使用の場合でも相手を呼び出した後に［トーン（:）］を選択することにより、プッシュホンサービス（銀行ANSER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御など）を利用することができます。なお、回線種別がプッシュ回線に設定されているときは、［トーン（:）］は表示されません。

4　［手動受信］になっていることを確認し、［スタート］を押して、通信中ランプの点灯を確認します。

受信が開始されます。



補足

● ［手動送信］になっている場合は、［手動送信/受信切り替え］で［手動受信］に切り替えて［スタート］で受信を開始します。

付録

E 国際通信を行う

国際通信を行う場合の手順について説明します。
国際通信を行う場合には、国際電信電話株式会社(KDD)、日本テレコム株式会社、国際デジタル通信株式会社(IDC)などの電話会社の交換機を経由して、海外とのファクス通信ができます。

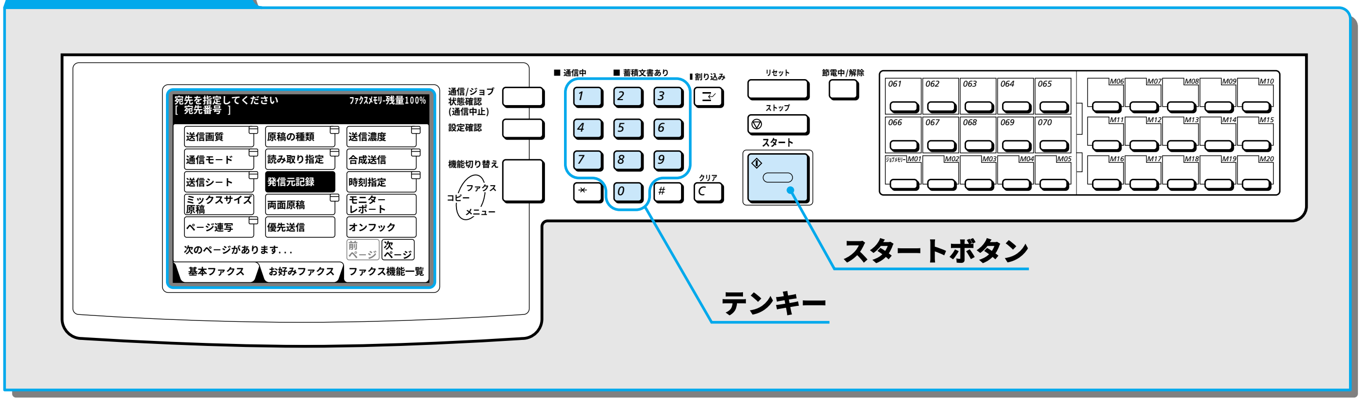
また、国際通信を行うとき、[通信モード] で [国際通信] を選択することにより、確実な通信を行うことができます。

- 国際電話回線は、もともと音声を送るための回線です。音声の通信ではあまり影響のない問題がファクス通信にとっては障害になり、回線のノイズで画質が乱れる、通信ができない、回線が中断するなどのトラブルが発生することがあります。このような場合でも、回線が接続されていれば通信料金を課金されます。回線トラブルおよび通信料金についてはご利用になる電話会社へお問い合わせください。
- [国際通信] を選択すると、より確実に送るために伝送速度が4800bit/s以下になり、通信時間が長くかかる場合があります。

国際通信を利用するときは、次のようにダイヤルします。

各電話会社の番号（001、0041、0061など） **国番号** **相手のファクス番号**

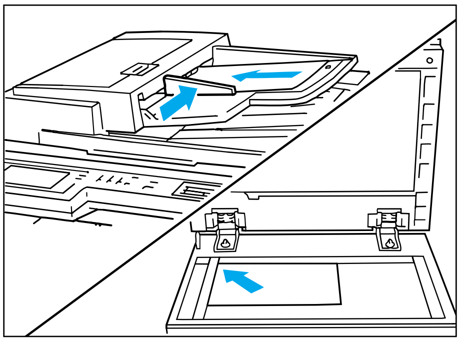
ここで使うボタン



付録

操作手順

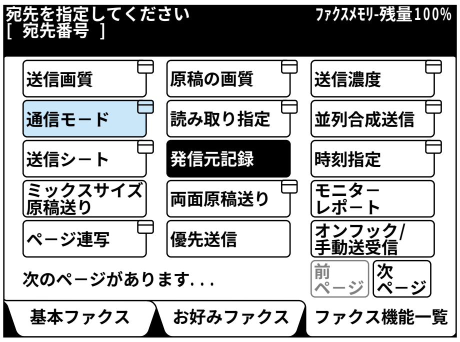
1 **原稿をセットします。**



参照

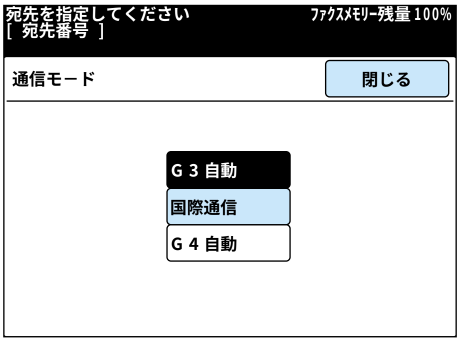
●「2-2　原稿をセットする」を参照してください。

2 **お好みファクス画面やファクス機能一覧画面で 通信モード を選択します。**



3 **通信モードを選択し、 閉じる を選択します。**

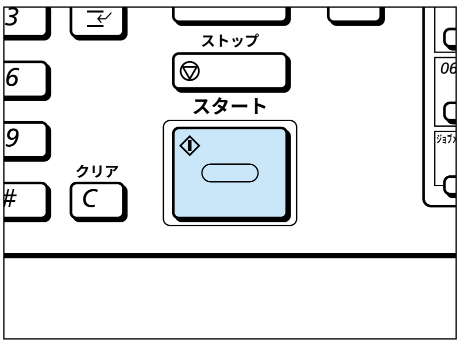
オプションのG4通信ユニットを装着していない場合は G 4 自動 は表示されません。



4 **各電話会社の番号、国番号、相手先のファクス番号の順に入力し、 スタート を押します。**

●一般電話回線を使用している場合、地域によって、各電話会社の番号のあとに第2ダイヤルトーン検出記号かポーズを入力する必要があります。

● G 4 自動 を選択して北米地域などのISDN回線に接続されたG4機と交信する場合、回線速度などを合わせるために、各電話会社の番号を入力する前に「<20,21>」を入力してください。



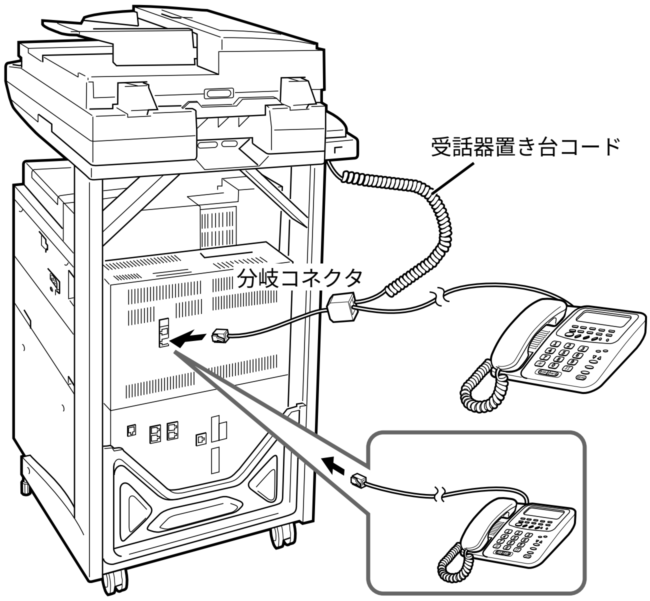
参照

●「<」や「>」の入力方法は「1-6　文字の入力のしかた」を参照してください。

付録

F 外付け電話機を接続する

お手持ちの電話機を外付け電話機として接続するときは、通常、本機の受話器置き台コードと外付け電話機の電話機コードを分岐コネクタに接続して、本機の接続端子「TEL」に差し込んでください。また、増設G3ポート（オプション）、またはG4通信ユニット（オプション）を装着している場合は、外付け電話機の電話機コードを直接本機の接続端子「TEL」に差し込んでください。この場合、受話器置き台コードは本機の「ISDN TEL」に差し込みます。



増設G3ポート／G4通信ユニット装着時

- 増設G3ポート（オプション）またはG4通信ユニット（オプション）を装着している場合には、以下のような制限があります。
  - ・外付け電話機を使用して、手動送信および手動受信することはできません。
  - ・ISDN回線、または接続端子「LINE2」「LINE3」に接続している電話回線では、外付け電話機を使用して応答および電話をかけることはできません。
- 本機の接続端子「TEL」は、一般電話回線に接続する一般の電話機を1台だけ接続できます。ただし、この端子は、一般電話回線の仕様と完全には一致していません。このため、接続する電話機によっては、正常に動作しない場合があります。また、電話機以外の通信機やビジネスホンなどを接続した場合も、正常に動作しない場合があります。
- 外付け電話機は、電話回線の種類に合ったものをお使いください。外付け電話機の種類によってはご使用になれない場合や、一部機能がご利用になれない場合があります。詳しくは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。
- 外付け電話機の電話機コードがモジュラプラグ式でないときは、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。接続工事には、工事担任者資格が必要です。

表示できる漢字一覧

コメント登録などのときに、単漢字変換を行う場合は、以下の一覧表で示された漢字を使用することができます。使用することのできる漢字は、JISの第一水準すべてと第二水準の一部（32文字）です。

- 第一水準の漢字は、読みがなの一文字めで分類しています。第二水準の漢字は、読みがなと漢字を示しています。コメント登録などの場合は、対応した読みがなを入力して単漢字変換を行ってください。その他のアルファベットやひらがな、数字、記号についてはタッチパネルディスプレイに表示されるキーボードをお使いください。

■漢字一覧表（第一水準）

あ		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	鞍	杏								
い			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	引	飲	淫	胤	蔭					
		院	陰	隠	韻	吋				
う							右	宇	烏	羽
	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
	云	運	雲							
え				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お								於	汚	甥
	凹	央	奥	往	応					
		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か									下	化
	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
	恢	懐	戒	拐	改					
		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓

か	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
	噛	鴨	栢	茅	萱					
		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
	贋	雁	頑	顔	願					
き						企	伎	危	喜	器
	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	旗	既	期	棋	棄					
		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
	禦	魚	亨	享	京					
		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										九
	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	串	櫛	釧	屑	屈					
		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂

く	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
	郡									
け		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
	建	憲	懸	拳	捲					
		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
	絃	舷	言	諺	限					
こ						乎	個	古	呼	固
	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
	効	勾	厚	口	向					
		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
	忽	惚	骨	狛	込					
		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										些
	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	鮭	笹	匙	冊	刷					
		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			

し								仕	仔	伺
	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
	字	寺	慈	持	時					
		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	綬	需	囚	収	周					
		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
	恕	鋤	除	傷	償					
		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
	醸	錠	嘱	埴	飾					
		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す									笥	諏
	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随

次ページに続きます。

す	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
	椙	菅	頗	雀	裾					
		澄	摺	寸						
せ					世	瀬	畝	是	凄	制
	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
	煽	旋	穿	箭	線					
		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	全	禅	繕	膳						
そ					糎	噌	塑	岨	措	曾
	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	霜	騒	像	増	憎					
		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	諾	茸	凧	蛸	只					
		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
	暖	檀	段	男	談					
ち						値	知	地	弛	恥
	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
	丁	兆	凋	喋	寵					

ち		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ								津	墜	椎
	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て							亭	低	停	偵
	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	艇	訂	諦	蹄	逓					
		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と									兎	吐
	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
	答	筒	糖	統	到					
		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	頓	呑	曇	鈍						
な					奈	那	内	乍	凪	薙
	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	軟	難	汝							
に				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
	虹	廿	日	乳	入					
		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ									濡	
ね										禰
	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	粘									
の		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
	脳	膿	農	覗	蚤					
は						巴	把	播	覇	杷
	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃

は	拝 排 敗 杯 盃 牌 背 肺 輩 配 倍 培 媒 梅 楳 煤 狽 買 売 賠 陪 這 蝿 秤 矧 萩 伯 剥 博 拍 柏 泊 白 箔 粕 舶 薄 迫 曝 漠 爆 縛 莫 駁 麦 函 箱 硲 箸 肇 筈 櫨 幡 肌 畑 畠 八 鉢 溌 発 醗 髪 伐 罰 抜 筏 閥 鳩 噺 塙 蛤 隼 伴 判 半 反 叛 帆 搬 斑 板 氾 汎 版 犯 班 畔 繁 般 藩 販 範 釆 煩 頒 飯 挽 晩 番 盤 磐 蕃 蛮
ひ	匪 卑 否 妃 庇 彼 悲 扉 批 披 斐 比 泌 疲 皮 碑 秘 緋 罷 肥 被 誹 費 避 非 飛 樋 簸 備 尾 微 枇 毘 琵 眉 美 鼻 柊 稗 匹 疋 髭 彦 膝 菱 肘 弼 必 畢 筆 逼 桧 姫 媛 紐 百 謬 俵 彪 標 氷 漂 瓢 票 表 評 豹 廟 描 病 秒 苗 錨 鋲 蒜 蛭 鰭 品 彬 斌 浜 瀕 貧 賓 頻 敏 瓶
ふ	不 付 埠 夫 婦 富 冨 布 府 怖 扶 敷 斧 普 浮 父 符 腐 膚 芙 譜 負 賦 赴 阜 附 侮 撫 武 舞 葡 蕪 部 封 楓 風 葺 蕗 伏 副 復 幅 服 福 腹 複 覆 淵 弗 払 沸 仏 物 鮒 分 吻 噴 墳 憤 扮 焚 奮 粉 糞 紛 雰 文 聞
へ	丙 併 兵 塀 幣 平 弊 柄 並 蔽 閉 陛 米 頁 僻 壁 癖 碧 別 瞥 蔑 箆 偏 変 片 篇 編 辺 返 遍 便 勉 娩 弁 鞭
ほ	保 舗 鋪 圃 捕 歩 甫 補 輔 穂 募 墓 慕 戊 暮 母 簿 菩 倣 俸 包 呆 報 奉 宝 峰 峯 崩 庖 抱 捧 放 方 朋 法 泡 烹 砲 縫 胞 芳 萌 蓬 蜂 褒 訪 豊 邦 鋒 飽 鳳 鵬 乏 亡 傍 剖 坊 妨 帽 忘 忙 房 暴 望 某 棒 冒 紡 肪 膨 謀 貌 貿 鉾 防 吠 頬 北 僕 卜 墨 撲 朴 牧 睦 穆 釦 勃 没 殆 堀 幌 奔 本 翻 凡 盆

ま	摩 磨 魔 麻 埋 妹 昧 枚 毎 哩 槙 幕 膜 枕 鮪 柾 鱒 桝 亦 俣 又 抹 末 沫 迄 侭 繭 麿 万 慢 満 漫 蔓
み	味 未 魅 巳 箕 岬 密 蜜 湊 蓑 稔 脈 妙 粍 民 眠
む	務 夢 無 牟 矛 霧 鵡 椋 婿 娘
め	冥 名 命 明 盟 迷 銘 鳴 姪 牝 滅 免 棉 綿 緬 面 麺
も	摸 模 茂 妄 孟 毛 猛 盲 網 耗 蒙 儲 木 黙 目 杢 勿 餅 尤 戻 籾 貰 問 悶 紋 門 匁
や	也 冶 夜 爺 耶 野 弥 矢 厄 役 約 薬 訳 躍 靖 柳 薮 鑓
ゆ	愉 愈 油 癒 諭 輸 唯 佑 優 勇 友 宥 幽 悠 憂 揖 有 柚 湧 涌 猶 猷 由 祐 裕 誘 遊 邑 郵 雄 融 夕
よ	予 余 与 誉 輿 預 傭 幼 妖 容 庸 揚 揺 擁 曜 楊 様 洋 溶 熔 用 窯 羊 耀 葉 蓉 要 謡 踊 遥 陽 養 慾 抑 欲 沃 浴 翌 翼 淀
ら	羅 螺 裸 来 莱 頼 雷 洛 絡 落 酪 乱 卵 嵐 欄 濫 藍 蘭 覧
り	利 吏 履 李 梨 理 璃 痢 裏 裡 里 離 陸 律 率 立 葎 掠 略 劉 流 溜 琉 留 硫 粒 隆 竜 龍 侶 慮 旅 虜 了 亮 僚 両 凌 寮 料 梁 涼 猟 療 瞭 稜 糧 良 諒 遼 量 陵 領 力 緑 倫 厘 林 淋 燐 琳 臨 輪 隣 鱗 麟
る	瑠 塁 涙 累 類
れ	令 伶 例 冷 励 嶺 怜 玲 礼 苓 鈴 隷 零 霊 麗 齢 暦 歴 列 劣 烈 裂 廉 恋 憐 漣 煉 簾 練 聯 蓮 連 錬

次ページに続きます。

ろ					呂	魯	櫓	炉	賂	路
	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
	肋	録	論							
わ				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
	碗	腕								

■漢字一覧表（第二水準）

読み	漢字
ボウ	眸
キョウ	筐
ショウ	翔
ヨ	與
ホウ	萌
エビ	蛯
ショウ	誦
キュウ	赳
テキ	迪
ハン	鈑
ショウ	頌

読み	漢字
サイ	齋
コウ	篁
コウ	肛
マツ	茉
マン	萬
ケン	蜷
ジュン	諄
ケイ	蹊
マイ	邁
テツ	鐵
セン	餞

読み	漢字
リン	稟
キュウ	糺
シュウ	脩
リ	莉
ロ	蘆
フ	訃
ショウ	證
リョウ	輛
ヘン	邊
カン	鑵

用語集

ECM	(Error Correction Mode : 誤り再送方式) G3通信の1種。データが相手に正しく送られたかどうかをチェックし、正しく送られていない場合はそのデータを再送信する方式。 通信管理レポートなどの受信の相手先に「ECM」と表示された場合は、相手機がこの方式で送信してきたことを示します。
G3,G4	どちらも、CCITT(現ITU-T: 国際電信電話諮問委員会)が標準化したファクシミリの通信方式。G4は、デジタル通信網向けに開発された方式です。 本機でG4通信する場合は、G4通信ユニット(オプション)を装着してください。 ISDN(統合デジタル通信網を参照)を利用した高速(64kbit/s)の通信が可能になります。
ISDN	(Integrated Services Digital Network : 統合デジタル通信網) 従来、別々の回線を用いて行われてきた、電話、ファクス、ビデオテックス、データ通信などの通信サービスを、1つの回線で一元的に提供するデジタル通信網。 本機は、G4通信ユニット(オプション)を装着することにより、当社が提供する「INSネット64」に接続することができます。
Super G3 (SG3)	ITU V.34に準拠したG3通信の方式です。通常のG3通信より高速(33.4kbit/s)の通信が可能となります。
相手局	通信の相手方のこと。加入者回線の端末(電話、ファクス、パソコンなどの機器)を総称していいます。
宛先	本機では送信の相手方のこと。「宛先を指定する」という場合は、相手方の電話番号を入力することをいいます。
イミディエト通信	1ページ分の蓄積完了するごとに送信または受信プリントを開始すること。本機ではメモリー残量がしきい値を割った時点で、イミディエト通信に切り替わります。
オートクリア	一定時間操作をしないと、初期状態に戻る機能です。
オプション	標準仕様に対し、希望に応じて有料で付加できる機能。 本機には、済スタンプ、G4通信ユニットなどがオプションとして用意されています。
オフフックダイヤル	受話器をあげて、ダイヤルすること。
オンフックダイヤル	受話器をおいた状態で、ダイヤルすること。
画面	タッチパネルディスプレイに表示される画面のこと。メッセージや操作項目が表示されます。
国際通信	国外の相手局と通信すること。国際通信については、「付録E　国際通信を行う」を参照してください。 また、送信モードを設定するときに表示される選択肢の1つ。通信状態の悪い所へも確実に送信できるように、送信速度を下げて送信するモード。

サブアドレス	INSネットを利用する場合、ISDN IDを登録します。サブアドレスはISDN IDの一要素で、サブアドレス通知サービスを利用するときに登録します。サブアドレス通知サービスを利用すれば、ISDN1回線に接続される複数の通信機器のうち、特定の機器を指定し、通信することができます。
サブダイヤル	よく使う番号などをサブダイヤルに登録します。1つのサブダイヤルには16けたまで登録できます。長い番号を指定するときに便利です。
しきい値 (ページ分割しきい値)	1枚の用紙サイズを超えた原稿の長さが少しであっても、用紙はもう1枚分使用します。受信した内容の後端に余白がある場合には、後端部分をある程度切り捨て、1枚の用紙に収めることができます。 切り捨てる後端部分の長さがしきい値です。しきい値が小さいほど、2枚めの用紙を使用しやすくなります。逆に、しきい値が大きいほど、切り捨てる部分が増える代わりに、1枚に収まりやすくなります。
状態表示コード	何らかのトラブルが発生した場合、操作パネルやレポートなどに表示されるコード。
初期画面	電源を入れた直後や、リセット ボタンを押したとき、およびオートクリア機能がはたらいたときに表示される、タッチパネルディスプレイの画面。
初期値	仕様設定 で、設定した値。
自局	お使いいただいている本機側のこと。加入者回線の端末(電話、ファクス、パソコンなどの機器)を称していいます。
受信紙宣言	受信した文書をどのサイズの用紙に出力するかを設定しておくこと。設定したサイズは、受信側から送信側に宣言されます。
ジョブ	本来は「仕事」の意味ですが、本書では、次の2つの意味に使用しています。 ①ジョブメモリーに登録する、一連の操作のこと。 ②文書の送受信を処理すること。
ジョブメモリー	一連の操作(ジョブ)を登録する機能です。ジョブメモリーを使用すれば、定型業務などをボタン1つで指示できます。
選択する	本書では、タッチパネルディスプレイ内の機能ボタンを指で触れて、項目を反転させることをいいます。
ダイヤルする	本書では、送信の相手先のファクス番号を入力すること。 ダイヤルする方法には、テンキー(数字キー)で全ケタを入力する方法、短縮番号を使う方法、ワンタッチボタンを使って入力する方法、宛先表を使う方法などがあります。
ダイヤル種別	接続している回線のダイヤル方式。本機の設定では、PB(プッシュ式回線)、10PPS(ダイヤル式回線/10PPS)、20PPS(ダイヤル式回線/20PPS)の3種から選択します。

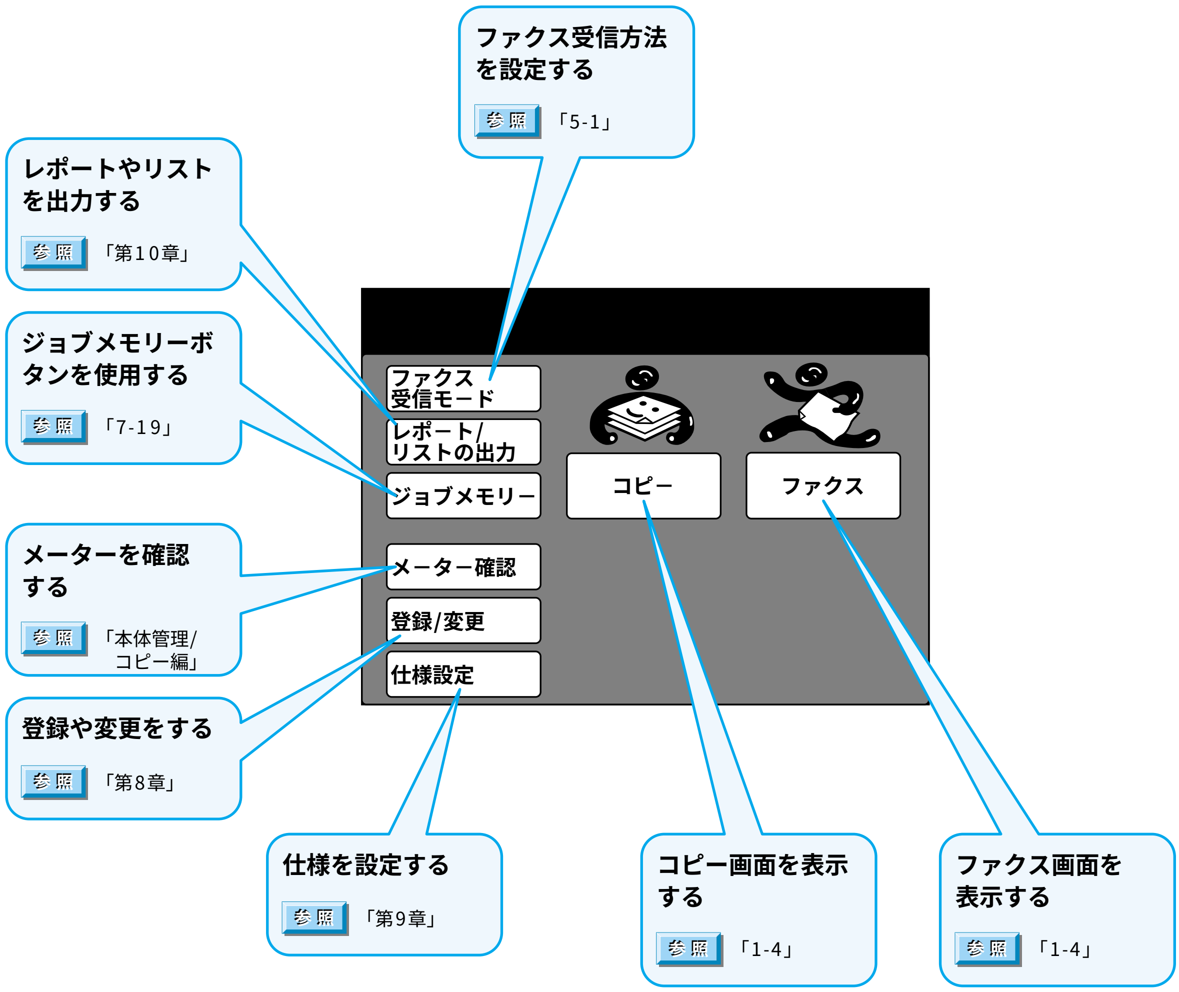
ダイヤルトーン	回線側から発信される音。目的の回線につながったことを確認することができます。
デュアルアクセス	1つの機能の動作中に、別の機能を並行して処理できること。
蓄積	本書では、原稿の画像を読み取って、その画像データを本機のメモリーに保存すること。
通信	通信回線を使って、音声データ(電話)、画像データ(ファクス)、映像データ(ビデオテックス)、パソコンのデータ(パソコン通信)をやり取りすること。 本書では特に、画像データの送信/受信と通話を合わせて「通信」といいます。
通信インターバル	通信の終了後、次の送信を始めるまでの間隔。
ヘッダー	発信元記録のこと。受信した用紙の先端に、印字されます。
ポーズ	待機状態。タッチパネルディスプレイで[ポーズ]を指示することができます。
ポーリング	こちらからの操作で送信させること。
発信元	通信の送り元。「宛先」に対応することばとして使用されます。
文書	本書では、原稿を読み取って得た画像データのこと。送信文書、受信文書、通信待ち文書などのように使っています。
読み取り	原稿を光学的に走査して、画像データに変換して取り込むこと。 本機には、読み取り装置として、原稿ガラス、および自動原稿送り装置読み取り部が用意されています。
ラインモニター	ダイヤルしてから相手先に接続されるまでの間の回線上の音。

画面一覧

メニュー画面

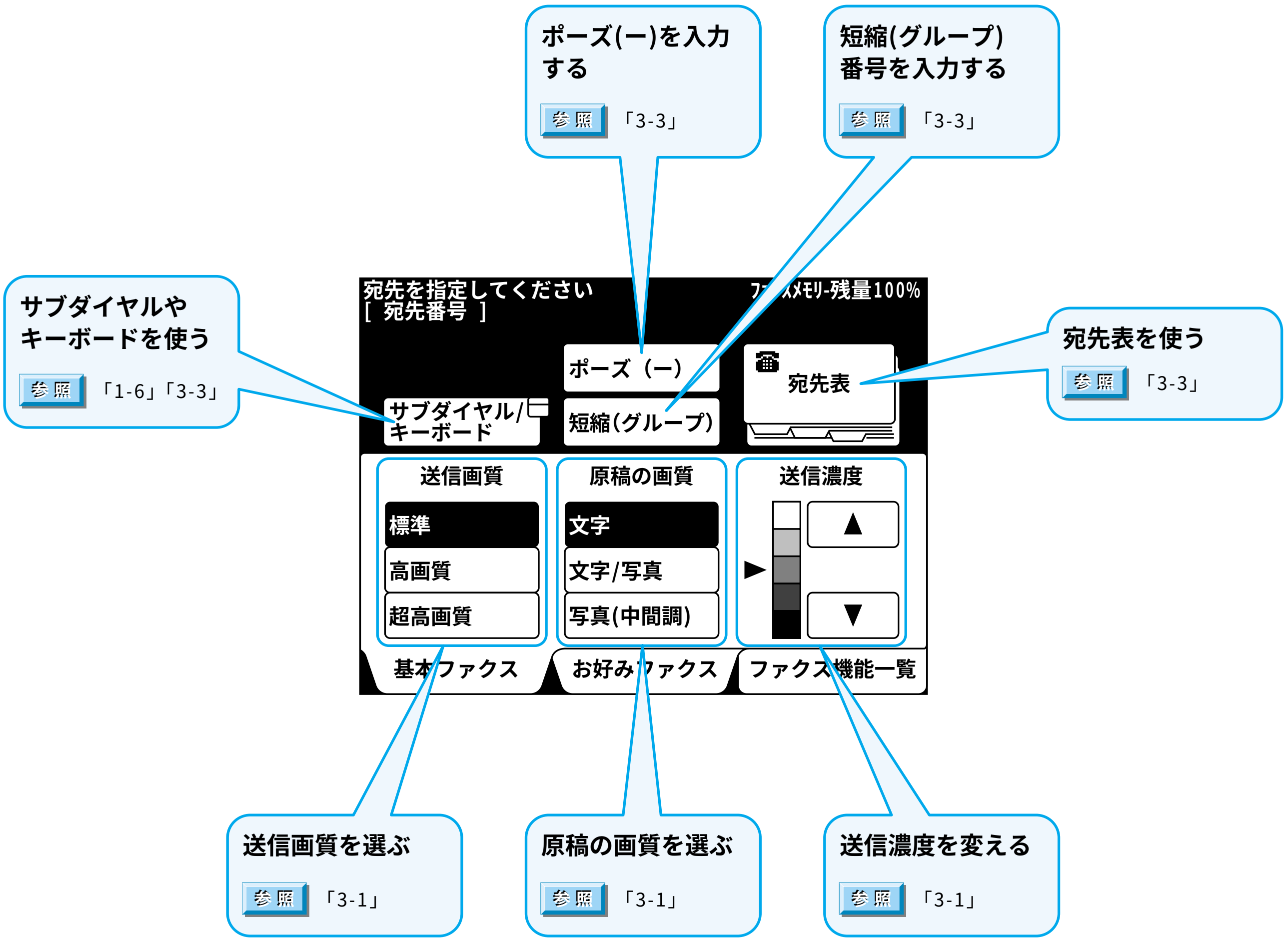
メニュー画面の表示です。
レポート/リストの出力、ジョブメモリー、登録/変更、仕様設定やコピー/ファクスの各画面に入る前の画面です。
この画面からそれぞれのボタンを選択し、各画面を表示させてください。

補足　オプションの有無と設定によって、表示される画面が異なる場合があります。



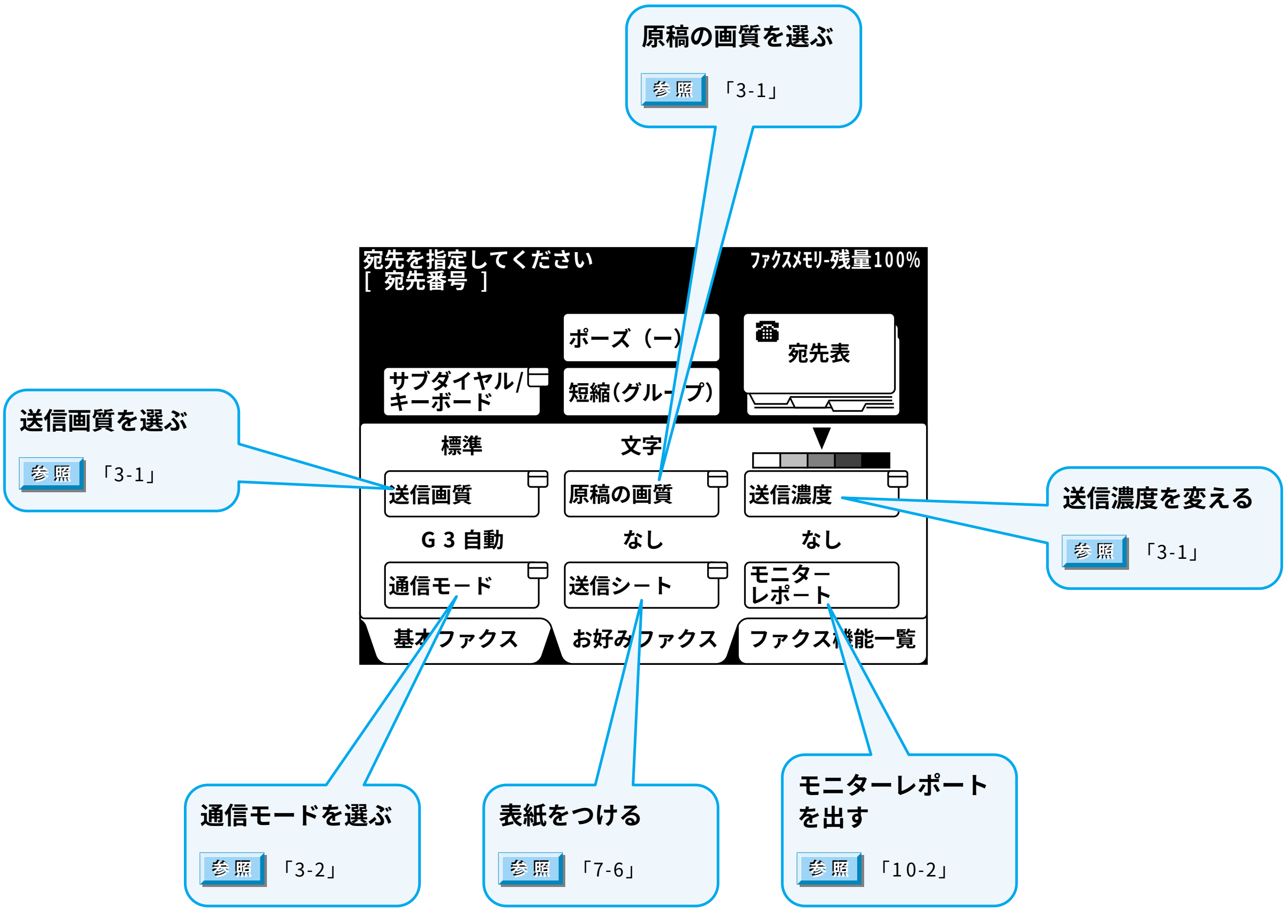
基本ファクス画面

基本ファクス画面の表示です。
基本的な機能が集められています。
機能の概略と参照先を参考にしてごらんください。



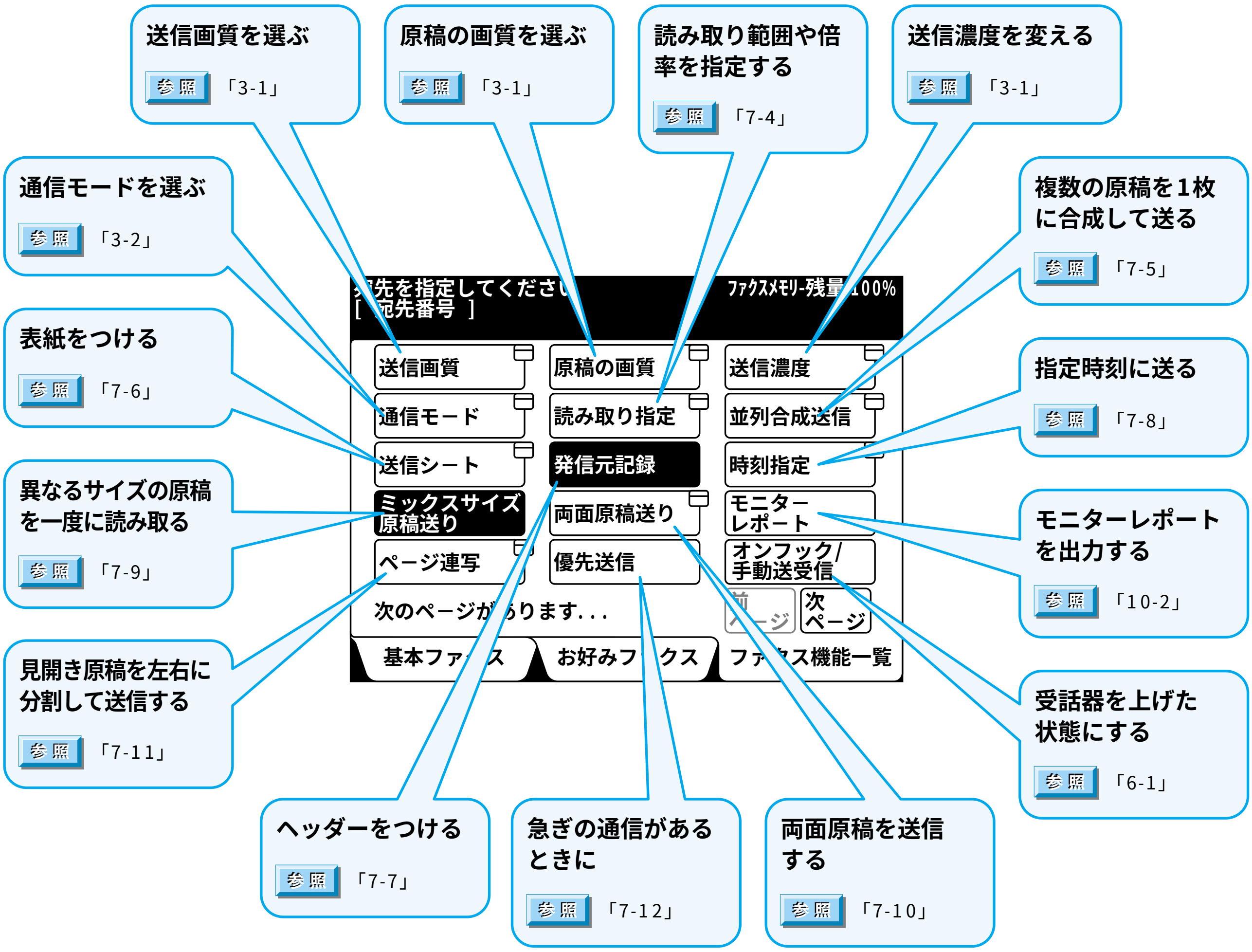
お好みファクス画面

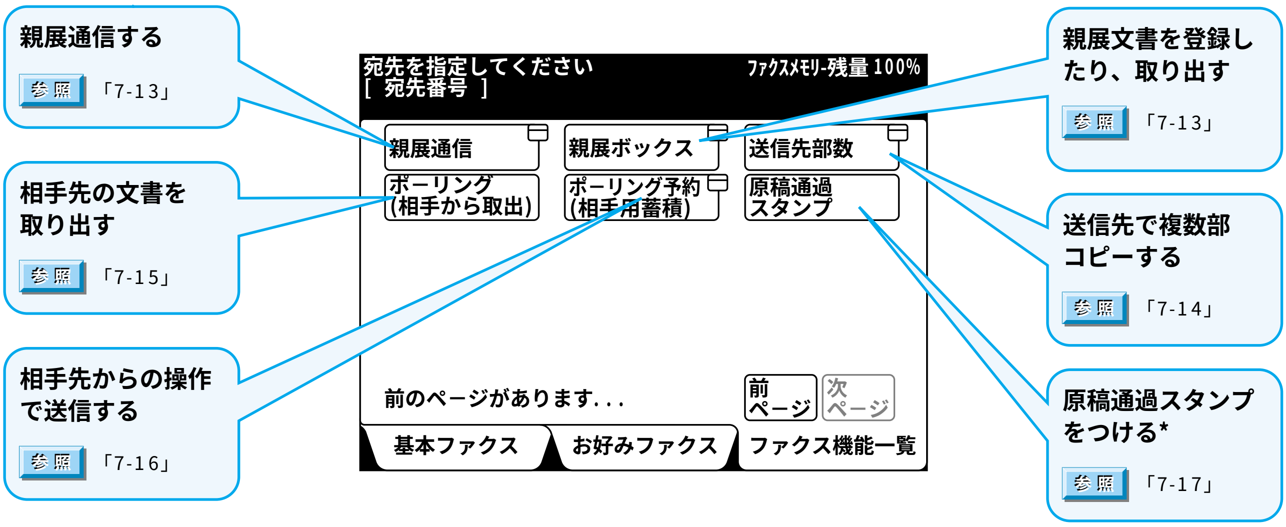
お好みファクス画面の表示です。
お好みファクス画面は、ユーザーが頻繁に使う機能を選んで、自由に設定できる画面です。
以下に表示されている画面は、工場出荷時の初期設定の画面です。
お好みファクス画面の変更方法については、「9-1　仕様設定について」を参照してください。
機能の概略と参照先を参考にしてごらんください。



ファクス機能一覧画面

ファクス機能一覧画面の表示です。
すべてのファクス機能が集められています。
機能の概略と参照先を参考にしてごらんください。

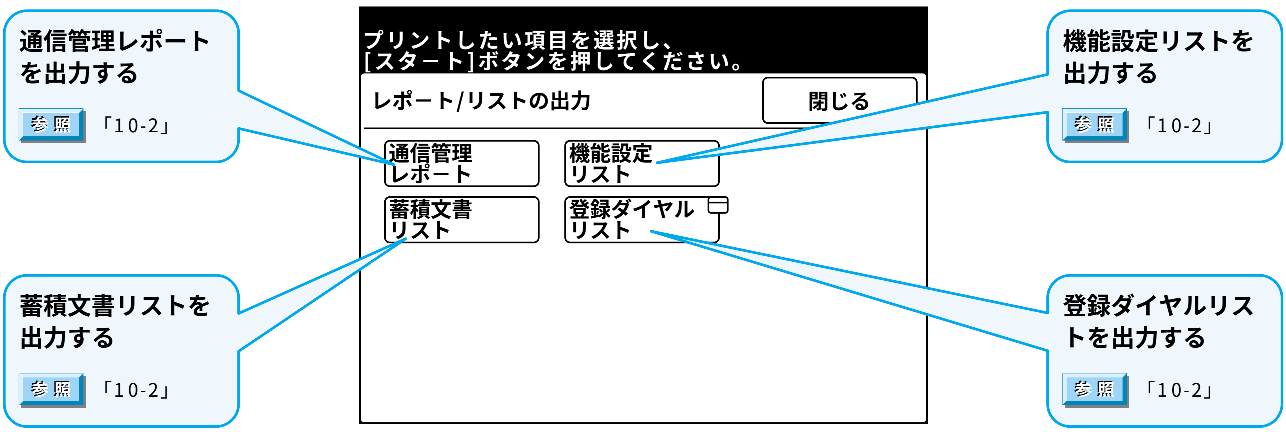




* 済スタンプキット装着時に表示されます。

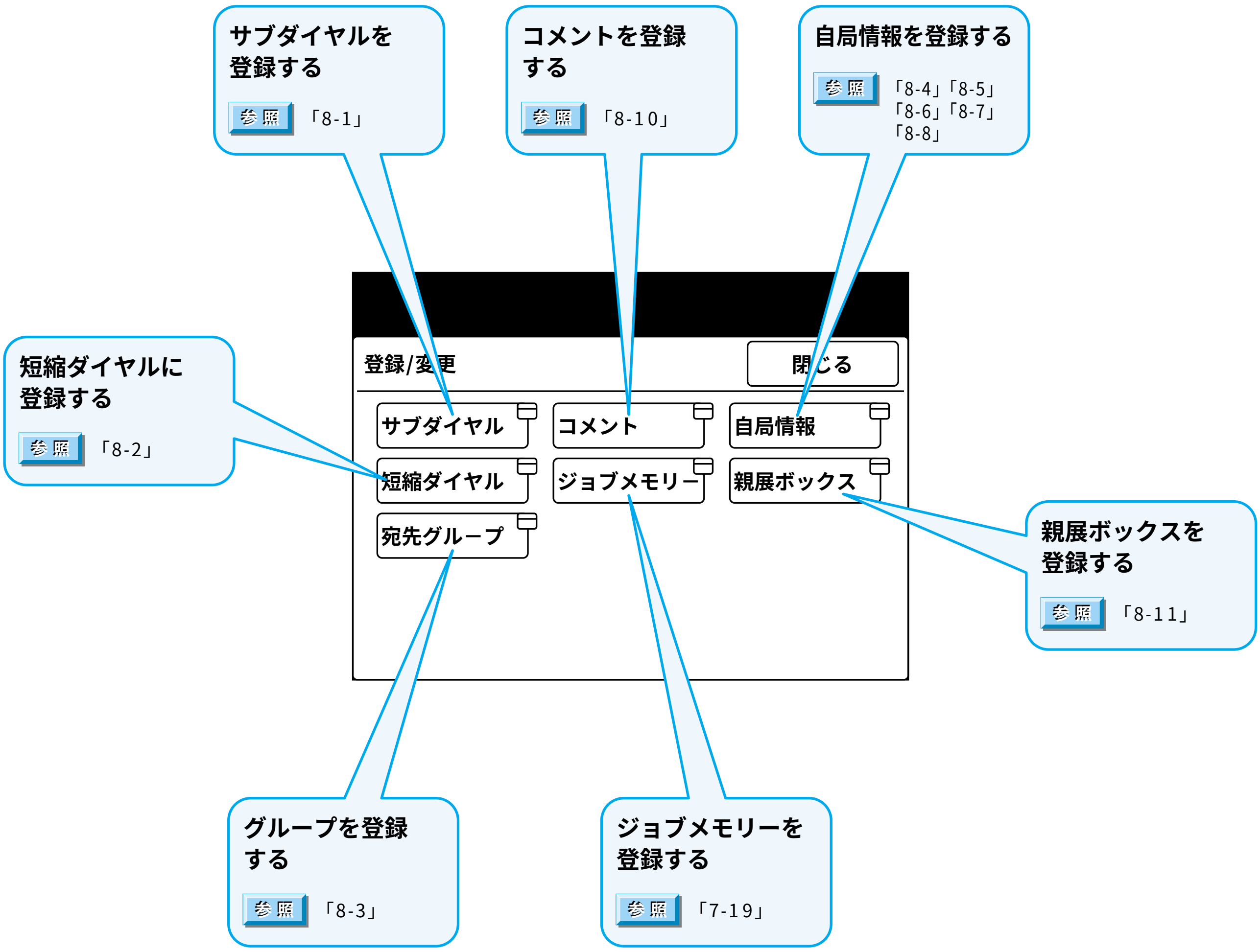
レポート/リスト出力画面

レポート/リスト画面の表示です。
レポートやリストを出力する機能が集められています。
機能の概略と参照先を参考にしてごらんください。



登録/変更画面

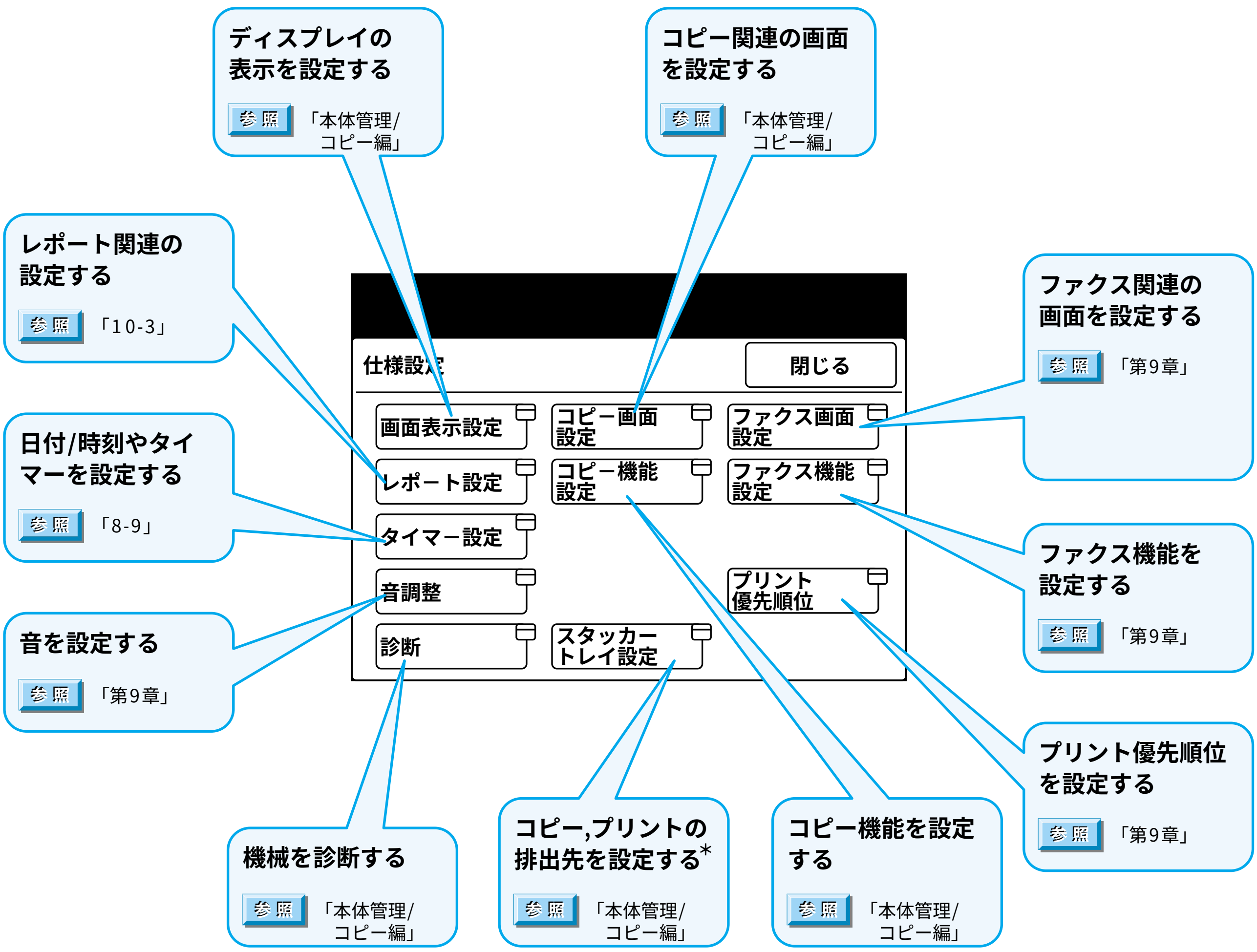
登録/変更画面の表示です。
項目の登録と変更のための機能が集められています。
機能の概略と参照先を参考にしてごらんください。



仕様設定画面

仕様設定画面の表示です。
仕様設定するための機能が集められています。
機能の概略と参照先を参考にしてごらんください。

補足　オプションの有無と設定によって、表示される画面が異なる場合があります。



* ステープルフィニッシャー装着時に表示されます。

索　引

た

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ：☏0120－109217（トークニイーナ）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

本2145-2(2000.10)
G3-<2><L740>-FAXトリセツ<H7000>
帳票No. DE-1016
892E35490

NTT